

名古屋市 障害者基礎調査報告書

令和5年3月
名古屋市健康福祉局

●● 目 次 ●●

I	調査概要	1
II	調査結果（18 歳以上）	
1	基本属性	5
1-1	回答者【問1】	5
1-2	性別【問2】	6
1-3	年齢【問3】	7
1-4	居住地区【問4】	8
1-5	障害者手帳所持の有無・障害種別【問5】	9
1-6	身体障害の障害等級【問5-①ア】	10
1-7	身体障害の区分【問5-①イ】	10
1-8	身体障害の発症年齢【問5-①ウ】	11
1-9	身体障害の主な原因【問5-①エ】	11
1-10	知的障害の障害等級【問5-②ア】	12
1-11	愛護手帳の交付年齢【問5-②イ】	12
1-12	知的障害以外の障害・疾病【問5-②ウ】	13
1-13	精神障害の障害等級【問5-③ア】	14
1-14	精神障害者保健福祉手帳の交付年齢（【問5-③イ】	14
1-15	精神障害の主な病名【問5-③ウ】	15
1-16	発達障害と診断された年齢【問5-④ア】	16
1-17	発達障害の主な診断名【問5-④イ】	16
1-18	高次脳機能障害と診断された年齢【問5-⑤ア】	17
1-19	高次脳機能障害と診断された主な症状【問5-⑤イ】	18
1-20	高次脳機能障害の主な原因【問5-⑤ウ】	18
1-21	難病等と診断された年齢【問5-⑥ア】	19
1-22	難病等の発病から病名告知までの期間【問5-⑥イ】	19
1-23	障害支援区分認定申請の有無【問6】	20
1-24	障害支援区分認定の結果【問6-①】	21
1-25	要介護認定申請の有無【問7】	22
1-26	要介護認定の結果【問7-①】	23
2	お住まいについて	24
2-1	同居の有無【問8】	24
2-2	家族構成【問8-①】	25
2-3	現在の生活場所【問9】	27
2-4	入所施設の区分【問9-①ア】	28
2-5	将来の生活場所【問9-①イ】	29
2-6	困りごとの有無【問10】	30
2-7	困りごとの理由【問10-①】	31

3	収入について	34
3-1	収入の種類【問11】	34
3-2	年間収入額【問12】	36
3-3	生計中心者の状況【問13】	37
3-4	生計中心者の収入の中心【問13-①】	38
3-5	生計中心者の収入の種類【問13-②】	39
3-6	生計中心者の年間収入額【問13-③】	41
4	障害福祉サービスの利用状況について	42
4-1	障害福祉情報の入手先【問14】	42
4-2	利用している障害福祉サービス【問15】	45
4-3	今後の障害福祉サービスの利用意向【問16】	49
4-4	その他の福祉サービスの利用意向【問17】	50
5	就労について	54
5-1	就労状況【問18】	54
5-2	就労している方の職種【問18-①ア】	55
5-3	1週間の就労時間【問18-①イ】	56
5-4	仕事を見つけた機関・施設等【問18-①ウ】	57
5-5	1か月当たりの仕事の収入【問18-①エ】	60
5-6	現在の職場の就労期間【問18-①オ】	62
5-7	日中の過ごし方【問18-②】	63
6	余暇の過ごし方について	64
6-1	余暇活動の内容【問19】	64
6-2	余暇活動の満足度【問20】	67
7	ICT機器の利用について	68
7-1	ICT機器の使用状況【問21】	68
7-2	ICT機器を使用しない理由【問21-①】	70
8	災害対策について	72
8-1	災害時の援助者の有無【問22】	72
8-2	災害時の援助者【問22-①】	73
8-3	福祉避難所の周知度【問23】	75
8-4	災害発生に際して必要なこと【問24】	77
9	障害や障害者への理解などについて	79
9-1	差別経験の有無【問26】	79
9-2	市職員の障害・障害者に対する理解の有無【問27】	80
9-3	条例認知の有無【問28】	81
9-4	人権社会実現の現状【問29】	82
9-5	人権社会実現への施策【問30】	83

10	文化芸術活動・スポーツについて	91
10-1	文化芸術活動の種類【問31】	91
10-2	文化芸術活動を行う頻度【問32】	93
10-3	作品展・発表会への参加意志【問33】	94
10-4	運動やスポーツの実施有無【問34】	95
10-5	運動やスポーツを行わない理由【問34-①】	96
11	外出の状況について	97
11-1	外出頻度【問36】	97
11-2	外出の目的【問37】	98
11-3	移動手段【問38】	100
11-4	重度障害者福祉タクシー利用券の交付の有無【問39】	101
11-5	重度障害者福祉タクシー利用券の利用量【問39-①】	102
11-6	重度障害者タクシー利用券複数利用の際の外出の機会【問39-②】	103
12	障害者の表し方や呼び方について	104
12-1	障害者の表し方の変更【問40】	104
12-2	表し方を変更した方が良いと思う理由【問41】	105
12-3	表し方を変更した方が良いと思う言葉【問42】	107
12-4	表し方を変更しない方が良いと思う理由【問44】	110
13	区役所・支所の窓口について	113
13-1	障害福祉制度利用手続き受付窓口の統一について思うこと【問45】	113
13-2	福祉課等の受付窓口や利用手続きへの期待【問46】	117
13-3	電子申請の導入【問47】	121
13-4	電子申請を利用したいと思わない理由【問47-①】	122
14	新型コロナウイルス感染症について	125
14-1	新型コロナウイルス感染症の流行で生活への影響【問48】	125

Ⅲ 調査結果（18 歳未満）

1 基本属性	127
1-1 性別【問1】	127
1-2 年齢【問2】	128
1-3 居住地区【問3】	129
1-4 障害者手帳所持の有無・障害種別【問4】	130
1-5 身体障害の障害等級【問4-①ア】	131
1-6 身体障害の区分【問4-①イ】	131
1-7 身体障害の発症年齢【問4-①ウ】	132
1-8 身体障害の主な原因【問4-①エ】	132
1-9 知的障害の障害等級【問4-②ア】	133
1-10 愛護手帳の交付年齢【問4-②イ】	133
1-11 知的障害以外の障害・疾病【問4-②ウ】	134
1-12 精神障害の障害等級【問4-③ア】	135
1-13 精神障害者保健福祉手帳の交付年齢（【問4-③イ】	135
1-14 精神障害の主な病名【問4-③ウ】	136
1-15 発達障害と診断された年齢【問4-④ア】	137
1-16 発達障害の主な診断名【問4-④イ】	137
1-17 高次脳機能障害と診断された年齢【問4-⑤ア】	138
1-18 高次脳機能障害と診断された主な症状【問4-⑤イ】	138
1-19 高次脳機能障害の主な原因【問4-⑤ウ】	139
1-20 難病等と診断された年齢【問4-⑥ア】	140
1-21 難病等の発病から病名告知までの期間【問4-⑥イ】	140
1-22 障害支援区分認定申請の有無【問5】	141
1-23 障害支援区分認定の結果【問5-①】	142
2 お住まいについて	143
2-1 同居の有無【問6】	143
2-2 家族構成【問6-①】	144
2-3 現在の生活場所【問7】	146
2-4 困りごとの有無【問8】	147
2-5 困りごとの理由【問8-①】	148
3 収入について	151
3-1 世帯の収入の中心【問9】	151
3-2 生計中心者の年間収入額【問10】	152
4 障害福祉サービスの利用状況について	153
4-1 障害福祉情報の入手先【問11】	153
4-2 利用している障害福祉サービス【問12】	156
4-3 今後の障害福祉サービスの利用意向【問13】	159
4-4 その他の福祉サービスの利用意向【問14】	160

5	災害対策について	164
5-1	災害時の援助者の有無【問15】	164
5-2	災害時の援助者【問15-①】	165
5-3	福祉避難所の周知度【問16】	167
5-4	災害発生に際して必要なこと【問17】	169
6	障害者の表し方や呼び方について	171
6-1	障害者の表し方の変更【問19】	171
6-2	表し方を変更した方が良いと思う理由【問20】	172
6-3	表し方を変更した方が良いと思う言葉【問21】	173
6-4	表し方を変更しない方が良いと思う理由【問23】	176
7	区役所・支所の窓口について	179
7-1	障害福祉制度利用手続き受付窓口の統一について思うこと【問24】	179
7-2	福祉課等の受付窓口や利用手続きへの期待【問25】	183
7-3	電子申請の導入【問26】	187
7-4	電子申請を利用したいと思わない理由【問26-①】	188
8	障害や障害者への理解などについて	191
8-1	市職員の障害・障害者に対する理解の有無【問27】	191
8-2	条例認知の有無【問28】	193
8-3	人権社会実現の現状【問29】	194
8-4	人権社会実現への施策【問30】	195
9	余暇の過ごし方、スポーツについて	203
9-1	余暇活動の内容【問31】	203
9-2	余暇活動の満足度【問32】	206
9-3	運動やスポーツの実施有無【問33】	207
9-4	運動やスポーツを行わない理由【問33-①】	208
10	ICT機器の利用について	211
10-1	ICT機器の使用状況【問34】	211
10-2	ICT機器を使用しない理由【問34-①】	214
11	障害や障害者への理解などについて	217
11-1	差別経験の有無【問35】	217
11-2	差別を受けた場面【問35-①】	218
12	外出の状況について	221
12-1	外出頻度【問36】	221
12-2	外出の目的【問37】	222
12-3	移動手段【問38】	225
13	新型コロナウイルス感染症について	227
13-1	新型コロナウイルス感染症の流行で生活への影響【問39】	227

Ⅳ 調査票（18歳以上）

Ⅴ 調査票（18歳未満）

I 調 査 概 要

1 調査概要（18 歳以上）

1 調査の目的

今後の本市障害福祉施策や「第7期名古屋市障害福祉計画・第3期名古屋市障害児福祉計画」及び「名古屋市障害者基本計画（第5次）」策定に関わる基礎的な資料とすることを目的として、18歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者、難病等の方を対象に、生活実態や現行施策の評価、サービスの利用状況、今後のサービスの利用意向、施策ニーズ、障害福祉に係わる意向等について調査を実施。

2 調査期間

令和4年10月3日～10月28日（調査基準日 令和4年10月3日）

3 調査対象者及び調査方法

対 象	調 査 方 法
身 体 障 害 者	18 歳以上の身体障害者手帳所持者から 7,839 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
知 的 障 害 者	18 歳以上の愛護手帳所持者から 1,400 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
精 神 障 害 者	18 歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者から 2,909 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
発 達 障 害 者	診断書で障害福祉サービスの申請をされた、18 歳以上の発達障害等の方から 200 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
高次脳機能障害者	名古屋市総合リハビリテーションセンターを利用している 18 歳以上の方 397 人に対し調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
難 病 等 の 方	18 歳以上の特定医療費助成制度受給者から 1,998 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。

4 配付・回収状況

対象	配付数(人) A	回収数(人) B	回収率(%) B/A	有効回答数(人) C	有効回答率(%) C/A
身体障害者	7,839	4,140	52.8	4,131	52.7
知的障害者	1,400	667	47.6	661	47.2
精神障害者	2,909	1,328	45.7	1,318	45.3
発達障害者	200	69	34.5	69	34.5
高次脳機能障害者	397	211	53.1	211	53.1
難病等の方	1,998	1,133	56.7	1,132	56.7
計	14,743	7,548	51.2	7,522	51.0

※基本属性（性別、年齢）のいずれにも回答がない場合または年齢18歳未満の場合、無効回答とした。

5 その他

《調査結果の分析を読む際の注意点》

- ・ 結果のとりまとめは、設問順を基準とする。
- ・ 集計結果表の上段は該当回答数、下段は比率を表す。
- ・ 割合は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記している。また、割合の合計が100.0%になるように個々の選択肢の割合を調整している。
- ・ 一人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えている。
- ・ 表頭に「回答者数」の表記がある場合は複数回答、「合計」の表記の場合は単数回答であることを示している。

《調査結果の集計、分析にあたっての留意点》

- ・ 各障害については、各障害者区分の表頭にある「回答者数」を対象に集計している。（下表の太枠の数値）
- ・ 但し、障害種別ごとの設問（1-6 から 1-22）については、問5（1-5）で各障害者手帳を所持している又は各障害と診断されていると回答した方を対象に集計している。（下表の網掛けの数値）

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	身体障害者 手帳	愛護手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	発達障害と 診断されて いる	高次脳機能 障害と診断 されている	難病等と診断 されている	その他(選択 肢1～6以外 の方)
全 体	7,522 100.0	4,561 60.6	778 10.3	1,506 20.0	307 4.1	301 4.0	1,227 16.3	0 0.0
身体障害	4,131 100.0	4,131 100.0	92 2.2	47 1.1	11 0.3	52 1.3	70 1.7	0 0.0
知的障害	661 100.0	33 5.0	661 100.0	17 2.6	69 10.4	2 0.3	4 0.6	0 0.0
精神障害	1,318 100.0	83 6.3	16 1.2	1,318 100.0	152 11.5	32 2.4	14 1.1	0 0.0
発達障害	69 100.0	1 1.4	0 0.0	3 4.3	69 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	211 100.0	102 48.3	2 0.9	91 43.1	1 0.5	211 100.0	7 3.3	0 0.0
難病等	1,132 100.0	211 18.6	7 0.6	30 2.7	5 0.4	4 0.4	1,132 100.0	0 0.0

2 調査概要（18 歳未満）

1 調査の目的

今後の本市障害福祉施策や「第7期名古屋市障害福祉計画・第3期名古屋市障害児福祉計画」及び「名古屋市障害者基本計画（第5次）」策定に関わる基礎的な資料とすることを目的として、18歳未満の身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者、難病等の方を対象に、生活実態や現行施策の評価、サービスの利用状況、今後のサービスの利用意向、施策ニーズ、障害福祉に係わる意向等について調査を実施。

2 調査期間

令和4年10月3日～10月28日（調査基準日 令和4年10月3日）

3 調査対象者及び調査方法

対 象	調 査 方 法
身 体 障 害 者	18 歳未満の身体障害者手帳所持者から 160 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
知 的 障 害 者	18 歳未満の愛護手帳所持者から 600 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
精 神 障 害 者	18 歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者から 90 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
発 達 障 害 者	診断書で障害福祉サービス及び障害児通所支援サービスの申請をされた、18 歳未満の発達障害等の方から 200 人を無作為に抽出し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
高次脳機能障害者	名古屋市総合リハビリテーションセンターを利用している 18 歳未満の方 3 人に対し調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。
難 病 等 の 方	18 歳未満の特定医療費助成制度受給者 2 人に対し、調査票を郵送法により配付、郵送回収またはwebフォームによる回答。

4 配付・回収状況

配付数(人) A	回収数(人) B	回収率(%) B/A	有効回答数(人) C	有効回答率(%) C/A
1,055	511	48.4	496	47.0

※基本属性（性別、年齢）のいずれにも回答がない場合または年齢18歳以上の場合、無効回答とした。

5 その他

《調査結果の分析を読む際の注意点》

- 結果のとりまとめは、設問順を基準とする。
- 集計結果表の上段は該当回答数、下段は比率を表す。
- 割合は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記している。また、割合の合計が100.0%になるように個々の選択肢の割合を調整している。
- 一人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えている。
- 表頭に「回答者数」の表記がある場合は複数回答、「合計」の表記の場合は単数回答であることを示している。

《調査結果の集計、分析にあたっての留意点》

- 各障害について、重複障害のある場合はそれぞれの障害で集計している。

Ⅱ 調査結果（18 歳以上）

1 基本属性

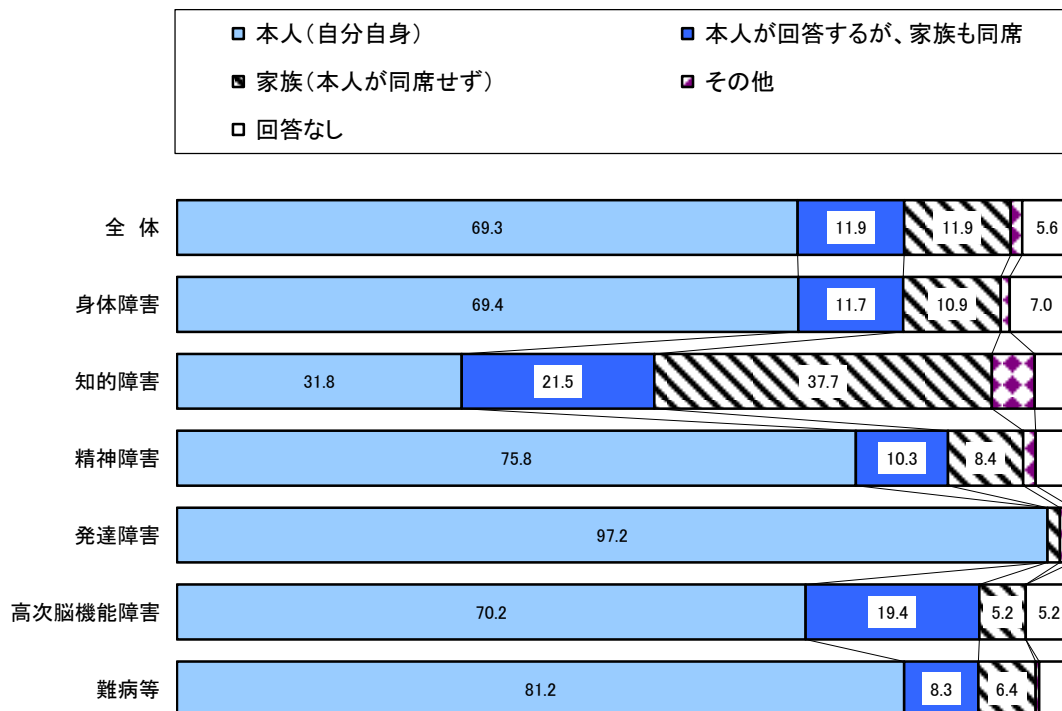
1-1 回答者【問1】

【問1】このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「本人（自分自身）」（69.3％）が最も多く、次いで「本人が回答するが、家族も同席」（11.9％）、「家族（本人が同席せず）」（11.9％）となっています。
- 障害種別でみると、知的では「家族（本人が同席せず）」、その他の障害種別では「本人（自分自身）」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	本人(自分自身)	本人が回答するが、 家族も同席	家族(本人が 同席せず)	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	5,213 69.3	895 11.9	894 11.9	97 1.3	423 5.6
身体障害	4,131 100.0	2,870 69.4	482 11.7	450 10.9	41 1.0	288 7.0
知的障害	661 100.0	210 31.8	142 21.5	249 37.7	32 4.8	28 4.2
精神障害	1,318 100.0	998 75.8	136 10.3	111 8.4	19 1.4	54 4.1
発達障害	69 100.0	67 97.2	0 0.0	1 1.4	1 1.4	0 0.0
高次脳 機能障害	211 100.0	148 70.2	41 19.4	11 5.2	0 0.0	11 5.2
難病等	1,132 100.0	920 81.2	94 8.3	72 6.4	4 0.4	42 3.7



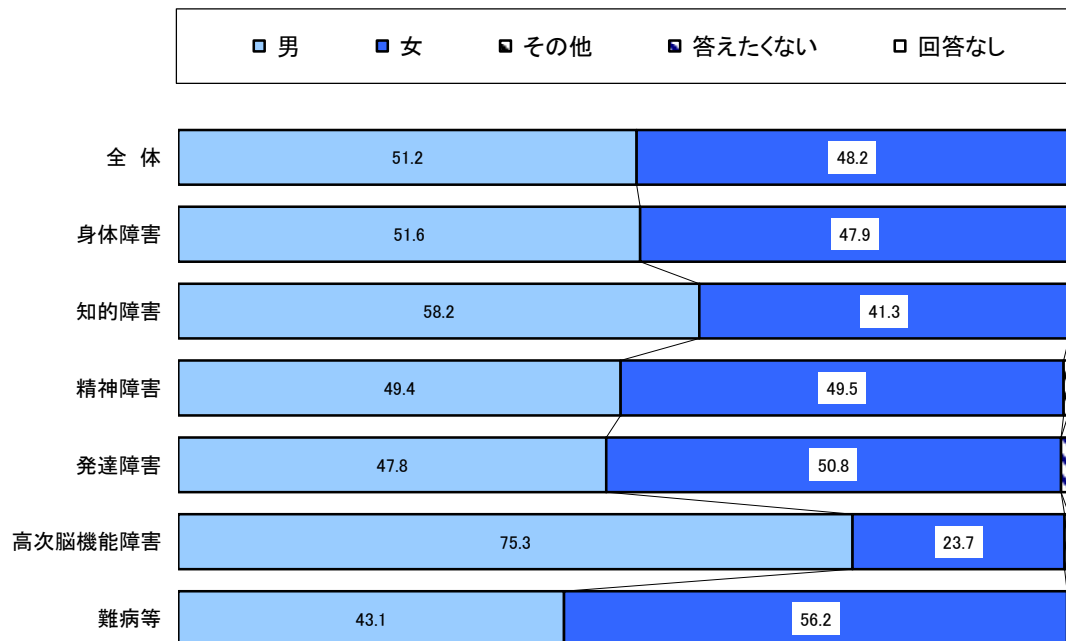
1-2 性別【問2】

【問2】あなた（「ご本人（アンケートの対象者）」以下おなじ。）の性別をお答えください。

- 全体をみると、「男」（51.2%）、「女」（48.2%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、高次脳機能では「男」、精神、発達、難病等では「女」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	男	女	その他	答えたくない	回答なし
全 体	7,522 100.0	3,847 51.2	3,626 48.2	10 0.1	32 0.4	7 0.1
身体障害	4,131 100.0	2,131 51.6	1,980 47.9	1 0.0	16 0.4	3 0.1
知的障害	661 100.0	385 58.2	273 41.3	1 0.2	2 0.3	0 0.0
精神障害	1,318 100.0	651 49.4	652 49.5	7 0.5	7 0.5	1 0.1
発達障害	69 100.0	33 47.8	35 50.8	0 0.0	1 1.4	0 0.0
高次脳機能障害	211 100.0	159 75.3	50 23.7	1 0.5	1 0.5	0 0.0
難病等	1,132 100.0	488 43.1	636 56.2	0 0.0	5 0.4	3 0.3



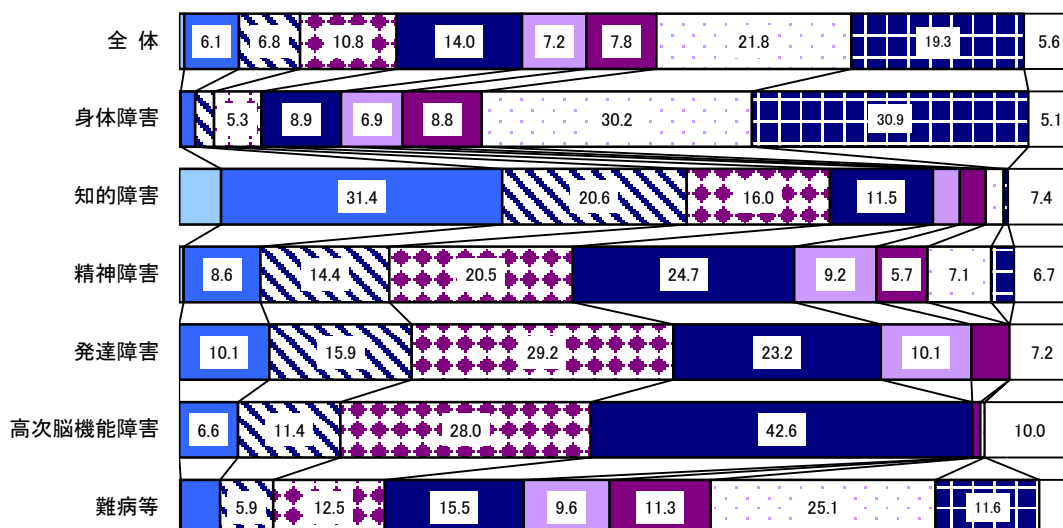
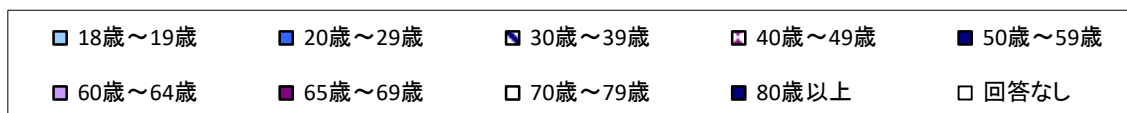
1-3 年齢【問3】

【問3】あなたの年齢はおいくつですか。（令和4年10月3日現在でお答えください。）

- 全体をみると、「70歳～79歳」（21.8%）が最も多く、次いで「80歳以上」（19.3%）、「50歳～59歳」（14.0%）となっています。
- 障害種別でみると、身体では「80歳以上」が最も多く、次いで「70歳～79歳」、知的では「20歳～29歳」が最も多く、次いで「30歳～39歳」、精神、高次脳機能では「50歳～59歳」が最も多く、次いで「40歳～49歳」、発達では「40歳～49歳」が最も多く、次いで「50歳～59歳」、難病等では「70歳～79歳」が最も多く、次いで「50歳～59歳」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	回答なし
全 体	7,522 100.0	47 0.6	460 6.1	513 6.8	813 10.8	1,051 14.0	541 7.2	589 7.8	1,641 21.8	1,448 19.3	419 5.6
身体障害	4,131 100.0	7 0.2	68 1.6	85 2.1	217 5.3	368 8.9	284 6.9	362 8.8	1,248 30.2	1,280 30.9	212 5.1
知的障害	661 100.0	31 4.7	208 31.4	136 20.6	106 16.0	76 11.5	20 3.0	19 2.9	13 2.0	3 0.5	49 7.4
精神障害	1,318 100.0	7 0.5	113 8.6	190 14.4	270 20.5	326 24.7	121 9.2	75 5.7	94 7.1	34 2.6	88 6.7
発達障害	69 100.0	0 0.0	7 10.1	11 15.9	20 29.2	16 23.2	7 10.1	3 4.3	0 0.0	0 0.0	5 7.2
高次脳機能障害	211 100.0	0 0.0	14 6.6	24 11.4	59 28.0	90 42.6	0 0.0	2 0.9	1 0.5	0 0.0	21 10.0
難病等	1,132 100.0	2 0.2	50 4.4	67 5.9	141 12.5	175 15.5	109 9.6	128 11.3	285 25.1	131 11.6	44 3.9



1-4 居住地区【問4】

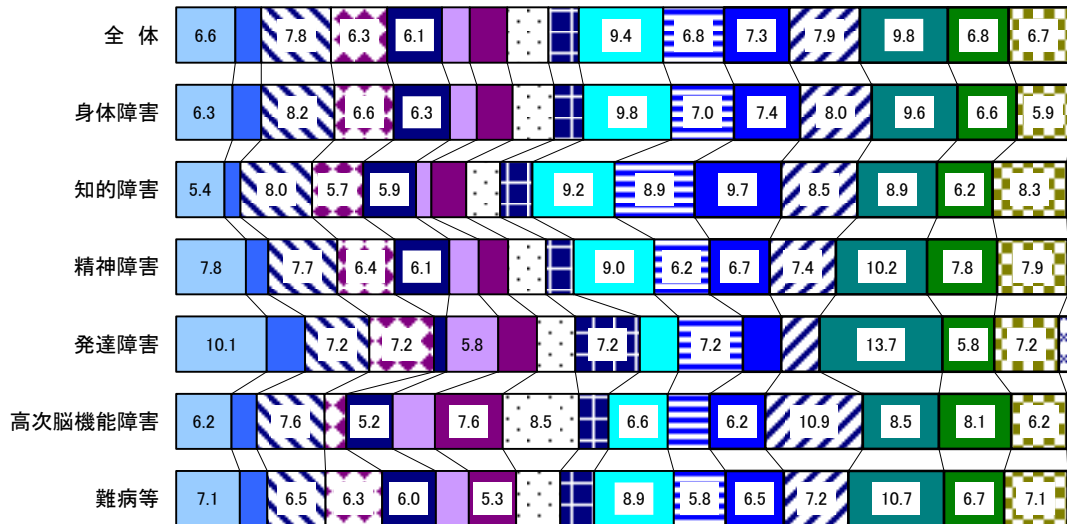
【問4】あなたのお住まいの区はどちらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「緑区」（9.8％）が最も多く、次いで「中川区」（9.4％）、「守山区」（7.9％）となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	市外	回答なし
全体	7,522 100.0	499 6.6	221 2.9	589 7.8	474 6.3	460 6.1	233 3.1	315 4.2	348 4.6	255 3.4	704 9.4	510 6.8	548 7.3	592 7.9	739 9.8	512 6.8	501 6.7	10 0.1	12 0.2
身体障害	4,131 100.0	260 6.3	132 3.2	340 8.2	271 6.6	260 6.3	122 3.0	166 4.0	191 4.6	135 3.3	407 9.8	288 7.0	307 7.4	332 8.0	397 9.6	271 6.6	244 5.9	3 0.1	5 0.1
知的障害	661 100.0	36 5.4	12 1.8	53 8.0	38 5.7	39 5.9	11 1.7	26 3.9	25 3.8	24 3.6	61 9.2	59 8.9	63 9.7	56 8.5	59 8.9	41 6.2	55 8.3	1 0.2	2 0.3
精神障害	1,318 100.0	103 7.8	33 2.5	101 7.7	84 6.4	81 6.1	44 3.3	44 3.3	56 4.2	41 3.1	118 9.0	82 6.2	88 6.7	97 7.4	134 10.2	103 7.8	104 7.9	2 0.2	3 0.2
発達障害	69 100.0	7 10.1	3 4.3	5 7.2	5 7.2	1 1.4	4 5.8	3 4.3	3 4.3	5 7.2	3 4.3	5 7.2	3 4.3	3 4.3	9 13.7	4 5.8	5 7.2	1 1.4	0 0.0
高次脳機能障害	211 100.0	13 6.2	6 2.8	16 7.6	5 2.4	11 5.2	10 4.7	16 7.6	18 8.5	7 3.3	14 6.6	10 4.7	13 6.2	23 10.9	18 8.5	17 8.1	13 6.2	1 0.5	0 0.0
難病等	1,132 100.0	80 7.1	35 3.1	74 6.5	71 6.3	68 6.0	42 3.7	60 5.3	55 4.9	43 3.8	101 8.9	66 5.8	74 6.5	81 7.2	122 10.7	76 6.7	80 7.1	2 0.2	2 0.2

□ 千種区 □ 東区 □ 北区 □ 西区 □ 中村区 □ 中区 □ 昭和区 □ 瑞穂区 □ 熱田区
 □ 中川区 □ 港区 □ 南区 □ 守山区 □ 緑区 □ 名東区 □ 天白区 □ 市外 □ 回答なし



1-5 障害者手帳所持の有無・障害種別【問5】

【問5】あなたは次の手帳をお持ちですか。または障害、難病等と診断されていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 身体では「身体障害者手帳」以外に、「愛護手帳」(2.2%)、「難病等と診断されている」(1.7%)が多くなっています。
 知的では「愛護手帳」以外に、「発達障害と診断されている」(10.4%)、「身体障害者手帳」(5.0%)が多くなっています。
 精神では「精神障害者保健福祉手帳」以外に、「発達障害と診断されている」(11.5%)、「身体障害者手帳」(6.3%)が多くなっています。
 発達では「発達障害と診断されている」以外に、「精神障害者保健福祉手帳」(4.3%)が多くなっています。
 高次脳機能では「高次脳機能障害と診断されている」以外に、「身体障害者手帳」(48.3%)、「精神障害者保健福祉手帳」(43.1%)が多くなっています。
 難病等では「難病等と診断されている」以外に、「身体障害者手帳」(18.6%)が多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	身体障害者 手帳	愛護手帳	精神障害者 保健福祉 手帳	発達障害と診 断されている	高次脳機能 障害と診断 されている	難病等と診断 されている	その他(選択 肢1～6以外 の方)	回答なし
全 体	7,522 100.0	4,561 60.6	778 10.3	1,506 20.0	307 4.1	301 4.0	1,227 16.3	0 0.0	0 0.0
身体障害	4,131 100.0	4,131 100.0	92 2.2	47 1.1	11 0.3	52 1.3	70 1.7	0 0.0	0 0.0
知的障害	661 100.0	33 5.0	661 100.0	17 2.6	69 10.4	2 0.3	4 0.6	0 0.0	0 0.0
精神障害	1,318 100.0	83 6.3	16 1.2	1,318 100.0	152 11.5	32 2.4	14 1.1	0 0.0	0 0.0
発達障害	69 100.0	1 1.4	0 0.0	3 4.3	69 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳 機能障害	211 100.0	102 48.3	2 0.9	91 43.1	1 0.5	211 100.0	7 3.3	0 0.0	0 0.0
難病等	1,132 100.0	211 18.6	7 0.6	30 2.7	5 0.4	4 0.4	1,132 100.0	0 0.0	0 0.0

■ 身体障害 ■

1-6 身体障害の障害等級【問5-①ア】

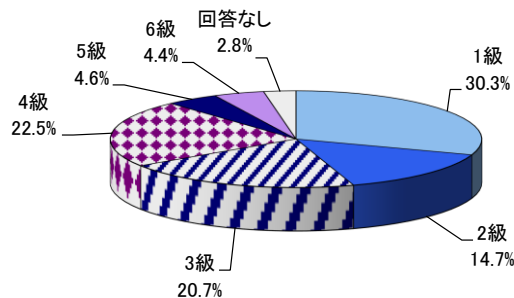
【問5-①】問5で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

- 「1級」(30.3%)が最も多く、次いで「4級」(22.5%)、「3級」(20.7%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	回答なし
4,131	1,249	609	855	928	191	182	117
100.0	30.3	14.7	20.7	22.5	4.6	4.4	2.8



1-7 身体障害の区分【問5-①イ】

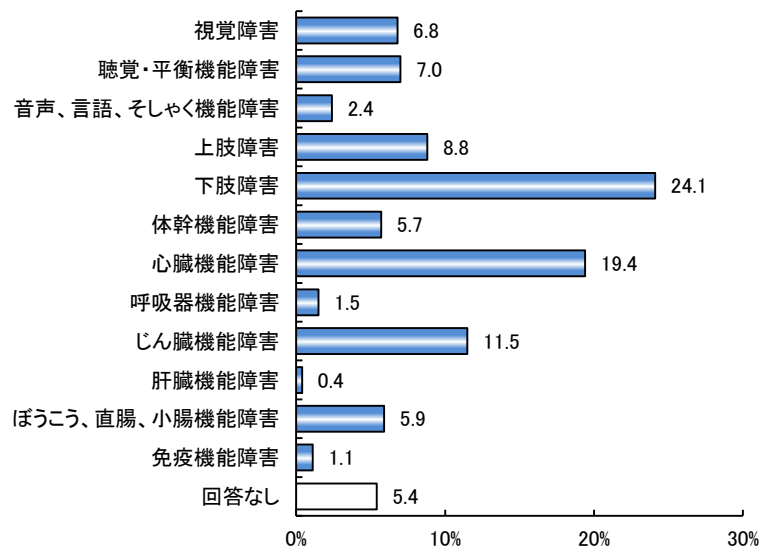
【問5-①】イ) 身体障害は次のうちどれですか。2つ以上障害のある方は、最も重いものはどれですか。

(1つだけ○)

- 「下肢障害」(24.1%)が最も多く、次いで「心臓機能障害」(19.4%)、「じん臓機能障害」(11.5%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声、言語、そしゃく機能障害	上肢障害	下肢障害	体幹機能障害	心臓機能障害	呼吸器機能障害	じん臓機能障害	肝臓機能障害	ぼうこう、直腸、小腸機能障害	免疫機能障害	回答なし
4,131	281	288	99	364	991	237	802	61	477	17	243	47	224
100.0	6.8	7.0	2.4	8.8	24.1	5.7	19.4	1.5	11.5	0.4	5.9	1.1	5.4



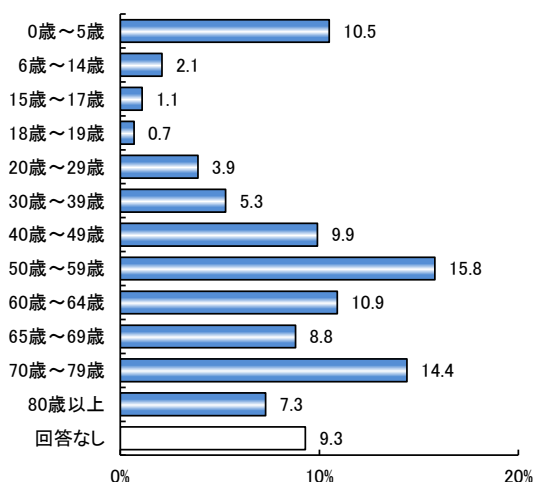
1-8 身体障害の発症年齢【問5-①ウ】

【問5-①】ウ) 身体障害になったのは何歳のときですか。
(身体障害者手帳を交付された時期ではありません。)

- 「50歳～59歳」(15.8%)が最も多く、次いで「70歳～79歳」(14.4%)、「60歳～64歳」(10.9%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0歳～5歳	6歳～14歳	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	回答なし
4,131 100.0	432 10.5	87 2.1	44 1.1	30 0.7	161 3.9	221 5.3	408 9.9	652 15.8	451 10.9	364 8.8	595 14.4	302 7.3	384 9.3



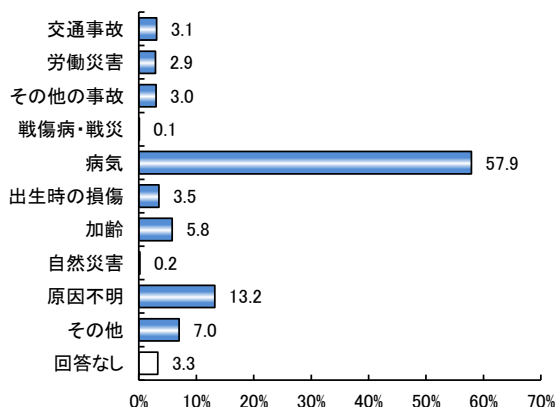
1-9 身体障害の主な原因【問5-①エ】

【問5-①】エ) 身体障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

- 「病気」(57.9%)が最も多く、次いで「原因不明」(13.2%)、「その他」(7.0%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	交通事故	労働災害	その他の事故	戦傷病・戦災	病気	出生時の損傷	加齢	自然災害	原因不明	その他	回答なし
4,131 100.0	129 3.1	118 2.9	124 3.0	4 0.1	2,391 57.9	144 3.5	239 5.8	10 0.2	545 13.2	291 7.0	136 3.3



■ 知的障害 ■

1-10 知的障害の障害等級【問5-②ア】

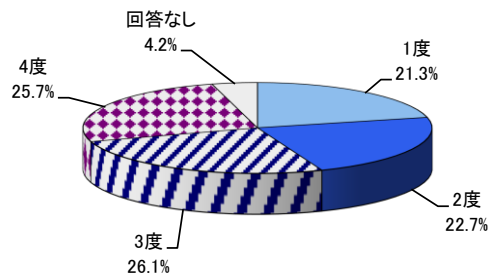
【問5-②】問5で「2. 愛護手帳」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 障害等級は何度ですか。(1つだけ○)

- 「3度」(26.1%) が最も多く、次いで「4度」(25.7%)、「2度」(22.7%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	1 度	2 度	3 度	4 度	回答なし
661	141	150	172	170	28
100.0	21.3	22.7	26.1	25.7	4.2



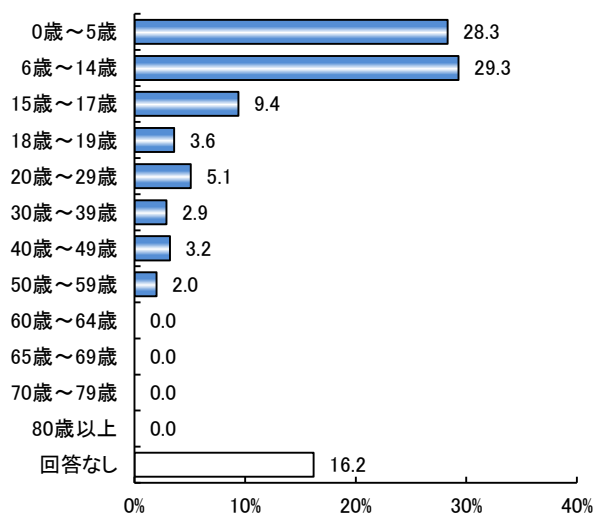
1-11 愛護手帳の交付年齢【問5-②イ】

【問5-②】イ) 初めて愛護手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。

- 「6歳～14歳」(29.3%) が最も多く、次いで「0歳～5歳」(28.3%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	0 歳～ 5 歳	6 歳～ 14 歳	15 歳～ 17 歳	18 歳～ 19 歳	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～ 64 歳	65 歳～ 69 歳	70 歳～ 79 歳	80 歳 以上	回答なし
661	187	194	62	24	34	19	21	13	0	0	0	0	107
100.0	28.3	29.3	9.4	3.6	5.1	2.9	3.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2



1-12 知的障害以外の障害・疾病【問5-②ウ】

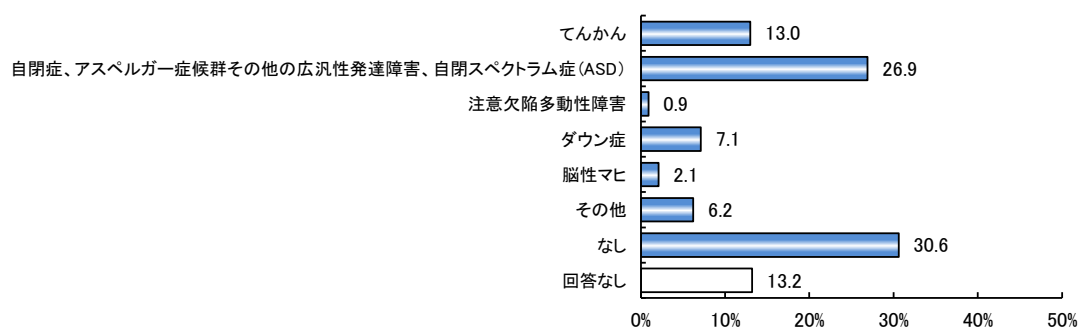
【問5-②】ウ) 知的障害のほかに、障害や疾病がありますか。

2つ以上障害や疾病のある方は、最も重いものはどれですか。(1つだけ○)

- 「なし」(30.6%)が最も多く、次いで「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)」(26.9%)、「てんかん」(13.0%)となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	てんかん	自閉症、アスペルガー症候群 その他の広汎性発達障害、 自閉スペクトラム症(ASD)	注意欠陥 多動性障害	ダウン症	脳性マヒ	その他	なし	回答なし
661 100.0	86 13.0	178 26.9	6 0.9	47 7.1	14 2.1	41 6.2	202 30.6	87 13.2



■ 精神障害 ■

1-13 精神障害の障害等級【問5-③ア】

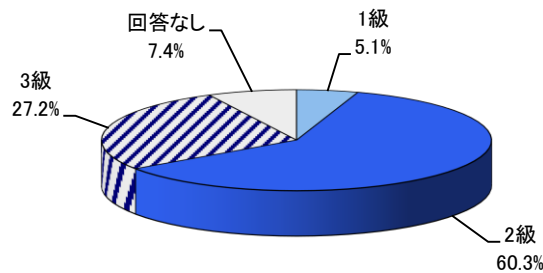
【問5-③】問5で「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

- 「2級」(60.3%) が最も多く、次いで「3級」(27.2%)、「1級」(5.1%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	1 級	2 級	3 級	回答なし
1,318	67	795	358	98
100.0	5.1	60.3	27.2	7.4



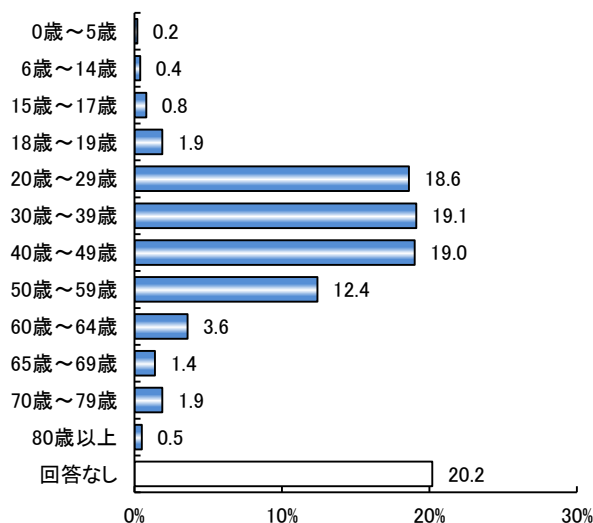
1-14 精神障害者保健福祉手帳の交付年齢【問5-③イ】

【問5-③】イ) 初めて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。

- 「30歳～39歳」(19.1%) が最も多く、次いで「40歳～49歳」(19.0%)、「20歳～29歳」(18.6%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0 歳～ 5 歳	6 歳～ 14 歳	15 歳～ 17 歳	18 歳～ 19 歳	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～ 64 歳	65 歳～ 69 歳	70 歳～ 79 歳	80 歳 以上	回答なし
1,318	3	5	11	25	245	252	251	163	47	19	25	6	266
100.0	0.2	0.4	0.8	1.9	18.6	19.1	19.0	12.4	3.6	1.4	1.9	0.5	20.2



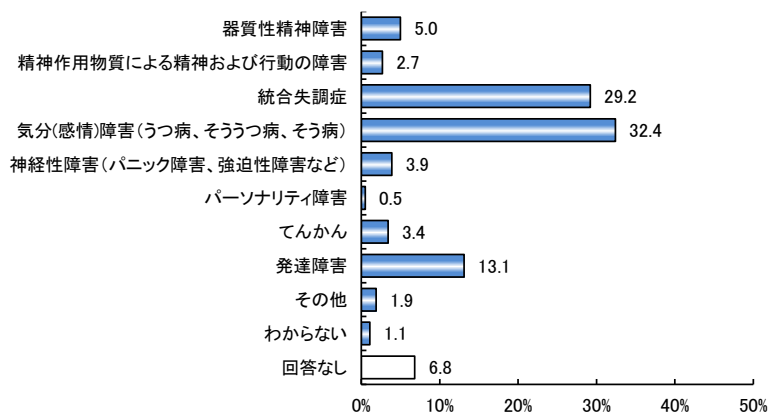
1-15 精神障害の主な病名【問5-③ウ】

【問5-③】ウ) 主な病名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- 「気分(感情)障害(うつ病、そううつ病、そう病)」(32.4%)が最も多く、次いで「統合失調症」(29.2%)となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	器質性精神障害(認知症、高次脳機能障害など)	精神作用物質による精神および行動の障害(アルコール依存症・精神薬、覚せい剤依存症・精神薬など)	統合失調症	気分(感情)障害(うつ病、そううつ病、そう病)	神経性障害(パニック障害、強迫性障害など)	パーソナリティ障害	てんかん	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、自閉スペクトラム症(ASD)、ADHDなど)	その他	わからない	回答なし
1,318 100.0	66 5.0	35 2.7	385 29.2	429 32.4	51 3.9	7 0.5	45 3.4	172 13.1	25 1.9	14 1.1	89 6.8



■ 発達障害 ■

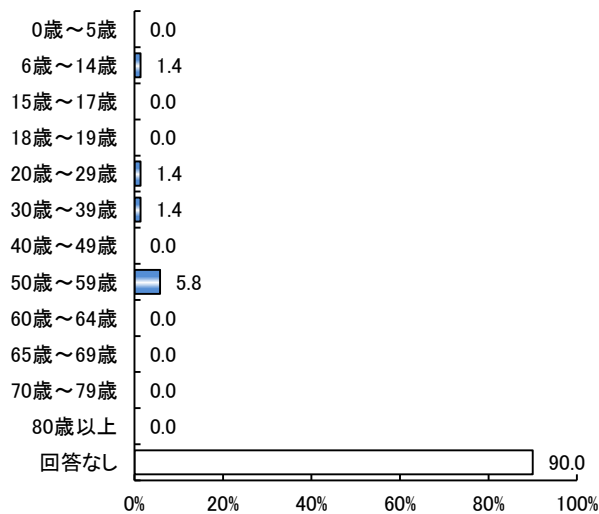
1-16 発達障害と診断された年齢【問5-④ア】

【問5-④】問5で「4. 発達障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて発達障害と診断されたのは何歳のときですか。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

合 計	0 歳～ 5 歳	6 歳～ 14 歳	15 歳～ 17 歳	18 歳～ 19 歳	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～ 64 歳	65 歳～ 69 歳	70 歳～ 79 歳	80 歳 以上	回答なし
69 100.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4	0 0.0	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	62 90.0

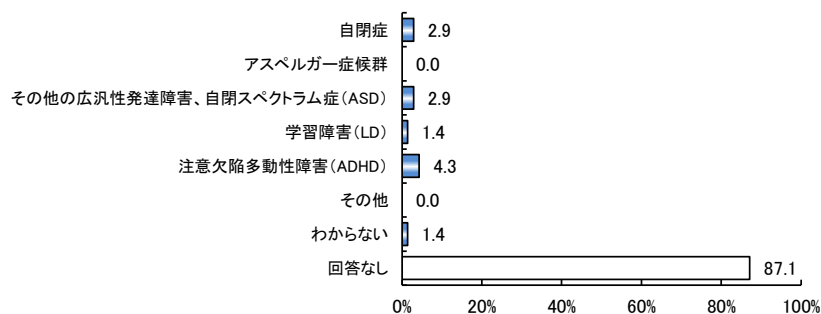


1-17 発達障害の主な診断名【問5-④イ】

【問5-④】イ) 発達障害の主な診断名は次のうちどれですか。（1つだけ○）

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

合 計	自閉症	アスペルガー 症候群	その他の広汎 性発達障害、 自閉スペクトラ ム症(ASD)	学習障害(LD)	注意欠陥多動 性障害 (ADHD)	その他	わからない	回答なし
69 100.0	2 2.9	0 0.0	2 2.9	1 1.4	3 4.3	0 0.0	1 1.4	60 87.1



■ 高次脳機能障害 ■

1-18 高次脳機能障害と診断された年齢【問5-⑤ア】

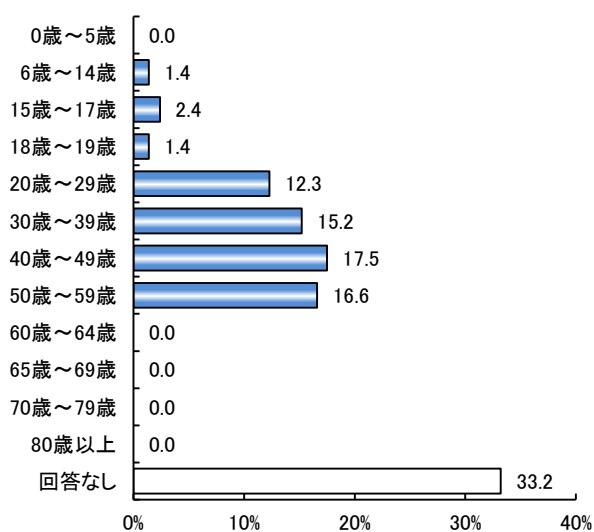
【問5-⑤】問5で「5. 高次脳機能障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 初めて高次脳機能障害と診断されたのは何歳のときですか。

- 「40歳～49歳」(17.5%) が最も多く、次いで「50歳～59歳」(16.6%)、「30歳～39歳」(15.2%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	0 歳～ 5 歳	6 歳～ 14 歳	15 歳～ 17 歳	18 歳～ 19 歳	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～ 64 歳	65 歳～ 69 歳	70 歳～ 79 歳	80 歳 以上	回答なし
211 100.0	0 0.0	3 1.4	5 2.4	3 1.4	26 12.3	32 15.2	37 17.5	35 16.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	70 33.2



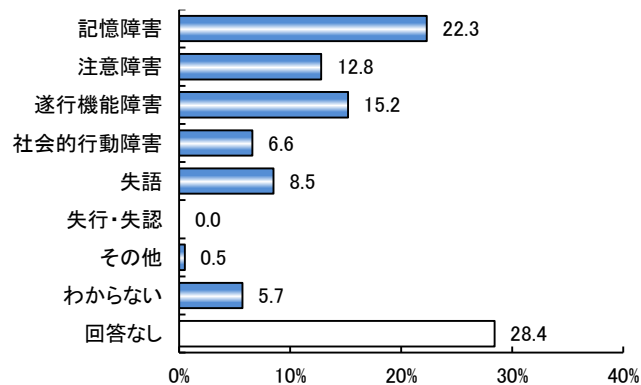
1-19 高次脳機能障害と診断された主な症状【問5-⑤イ】

【問5-⑤】イ) 高次脳機能障害と診断された主な症状は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- 「記憶障害」(22.3%) が最も多く、次いで「遂行機能障害」(15.2%)、「注意障害」(12.8%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	記憶障害	注意障害	遂行機能障害 (生活や仕事で段取りを 考えたり、効率的に物事 を進められなくなったり すること)	社会的行動 障害(感情や 欲求コント ロールの低下、 ささいなこと にこだわるよ うになること など)	失語	失行・失認	その他	わからない	回答なし
211 100.0	47 22.3	27 12.8	32 15.2	14 6.6	18 8.5	0 0.0	1 0.5	12 5.7	60 28.4



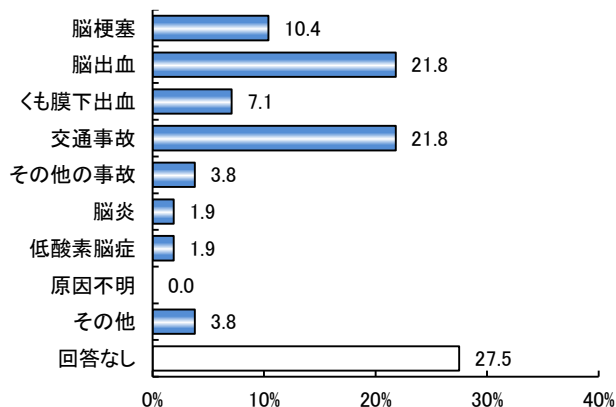
1-20 高次脳機能障害の主な原因【問5-⑤ウ】

【問5-⑤】ウ) 高次脳機能障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

- 「脳出血」、「交通事故」(各21.8%) が最も多く、次いで「脳梗塞」(10.4%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	脳梗塞	脳出血	くも膜下 出血	交通事故	その他の 事故	脳炎	低酸素脳症	原因不明	その他	回答なし
211 100.0	22 10.4	46 21.8	15 7.1	46 21.8	8 3.8	4 1.9	4 1.9	0 0.0	8 3.8	58 27.5



■ 難病等の方 ■

1-21 難病等と診断された年齢【問5-⑥ア】

【問5-⑥】問5で「6. 難病等と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

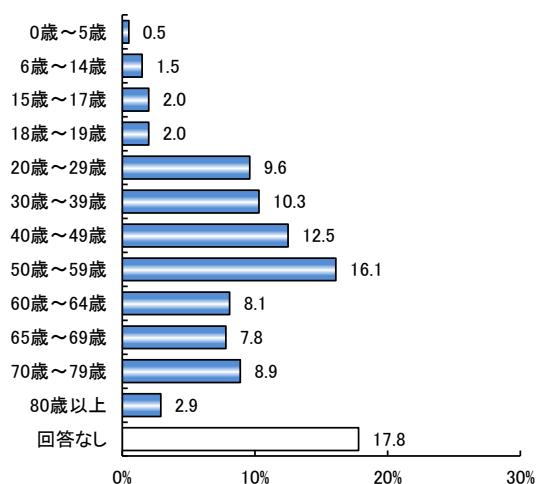
ア) 診断を受けたのは何歳のときですか。

※2つ以上診断を受けている場合は、一番早く診断を受けた疾病でお答えください。

- 「50歳～59歳」(16.1%)が最も多く、次いで「40歳～49歳」(12.5%)、「30歳～39歳」(10.3%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0歳～5歳	6歳～14歳	15歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	回答なし
1,132 100.0	6 0.5	17 1.5	23 2.0	23 2.0	109 9.6	117 10.3	142 12.5	182 16.1	92 8.1	88 7.8	101 8.9	33 2.9	199 17.8



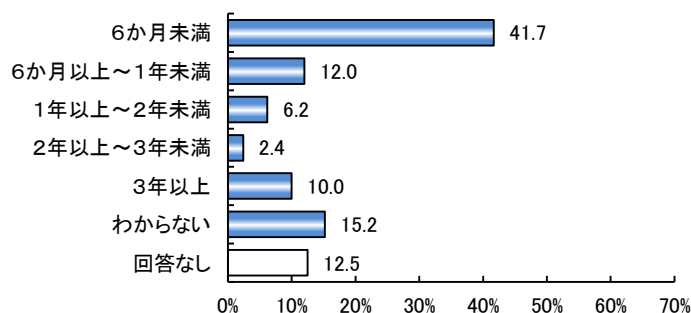
1-22 難病等の発病から病名告知までの期間【問5-⑥イ】

【問5-⑥】イ) 発病から病名告知までにどのぐらいの期間がかかりましたか。(1つだけ○)

- 「6か月未満」(41.7%)が最も多く、次いで「わからない」(15.2%)、「6か月以上～1年未満」(12.0%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～2年未満	2年以上～3年未満	3年以上	わからない	回答なし
1,132 100.0	472 41.7	136 12.0	70 6.2	27 2.4	113 10.0	172 15.2	142 12.5



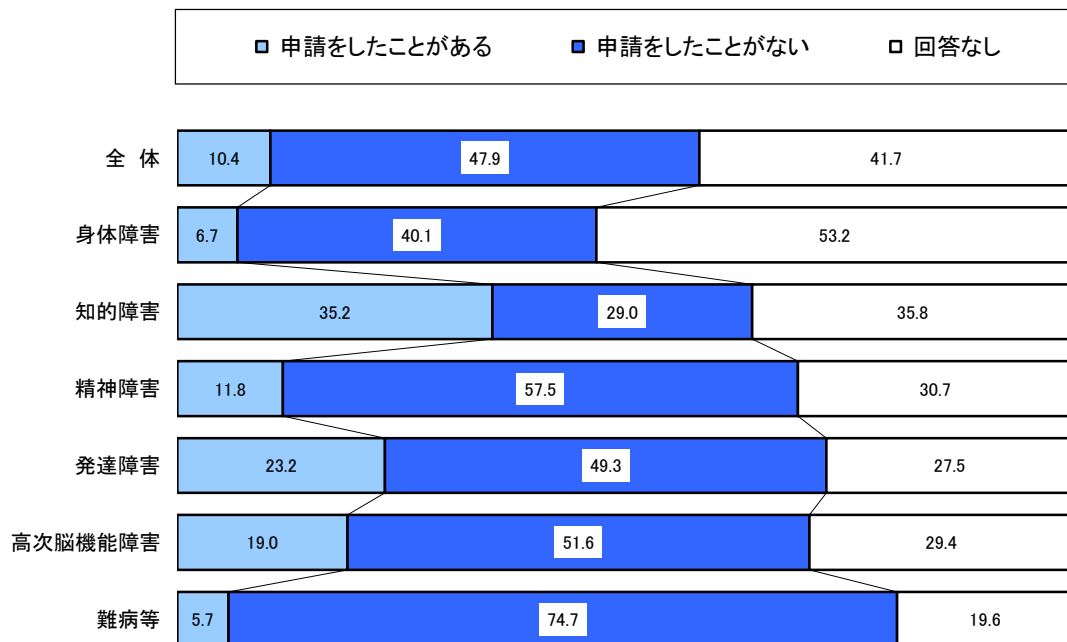
1-23 障害支援区分認定申請の有無【問6】

【問6】あなたは、障害者総合支援法（「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」）による障害支援区分の認定の申請をしたことがありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「申請をしたことがない」（47.9％）が、「申請をしたことがある」（10.4％）より多くなっています。
- 障害種別でみると、知的では「申請をしたことがある」、その他の障害種別では「申請をしたことがない」が多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	申請をしたことがある	申請をしたことがない	回答なし
全 体	7,522 100.0	786 10.4	3,596 47.9	3,140 41.7
身体障害	4,131 100.0	276 6.7	1,658 40.1	2,197 53.2
知的障害	661 100.0	233 35.2	192 29.0	236 35.8
精神障害	1,318 100.0	156 11.8	758 57.5	404 30.7
発達障害	69 100.0	16 23.2	34 49.3	19 27.5
高次脳機能障害	211 100.0	40 19.0	109 51.6	62 29.4
難病等	1,132 100.0	65 5.7	845 74.7	222 19.6



1-24 障害支援区分認定の結果【問6-①】

【問6-①】問6で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

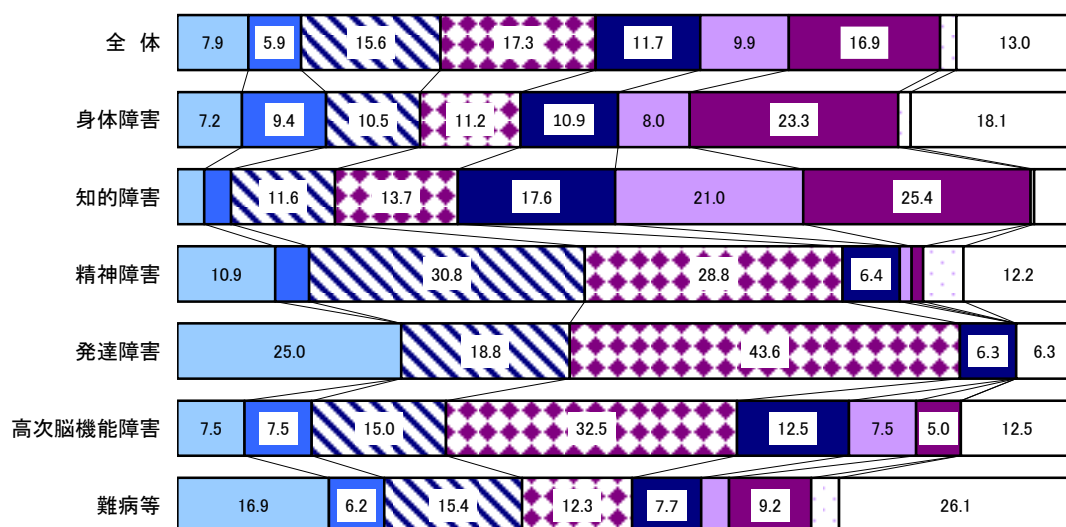
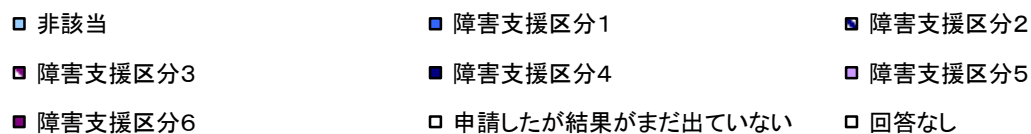
障害支援区分認定の結果は次のうちどれですか。

直近の申請結果についてお答えください。(1つだけ○)

- 全体をみると、「障害支援区分3」(17.3%)が最も多く、次いで「障害支援区分6」(16.9%)、「障害支援区分2」(15.6%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的では「障害支援区分6」、精神では「障害支援区分2」、発達、高次脳機能では「障害支援区分3」、難病等では「非該当」が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	非該当	障害支援区分1	障害支援区分2	障害支援区分3	障害支援区分4	障害支援区分5	障害支援区分6	申請したが結果がまだ出ていない	回答なし
全 体	786 100.0	62 7.9	46 5.9	123 15.6	136 17.3	92 11.7	78 9.9	133 16.9	14 1.8	102 13.0
身体障害	276 100.0	20 7.2	26 9.4	29 10.5	31 11.2	30 10.9	22 8.0	64 23.3	4 1.4	50 18.1
知的障害	233 100.0	7 3.0	7 3.0	27 11.6	32 13.7	41 17.6	49 21.0	59 25.4	1 0.4	10 4.3
精神障害	156 100.0	17 10.9	6 3.8	48 30.8	45 28.8	10 6.4	2 1.3	2 1.3	7 4.5	19 12.2
発達障害	16 100.0	4 25.0	0 0.0	3 18.8	7 43.6	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
高次脳機能障害	40 100.0	3 7.5	3 7.5	6 15.0	13 32.5	5 12.5	3 7.5	2 5.0	0 0.0	5 12.5
難病等	65 100.0	11 16.9	4 6.2	10 15.4	8 12.3	5 7.7	2 3.1	6 9.2	2 3.1	17 26.1



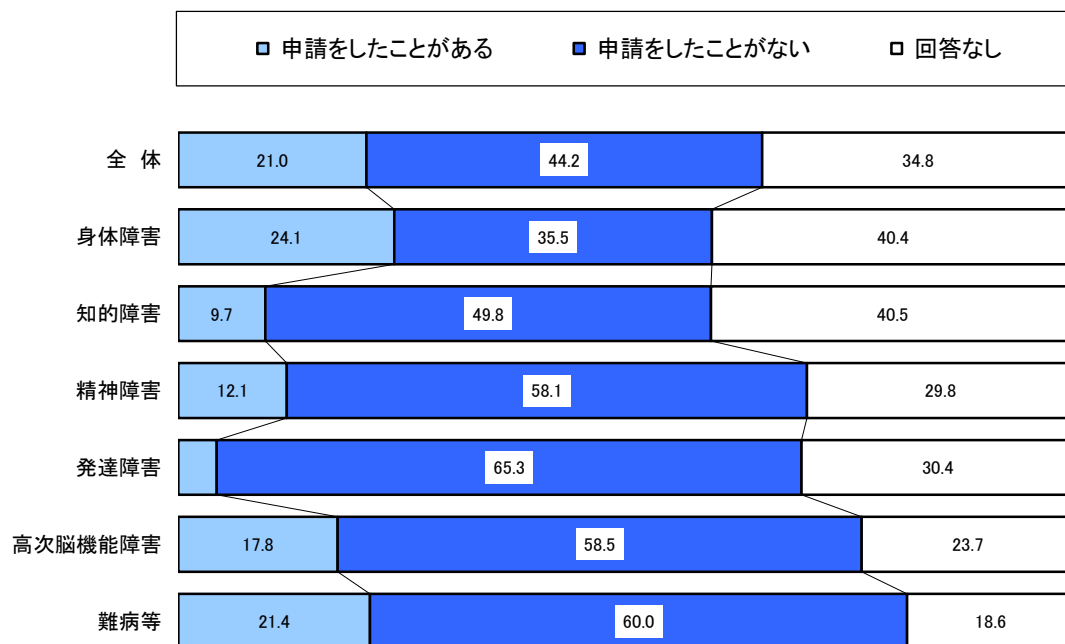
1-25 要介護認定申請の有無【問7】

【問7】あなたは介護保険制度の要介護認定または「基本チェックリスト」（日常生活や心身の状態を確認する25項目の質問等）による判定の申請をしたことがありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「申請をしたことがない」（44.2%）が「申請をしたことがある」（21.0%）より多くなっています。
- どの障害種別でも、「申請をしたことがない」が多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	申請をしたことがある	申請をしたことがない	回答なし
全 体	6,083 100.0	1,275 21.0	2,689 44.2	2,119 34.8
身体障害	3,759 100.0	905 24.1	1,335 35.5	1,519 40.4
知的障害	237 100.0	23 9.7	118 49.8	96 40.5
精神障害	920 100.0	111 12.1	535 58.1	274 29.8
発達障害	46 100.0	2 4.3	30 65.3	14 30.4
高次脳機能障害	152 100.0	27 17.8	89 58.5	36 23.7
難病等	969 100.0	207 21.4	582 60.0	180 18.6



1-26 要介護認定の結果【問7-①】

【問7-①】問7で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

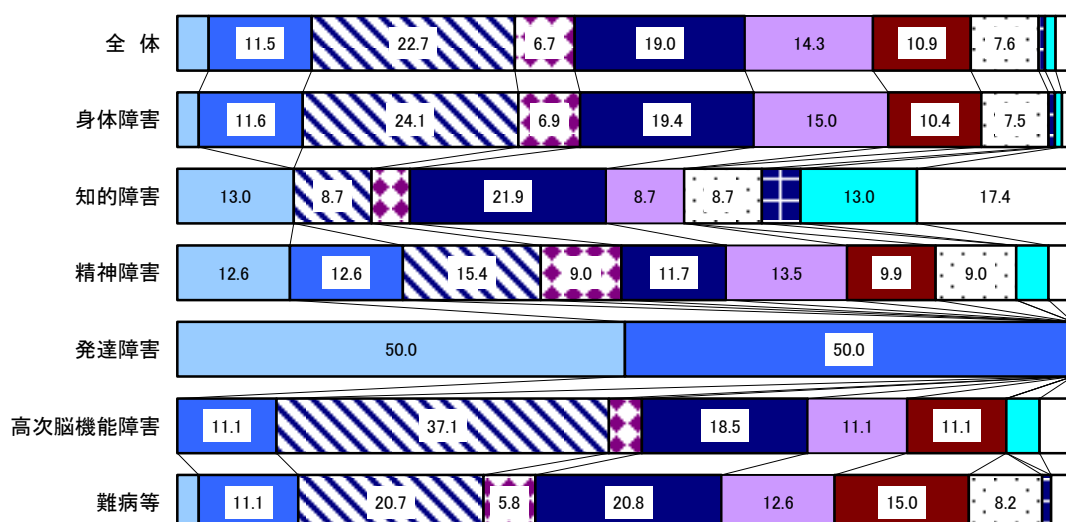
要介護認定等の結果は次のうちどれですか。

直近の申請結果についてお答えください。（1つだけ○）

- 全体をみると、「要支援2」（22.7%）が最も多く、次いで「要介護2」（19.0%）、「要介護3」（14.3%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、高次脳機能では「要支援2」、知的では「要介護2」、発達では「非該当」、「要支援1」、難病等では「要支援2」、「要介護2」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者(基本チェックリスト該当)	申請した結果がまだ出ていない	回答なし
全 体	1,275 100.0	45 3.5	146 11.5	290 22.7	86 6.7	242 19.0	182 14.3	139 10.9	97 7.6	9 0.7	15 1.2	24 1.9
身体障害	905 100.0	22 2.4	105 11.6	218 24.1	62 6.9	176 19.4	136 15.0	94 10.4	68 7.5	6 0.7	7 0.8	11 1.2
知的障害	23 100.0	3 13.0	0 0.0	2 8.7	1 4.3	5 21.9	2 8.7	0 0.0	2 8.7	1 4.3	3 13.0	4 17.4
精神障害	111 100.0	14 12.6	14 12.6	17 15.4	10 9.0	13 11.7	15 13.5	11 9.9	10 9.0	0 0.0	4 3.6	3 2.7
発達障害	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	27 100.0	0 0.0	3 11.1	10 37.1	1 3.7	5 18.5	3 11.1	3 11.1	0 0.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7
難病等	207 100.0	5 2.4	23 11.1	43 20.7	12 5.8	43 20.8	26 12.6	31 15.0	17 8.2	2 1.0	0 0.0	5 2.4



2 お住まいについて

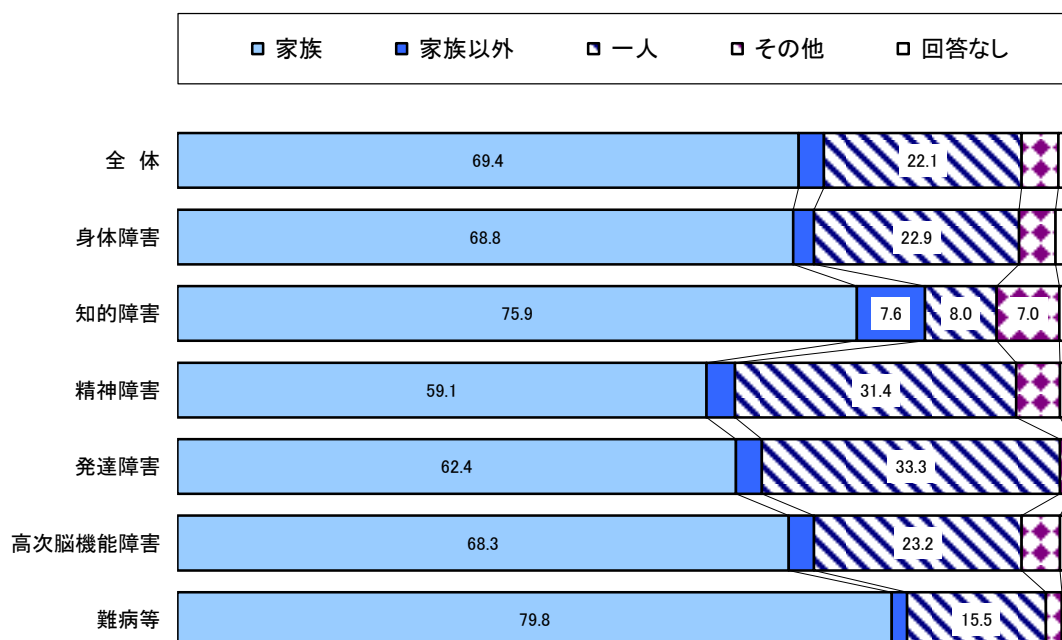
2-1 同居の有無【問8】

【問8】あなたはどなたと暮らしていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「家族」（69.4％）が最も多く、次いで「一人」（22.1％）、「その他」（4.1％）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「家族」が最も多く、次いで「一人」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	家族	家族以外	一人	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	5,215 69.4	214 2.8	1,660 22.1	309 4.1	124 1.6
身体障害	4,131 100.0	2,844 68.8	95 2.3	945 22.9	169 4.1	78 1.9
知的障害	661 100.0	502 75.9	50 7.6	53 8.0	46 7.0	10 1.5
精神障害	1,318 100.0	779 59.1	42 3.2	414 31.4	64 4.9	19 1.4
発達障害	69 100.0	43 62.4	2 2.9	23 33.3	1 1.4	0 0.0
高次脳機能障害	211 100.0	144 68.3	6 2.8	49 23.2	9 4.3	3 1.4
難病等	1,132 100.0	903 79.8	19 1.7	176 15.5	20 1.8	14 1.2





2-2 家族構成【問8-①】

【問8-①】問8で「1. 家族」に○をつけた方にお聞きします。

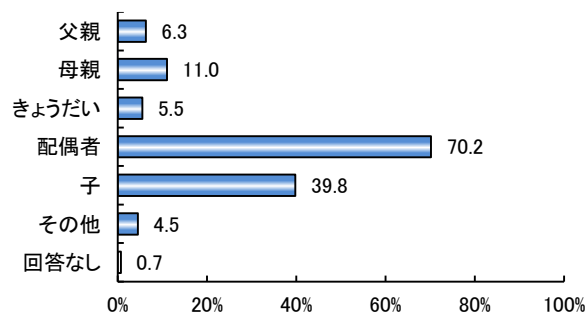
一緒に暮している方は、どなたですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「配偶者」(59.2%)が最も多く、次いで「子」(34.3%)、「母親」(26.1%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、難病等では「配偶者」が最も多く、次いで「子」、知的では「母親」が最も多く、次いで「父親」、精神では「母親」が最も多く、次いで「配偶者」、発達、高次脳機能では「配偶者」が最も多く、次いで「母親」となっています。

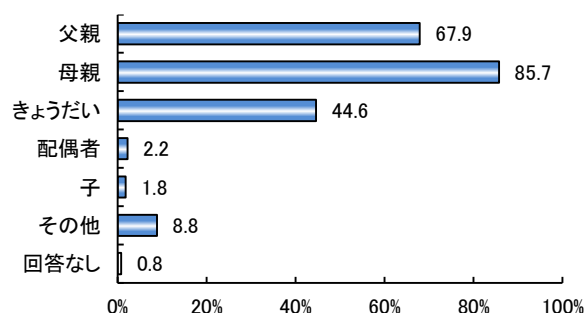
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	父親	母親	きょうだい	配偶者	子	その他	回答なし
全 体	5,215 100.0	937 18.0	1,360 26.1	618 11.9	3,088 59.2	1,790 34.3	248 4.8	34 0.7
身体障害	2,844 100.0	178 6.3	314 11.0	155 5.5	1,996 70.2	1,132 39.8	127 4.5	21 0.7
知的障害	502 100.0	341 67.9	430 85.7	224 44.6	11 2.2	9 1.8	44 8.8	4 0.8
精神障害	779 100.0	261 33.5	401 51.5	161 20.7	286 36.7	185 23.7	32 4.1	6 0.8
発達障害	43 100.0	14 32.6	20 46.5	9 20.9	22 51.2	16 37.2	0 0.0	0 0.0
高次脳 機能障害	144 100.0	49 34.0	68 47.2	19 13.2	73 50.7	55 38.2	8 5.6	0 0.0
難病等	903 100.0	94 10.4	127 14.1	50 5.5	700 77.5	393 43.5	37 4.1	3 0.3

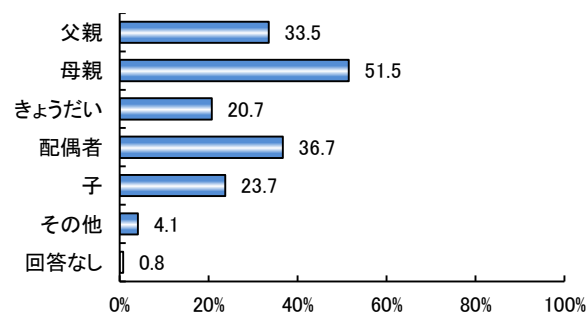
■ 身体障害 ■



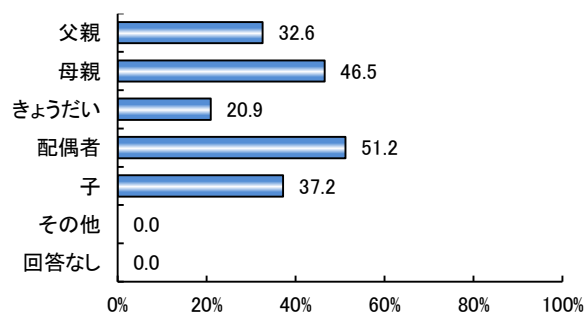
■ 知的障害 ■



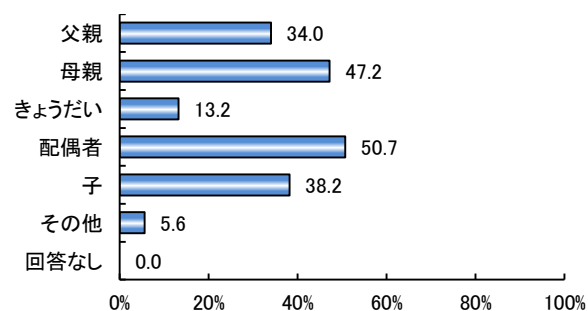
■ 精神障害 ■



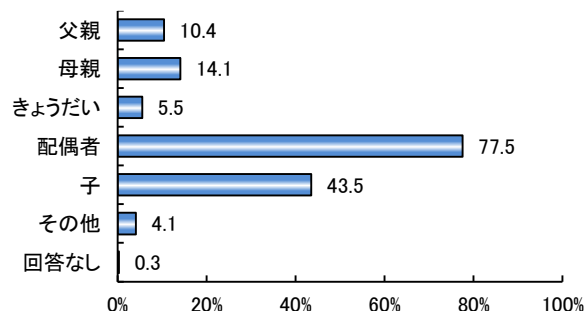
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



2-3 現在の生活場所【問9】

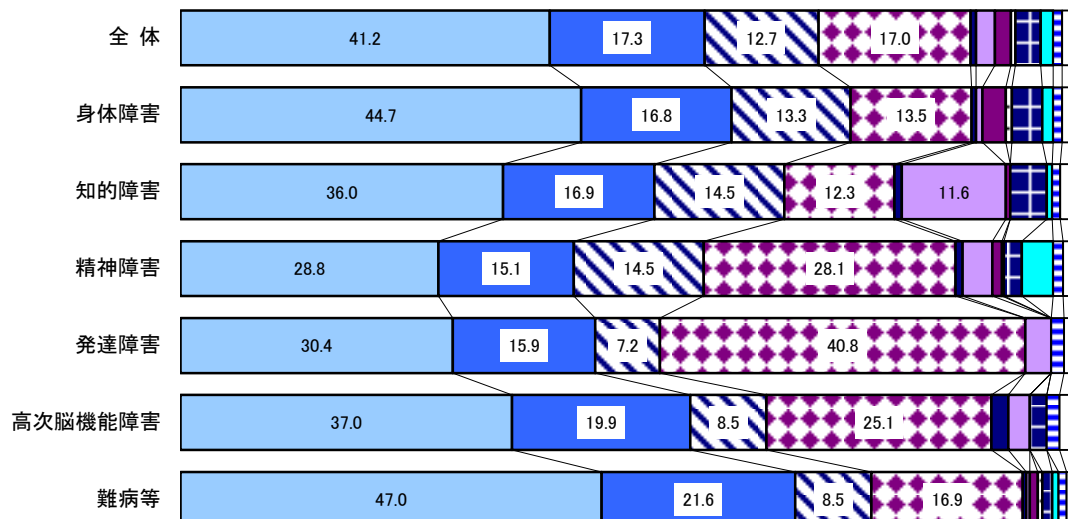
【問9】あなたは、現在、どこで生活していますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「持ち家（一戸建て）」（41.2%）が最も多く、次いで「持ち家（マンション）」（17.3%）、「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」（17.0%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、難病等では「持ち家（一戸建て）」が最も多く、次いで「持ち家（マンション）」、精神、高次脳機能では「持ち家（一戸建て）」が最も多く、次いで「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」、発達では「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」が最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	持ち家 (一戸 建て)	持ち家 (マンシ ョン)	公営賃 貸住宅 (市営・ 県営・公 団など)	民間賃 貸住宅 (アパー ト・マン ションな ど)	会社 の寮・社 宅など	グルー プ ホーム	有料老 人ホーム	サービ ス 付き高 齢者住 宅	入所型 の保健 ・福祉 施設	病院(入 院中)	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	3,085 41.2	1,305 17.3	956 12.7	1,282 17.0	45 0.6	161 2.1	137 1.8	37 0.5	210 2.8	109 1.4	78 1.0	117 1.6
身体障害	4,131 100.0	1,838 44.7	696 16.8	550 13.3	559 13.5	20 0.5	29 0.7	109 2.6	28 0.7	140 3.4	51 1.2	43 1.0	68 1.6
知的障害	661 100.0	238 36.0	112 16.9	96 14.5	81 12.3	5 0.8	77 11.6	3 0.5	0 0.0	27 4.1	4 0.6	6 0.9	12 1.8
精神障害	1,318 100.0	378 28.8	199 15.1	191 14.5	370 28.1	11 0.8	44 3.3	15 1.1	3 0.2	26 2.0	46 3.5	15 1.1	20 1.5
発達障害	69 100.0	21 30.4	11 15.9	5 7.2	28 40.8	0 0.0	2 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4
高次脳 機能障害	211 100.0	78 37.0	42 19.9	18 8.5	53 25.1	4 1.9	5 2.4	0 0.0	0 0.0	4 1.9	0 0.0	3 1.4	4 1.9
難病等	1,132 100.0	532 47.0	245 21.6	96 8.5	191 16.9	5 0.4	4 0.4	10 0.9	6 0.5	13 1.1	8 0.7	10 0.9	12 1.1

- 持ち家（一戸建て）
- 持ち家（マンション）
- 公営賃貸住宅（市営・県営・公団など）
- 民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）
- 会社の寮・社宅など
- グループホーム
- 有料老人ホーム
- サービス付き高齢者住宅
- 入所型の保健・福祉施設
- 病院（入院中）
- その他
- 回答なし



2-4 入所施設の区分【問9-①ア】

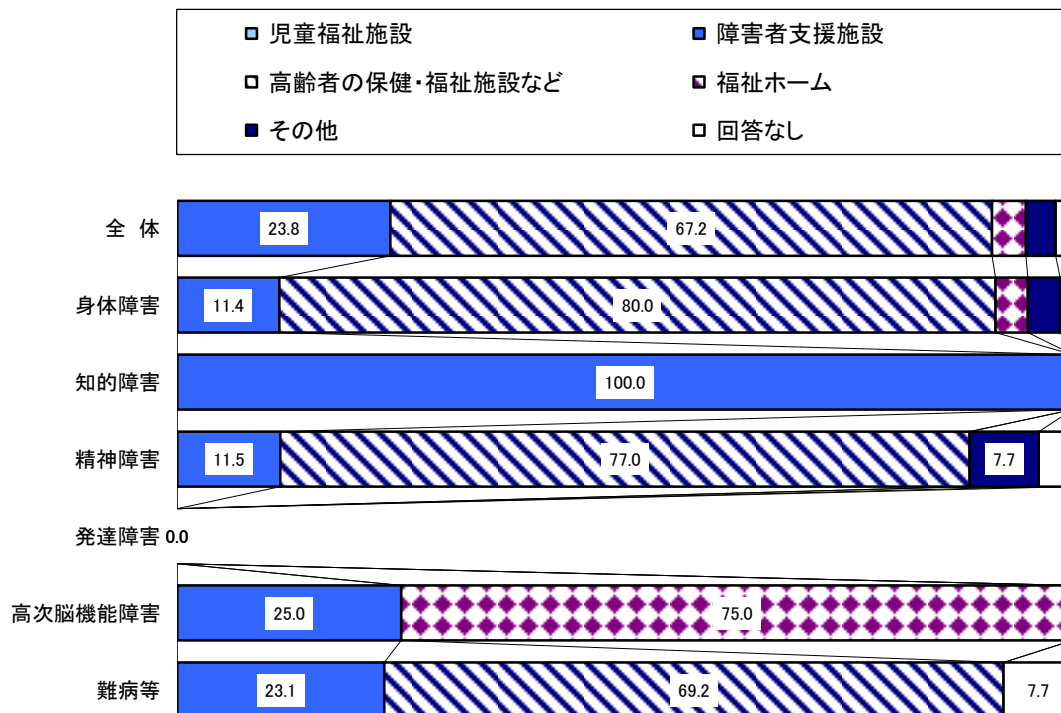
【問9-①】問9で「9. 入所型の保健・福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

ア) どんな施設で生活していますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「高齢者の保健・福祉施設など」(67.2%)が最も多く、次いで「障害者支援施設」(23.8%)、「福祉ホーム」(3.8%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、難病等では「高齢者の保健・福祉施設など」、知的では「障害者支援施設」、高次脳機能では「福祉ホーム」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	児童福祉施設	障害者支援施設	高齢者の保健・福祉施設など(老人保健施設、特別養護老人ホームなど)	福祉ホーム	その他	回答なし
全 体	210 100.0	0 0.0	50 23.8	141 67.2	8 3.8	7 3.3	4 1.9
身体障害	140 100.0	0 0.0	16 11.4	112 80.0	5 3.6	5 3.6	2 1.4
知的障害	27 100.0	0 0.0	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神障害	26 100.0	0 0.0	3 11.5	20 77.0	0 0.0	2 7.7	1 3.8
発達障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
難病等	13 100.0	0 0.0	3 23.1	9 69.2	0 0.0	0 0.0	1 7.7



2-5 将来の生活場所【問9-①イ】

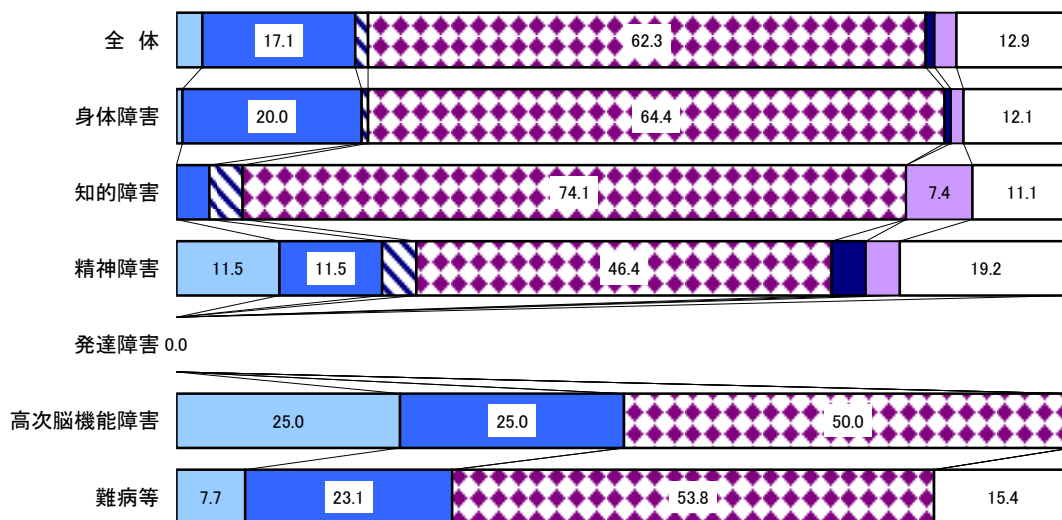
【問9-①】イ) 将来どのような生活をしたいですか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「今の施設で暮らしたい」(62.3%)が最も多く、次いで「家族と暮らしたい」(17.1%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「今の施設で暮らしたい」が多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	一人で暮らしたい	家族と暮らしたい	グループホームで暮らしたい	今の施設で暮らしたい	今とは別の施設で暮らしたい	その他	回答なし
全 体	210 100.0	6 2.9	36 17.1	3 1.4	131 62.3	2 1.0	5 2.4	27 12.9
身体障害	140 100.0	1 0.7	28 20.0	1 0.7	90 64.4	1 0.7	2 1.4	17 12.1
知的障害	27 100.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7	20 74.1	0 0.0	2 7.4	3 11.1
精神障害	26 100.0	3 11.5	3 11.5	1 3.8	12 46.4	1 3.8	1 3.8	5 19.2
発達障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	13 100.0	1 7.7	3 23.1	0 0.0	7 53.8	0 0.0	0 0.0	2 15.4

- 一人で暮らしたい
- 家族と暮らしたい
- グループホームで暮らしたい
- 今の施設で暮らしたい
- 今とは別の施設で暮らしたい
- その他
- 回答なし



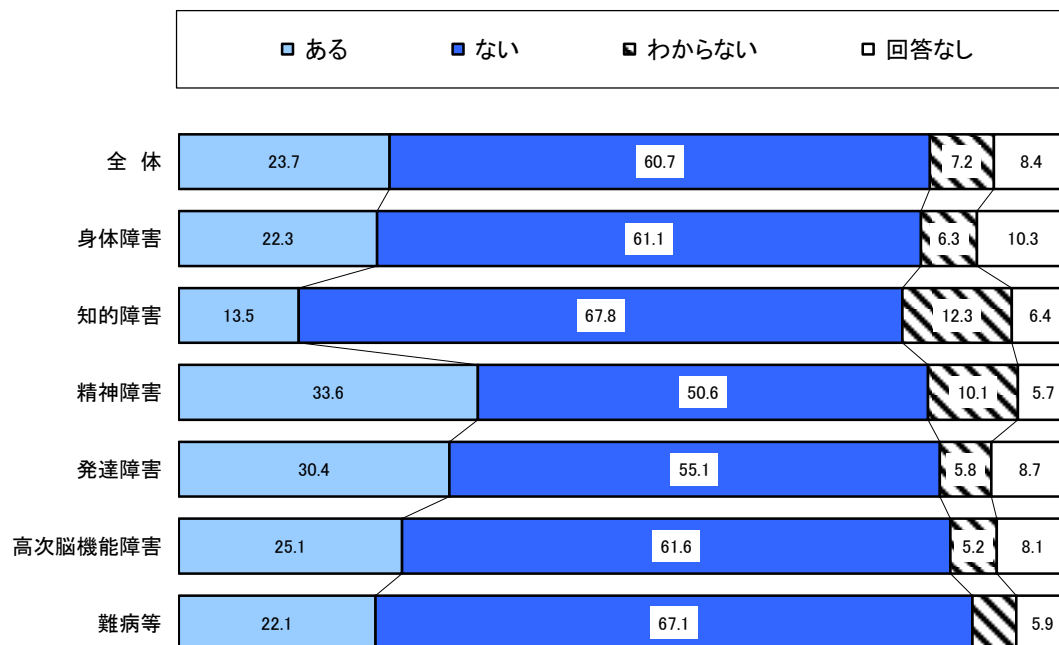
2-6 困りごとの有無【問10】

【問10】現在の住まいについて、困っていることはありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「ある」（23.7%）、「ない」（60.7%）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「ない」が多く、次いで「ある」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	ある	ない	わからない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,779 23.7	4,564 60.7	545 7.2	634 8.4
身体障害	4,131 100.0	923 22.3	2,520 61.1	261 6.3	427 10.3
知的障害	661 100.0	89 13.5	449 67.8	81 12.3	42 6.4
精神障害	1,318 100.0	443 33.6	667 50.6	133 10.1	75 5.7
発達障害	69 100.0	21 30.4	38 55.1	4 5.8	6 8.7
高次脳機能障害	211 100.0	53 25.1	130 61.6	11 5.2	17 8.1
難病等	1,132 100.0	250 22.1	760 67.1	55 4.9	67 5.9





2-7 困りごとの理由【問10-①】

【問10-①】問10で「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。

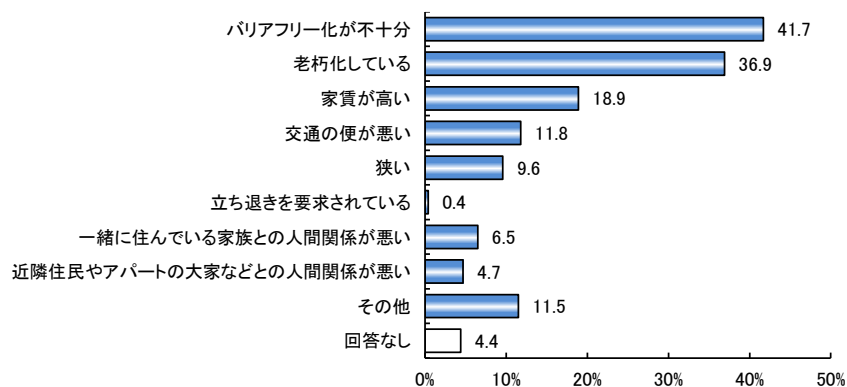
困っていることは次のうちどれですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「老朽化している」(36.2%)が最も多く、次いで「バリアフリー化が不十分」(32.0%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、難病等では「バリアフリー化が不十分」、知的、精神、発達、高次脳機能では「老朽化している」が多くなっています。

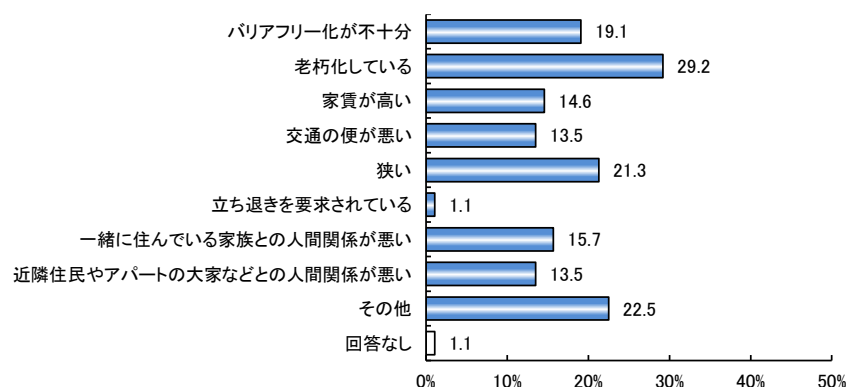
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	バリアフリー化が不十分	老朽化している	家賃が高い	交通の便が悪い	狭い	立ち退きを要求されている	一緒に住んでいる家族との人間関係が悪い	近隣住民やアパートの大家などとの人間関係が悪い	その他	回答なし
全 体	1,779 100.0	569 32.0	644 36.2	363 20.4	209 11.7	250 14.1	11 0.6	155 8.7	134 7.5	290 16.3	47 2.6
身体障害	923 100.0	385 41.7	341 36.9	174 18.9	109 11.8	89 9.6	4 0.4	60 6.5	43 4.7	106 11.5	41 4.4
知的障害	89 100.0	17 19.1	26 29.2	13 14.6	12 13.5	19 21.3	1 1.1	14 15.7	12 13.5	20 22.5	1 1.1
精神障害	443 100.0	52 11.7	159 35.9	111 25.1	49 11.1	94 21.2	4 0.9	58 13.1	60 13.5	105 23.7	3 0.7
発達障害	21 100.0	2 9.5	8 38.1	4 19.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	2 9.5	3 14.3	6 28.6	0 0.0
高次脳機能障害	53 100.0	11 20.8	15 28.3	14 26.4	12 22.6	8 15.1	0 0.0	7 13.2	6 11.3	7 13.2	0 0.0
難病等	250 100.0	102 40.8	95 38.0	47 18.8	26 10.4	34 13.6	1 0.4	14 5.6	10 4.0	46 18.4	2 0.8

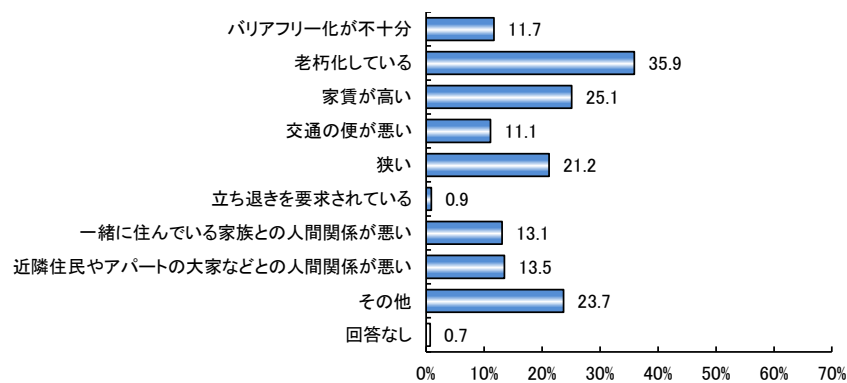
■ 身体障害 ■



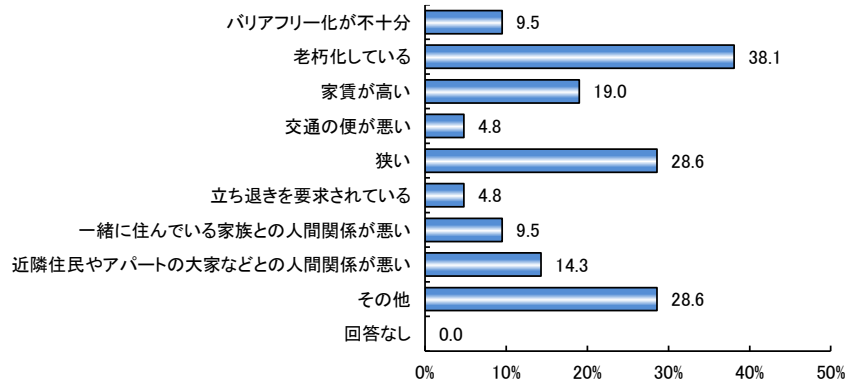
■ 知的障害 ■



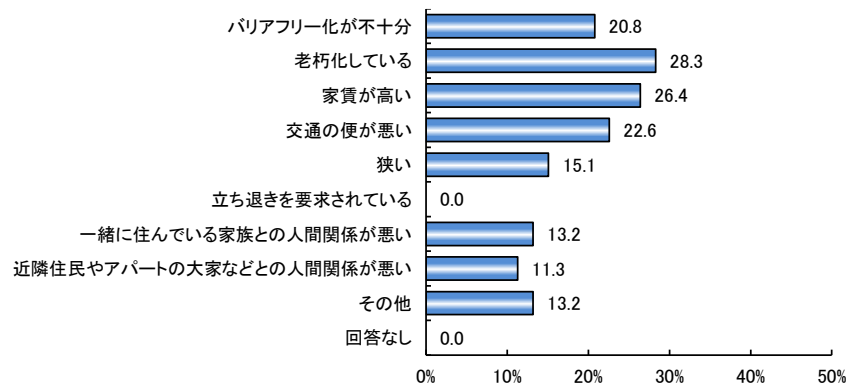
■ 精神障害 ■



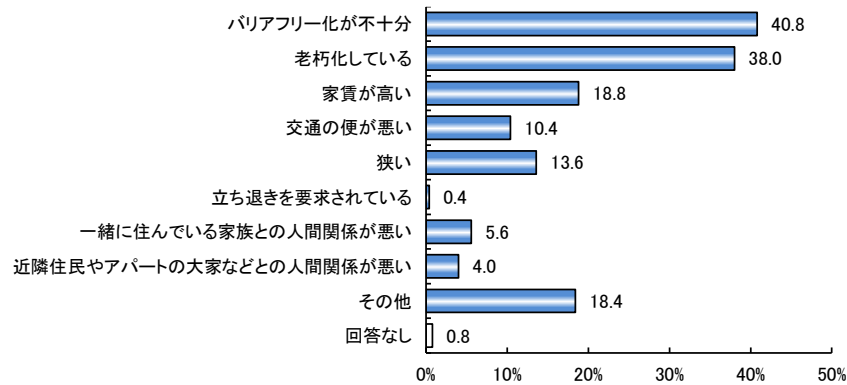
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



3 収入について

3-1 収入の種類【問11】

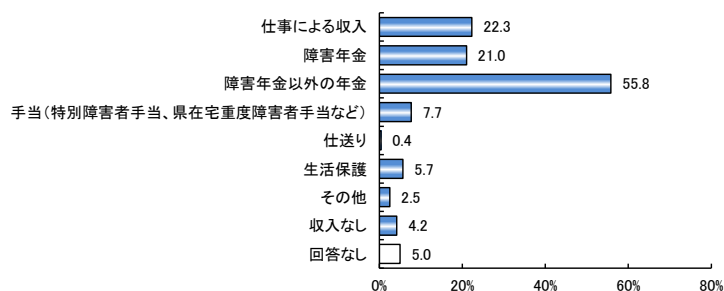
【問11】あなたの収入の種類はどれですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「障害年金以外の年金」(39.4%)が最も多く、次いで「仕事による収入」(31.4%)、「障害年金」(28.7%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「障害年金以外の年金」が最も多く、次いで「仕事による収入」、知的、精神では「障害年金」が最も多く、次いで「仕事による収入」、発達では「仕事による収入」が最も多く、次いで「生活保護」、高次脳機能では「仕事による収入」が最も多く、次いで「障害年金」、難病等では「仕事による収入」が最も多く、次いで「障害年金以外の年金」となっています。

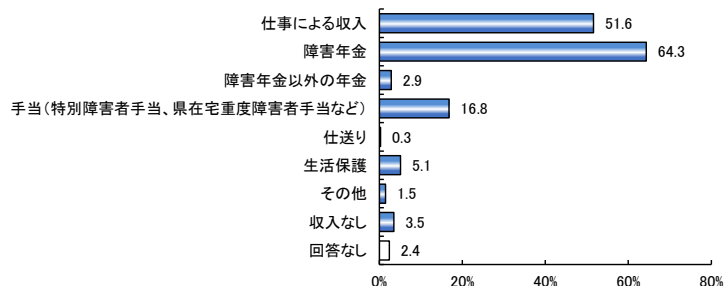
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	回答者数	仕事による収入	障害年金	障害年金以外の年金	手当(特別障害者手当、県在宅重度障害者手当など)	仕送り	生活保護	その他	収入なし	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,359 31.4	2,156 28.7	2,961 39.4	491 6.5	52 0.7	572 7.6	183 2.4	457 6.1	312 4.1
身体障害	4,131 100.0	922 22.3	867 21.0	2,305 55.8	317 7.7	18 0.4	236 5.7	103 2.5	173 4.2	208 5.0
知的障害	661 100.0	341 51.6	425 64.3	19 2.9	111 16.8	2 0.3	34 5.1	10 1.5	23 3.5	16 2.4
精神障害	1,318 100.0	455 34.5	658 49.9	154 11.7	22 1.7	24 1.8	238 18.1	36 2.7	111 8.4	29 2.2
発達障害	69 100.0	32 46.4	3 4.3	3 4.3	3 4.3	1 1.4	21 30.4	2 2.9	15 21.7	1 1.4
高次脳機能障害	211 100.0	135 64.0	131 62.1	7 3.3	20 9.5	0 0.0	7 3.3	4 1.9	14 6.6	7 3.3
難病等	1,132 100.0	474 41.9	72 6.4	473 41.8	18 1.6	7 0.6	36 3.2	28 2.5	121 10.7	51 4.5

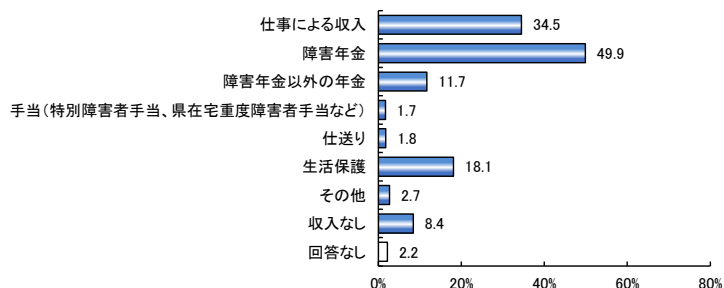
■ 身体障害 ■



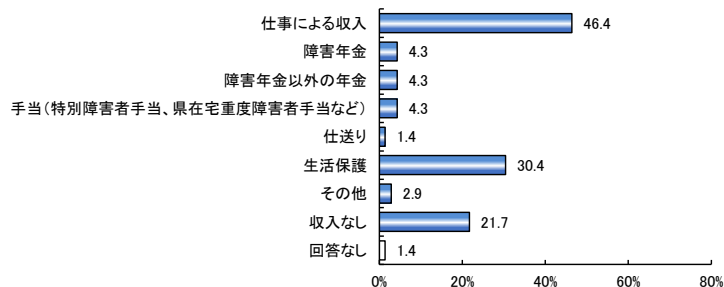
■ 知的障害 ■



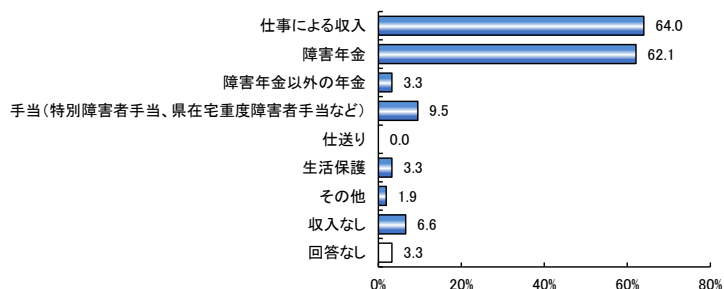
■ 精神障害 ■



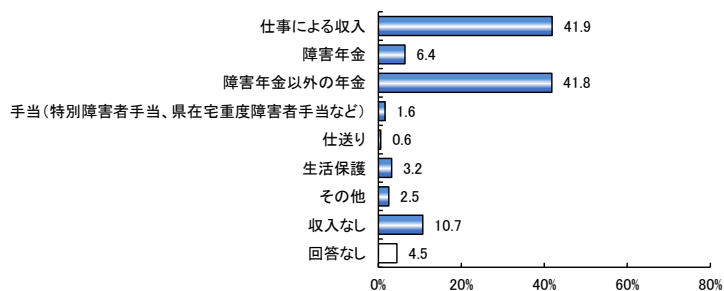
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



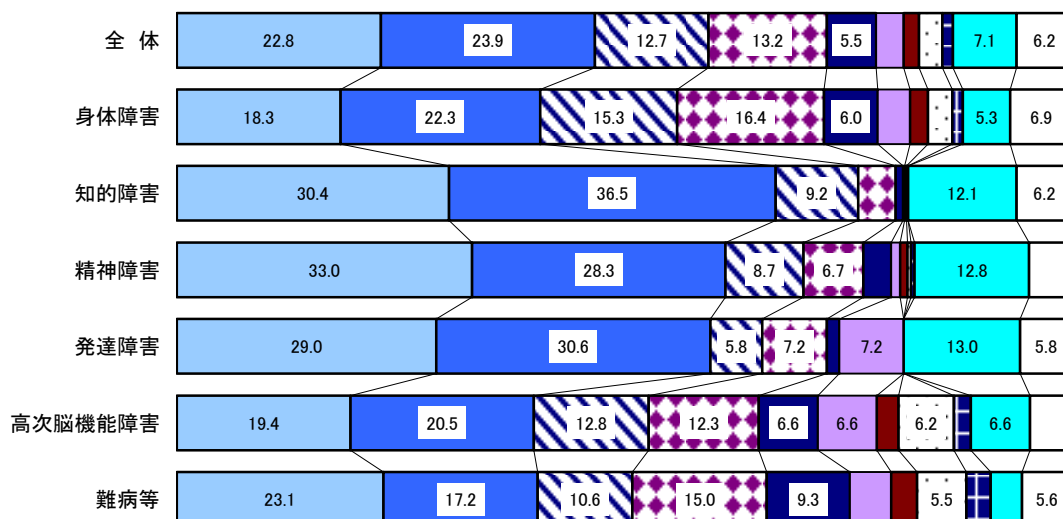
3-2 年間収入額【問12】

【問12】あなたの令和3年中のすべての収入（税込）はいくらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「80万円～150万円未満」（23.9%）が最も多く、次いで「80万円未満」（22.8%）、「200万円～300万円未満」（13.2%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、発達、高次脳機能では「80万円～150万円未満」が最も多く、次いで「80万円未満」、精神、難病等では「80万円未満」が最も多く、次いで「80万円～150万円未満」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	80 万円 未満	80 万円～ 150 万円 未満	150 万円～ 200 万円 未満	200 万円～ 300 万円 未満	300 万円～ 400 万円 未満	400 万円～ 500 万円 未満	500 万円～ 600 万円 未満	600 万円～ 1000 万円 未満	1000 万円 以上	わから ない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,713 22.8	1,794 23.9	959 12.7	996 13.2	414 5.5	232 3.1	131 1.7	194 2.6	90 1.2	532 7.1	467 6.2
身体障害	4,131 100.0	754 18.3	920 22.3	632 15.3	679 16.4	248 6.0	147 3.6	81 2.0	113 2.7	51 1.2	220 5.3	286 6.9
知的障害	661 100.0	201 30.4	242 36.5	61 9.2	28 4.2	5 0.8	1 0.2	1 0.2	1 0.2	0 0.0	80 12.1	41 6.2
精神障害	1,318 100.0	435 33.0	373 28.3	115 8.7	88 6.7	41 3.1	13 1.0	11 0.8	5 0.4	5 0.4	169 12.8	63 4.8
発達障害	69 100.0	20 29.0	21 30.6	4 5.8	5 7.2	1 1.4	5 7.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 13.0	4 5.8
高次脳 機能障害	211 100.0	41 19.4	43 20.5	27 12.8	26 12.3	14 6.6	14 6.6	5 2.4	13 6.2	4 1.9	14 6.6	10 4.7
難病等	1,132 100.0	262 23.1	195 17.2	120 10.6	170 15.0	105 9.3	52 4.6	33 2.9	62 5.5	30 2.7	40 3.5	63 5.6



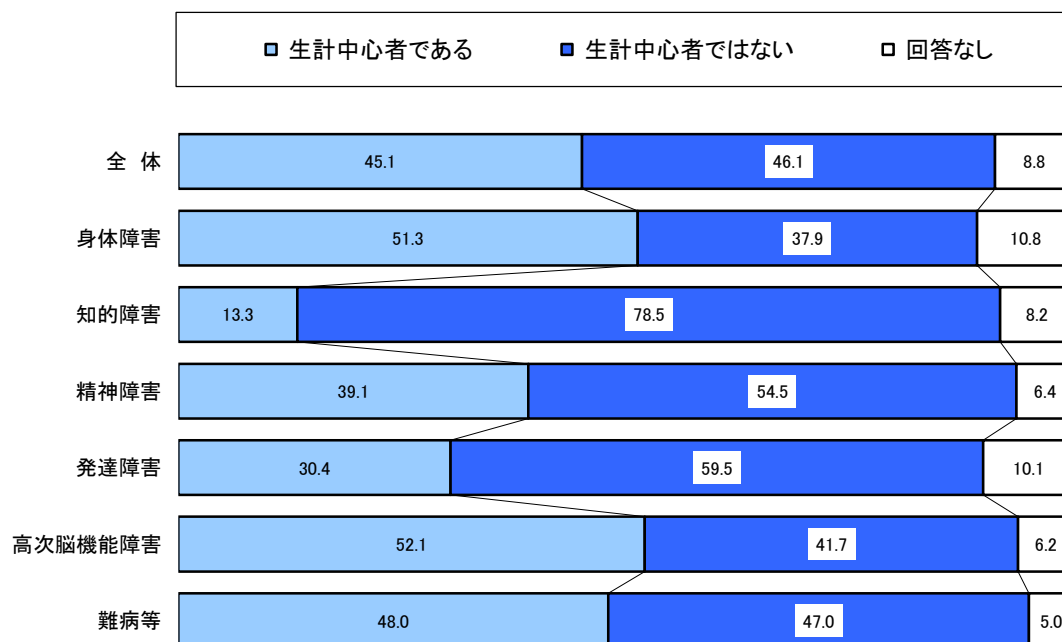
3-3 生計中心者の状況【問13】

【問13】あなたは、家族の生計中心者（最も収入の多い方）ですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「生計中心者である」（45.1%）、「生計中心者ではない」（46.1%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、高次脳機能、難病等では「生計中心者である」、知的、精神、発達では「生計中心者ではない」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	生計中心者である	生計中心者ではない	回答なし
全 体	7,522 100.0	3,395 45.1	3,465 46.1	662 8.8
身体障害	4,131 100.0	2,118 51.3	1,567 37.9	446 10.8
知的障害	661 100.0	88 13.3	519 78.5	54 8.2
精神障害	1,318 100.0	515 39.1	718 54.5	85 6.4
発達障害	69 100.0	21 30.4	41 59.5	7 10.1
高次脳 機能障害	211 100.0	110 52.1	88 41.7	13 6.2
難病等	1,132 100.0	543 48.0	532 47.0	57 5.0



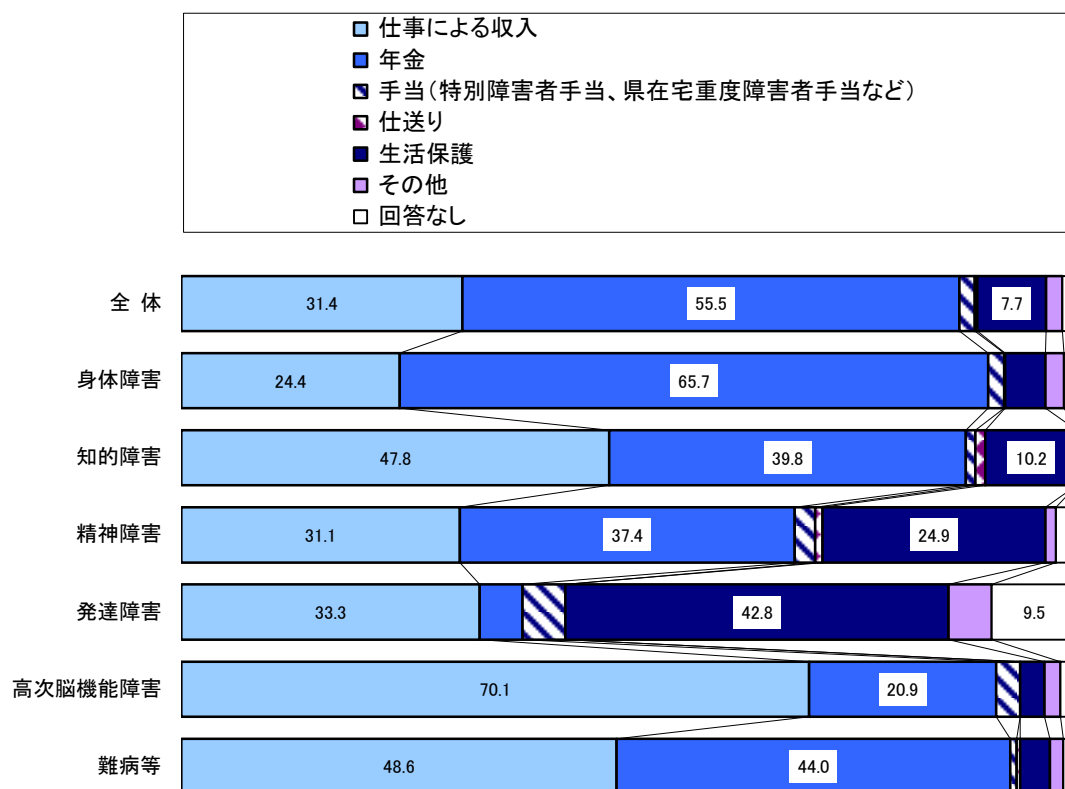
3-4 生計中心者の収入の中心【問13-①】

【問13-①】問13で「1. 生計中心者である」に○をつけた方にお聞きます。
世帯の収入の中心は、次のうちどれですか（1つだけ○）

- 全体をみると、「年金」（55.5％）が最も多く、次いで「仕事による収入」（31.4％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神では「年金」、知的、高次脳機能、難病等では「仕事による収入」、発達では「生活保護」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	仕事による収入	年金	手当（特別障害者手当、県在宅重度障害者手当など）	仕送り	生活保護	その他	回答なし
全 体	3,395 100.0	1,067 31.4	1,884 55.5	59 1.7	9 0.3	262 7.7	61 1.8	53 1.6
身体障害	2,118 100.0	517 24.4	1,393 65.7	38 1.8	2 0.1	95 4.5	44 2.1	29 1.4
知的障害	88 100.0	42 47.8	35 39.8	1 1.1	1 1.1	9 10.2	0 0.0	0 0.0
精神障害	515 100.0	160 31.1	193 37.4	12 2.3	4 0.8	128 24.9	6 1.2	12 2.3
発達障害	21 100.0	7 33.3	1 4.8	1 4.8	0 0.0	9 42.8	1 4.8	2 9.5
高次脳機能障害	110 100.0	77 70.1	23 20.9	3 2.7	0 0.0	3 2.7	2 1.8	2 1.8
難病等	543 100.0	264 48.6	239 44.0	4 0.7	2 0.4	18 3.3	8 1.5	8 1.5





3-5 生計中心者の収入の種類【問13-②】

【問13-②】問13で「2. 生計中心者ではない」に○をつけた方にお聞きます。

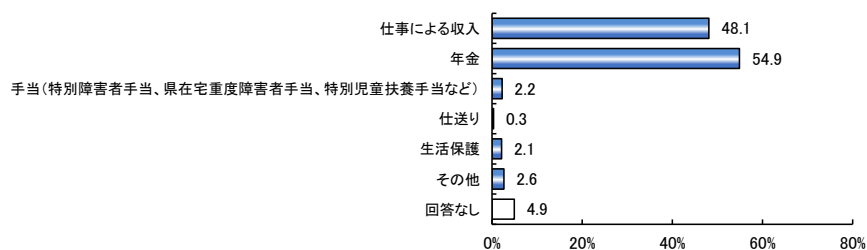
家族の生計中心者の収入の種類はどれですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「仕事による収入」(55.2%)が最も多く、次いで「年金」(48.1%)、「その他」(2.7%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「年金」が最も多く、次いで「仕事による収入」、その他の障害種別では「仕事による収入」が最も多く、次いで「年金」となっています。

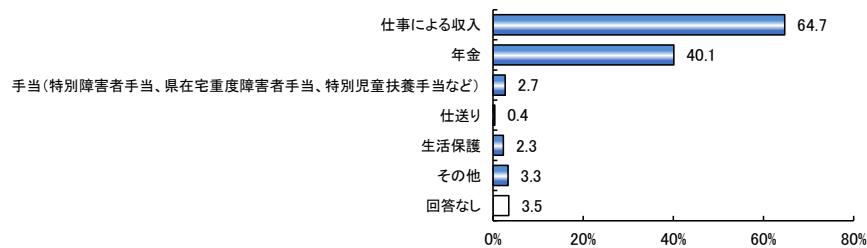
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	仕事による収入	年金	手当(特別障害者手当、県在宅重度障害者手当、特別児童扶養手当など)	仕送り	生活保護	その他	回答なし
全 体	3,465 100.0	1,913 55.2	1,667 48.1	64 1.8	19 0.5	88 2.5	93 2.7	142 4.1
身体障害	1,567 100.0	753 48.1	860 54.9	35 2.2	4 0.3	33 2.1	41 2.6	76 4.9
知的障害	519 100.0	336 64.7	208 40.1	14 2.7	2 0.4	12 2.3	17 3.3	18 3.5
精神障害	718 100.0	407 56.7	330 46.0	11 1.5	9 1.3	35 4.9	16 2.2	30 4.2
発達障害	41 100.0	30 73.2	6 14.6	0 0.0	1 2.4	5 12.2	1 2.4	3 7.3
高次脳機能障害	88 100.0	59 67.0	29 33.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0	4 4.5	2 2.3
難病等	532 100.0	328 61.7	234 44.0	3 0.6	3 0.6	3 0.6	14 2.6	13 2.4

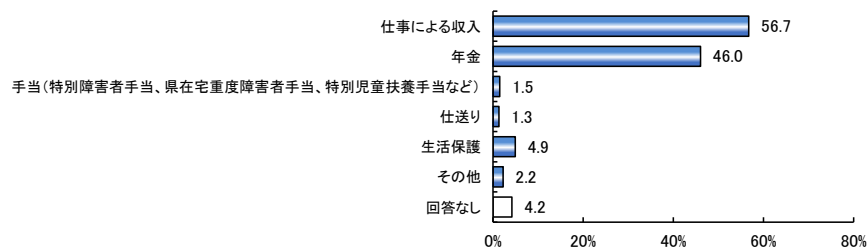
■ 身体障害 ■



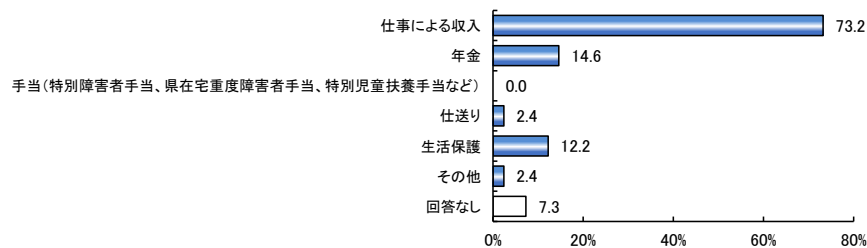
■ 知的障害 ■



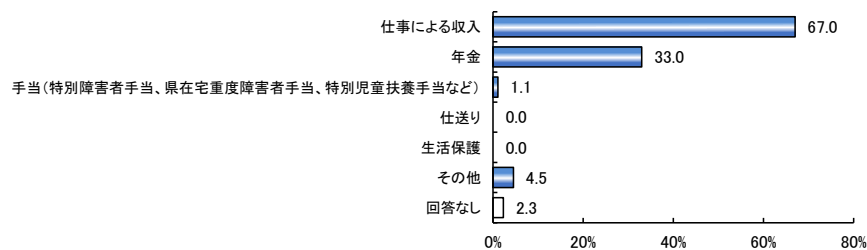
■ 精神障害 ■



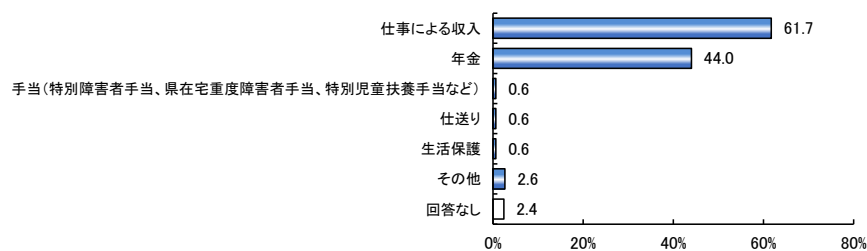
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



3-6 生計中心者の年間収入額【問13-③】

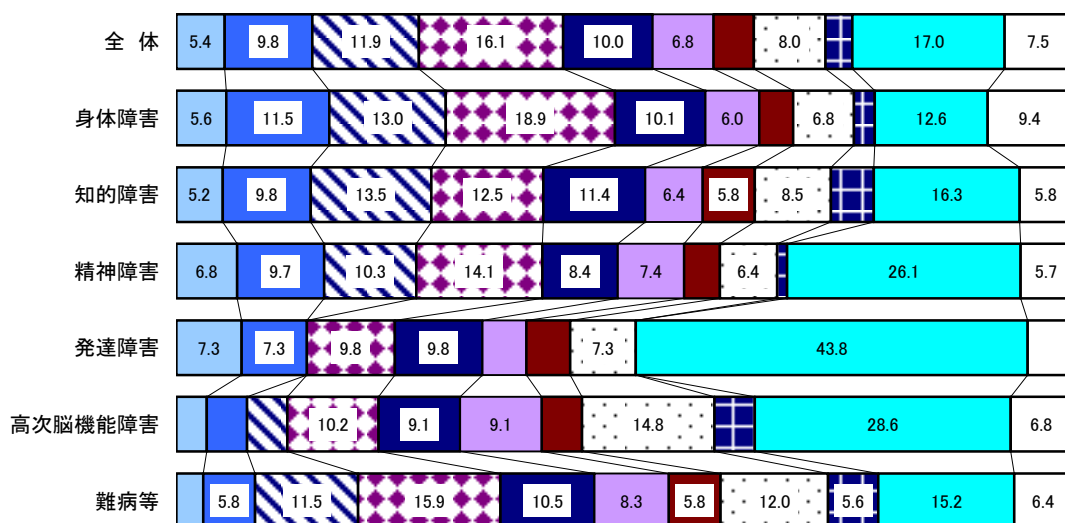
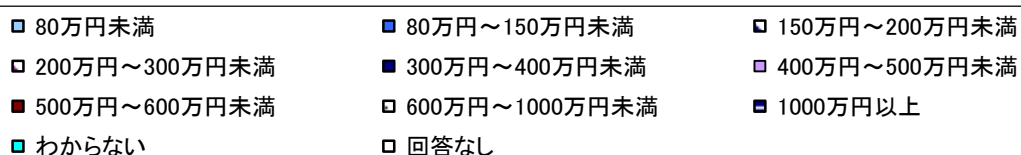
【問13-③】問13で「2. 生計中心者ではない」に○をつけた方にお聞きします。

家族の生計中心者の令和3年中のすべての収入（税込）はいくらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「わからない」を除き、「200万円～300万円未満」（16.1%）が最も多く、次いで「150万円～200万円未満」（11.9%）、「300万円～400万円未満」（10.0%）となっています。
- 障害種別でみると、「わからない」を除き、身体、精神、難病等では「200万円～300万円未満」、知的では「150万円～200万円未満」、高次脳機能では「600万円～1000万円未満」が最も多く、発達では「200万円～300万円未満」と「300万円～400万円未満」が同数となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	80 万円 未満	80 万円～ 150 万円 未満	150 万円 ～200 万 円未満	200 万円 ～300 万 円未満	300 万円 ～400 万 円未満	400 万円 ～500 万 円未満	500 万円 ～600 万 円未満	600 万円 ～1000 万 円未満	1000 万円 以上	わから ない	回答なし
全 体	3,465 100.0	186 5.4	339 9.8	413 11.9	558 16.1	346 10.0	234 6.8	156 4.5	277 8.0	103 3.0	593 17.0	260 7.5
身体障害	1,567 100.0	88 5.6	180 11.5	204 13.0	295 18.9	159 10.1	94 6.0	60 3.8	107 6.8	36 2.3	197 12.6	147 9.4
知的障害	519 100.0	27 5.2	51 9.8	70 13.5	65 12.5	59 11.4	33 6.4	30 5.8	44 8.5	25 4.8	85 16.3	30 5.8
精神障害	718 100.0	49 6.8	70 9.7	74 10.3	101 14.1	60 8.4	53 7.4	29 4.0	46 6.4	8 1.1	187 26.1	41 5.7
発達障害	41 100.0	3 7.3	3 7.3	0 0.0	4 9.8	4 9.8	2 4.9	2 4.9	3 7.3	0 0.0	18 43.8	2 4.9
高次脳 機能障害	88 100.0	3 3.4	4 4.5	4 4.5	9 10.2	8 9.1	8 9.1	4 4.5	13 14.8	4 4.5	25 28.6	6 6.8
難病等	532 100.0	16 3.0	31 5.8	61 11.5	84 15.9	56 10.5	44 8.3	31 5.8	64 12.0	30 5.6	81 15.2	34 6.4





4 障害福祉サービスの利用状況について

4-1 障害福祉情報の入手先【問14】

【問14】あなたは、障害福祉に関する情報を、どこから知りますか。(いくつでも○)

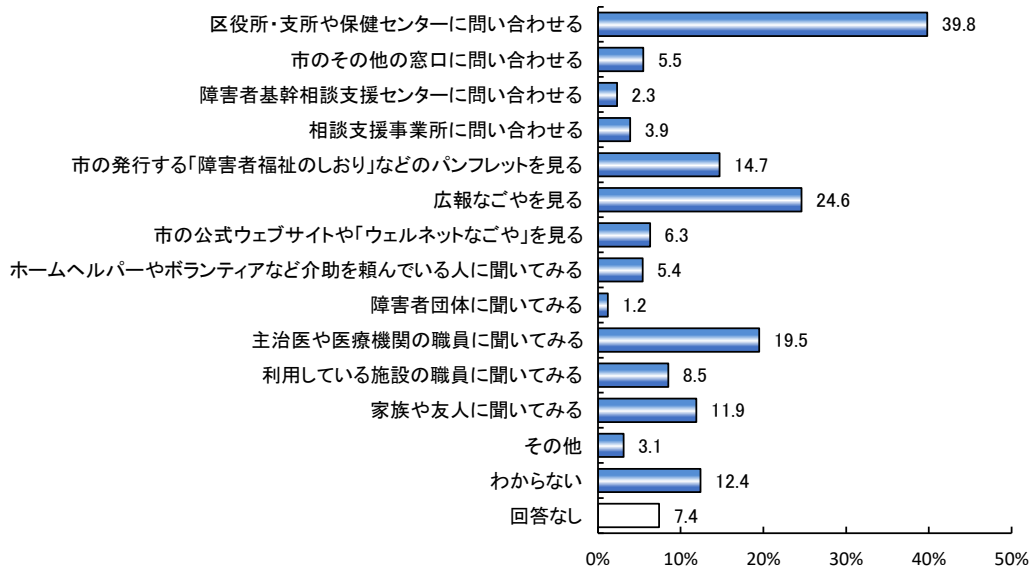
- 全体をみると、「区役所・支所や保健センターに問い合わせる」(38.9%)が最も多く、次いで「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」(23.4%)、「広報なごやを見る」(21.2%)となっています。
- 障害種別でみると、高次脳機能では「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」、その他の障害種別では「区役所・支所や保健センターに問い合わせる」が最も多く、次いで身体では「広報なごやを見る」、知的では「利用している施設の職員に聞いてみる」、精神、発達、難病等では「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」、高次脳機能では「区役所・支所や保健センターに問い合わせる」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

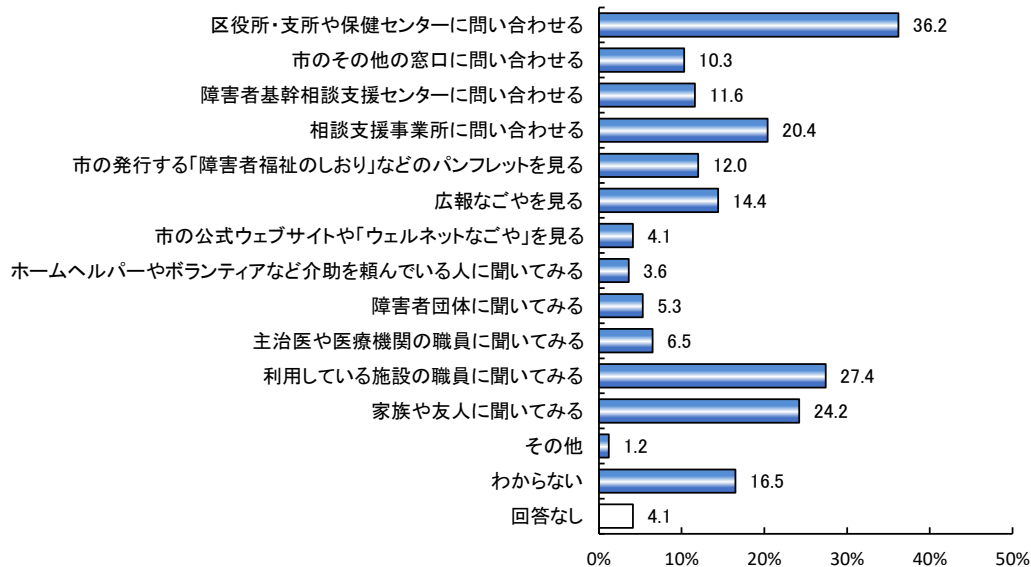
	回答者数	区役所・支所や保健センターに問い合わせる	市その他の窓口(身体障害者更生相談所、精神保健福祉センター、発達障害者支援センターなど)に問い合わせる	障害者基幹相談支援センターに問い合わせる	相談支援事業所に問い合わせる	市の発行する「障害者福祉のしおり」などのパンフレットを見る	広報なごやを見る	市の公式ウェブサイトや「ウェルネットなごや」を見る	ホームヘルパーやボランティアなど介助を頼んでいる人に聞いてみる	障害者団体に聞いてみる	主治医や医療機関の職員に聞いてみる	利用している施設の職員に聞いてみる	家族や友人に聞いてみる	その他	わからない	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,927 38.9	496 6.6	325 4.3	454 6.0	966 12.8	1,597 21.2	587 7.8	357 4.7	118 1.6	1,759 23.4	818 10.9	991 13.2	254 3.4	979 13.0	498 6.6
身体障害	4,131 100.0	1,645 39.8	226 5.5	96 2.3	163 3.9	606 14.7	1,017 24.6	260 6.3	225 5.4	48 1.2	807 19.5	353 8.5	492 11.9	129 3.1	511 12.4	305 7.4
知的障害	661 100.0	239 36.2	68 10.3	77 11.6	135 20.4	79 12.0	95 14.4	27 4.1	24 3.6	35 5.3	43 6.5	181 27.4	160 24.2	8 1.2	109 16.5	27 4.1
精神障害	1,318 100.0	537 40.7	138 10.5	115 8.7	98 7.4	162 12.3	219 16.6	127 9.6	51 3.9	24 1.8	466 35.4	166 12.6	192 14.6	65 4.9	166 12.6	49 3.7
発達障害	69 100.0	26 37.7	4 5.8	4 5.8	3 4.3	4 5.8	6 8.7	8 11.6	3 4.3	0 0.0	23 33.3	19 27.5	2 2.9	6 8.7	9 13.0	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	65 30.8	27 12.8	22 10.4	20 9.5	22 10.4	29 13.7	17 8.1	10 4.7	5 2.4	84 39.8	55 26.1	38 18.0	10 4.7	24 11.4	9 4.3
難病等	1,132 100.0	415 36.7	33 2.9	11 1.0	35 3.1	93 8.2	231 20.4	148 13.1	44 3.9	6 0.5	336 29.7	44 3.9	107 9.5	36 3.2	160 14.1	106 9.4



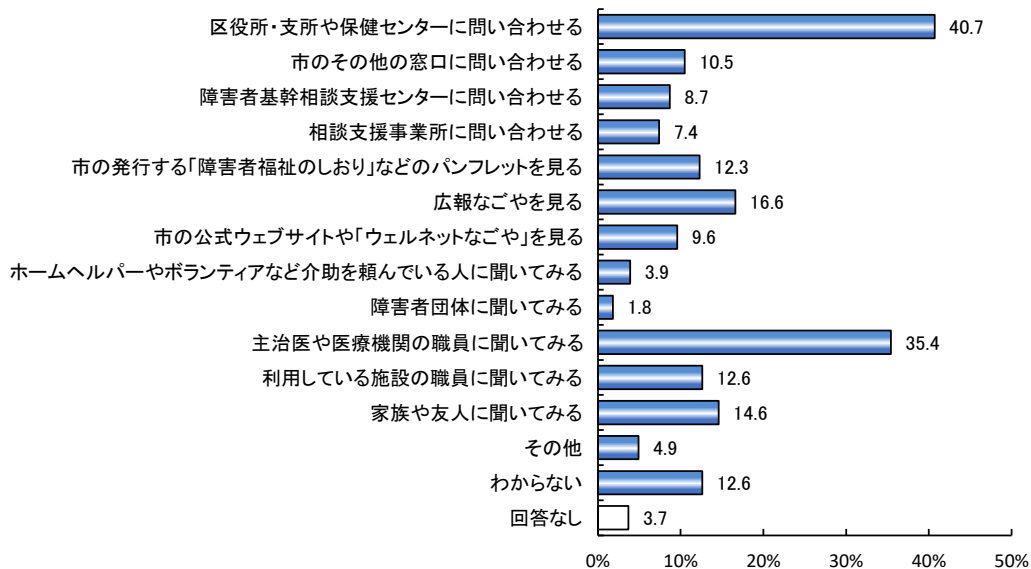
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



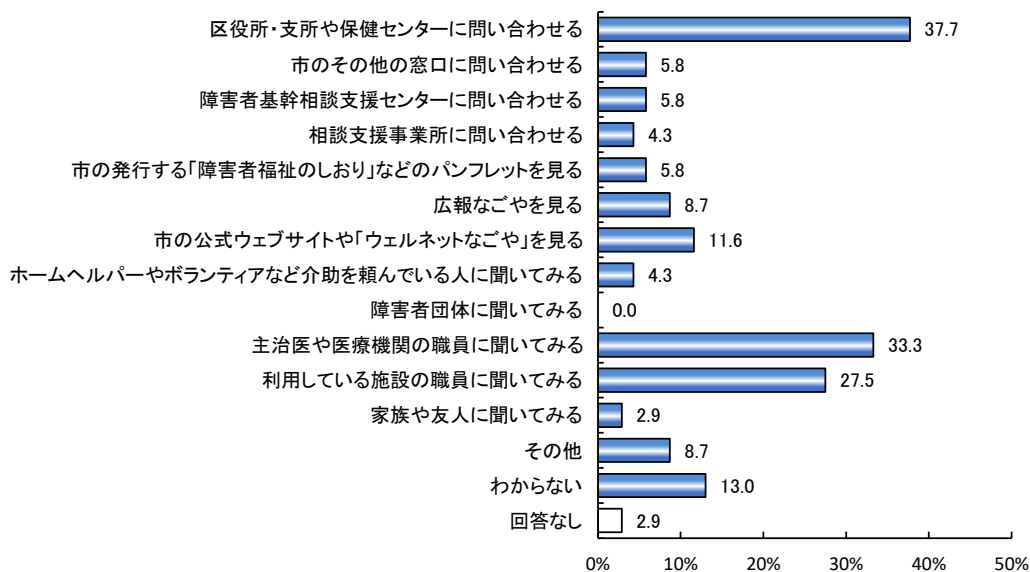
■ 精神障害 ■



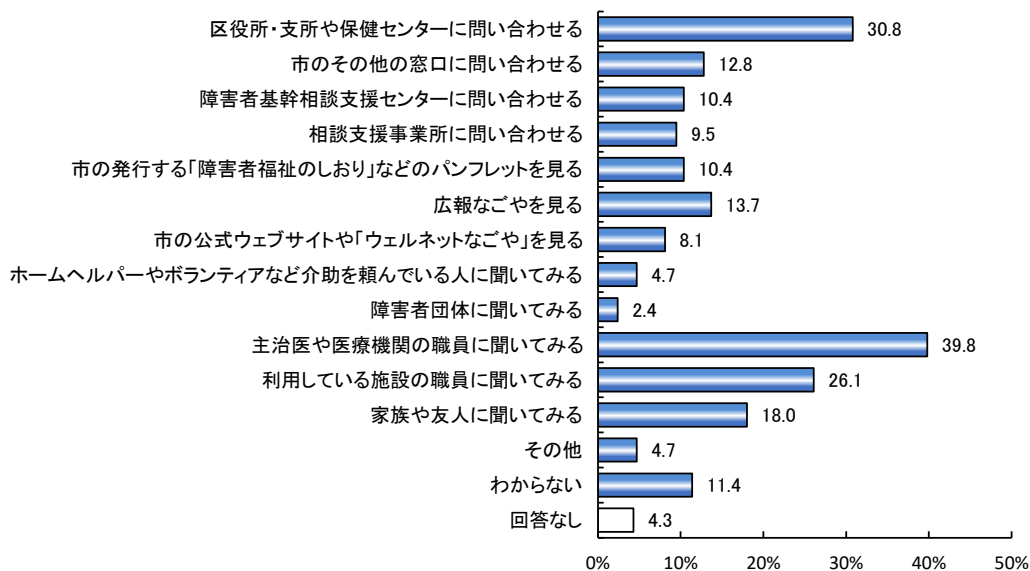


4 障害福祉サービスの利用状況について

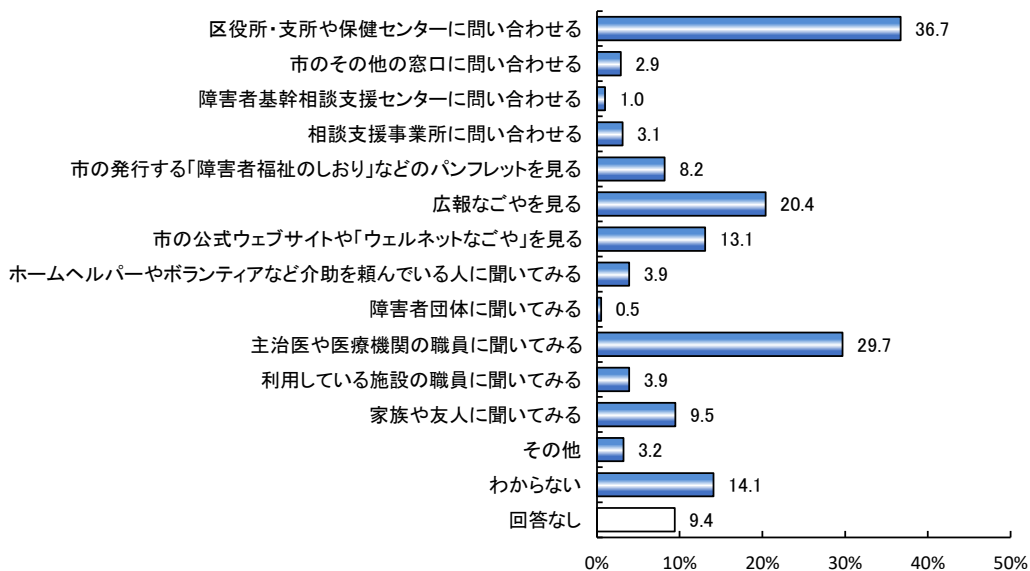
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



4-2 利用している障害福祉サービス【問15】

【問15】あなたは現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「利用していない」(52.5%)が最も多くなっています。利用しているサービスでは、「居宅介護(ホームヘルプ)」(7.8%)が最も多く、次いで「就労継続支援(A型、B型)」(5.8%)、「生活介護」(4.8%)となっています。
- 障害種別でみると、発達では「就労継続支援(A型、B型)」、その他の障害種別では「利用していない」が最も多くなっています。利用しているサービスでは、身体、難病等では「居宅介護(ホームヘルプ)」、精神、高次脳機能では「就労継続支援(A型、B型)」が多く、知的では「生活介護」と「就労継続支援(A型、B型)」が同数となっています。

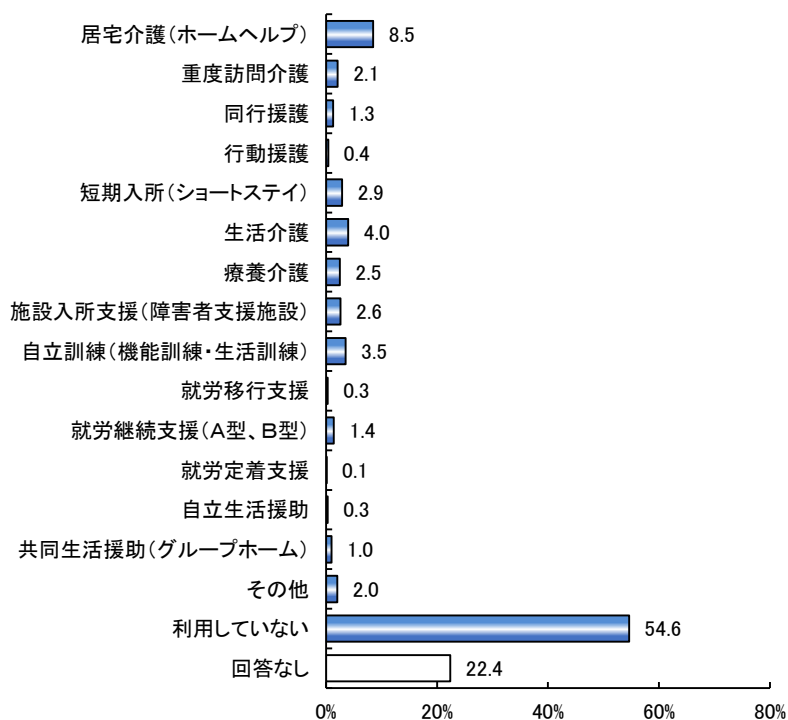
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	短期入所(ショートステイ)	生活介護	療養介護	施設入所支援(障害者支援施設)	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型、B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	その他	利用していない	回答なし
全 体	7,522 100.0	587 7.8	112 1.5	78 1.0	155 2.1	257 3.4	361 4.8	144 1.9	184 2.4	260 3.5	111 1.5	438 5.8	109 1.4	49 0.7	184 2.4	188 2.5	3,949 52.5	1,391 18.5
身体障害	4,131 100.0	352 8.5	85 2.1	53 1.3	16 0.4	118 2.9	165 4.0	103 2.5	109 2.6	146 3.5	12 0.3	59 1.4	3 0.1	11 0.3	41 1.0	84 2.0	2,255 54.6	926 22.4
知的障害	661 100.0	32 4.8	5 0.8	11 1.7	107 16.2	100 15.1	134 20.3	3 0.5	40 6.1	21 3.2	25 3.8	134 20.3	24 3.6	7 1.1	90 13.6	29 4.4	186 28.1	51 7.7
精神障害	1,318 100.0	120 9.1	5 0.4	10 0.8	26 2.0	15 1.1	27 2.0	13 1.0	23 1.7	40 3.0	49 3.7	179 13.6	56 4.2	24 1.8	38 2.9	43 3.3	645 48.9	172 13.1
発達障害	69 100.0	12 17.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	13 18.8	3 4.3	26 37.7	1 1.4	0 0.0	3 4.3	1 1.4	16 23.2	1 1.4
高次脳機能障害	211 100.0	18 8.5	5 2.4	3 1.4	3 1.4	5 2.4	10 4.7	1 0.5	3 1.4	15 7.1	19 9.0	32 15.2	22 10.4	4 1.9	3 1.4	5 2.4	92 43.6	20 9.5
難病等	1,132 100.0	53 4.7	12 1.1	1 0.1	2 0.2	19 1.7	24 2.1	24 2.1	9 0.8	25 2.2	3 0.3	8 0.7	3 0.3	3 0.3	9 0.8	26 2.3	755 66.7	221 19.5

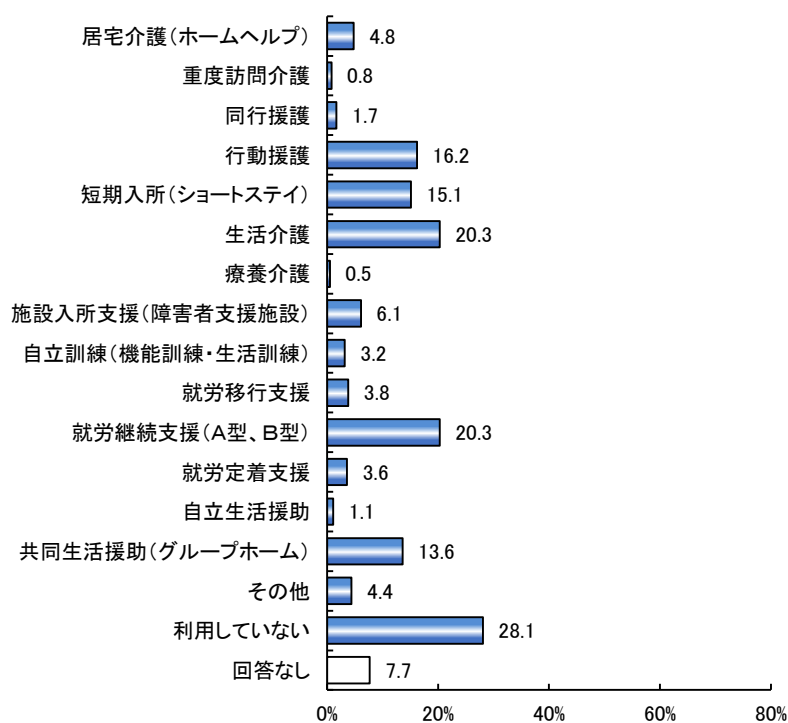


4 障害福祉サービスの利用状況について

■ 身体障害 ■

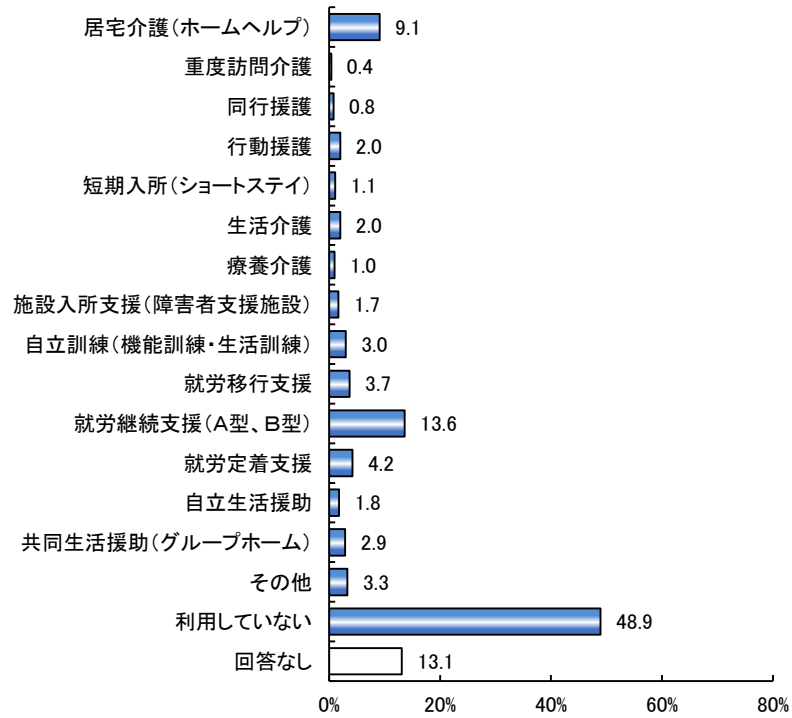


■ 知的障害 ■

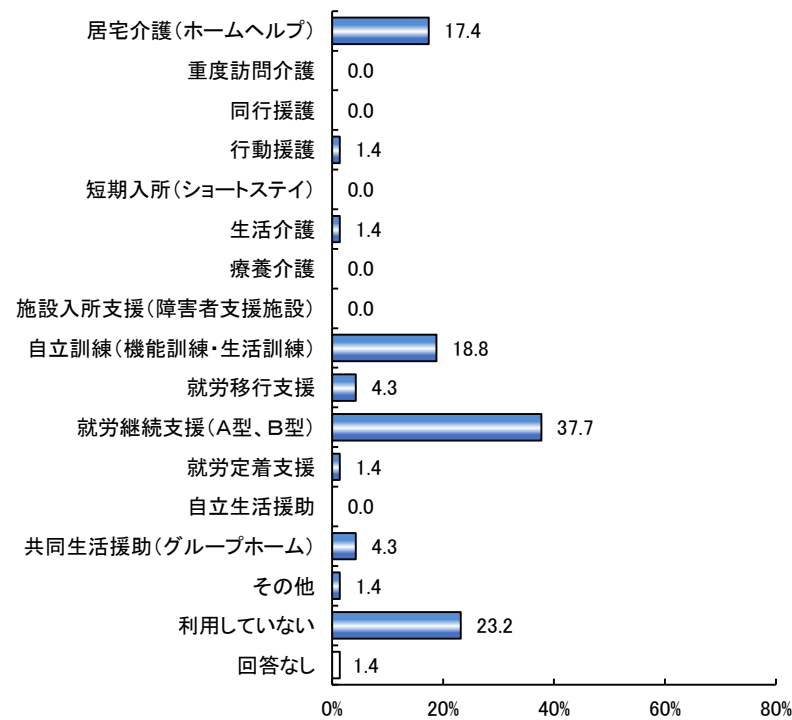




■ 精神障害 ■



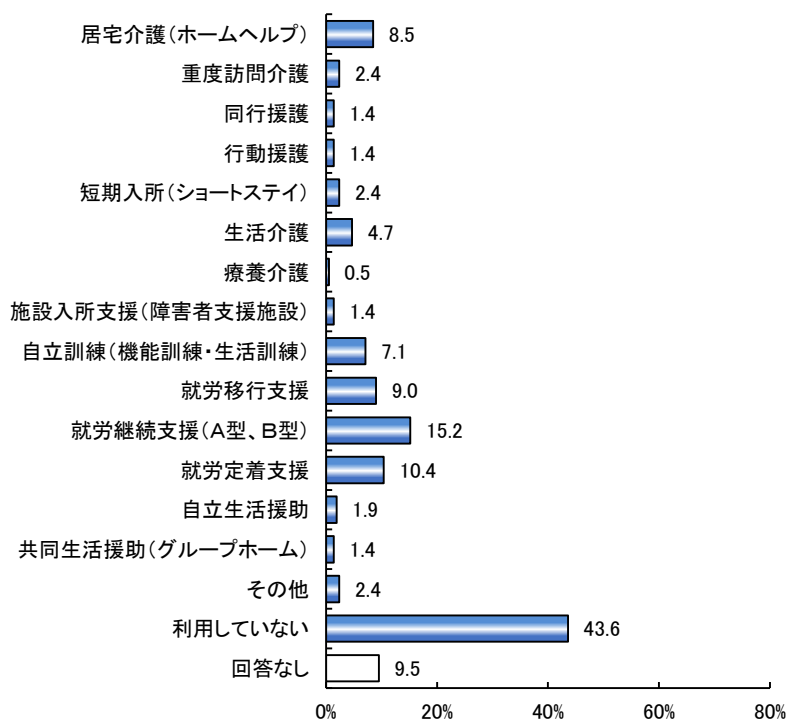
■ 発達障害 ■



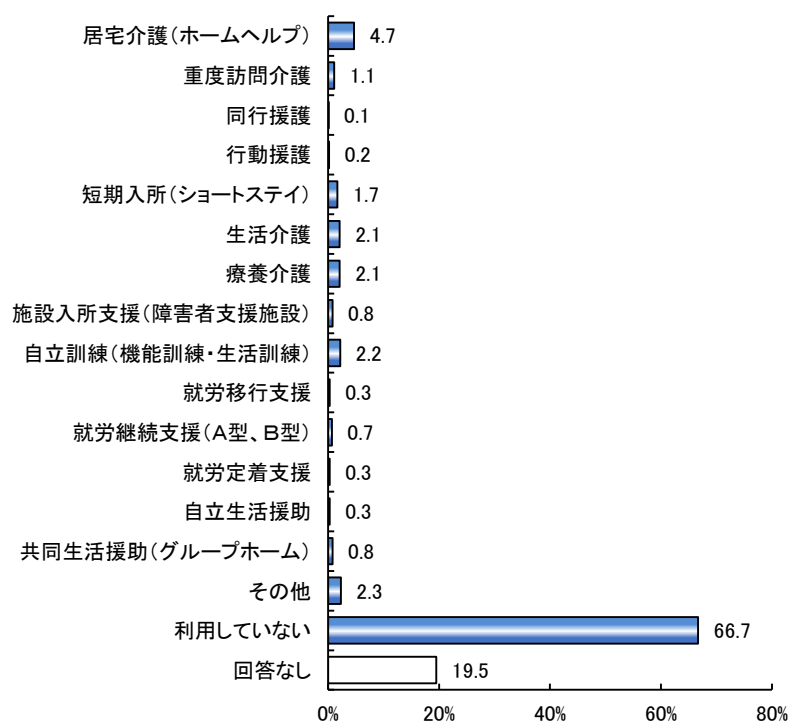


4 障害福祉サービスの利用状況について

■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



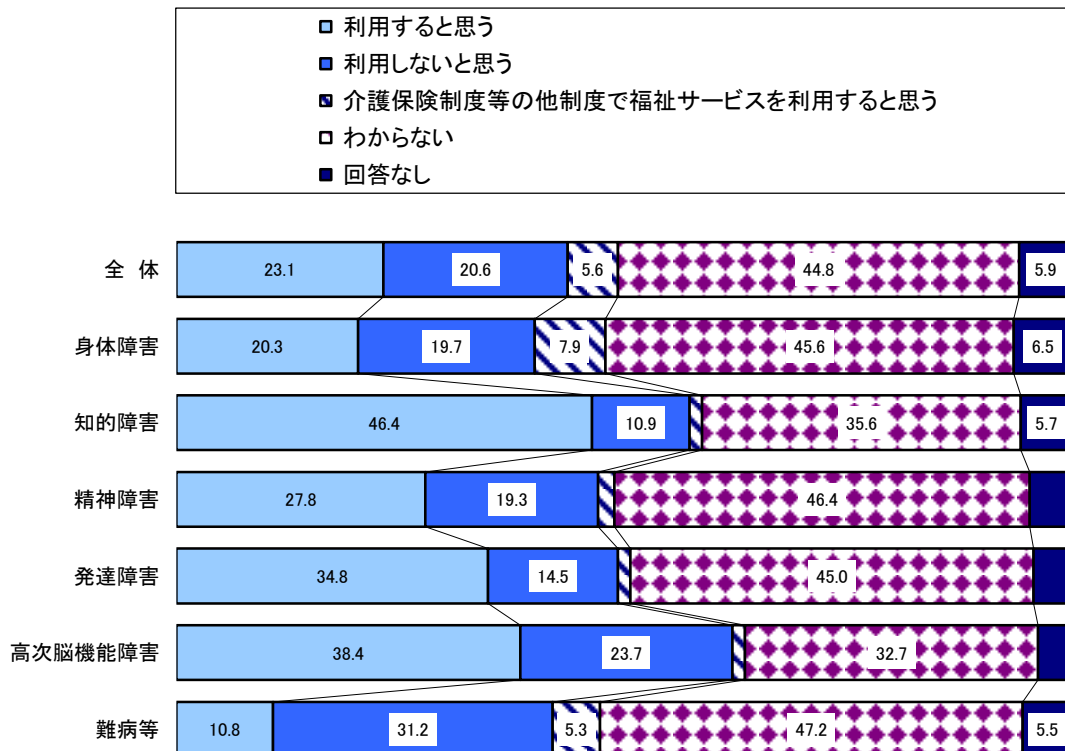
4-3 今後の障害福祉サービスの利用意向【問16】

【問16】あなたは、今後（おおむね3年以内に）、障害福祉サービスを利用しますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「わからない」（44.8%）が最も多く、次いで「利用すると思う」（23.1%）、「利用しないと思う」（20.6%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、発達、難病等では「わからない」、知的、高次脳機能では「利用すると思う」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	利用すると思う	利用しないと思う	介護保険制度等の 他制度で福祉サービ スを利用すると思う	わからない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,737 23.1	1,553 20.6	423 5.6	3,368 44.8	441 5.9
身体障害	4,131 100.0	837 20.3	813 19.7	326 7.9	1,887 45.6	268 6.5
知的障害	661 100.0	307 46.4	72 10.9	9 1.4	235 35.6	38 5.7
精神障害	1,318 100.0	366 27.8	255 19.3	24 1.8	611 46.4	62 4.7
発達障害	69 100.0	24 34.8	10 14.5	1 1.4	31 45.0	3 4.3
高次脳 機能障害	211 100.0	81 38.4	50 23.7	3 1.4	69 32.7	8 3.8
難病等	1,132 100.0	122 10.8	353 31.2	60 5.3	535 47.2	62 5.5



4-4 その他の福祉サービスの利用意向【問17】

【問17】その他の福祉サービスについてお聞きます。

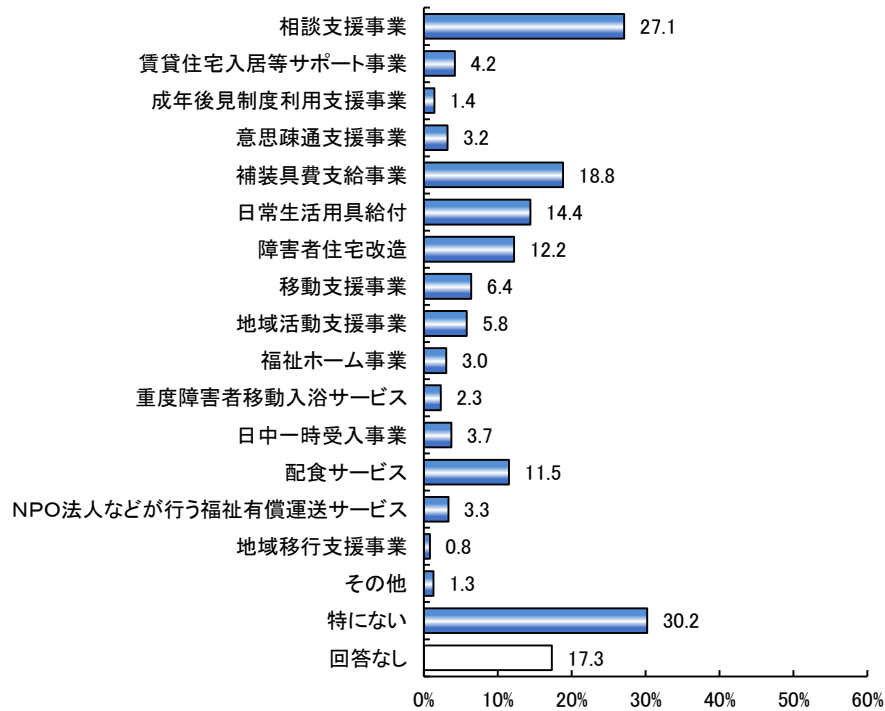
これから（おおむね3年以内に）、あなたが利用したい福祉サービスは何ですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「特になし」（33.9%）が最も多く、次いで「相談支援事業」（29.3%）、「補装具費支給事業」（12.5%）となっています。
- 障害種別でみると、知的では「相談支援事業」が最も多く、次いで「移動支援事業」、その他の障害種別では「特になし」が最も多く、次いで「相談支援事業」となっています。

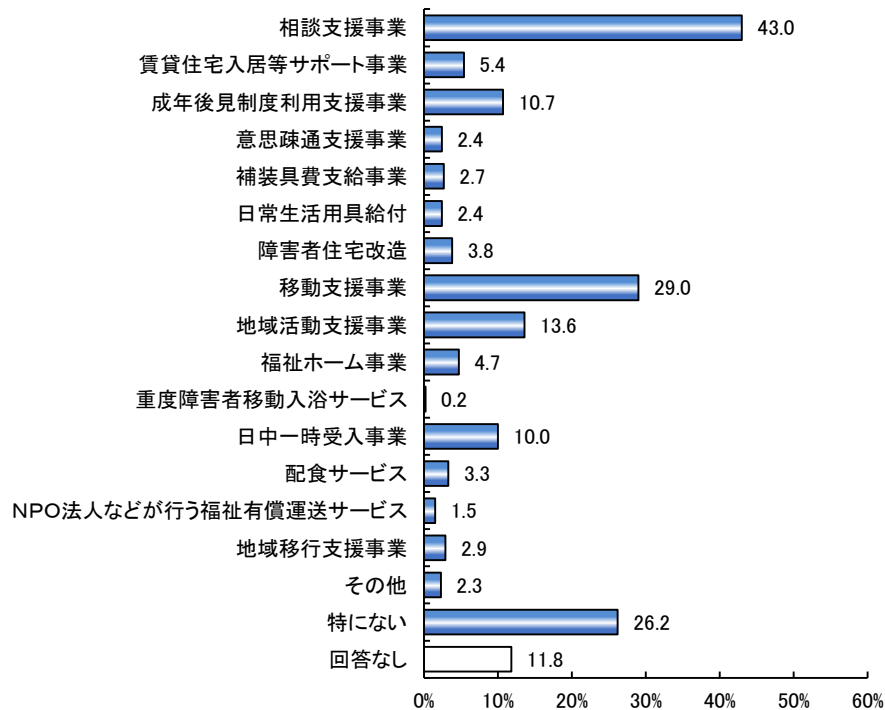
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	相談支援事業	賃貸住宅入居等サポート事業	成年後見制度利用支援事業	意思疎通支援事業	補装具費支給事業	日常生活用具給付	障害者住宅改造	移動支援事業	地域活動支援事業（旧デイサービス、旧小規模作業所、旧精神障害者地域生活支援センター）	福祉ホーム事業	重度障害者移動入浴サービス	日中一時受入事業	配食サービス	NPO法人などが行う福祉有償運送サービス	地域移行支援事業	その他	特になし	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,207 29.3	458 6.1	211 2.8	175 2.3	943 12.5	757 10.1	712 9.5	611 8.1	518 6.9	261 3.5	128 1.7	275 3.7	755 10.0	219 2.9	82 1.1	129 1.7	2,553 33.9	1,141 15.2
身体障害	4,131 100.0	1,121 27.1	174 4.2	56 1.4	133 3.2	776 18.8	593 14.4	506 12.2	263 6.4	239 5.8	122 3.0	97 2.3	152 3.7	474 11.5	137 3.3	34 0.8	52 1.3	1,247 30.2	715 17.3
知的障害	661 100.0	284 43.0	36 5.4	71 10.7	16 2.4	18 2.7	16 2.4	25 3.8	192 29.0	90 13.6	31 4.7	1 0.2	66 10.0	22 3.3	10 1.5	19 2.9	15 2.3	173 26.2	78 11.8
精神障害	1,318 100.0	449 34.1	182 13.8	63 4.8	11 0.8	18 1.4	28 2.1	51 3.9	73 5.5	121 9.2	73 5.5	5 0.4	19 1.4	142 10.8	30 2.3	23 1.7	37 2.8	470 35.7	174 13.2
発達障害	69 100.0	23 33.3	6 8.7	2 2.9	1 1.4	1 1.4	1 1.4	1 1.4	4 5.8	7 10.1	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	33 47.8	7 10.1
高次脳機能障害	211 100.0	77 36.5	15 7.1	8 3.8	5 2.4	39 18.5	15 7.1	15 7.1	15 7.1	12 5.7	6 2.8	0 0.0	4 1.9	16 7.6	1 0.5	0 0.0	3 1.4	80 37.9	23 10.9
難病等	1,132 100.0	253 22.3	45 4.0	11 1.0	9 0.8	91 8.0	104 9.2	114 10.1	64 5.7	49 4.3	28 2.5	25 2.2	34 3.0	100 8.8	41 3.6	6 0.5	22 1.9	550 48.6	144 12.7

■ 身体障害 ■



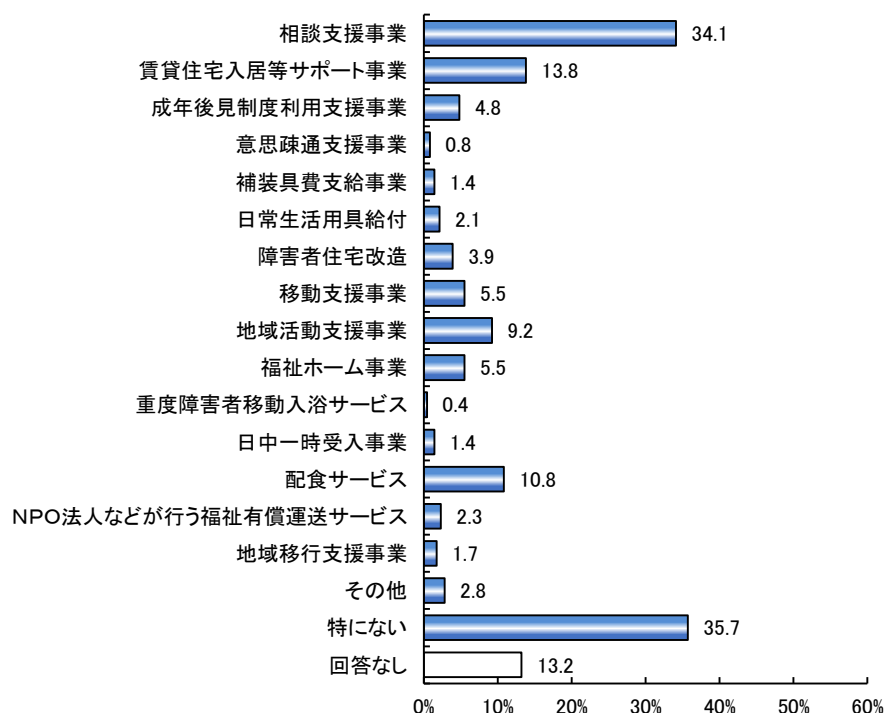
■ 知的障害 ■



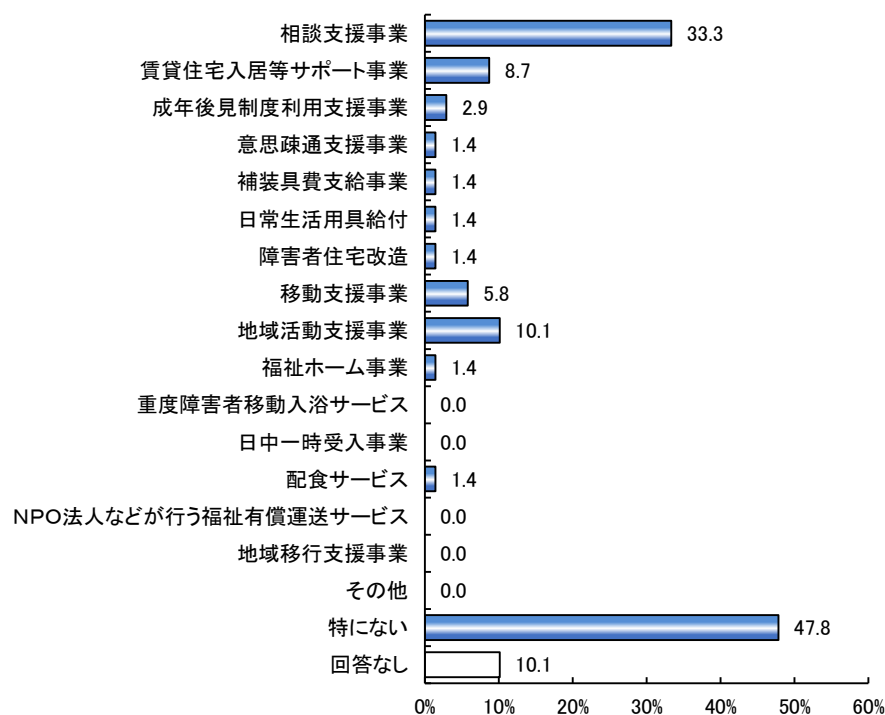


4 障害福祉サービスの利用状況について

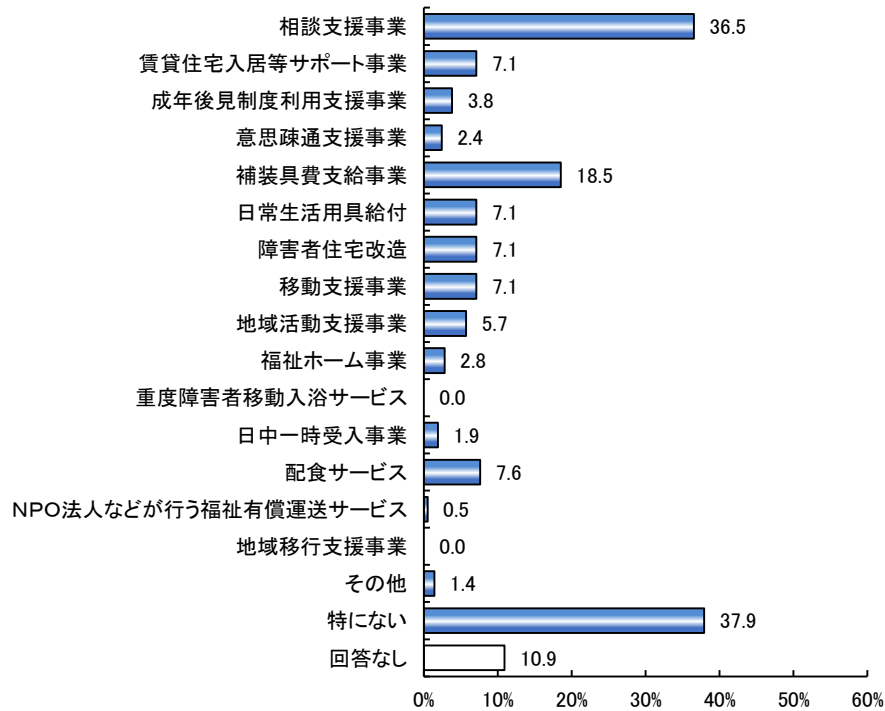
■ 精神障害 ■



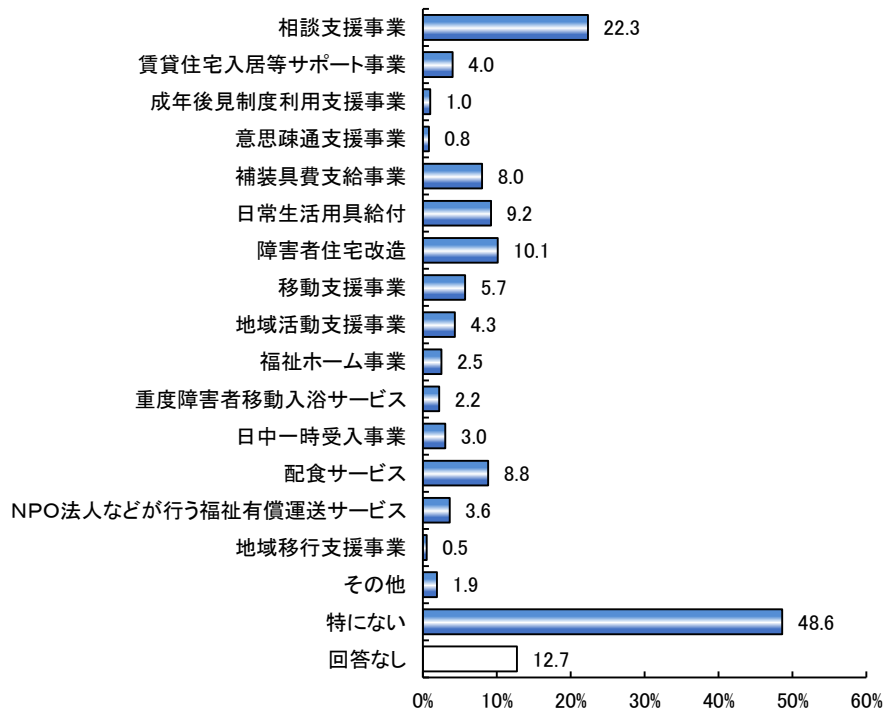
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



5 就労について

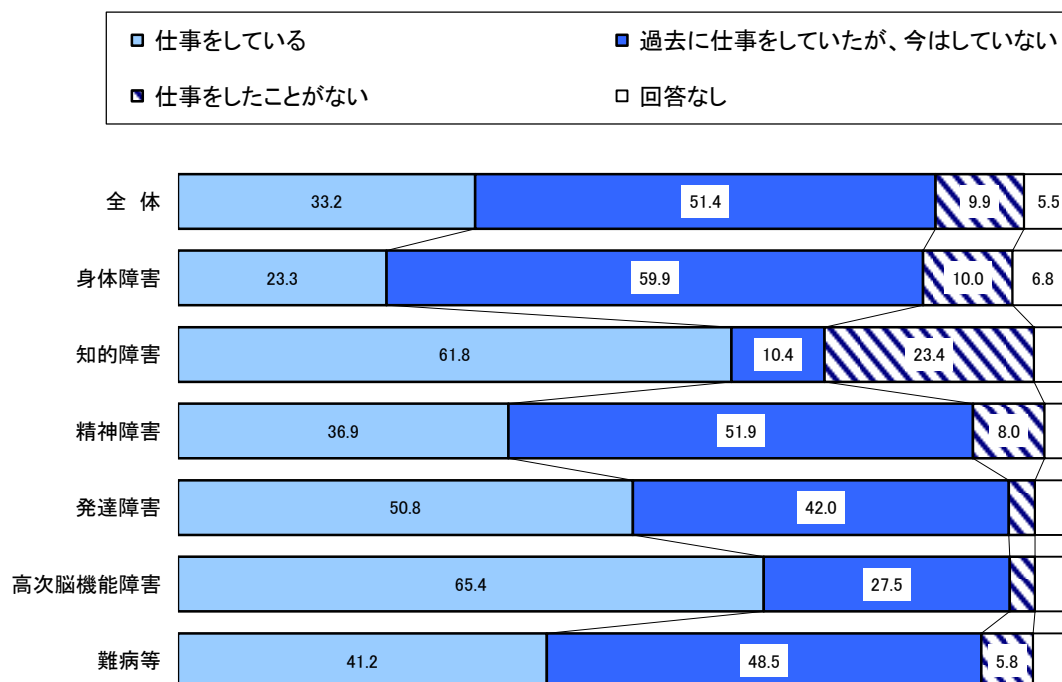
5-1 就労状況【問18】

【問18】あなたは、現在、仕事をしていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「過去に仕事をしていたが、今はしていない」（51.4％）が最も多く、次いで「仕事をしている」（33.2％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、難病等では「過去に仕事をしていたが、今はしていない」、知的、発達、高次脳機能では「仕事をしている」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	仕事をしている	過去に仕事をしていたが、今はしていない	仕事をしたことがない	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,497 33.2	3,862 51.4	747 9.9	416 5.5
身体障害	4,131 100.0	963 23.3	2,473 59.9	413 10.0	282 6.8
知的障害	661 100.0	408 61.8	69 10.4	155 23.4	29 4.4
精神障害	1,318 100.0	487 36.9	684 51.9	105 8.0	42 3.2
発達障害	69 100.0	35 50.8	29 42.0	2 2.9	3 4.3
高次脳機能障害	211 100.0	138 65.4	58 27.5	6 2.8	9 4.3
難病等	1,132 100.0	466 41.2	549 48.5	66 5.8	51 4.5



5-2 就労している方の職種【問18-①ア】

【問18-①】問18で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きます。

ア) どのような仕事をしていますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「会社などに勤めている（パート、アルバイト、派遣社員）」（32.8％）が最も多く、次いで「会社などに勤めている（正社員）」（32.7％）、「福祉サービス事業所（就労継続支援等）で働いている」（18.3％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、高次脳機能、難病等では「会社などに勤めている（正社員）」、知的、発達では「福祉サービス事業所（就労継続支援等）で働いている」、精神では「会社などに勤めている（パート、アルバイト、派遣社員）」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	会社などに勤 めている(正 社員)	会社などに勤 めている(パ ート、アルバ イト、派遣 社員)	自営業	家の仕事 (家業)の 手伝い	家で内職	福祉サービ ス事業所(就 労継続支援 等)で働いて いる	その他	回答なし
全 体	2,497 100.0	816 32.7	823 32.8	256 10.3	47 1.9	9 0.4	456 18.3	73 2.9	17 0.7
身体障害	963 100.0	353 36.7	287 29.8	186 19.3	22 2.3	2 0.2	62 6.4	43 4.5	8 0.8
知的障害	408 100.0	73 17.9	124 30.4	2 0.5	1 0.2	0 0.0	205 50.3	1 0.2	2 0.5
精神障害	487 100.0	106 21.8	199 40.8	15 3.1	11 2.3	2 0.4	137 28.1	14 2.9	3 0.6
発達障害	35 100.0	6 17.1	8 22.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	18 51.3	1 2.9	1 2.9
高次脳 機能障害	138 100.0	65 47.2	42 30.4	5 3.6	0 0.0	0 0.0	25 18.1	1 0.7	0 0.0
難病等	466 100.0	213 45.7	163 35.0	48 10.3	12 2.6	5 1.1	9 1.9	13 2.8	3 0.6

■ 会社などに勤めている(正社員)

□ 自営業

■ 家で内職

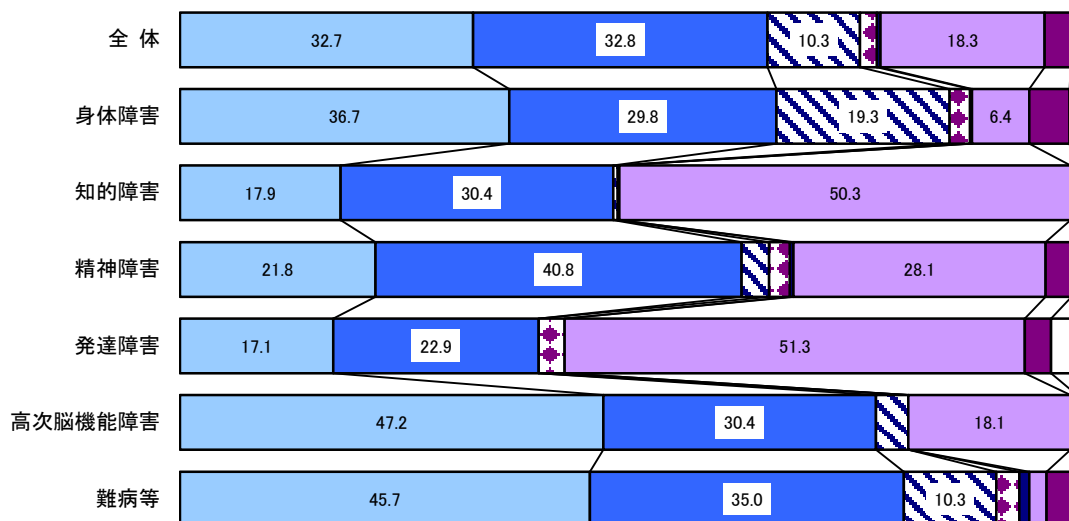
■ その他

■ 会社などに勤めている(パート、アルバイト、派遣社員)

□ 家の仕事(家業)の手伝い

■ 福祉サービス事業所(就労継続支援等)で働いている

□ 回答なし



5-3 1週間の就労時間【問18-①イ】

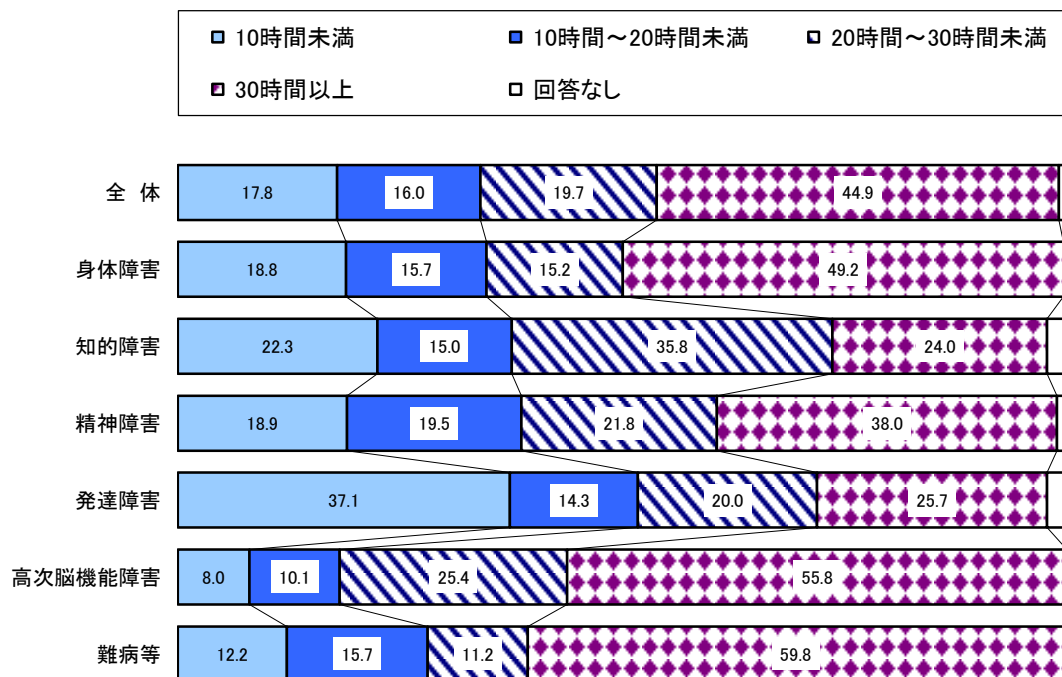
【問18-①】問18で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きます。

イ) 1週間のうち、仕事をしている時間はどのくらいですか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「30時間以上」(44.9%)が最も多く、次いで「20時間～30時間未満」(19.7%)、「10時間未満」(17.8%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、高次脳機能、難病等では「30時間以上」、知的では「20時間～30時間未満」、発達では「10時間未満」が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	10 時間未満	10 時間～20 時間 未満	20 時間～30 時間 未満	30 時間以上	回答なし
全 体	2,497 100.0	445 17.8	399 16.0	492 19.7	1,122 44.9	39 1.6
身体障害	963 100.0	181 18.8	151 15.7	146 15.2	474 49.2	11 1.1
知的障害	408 100.0	91 22.3	61 15.0	146 35.8	98 24.0	12 2.9
精神障害	487 100.0	92 18.9	95 19.5	106 21.8	185 38.0	9 1.8
発達障害	35 100.0	13 37.1	5 14.3	7 20.0	9 25.7	1 2.9
高次脳 機能障害	138 100.0	11 8.0	14 10.1	35 25.4	77 55.8	1 0.7
難病等	466 100.0	57 12.2	73 15.7	52 11.2	279 59.8	5 1.1



5-4 仕事を見つけた機関・施設等【問18-①ウ】

【問18-①】問18で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

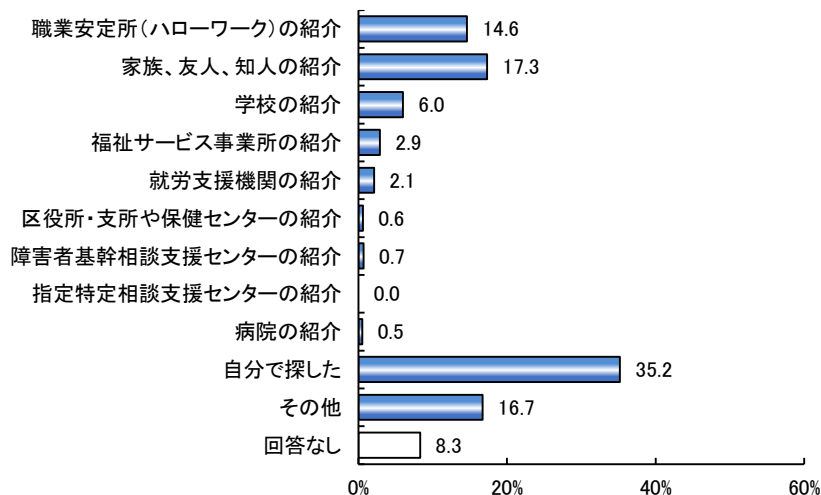
ウ) その仕事をどのようにして見つけましたか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「自分で探した」(30.4%)が最も多く、次いで「家族、友人、知人の紹介」(16.5%)、「職業安定所(ハローワーク)の紹介」(16.4%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、難病等では「自分で探した」、知的では、「学校の紹介」、発達では「職業安定所(ハローワーク)の紹介」、高次脳機能では「その他」が最も多くなっています。

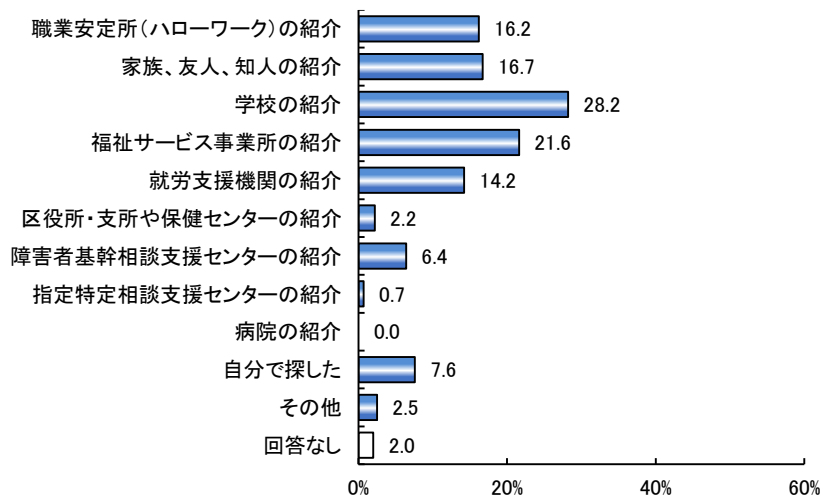
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	職業安定所(ハローワーク)の紹介	家族、友人、知人の紹介	学校の紹介	福祉サービス事業所(就労継続支援、就労移行支援、作業所型地域活動支援)の紹介	就労支援機関(障害者職業センター、障害者雇用支援センター、リハビリテーションセンター、職業能力開発校、障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター)の紹介	区役所・支所や保健センターの紹介	障害者基幹相談支援センターの紹介	指定特定相談支援センターの紹介	病院の紹介	自分で探した	その他	回答なし
全 体	2,497 100.0	409 16.4	411 16.5	216 8.7	213 8.5	171 6.8	43 1.7	47 1.9	12 0.5	28 1.1	759 30.4	315 12.6	120 4.8
身体障害	963 100.0	141 14.6	167 17.3	58 6.0	28 2.9	20 2.1	6 0.6	7 0.7	0 0.0	5 0.5	339 35.2	161 16.7	80 8.3
知的障害	408 100.0	66 16.2	68 16.7	115 28.2	88 21.6	58 14.2	9 2.2	26 6.4	3 0.7	0 0.0	31 7.6	10 2.5	8 2.0
精神障害	487 100.0	121 24.8	62 12.7	10 2.1	74 15.2	53 10.9	18 3.7	11 2.3	7 1.4	21 4.3	135 27.7	44 9.0	9 1.8
発達障害	35 100.0	7 20.0	6 17.1	1 2.9	4 11.4	6 17.1	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 17.1	2 5.7	1 2.9
高次脳機能障害	138 100.0	32 23.2	11 8.0	2 1.4	18 13.0	29 21.0	1 0.7	2 1.4	1 0.7	1 0.7	21 15.2	38 27.5	3 2.2
難病等	466 100.0	42 9.0	97 20.8	30 6.4	1 0.2	5 1.1	3 0.6	1 0.2	1 0.2	1 0.2	227 48.7	60 12.9	19 4.1

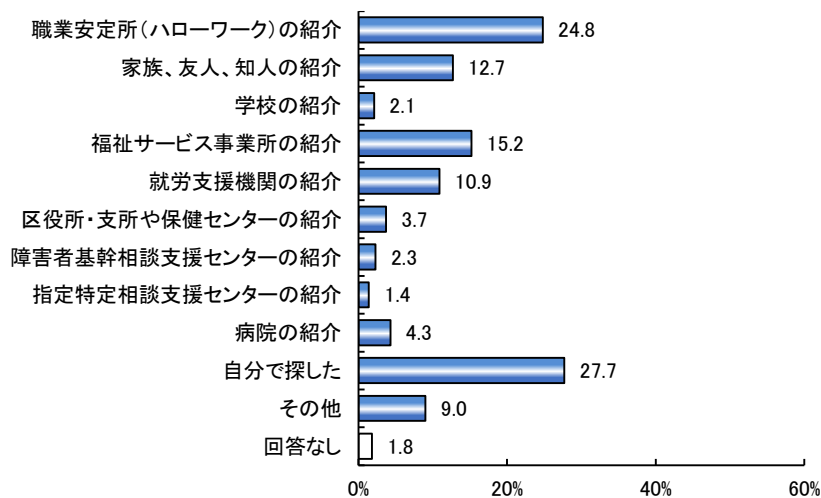
■ 身体障害 ■



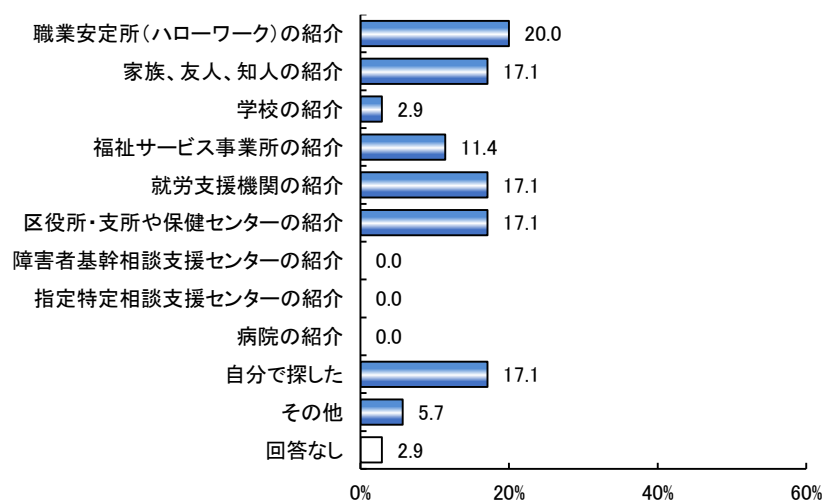
■ 知的障害 ■



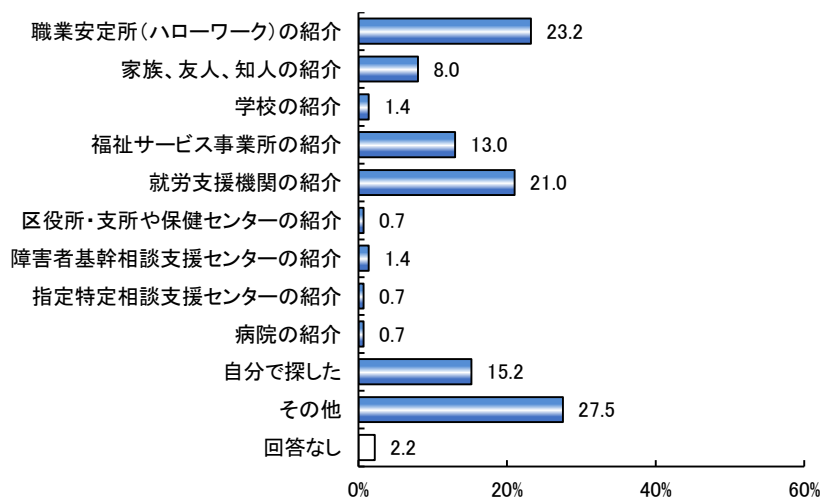
■ 精神障害 ■



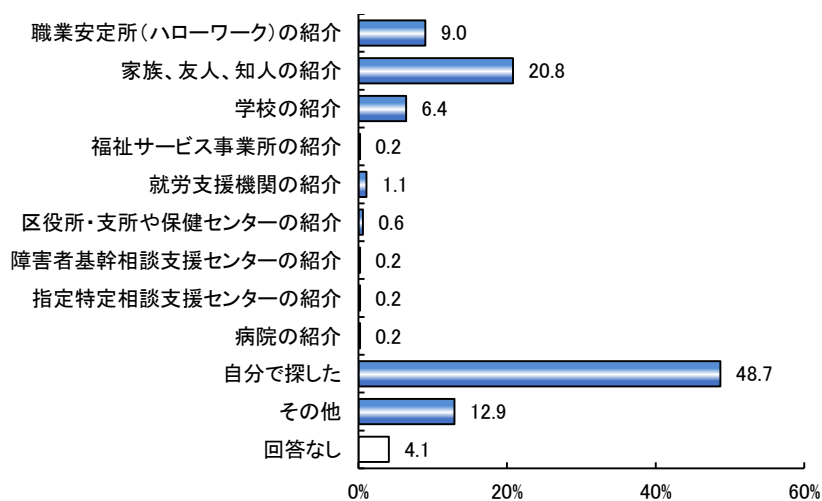
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



5-5 1か月当たりの仕事の収入【問18-①エ】

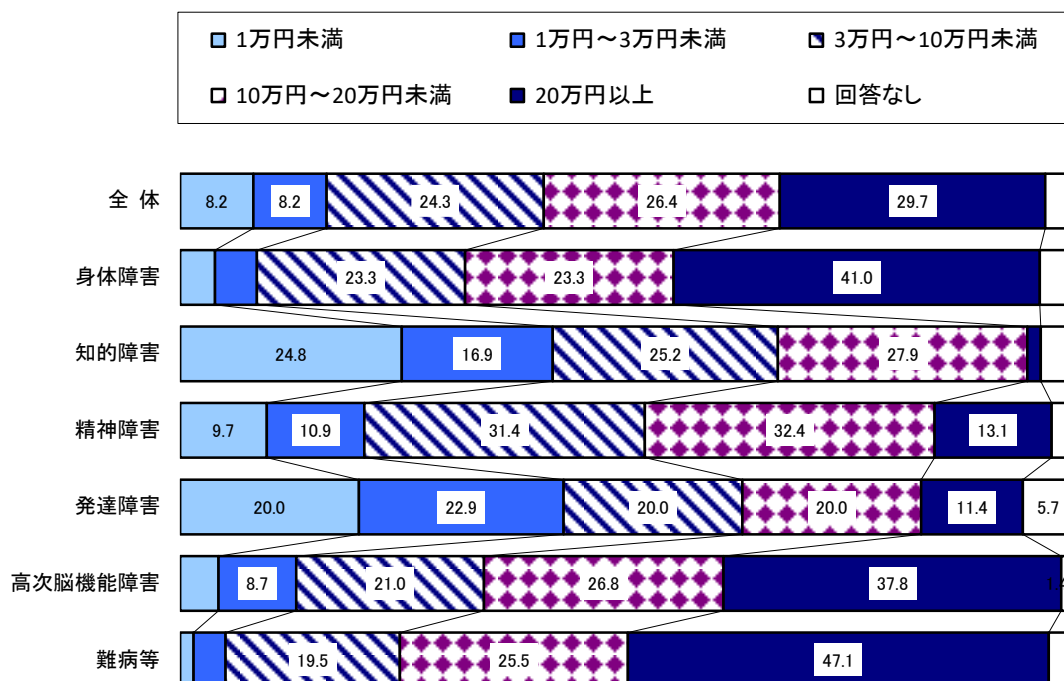
【問18-①】問18で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きます。

エ) 仕事の収入（ボーナス（賞与）は除きます）は、1か月当たり税金などを含めていくらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「20万円以上」(29.7%)が最も多く、次いで「10万円～20万円未満」(26.4%)、「3万円～10万円未満」(24.3%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、高次脳機能、難病等では「20万円以上」、知的、精神では「10万円～20万円未満」、発達では「1万円～3万円未満」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～10万円未満	10万円～20万円未満	20万円以上	回答なし
全 体	2,497 100.0	206 8.2	204 8.2	607 24.3	659 26.4	740 29.7	81 3.2
身体障害	963 100.0	38 3.9	45 4.7	224 23.3	224 23.3	395 41.0	37 3.8
知的障害	408 100.0	101 24.8	69 16.9	103 25.2	114 27.9	6 1.5	15 3.7
精神障害	487 100.0	47 9.7	53 10.9	153 31.4	158 32.4	64 13.1	12 2.5
発達障害	35 100.0	7 20.0	8 22.9	7 20.0	7 20.0	4 11.4	2 5.7
高次脳機能障害	138 100.0	6 4.3	12 8.7	29 21.0	37 26.8	52 37.8	2 1.4
難病等	466 100.0	7 1.5	17 3.6	91 19.5	119 25.5	219 47.1	13 2.8

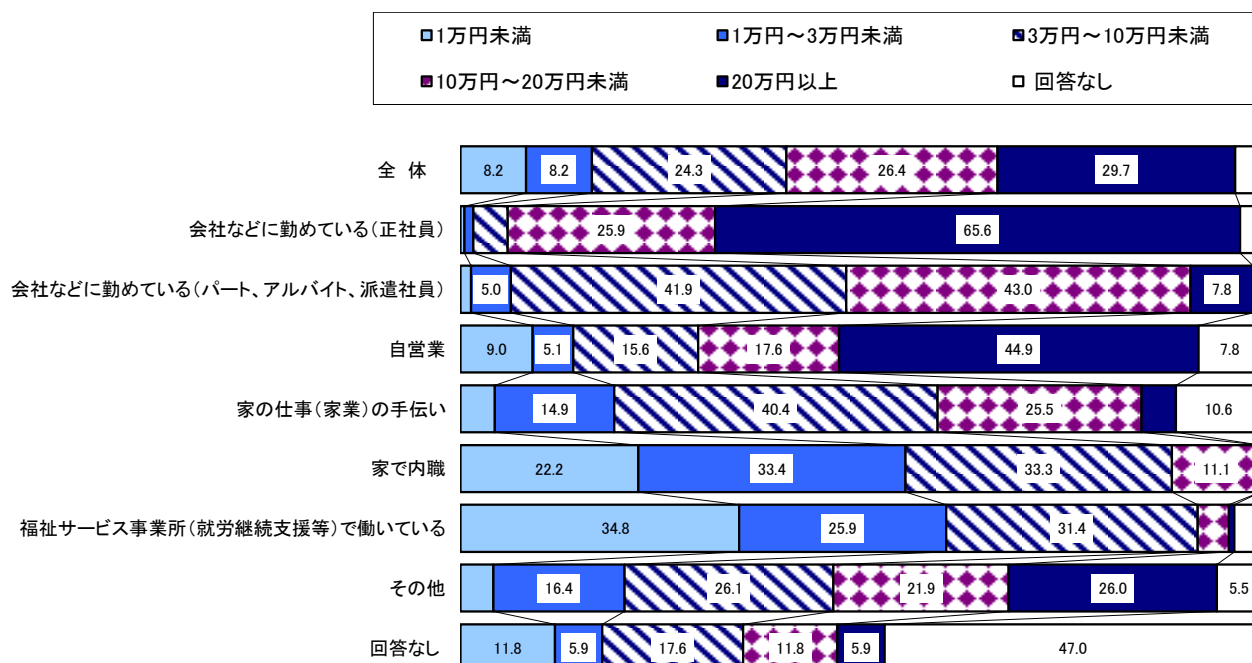


[クロス集計：就労形態の1か月当たりの仕事の収入]

- 1か月当たりの仕事の収入を就労形態別にみると、「会社などに勤めている（正社員）」、「自営業」では「20万円以上」、「会社などに勤めている（パート、アルバイト、派遣社員）」では「10万円～20万円未満」、「家の仕事（家業）の手伝い」では「3万円～10万円未満」、「福祉サービス事業所（就労継続支援等）で働いている」では「1万円未満」が最も多く、「家で内職」では「1万円～3万円未満」と「3万円～10万円未満」が同数となっています。

[上段：回答数（人）、下段：構成比（%）]

	合 計	1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～10万円未満	10万円～20万円未満	20万円以上	回答なし
全 体	2,497 100.0	206 8.2	204 8.2	607 24.3	659 26.4	740 29.7	81 3.2
会社などに勤めている（正社員）	816 100.0	4 0.5	9 1.1	35 4.3	211 25.9	536 65.6	21 2.6
会社などに勤めている（パート、アルバイト、派遣社員）	823 100.0	11 1.3	41 5.0	345 41.9	354 43.0	64 7.8	8 1.0
自営業	256 100.0	23 9.0	13 5.1	40 15.6	45 17.6	115 44.9	20 7.8
家の仕事（家業）の手伝い	47 100.0	2 4.3	7 14.9	19 40.4	12 25.5	2 4.3	5 10.6
家で内職	9 100.0	2 22.2	3 33.4	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0
福祉サービス事業所（就労継続支援等）で働いている	456 100.0	159 34.8	118 25.9	143 31.4	18 3.9	3 0.7	15 3.3
その他	73 100.0	3 4.1	12 16.4	19 26.1	16 21.9	19 26.0	4 5.5
回答なし	17 100.0	2 11.8	1 5.9	3 17.6	2 11.8	1 5.9	8 47.0



5-6 現在の職場の就労期間【問18-①オ】

【問18-①】問18で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きます。

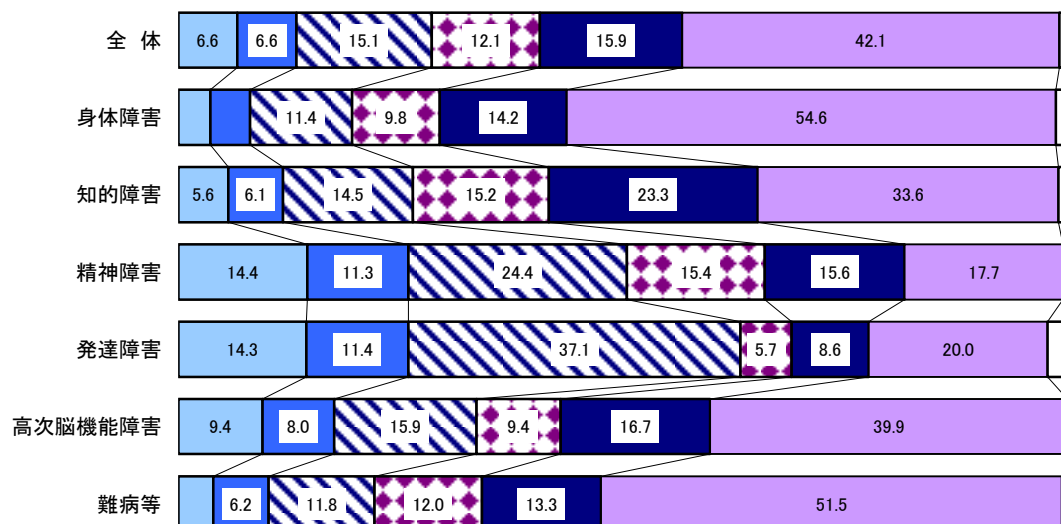
オ) 今の仕事に就いて、どのくらい経ちましたか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「10年以上」(42.1%)が最も多く、次いで「5年～10年未満」(15.9%)、「1年～3年未満」(15.1%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、高次脳機能、難病等では「10年以上」が最も多く、次いで「5年～10年未満」、精神、発達では「1年～3年未満」が最も多く、次いで「10年以上」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	回答なし
全 体	2,497 100.0	164 6.6	166 6.6	378 15.1	302 12.1	396 15.9	1,051 42.1	40 1.6
身体障害	963 100.0	35 3.6	42 4.4	110 11.4	94 9.8	137 14.2	526 54.6	19 2.0
知的障害	408 100.0	23 5.6	25 6.1	59 14.5	62 15.2	95 23.3	137 33.6	7 1.7
精神障害	487 100.0	70 14.4	55 11.3	119 24.4	75 15.4	76 15.6	86 17.7	6 1.2
発達障害	35 100.0	5 14.3	4 11.4	13 37.1	2 5.7	3 8.6	7 20.0	1 2.9
高次脳機能障害	138 100.0	13 9.4	11 8.0	22 15.9	13 9.4	23 16.7	55 39.9	1 0.7
難病等	466 100.0	18 3.9	29 6.2	55 11.8	56 12.0	62 13.3	240 51.5	6 1.3

■ 6か月未満 ■ 6か月～1年未満 □ 1年～3年未満 □ 3年～5年未満
 ■ 5年～10年未満 ■ 10年以上 □ 回答なし



5-7 日中の過ごし方【問18-②】

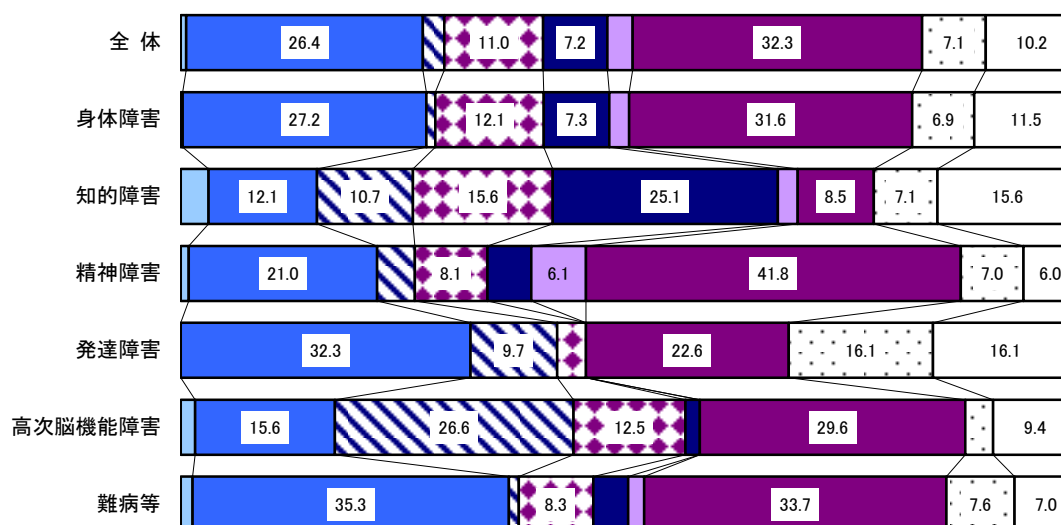
【問18-②】問18で「2. 過去に仕事をしていたが、今はしていない」「3. 仕事をしたことがない」に○をつけた方にお聞きします。

昼間、主にどのように過ごしていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「自宅で療養している」（32.3％）が最も多く、次いで「家事をしている・手伝っている」（26.4％）、「デイサービス・デイケアに通っている」（11.0％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、高次脳機能では「自宅で療養している」、知的では「保健・福祉施設で過ごしている」、発達、難病等では「家事をしている・手伝っている」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	学校に通っている	家事をしている・手伝っている	就職活動・就職訓練を受けている	デイサービス・デイケアに通っている	保健・福祉施設で過ごしている	病院に入院している	自宅で療養している	その他	回答なし
全 体	4,609 100.0	29 0.6	1,215 26.4	112 2.4	509 11.0	331 7.2	128 2.8	1,491 32.3	325 7.1	469 10.2
身体障害	2,886 100.0	6 0.2	785 27.2	28 1.0	350 12.1	211 7.3	64 2.2	909 31.6	200 6.9	333 11.5
知的障害	224 100.0	7 3.1	27 12.1	24 10.7	35 15.6	56 25.1	5 2.2	19 8.5	16 7.1	35 15.6
精神障害	789 100.0	7 0.9	166 21.0	33 4.2	64 8.1	39 4.9	48 6.1	330 41.8	55 7.0	47 6.0
発達障害	31 100.0	0 0.0	10 32.3	3 9.7	1 3.2	0 0.0	0 0.0	7 22.6	5 16.1	5 16.1
高次脳機能障害	64 100.0	1 1.6	10 15.6	17 26.6	8 12.5	1 1.6	0 0.0	19 29.6	2 3.1	6 9.4
難病等	615 100.0	8 1.3	217 35.3	7 1.1	51 8.3	24 3.9	11 1.8	207 33.7	47 7.6	43 7.0



6 余暇の過ごし方について

6-1 余暇活動の内容【問19】

【問19】あなたは余暇活動としてどのようなことをしていますか。（いくつでも○）

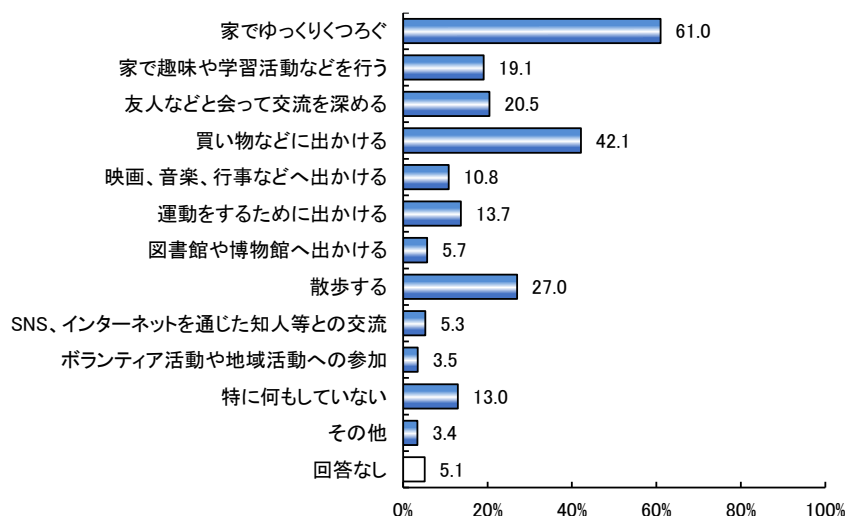
- 全体をみると、「家でゆっくりくつろぐ」（64.9％）が最も多く、次いで「買い物などに出かける」（45.1％）、「散歩する」（26.4％）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「家でゆっくりくつろぐ」が最も多く、次いで「買い物などに出かける」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

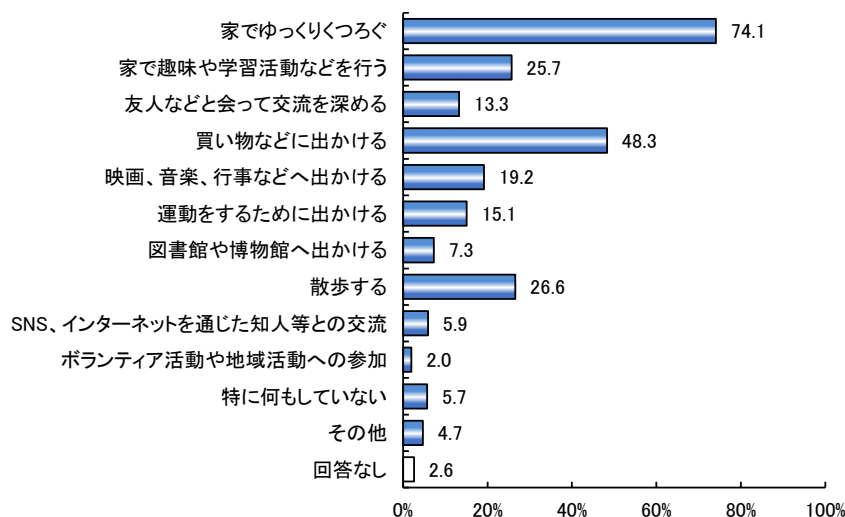
	回答者数	家でゆっくりくつろぐ	家で趣味や学習活動などを行う	友人などと会って交流を深める	買い物などに出かける	映画、音楽、行事などへ出かける	運動をするために出かける	図書館や博物館へ出かける	散歩する	SNS、インターネットを通じて知人等との交流	ボランティア活動や地域活動への参加	特に何もしていない	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	4,879 64.9	1,743 23.2	1,524 20.3	3,390 45.1	1,006 13.4	1,040 13.8	504 6.7	1,987 26.4	563 7.5	225 3.0	819 10.9	313 4.2	320 4.3
身体障害	4,131 100.0	2,519 61.0	789 19.1	848 20.5	1,739 42.1	445 10.8	566 13.7	234 5.7	1,115 27.0	218 5.3	145 3.5	535 13.0	140 3.4	211 5.1
知的障害	661 100.0	490 74.1	170 25.7	88 13.3	319 48.3	127 19.2	100 15.1	48 7.3	176 26.6	39 5.9	13 2.0	38 5.7	31 4.7	17 2.6
精神障害	1,318 100.0	869 65.9	387 29.4	239 18.1	592 44.9	187 14.2	147 11.2	121 9.2	308 23.4	187 14.2	34 2.6	150 11.4	77 5.8	48 3.6
発達障害	69 100.0	54 78.3	31 44.9	15 21.7	43 62.3	14 20.3	14 20.3	9 13.0	21 30.4	8 11.6	3 4.3	4 5.8	1 1.4	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	157 74.4	61 28.9	58 27.5	109 51.7	51 24.2	39 18.5	18 8.5	68 32.2	23 10.9	2 0.9	7 3.3	14 6.6	3 1.4
難病等	1,132 100.0	790 69.8	305 26.9	276 24.4	588 51.9	182 16.1	174 15.4	74 6.5	299 26.4	88 7.8	28 2.5	85 7.5	50 4.4	39 3.4



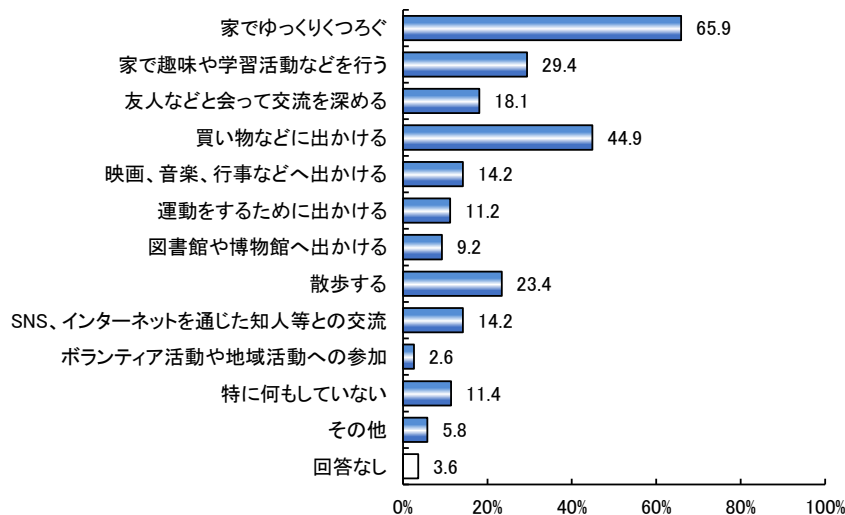
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



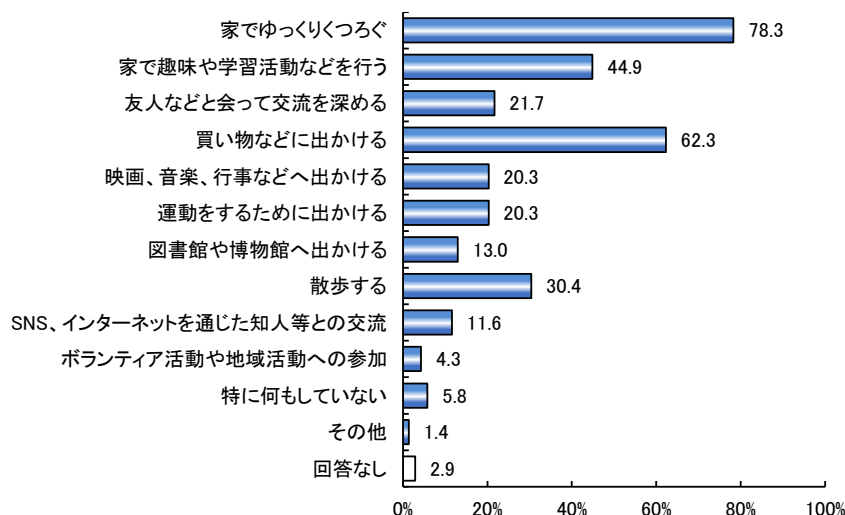
■ 精神障害 ■



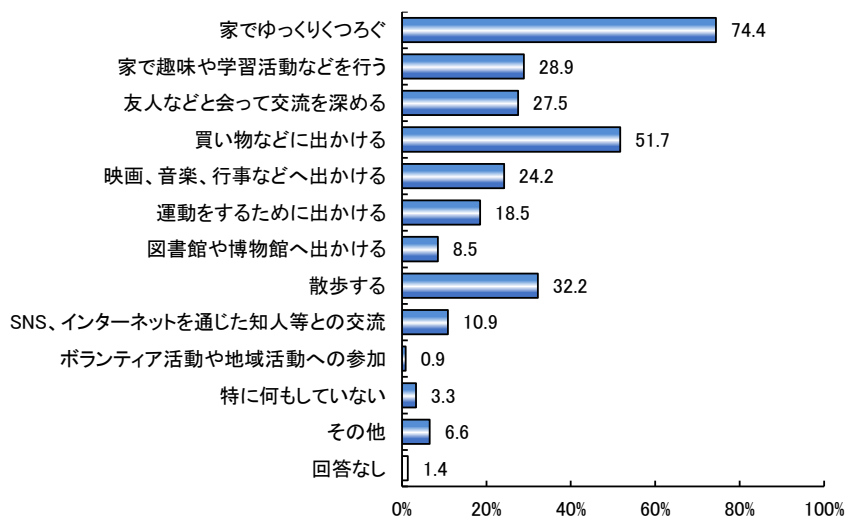


6 余暇の過ごし方について

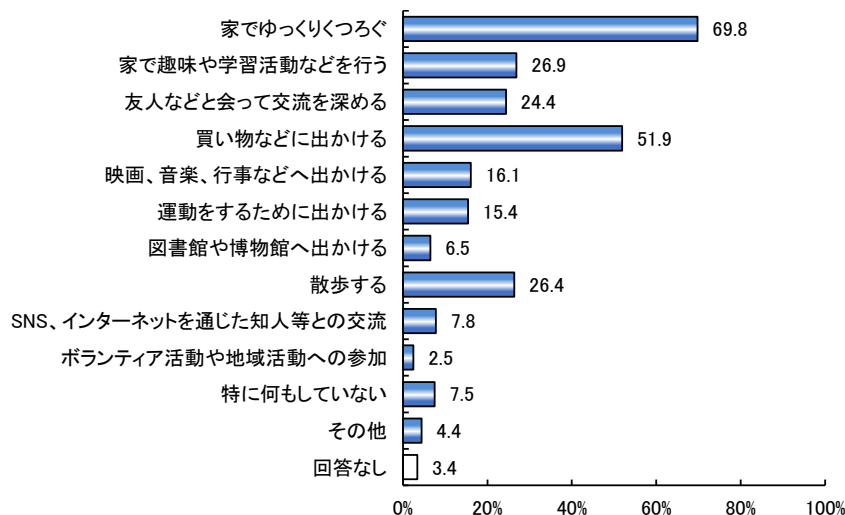
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





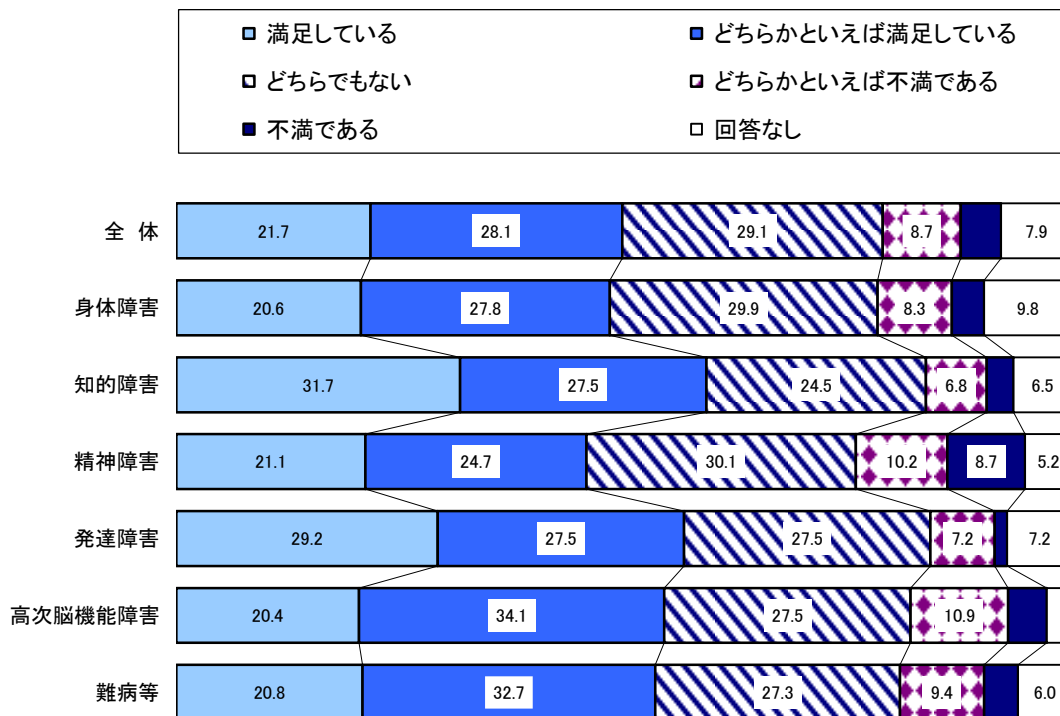
6-2 余暇活動の満足度【問20】

【問20】あなたは現在行っている余暇活動に満足していますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「どちらかといえば満足している」（28.1％）と、「満足している」（21.7％）と合わせ 49.8％となっています。
- 障害種別でみると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計は、身体では 48.4％、知的では 59.2％、精神では 45.8％、発達では 56.7％、高次脳機能では 54.5％、難病等では 53.5％となっており、どの障害種別でも「不満である」、「どちらかといえば不満である」の合計より多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	満足している	どちらかといえば満足している	どちらでもない	どちらかといえば不満である	不満である	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,634 21.7	2,117 28.1	2,185 29.1	655 8.7	337 4.5	594 7.9
身体障害	4,131 100.0	849 20.6	1,147 27.8	1,241 29.9	342 8.3	149 3.6	403 9.8
知的障害	661 100.0	209 31.7	182 27.5	162 24.5	45 6.8	20 3.0	43 6.5
精神障害	1,318 100.0	278 21.1	326 24.7	396 30.1	134 10.2	115 8.7	69 5.2
発達障害	69 100.0	20 29.2	19 27.5	19 27.5	5 7.2	1 1.4	5 7.2
高次脳機能障害	211 100.0	43 20.4	72 34.1	58 27.5	23 10.9	9 4.3	6 2.8
難病等	1,132 100.0	235 20.8	371 32.7	309 27.3	106 9.4	43 3.8	68 6.0





7 ICT機器の利用について

7-1 ICT機器の使用状況【問21】

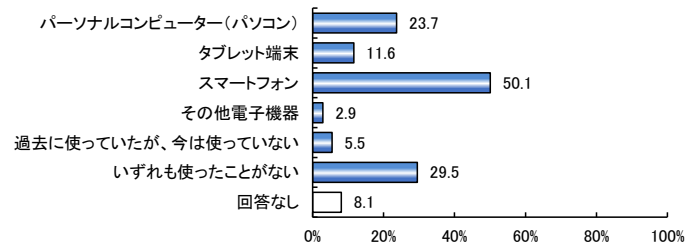
【問21】あなたは、日常生活において次のICT（情報通信技術）機器を使用していますか。
（いくつでも○）

- 全体をみると、「スマートフォン」(58.0%)が最も多く、次いで「パーソナルコンピューター（パソコン）」(27.6%)、「いずれも使ったことがない」(24.3%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「スマートフォン」が最も多く、次いで身体、知的では「いずれも使ったことがない」、精神、発達、高次脳機能、難病等では「パーソナルコンピューター（パソコン）」が多くなっています。

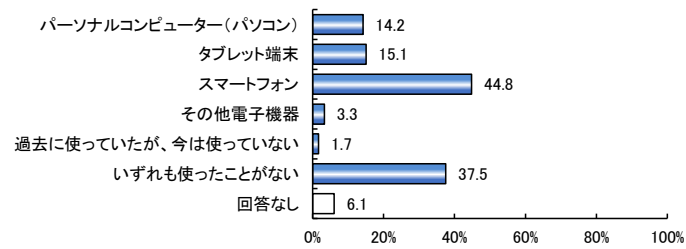
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	パーソナルコンピューター（パソコン）	タブレット端末	スマートフォン	その他電子機器	過去に使っていたが、今は使っていない	いずれも使ったことがない	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,079 27.6	1,032 13.7	4,362 58.0	237 3.2	356 4.7	1,826 24.3	491 6.5
身体障害	4,131 100.0	981 23.7	479 11.6	2,071 50.1	120 2.9	228 5.5	1,220 29.5	336 8.1
知的障害	661 100.0	94 14.2	100 15.1	296 44.8	22 3.3	11 1.7	248 37.5	40 6.1
精神障害	1,318 100.0	462 35.1	194 14.7	929 70.5	44 3.3	72 5.5	197 14.9	55 4.2
発達障害	69 100.0	27 39.1	22 31.9	59 85.5	2 2.9	1 1.4	3 4.3	4 5.8
高次脳機能障害	211 100.0	92 43.6	49 23.2	180 85.3	13 6.2	8 3.8	9 4.3	3 1.4
難病等	1,132 100.0	423 37.4	188 16.6	827 73.1	36 3.2	36 3.2	149 13.2	53 4.7

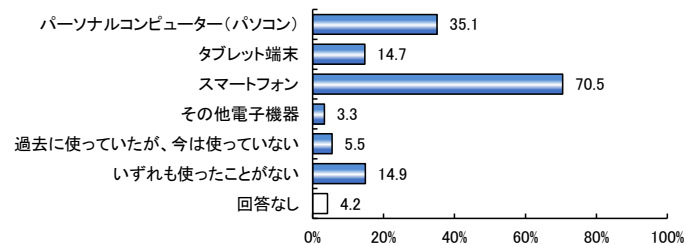
■ 身体障害 ■



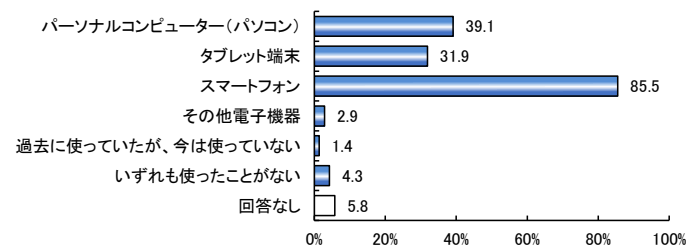
■ 知的障害 ■



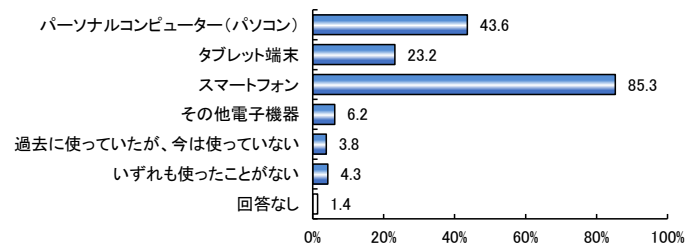
■ 精神障害 ■



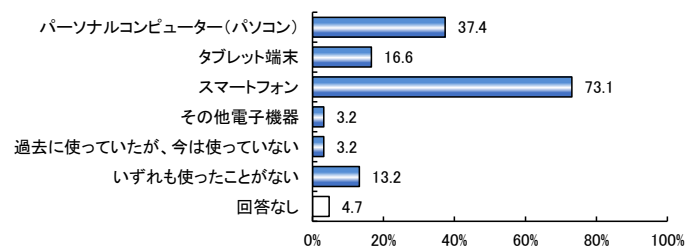
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





7-2 ICT機器を使用しない理由【問21-①】

【問21-①】問21で「5. 過去に使っていたが、今は使っていない」と「6. いずれも使ったことがない」に○をつけた方にお聞きます。

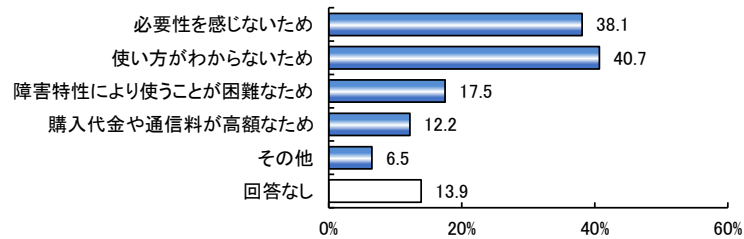
ICT機器を使用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「使い方がわからないため」(39.8%)が最も多く、次いで「必要性を感じないため」(34.6%)、「障害特性により使うことが困難なため」(20.4%)となっています。
- 障害種別でみると、発達では「障害特性により使うことが困難なため」、その他の障害種別では「使い方がわからないため」が最も多くなっています。

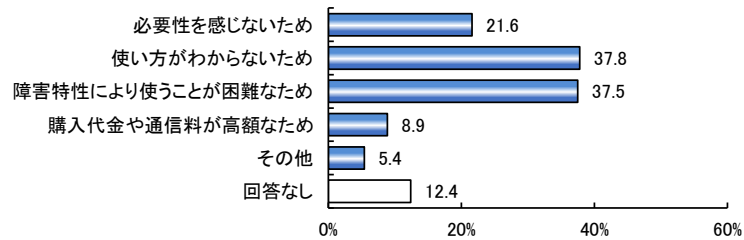
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	回答者数	必要性を感じないため	使い方がわからないため	障害特性により使うことが困難なため	購入代金や通信料が高額なため	その他	回答なし
全 体	2,182 100.0	754 34.6	869 39.8	445 20.4	290 13.3	146 6.7	286 13.1
身体障害	1,448 100.0	551 38.1	589 40.7	254 17.5	177 12.2	94 6.5	201 13.9
知的障害	259 100.0	56 21.6	98 37.8	97 37.5	23 8.9	14 5.4	32 12.4
精神障害	269 100.0	80 29.7	100 37.2	54 20.1	62 23.0	27 10.0	21 7.8
発達障害	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
高次脳機能障害	17 100.0	3 17.6	7 41.2	6 35.3	1 5.9	1 5.9	3 17.6
難病等	185 100.0	64 34.6	74 40.0	32 17.3	27 14.6	9 4.9	28 15.1

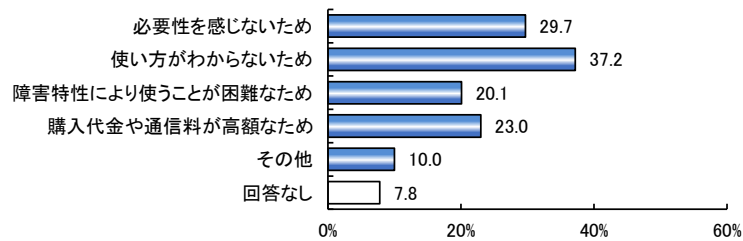
■ 身体障害 ■



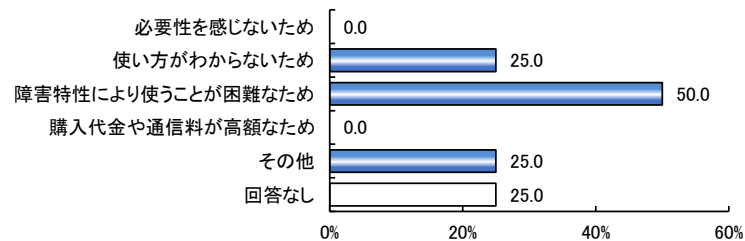
■ 知的障害 ■



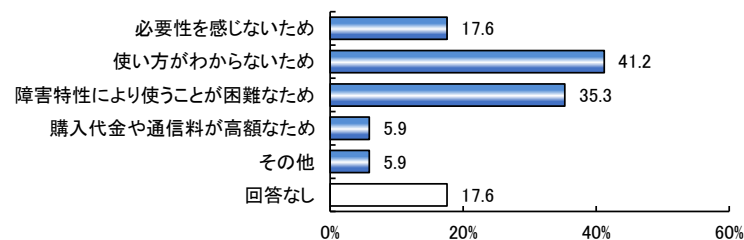
■ 精神障害 ■



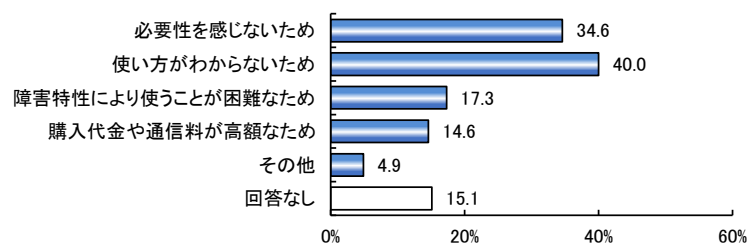
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



8 災害対策について

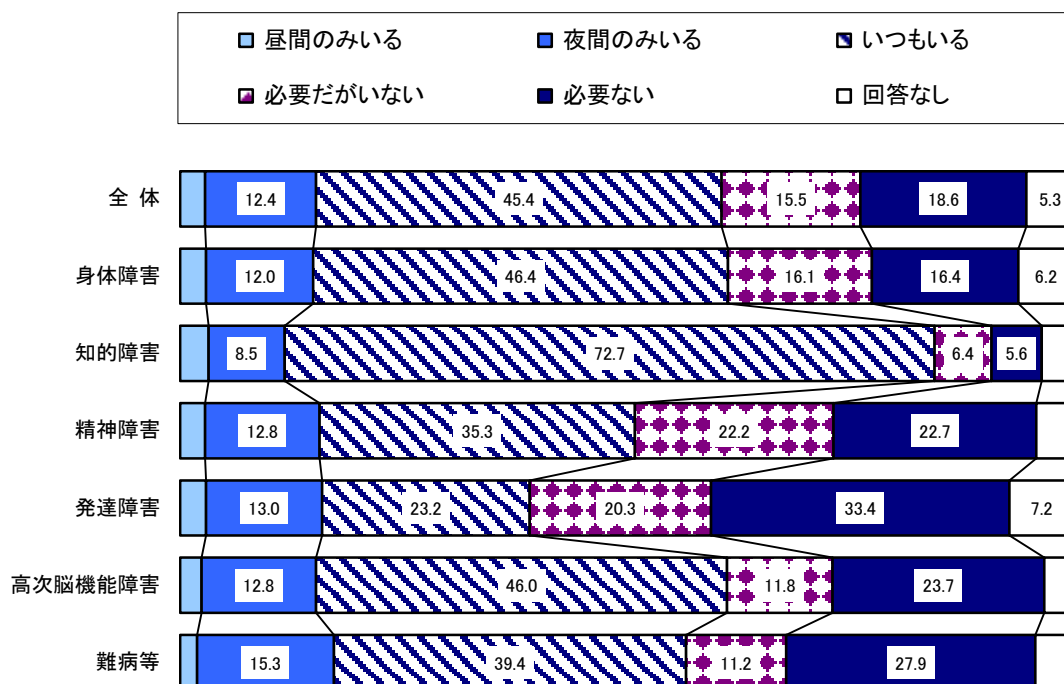
8-1 災害時の援助者の有無【問22】

【問22】台風や地震など、大きな災害が起こった場合、あなたを避難場所へ誘導するなど、安全の確保を頼れるような人が身近にいますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「いつもいる」（45.4％）が最も多く、次いで「必要ない」（18.6％）、「必要だがいない」（15.5％）となっています。
- 障害種別でみると、発達では「必要ない」、その他の障害種別では「いつもいる」が最も多く、次いで身体、精神、高次脳機能、難病等では「必要ない」、知的では「夜間のみいる」、発達では「いつもいる」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	昼間のみいる	夜間のみいる	いつもいる	必要だがいない	必要ない	回答なし
全 体	7,522 100.0	207 2.8	929 12.4	3,419 45.4	1,167 15.5	1,402 18.6	398 5.3
身体障害	4,131 100.0	121 2.9	495 12.0	1,914 46.4	666 16.1	677 16.4	258 6.2
知的障害	661 100.0	21 3.2	56 8.5	481 72.7	42 6.4	37 5.6	24 3.6
精神障害	1,318 100.0	37 2.8	169 12.8	465 35.3	293 22.2	299 22.7	55 4.2
発達障害	69 100.0	2 2.9	9 13.0	16 23.2	14 20.3	23 33.4	5 7.2
高次脳機能障害	211 100.0	5 2.4	27 12.8	97 46.0	25 11.8	50 23.7	7 3.3
難病等	1,132 100.0	21 1.9	173 15.3	446 39.4	127 11.2	316 27.9	49 4.3





8-2 災害時の援助者【問22-①】

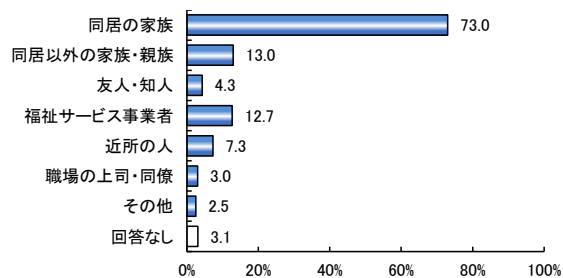
【問22-①】問22で「1. 昼間のみいる」、「2. 夜間のみいる」、「3. いつもいる」に○をつけた方にお聞きします。
それはどなたですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「同居の家族」(74.3%)が最も多く、次いで「福祉サービス事業者」(15.4%)、「同居以外の家族・親族」(11.0%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「同居の家族」が最も多く、次いで身体、難病等では「同居以外の家族・親族」、知的、精神、発達、高次脳機能では「福祉サービス事業者」となっています。

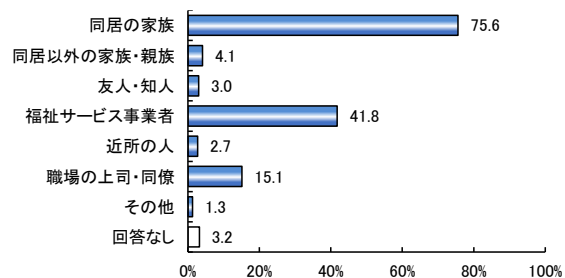
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	同居の家族	同居以外の 家族・親族	友人・知人	福祉サービス 事業者	近所の人	職場の上司・ 同僚	その他	回答なし
全 体	4,555 100.0	3,386 74.3	503 11.0	208 4.6	702 15.4	280 6.1	260 5.7	129 2.8	149 3.3
身体障害	2,530 100.0	1,848 73.0	329 13.0	109 4.3	322 12.7	184 7.3	75 3.0	63 2.5	78 3.1
知的障害	558 100.0	422 75.6	23 4.1	17 3.0	233 41.8	15 2.7	84 15.1	7 1.3	18 3.2
精神障害	671 100.0	470 70.0	50 7.5	47 7.0	83 12.4	31 4.6	49 7.3	51 7.6	25 3.7
発達障害	27 100.0	20 74.1	3 11.1	0 0.0	4 14.8	1 3.7	1 3.7	2 7.4	3 11.1
高次脳 機能障害	129 100.0	102 79.1	14 10.9	10 7.8	26 20.2	5 3.9	18 14.0	2 1.6	4 3.1
難病等	640 100.0	524 81.9	84 13.1	25 3.9	34 5.3	44 6.9	33 5.2	4 0.6	21 3.3

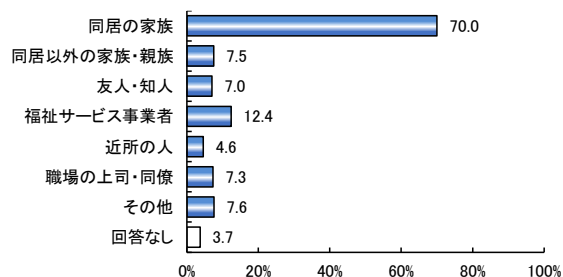
■ 身体障害 ■



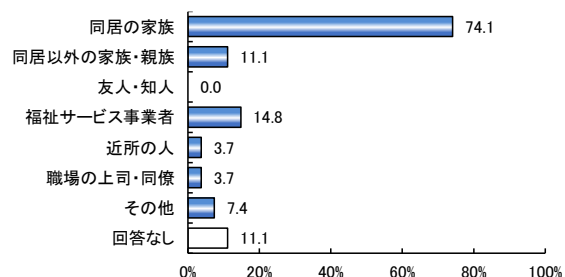
■ 知的障害 ■



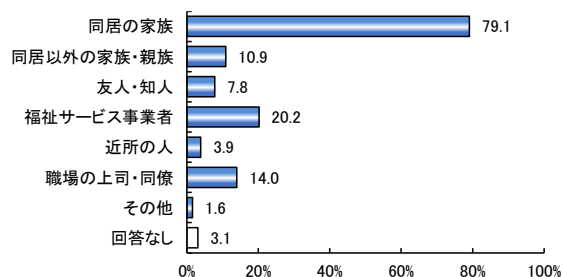
■ 精神障害 ■



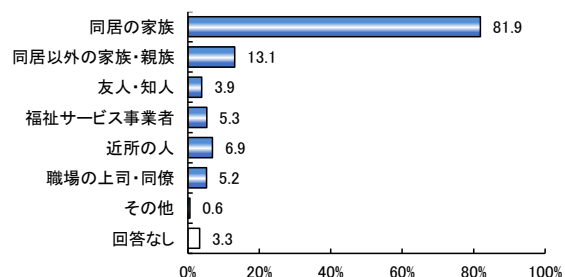
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



8-3 福祉避難所の周知度【問23】

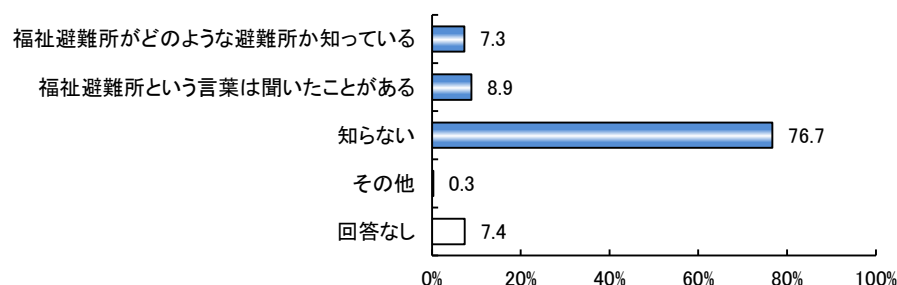
【問23】あなたは、福祉避難所を知っていますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「知らない」(79.2%)が最も多く、次いで「福祉避難所という言葉は聞いたことがある」(8.0%)、「福祉避難所がどのような避難所か知っている」(6.8%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「知らない」が最も多く、次いで高次脳機能では「福祉避難所がどのような避難所か知っている」、その他の障害種別では「福祉避難所という言葉は聞いたことがある」となっています。

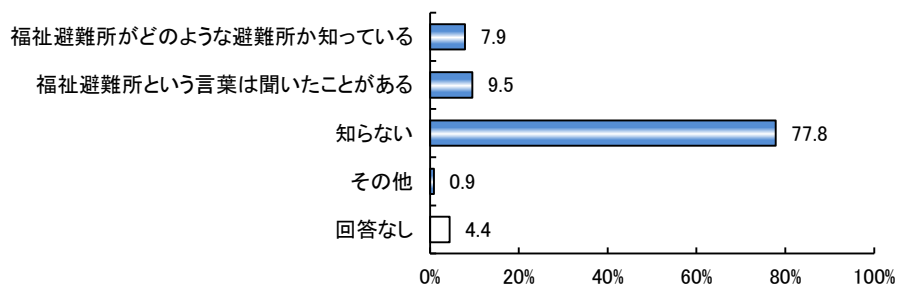
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	福祉避難所がどのような避難所か知っている	福祉避難所という言葉は聞いたことがある	知らない	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	509 6.8	599 8.0	5,957 79.2	22 0.3	460 6.1
身体障害	4,131 100.0	301 7.3	366 8.9	3,168 76.7	11 0.3	307 7.4
知的障害	661 100.0	52 7.9	63 9.5	514 77.8	6 0.9	29 4.4
精神障害	1,318 100.0	71 5.4	86 6.5	1,098 83.3	3 0.2	60 4.6
発達障害	69 100.0	1 1.4	3 4.3	61 88.4	0 0.0	4 5.8
高次脳機能障害	211 100.0	17 8.1	11 5.2	175 82.9	1 0.5	7 3.3
難病等	1,132 100.0	67 5.9	70 6.2	941 83.1	1 0.1	53 4.7

■ 身体障害 ■

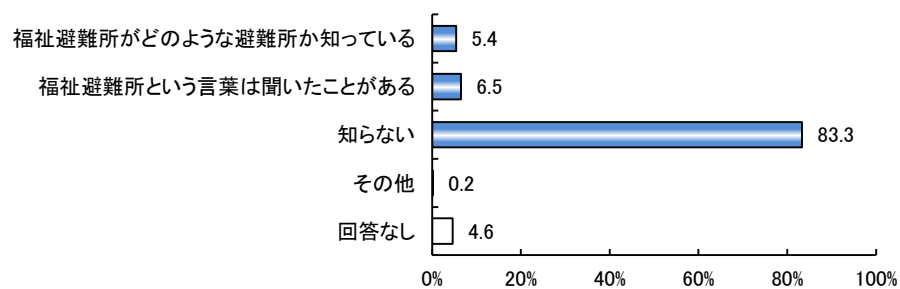


■ 知的障害 ■

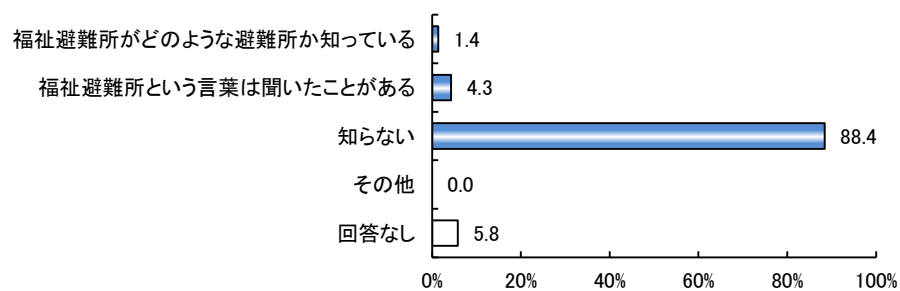




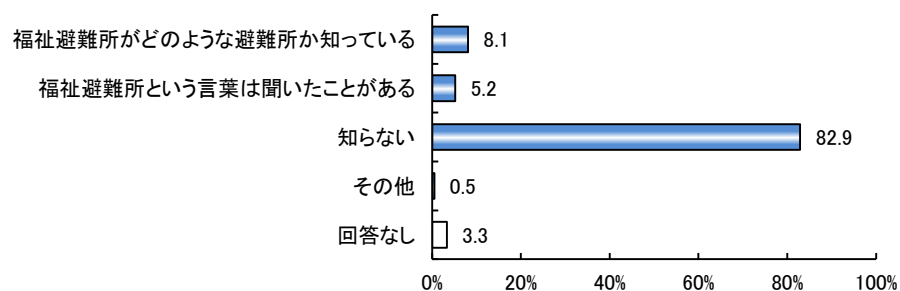
■ 精神障害 ■



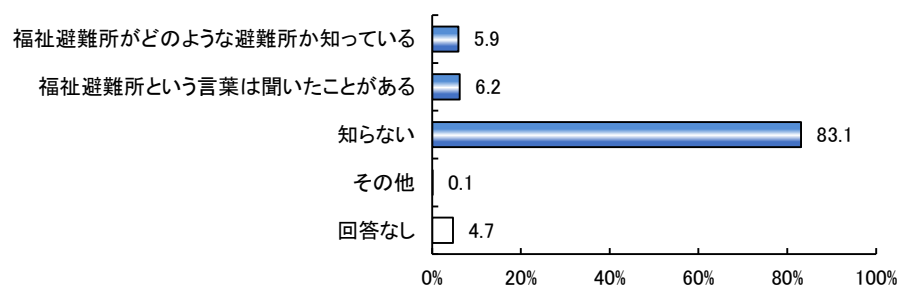
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



8-4 災害発生に際して必要なこと【問24】

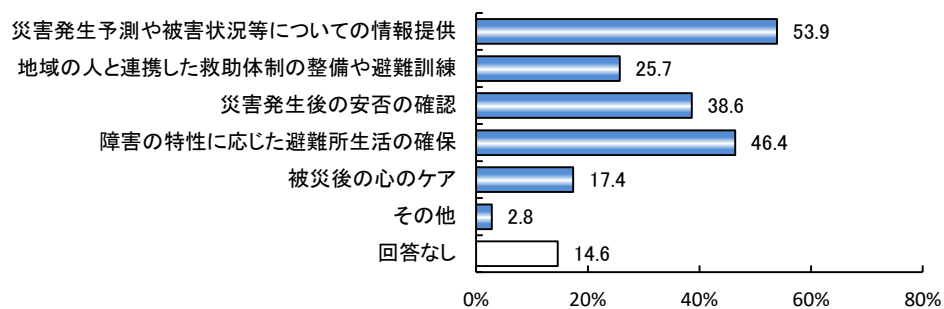
【問24】災害が発生した際に（又は、災害発生に備えて）必要なことは何ですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「災害発生予測や被害状況等についての情報提供」（55.4％）が最も多く、次いで「障害の特性に応じた避難所生活の確保」（46.1％）、「災害発生後の安否の確認」（42.2％）となっています。
- 障害種別でみると、知的では「障害の特性に応じた避難所生活の確保」、その他の障害種別では「災害発生予測や被害状況等についての情報提供」が最も多くなっています。

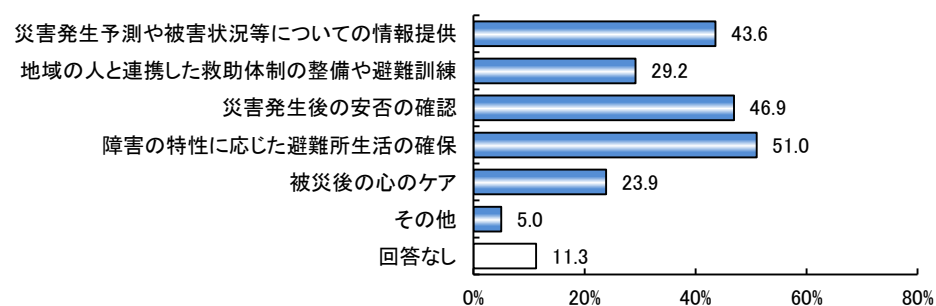
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	回答者数	災害発生予測 や被害状況等 についての 情報提供	地域の人(民生 委員や福祉サ ービス事業者 を含む)と連携 した救助体制 の整備や避難 訓練	災害発生後の 安否の確認	障害の特性に 応じた避難所 生活の確保	被災後の心の ケア	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	4,166 55.4	1,987 26.4	3,176 42.2	3,468 46.1	1,753 23.3	275 3.7	915 12.2
身体障害	4,131 100.0	2,226 53.9	1,062 25.7	1,593 38.6	1,917 46.4	719 17.4	115 2.8	602 14.6
知的障害	661 100.0	288 43.6	193 29.2	310 46.9	337 51.0	158 23.9	33 5.0	75 11.3
精神障害	1,318 100.0	763 57.9	350 26.6	578 43.9	607 46.1	527 40.0	82 6.2	111 8.4
発達障害	69 100.0	44 63.8	25 36.2	36 52.2	35 50.7	33 47.8	1 1.4	5 7.2
高次脳 機能障害	211 100.0	121 57.3	59 28.0	111 52.6	96 45.5	50 23.7	11 5.2	15 7.1
難病等	1,132 100.0	724 64.0	298 26.3	548 48.4	476 42.0	266 23.5	33 2.9	107 9.5

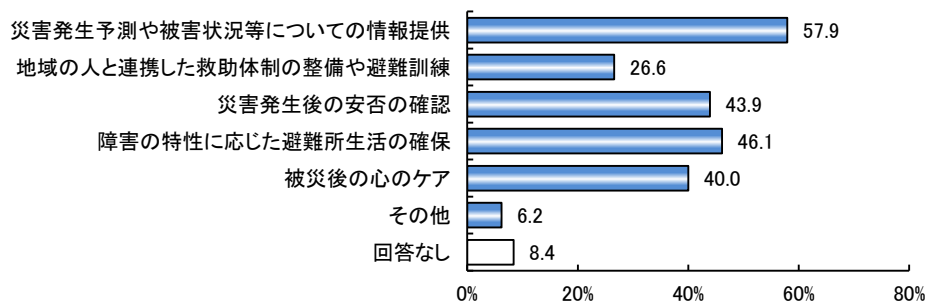
■ 身体障害 ■



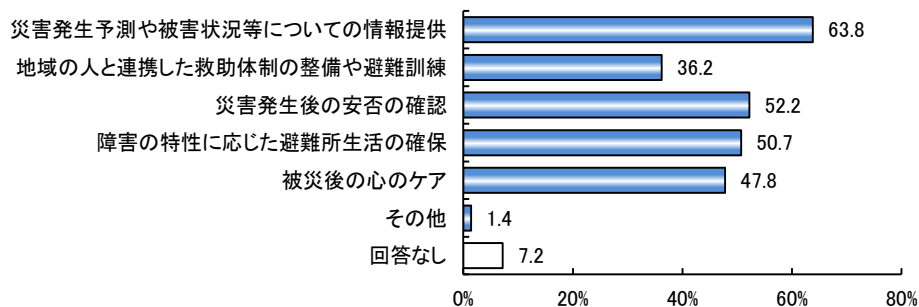
■ 知的障害 ■



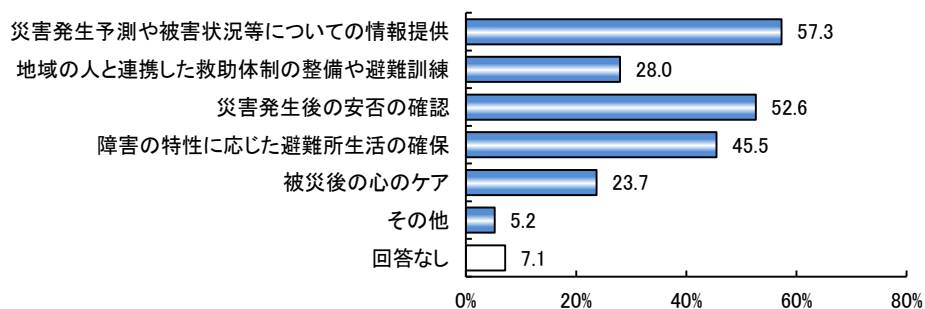
■ 精神障害 ■



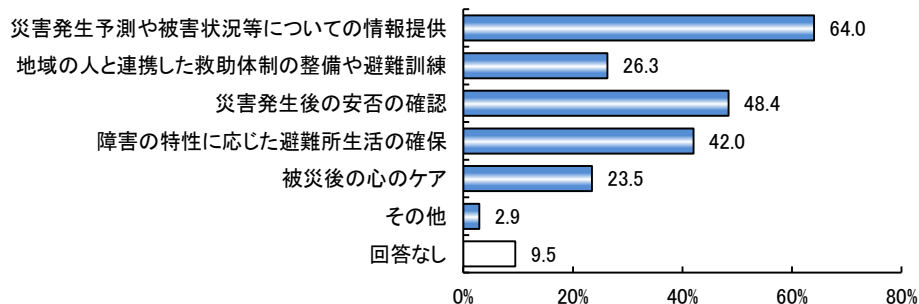
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



9 障害や障害者への理解などについて

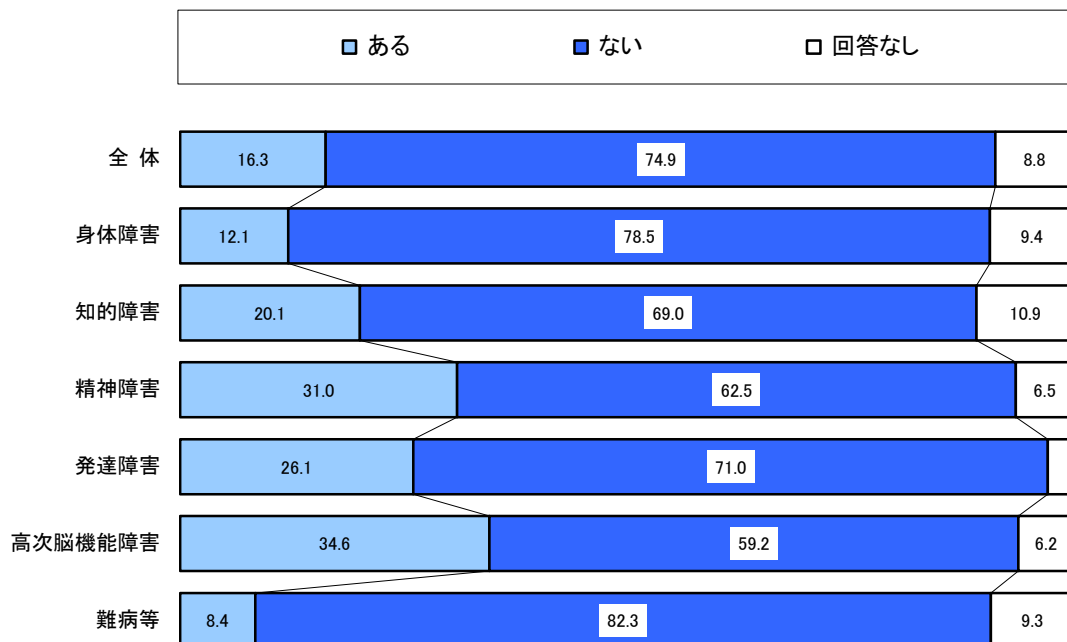
9-1 差別経験の有無【問26】

【問26】あなたは、この5年間に、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「ない」（74.9％）が、「ある」（16.3％）より多くなっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも、「ない」が「ある」より多くなっています。「ある」の割合は、身体 12.1％、知的 20.1％、精神 31.0％、発達 26.1％、高次脳機能 34.6％、難病等 8.4％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	あ る	な い	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,227 16.3	5,630 74.9	665 8.8
身体障害	4,131 100.0	499 12.1	3,245 78.5	387 9.4
知的障害	661 100.0	133 20.1	456 69.0	72 10.9
精神障害	1,318 100.0	409 31.0	823 62.5	86 6.5
発達障害	69 100.0	18 26.1	49 71.0	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	73 34.6	125 59.2	13 6.2
難病等	1,132 100.0	95 8.4	932 82.3	105 9.3





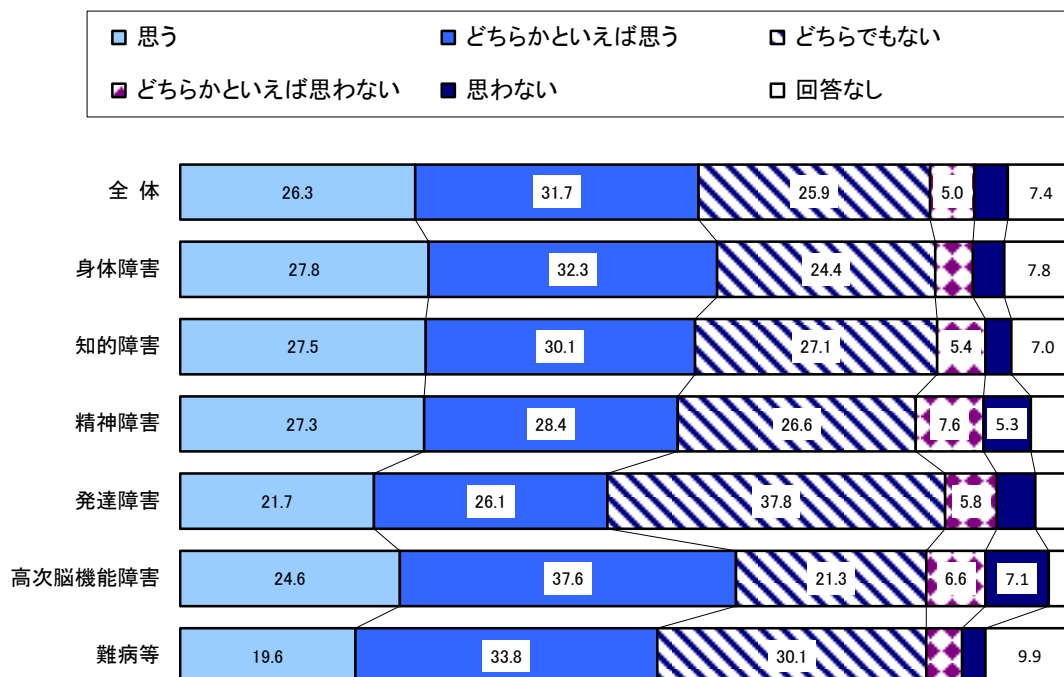
9-2 市職員の障害・障害者に対する理解の有無【問27】

【問27】あなたは、名古屋市職員（区役所や、地下鉄・市バスなどの交通機関の職員等を含む）が、障害や障害者に対する正しい理解や認識を持って、接していると思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「どちらかといえば思う」（31.7％）が最も多く、「思う」、「どちらかといえば思う」の合計（58.0％）は、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計（8.7％）より多くなっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「思う」、「どちらかといえば思う」の合計が、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計より多くなっています。「思う」、「どちらかといえば思う」の合計は、身体 60.1％、知的 57.6％、精神 55.7％、発達 47.8％、高次脳機能 62.2％、難病等 53.4％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	思う	どちらかといえば 思う	どちらでもない	どちらかといえば 思わない	思わない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,981 26.3	2,380 31.7	1,951 25.9	374 5.0	282 3.7	554 7.4
身体障害	4,131 100.0	1,150 27.8	1,327 32.3	1,009 24.4	175 4.2	146 3.5	324 7.8
知的障害	661 100.0	182 27.5	199 30.1	179 27.1	36 5.4	19 2.9	46 7.0
精神障害	1,318 100.0	360 27.3	374 28.4	351 26.6	100 7.6	70 5.3	63 4.8
発達障害	69 100.0	15 21.7	18 26.1	26 37.8	4 5.8	3 4.3	3 4.3
高次脳 機能障害	211 100.0	52 24.6	79 37.6	45 21.3	14 6.6	15 7.1	6 2.8
難病等	1,132 100.0	222 19.6	383 33.8	341 30.1	45 4.0	29 2.6	112 9.9



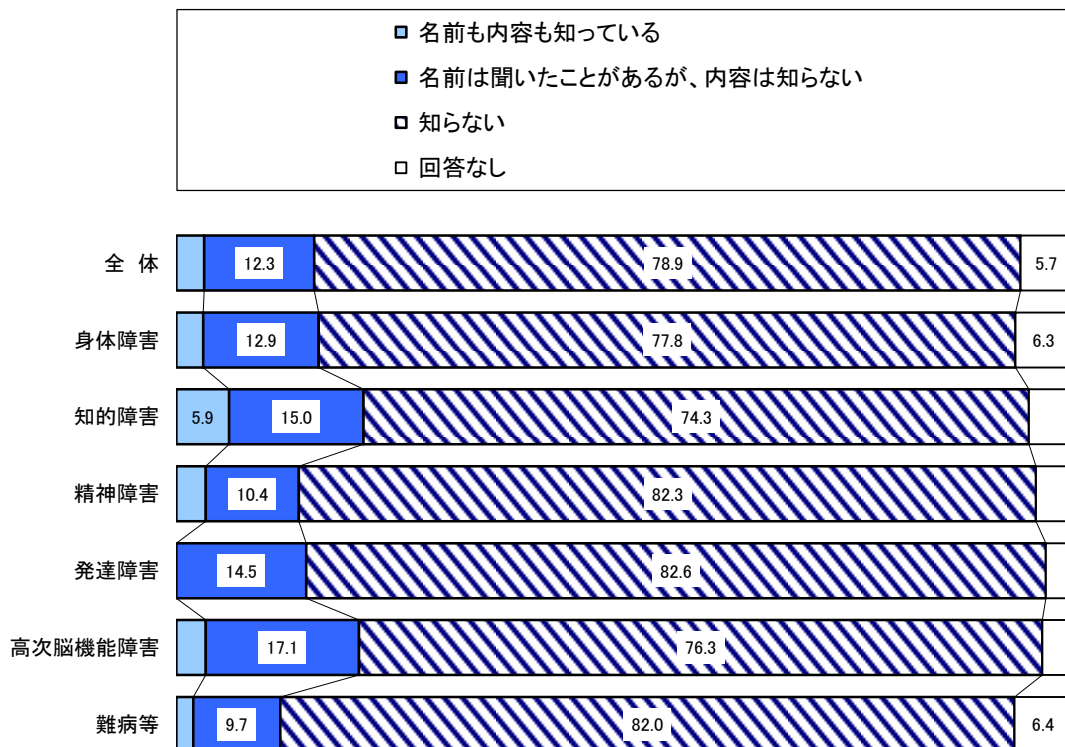
9-3 条例認知の有無【問28】

【問28】名古屋市が「障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」を策定・施行したことを知っていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「知らない」（78.9％）が最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」（12.3％）、「名前も内容も知っている」（3.1％）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「知らない」が最も多くなっています。「名前も内容も知っている」のは、身体 3.0％、知的 5.9％、精神 3.3％、発達 0％、高次脳機能 3.3％、難病等 1.9％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	名前も内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	回答なし
全 体	7,522 100.0	235 3.1	925 12.3	5,934 78.9	428 5.7
身体障害	4,131 100.0	124 3.0	533 12.9	3,212 77.8	262 6.3
知的障害	661 100.0	39 5.9	99 15.0	491 74.3	32 4.8
精神障害	1,318 100.0	43 3.3	137 10.4	1,085 82.3	53 4.0
発達障害	69 100.0	0 0.0	10 14.5	57 82.6	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	7 3.3	36 17.1	161 76.3	7 3.3
難病等	1,132 100.0	22 1.9	110 9.7	928 82.0	72 6.4





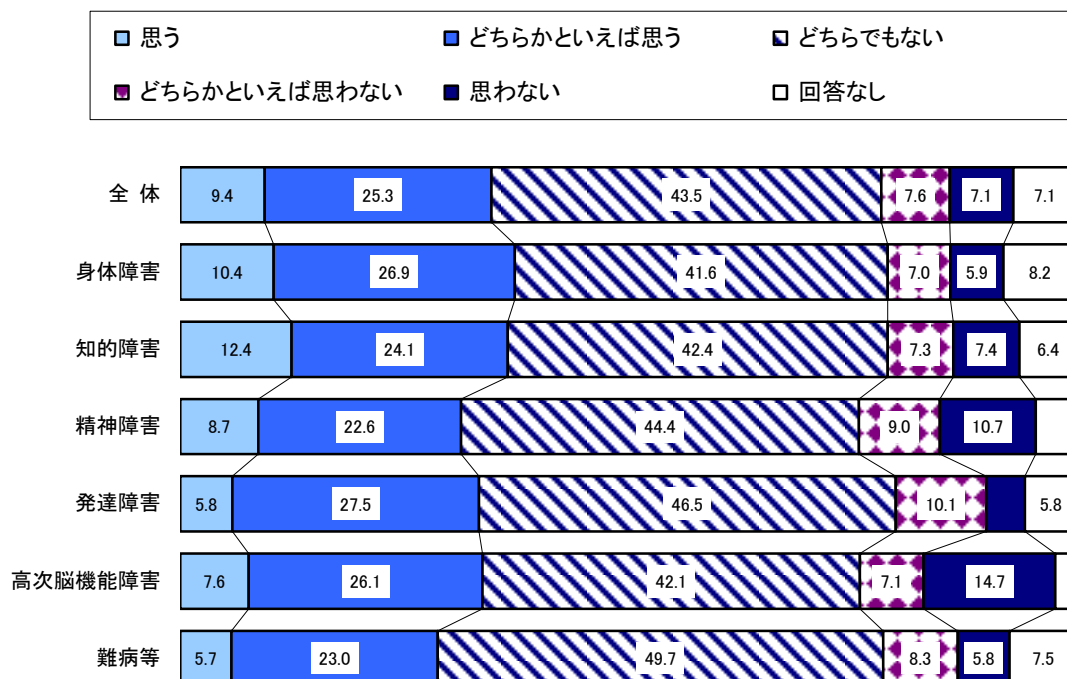
9-4 人権社会実現の現状【問29】

【問29】名古屋市では、「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」を目指しています。あなたは、現在の名古屋市がこのような社会になっていると思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「思う」、「どちらかといえば思う」の合計（34.7％）は、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計（14.7％）より多くなっています。一方、「どちらでもない」は43.5％となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「思う」、「どちらかといえば思う」の合計が、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計より多くなっています。「思う」、「どちらかといえば思う」の合計は、身体37.3％、知的36.5％、精神31.3％、発達33.3％、高次脳機能33.7％、難病等28.7％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	思う	どちらかといえば 思う	どちらでもない	どちらかといえば 思わない	思わない	回答なし
全 体	7,522 100.0	709 9.4	1,901 25.3	3,272 43.5	570 7.6	533 7.1	537 7.1
身体障害	4,131 100.0	428 10.4	1,110 26.9	1,722 41.6	288 7.0	243 5.9	340 8.2
知的障害	661 100.0	82 12.4	159 24.1	281 42.4	48 7.3	49 7.4	42 6.4
精神障害	1,318 100.0	115 8.7	298 22.6	585 44.4	118 9.0	141 10.7	61 4.6
発達障害	69 100.0	4 5.8	19 27.5	32 46.5	7 10.1	3 4.3	4 5.8
高次脳 機能障害	211 100.0	16 7.6	55 26.1	89 42.1	15 7.1	31 14.7	5 2.4
難病等	1,132 100.0	64 5.7	260 23.0	563 49.7	94 8.3	66 5.8	85 7.5



9-5 人権社会実現への施策【問30】

【問30】「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」に向けて、今後、名古屋市が、とくに力をいれるべきことはどのようなことと思いますか。
(いくつでも○)

- 全体をみると、「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」(48.4%)が最も多く、次いで「バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める」(43.1%)、「障害を理由とする差別を解消する」(39.6%)、「災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める」(38.0%)、「人権教育や福祉教育を進める」(37.2%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」が最も多く、次いで「バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める」、知的では「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」が最も多く、次いで「障害を理由とする差別を解消する」、精神では「障害を理由とする差別を解消する」が最も多く、次いで「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」、発達では「バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める」が最も多く、次いで「円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実する」、高次脳機能では「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」が最も多く、次いで「医療現場・リハビリテーションを充実するとともに、退院・退所後も引き続き地域で安心して暮らせるような支援体制の整備を進める」、難病等では「バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める」が最も多く、次いで「障害者への理解を促進するための啓発活動を進める」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

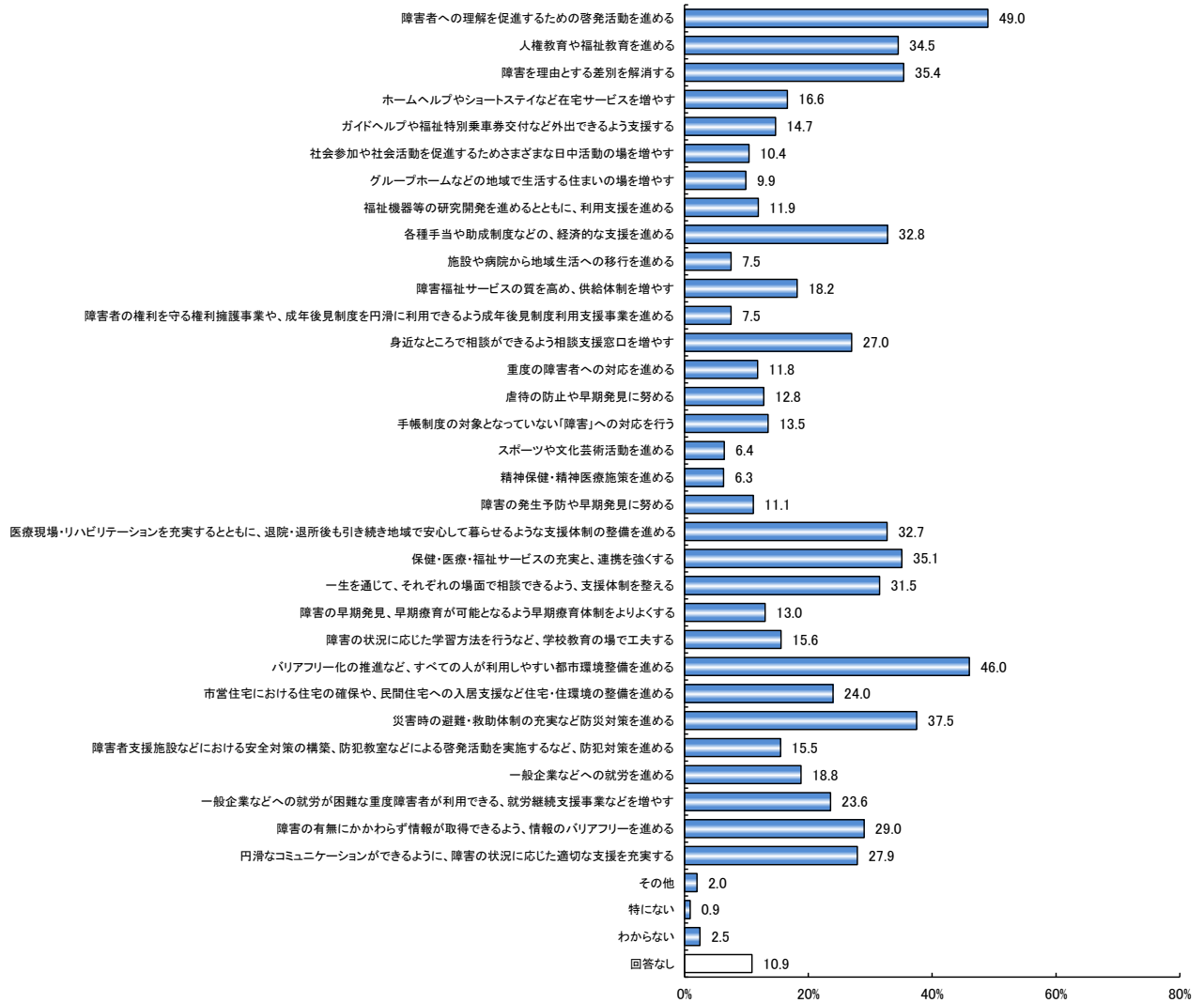
	回答者数	障害者への理解を促進するための啓発活動を進める	人権教育や福祉教育を進める	障害を理由とする差別を解消する	ホームヘルプやショートステイなど在宅サービスを増やす	ガイドヘルプや福祉特別乗車券交付など外出できるよう支援する	社会参加や社会活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす	グループホームなどの地域で生活する住まいの場を増やす	福祉機器等の研究開発を進めるとともに、利用支援を進める	各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める	施設や病院から地域生活への移行を進める	障害福祉サービスの質を高め、供給体制を増やす	障害者の権利を守る権利擁護事業や、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見制度利用支援事業を進める	身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす
全 体	7,522 100.0	3,642 48.4	2,797 37.2	2,980 39.6	1,295 17.2	1,218 16.2	992 13.2	1,069 14.2	860 11.4	2,713 36.1	667 8.9	1,497 19.9	767 10.2	2,233 29.7
身体障害	4,131 100.0	2,025 49.0	1,425 34.5	1,464 35.4	684 16.6	607 14.7	430 10.4	409 9.9	490 11.9	1,355 32.8	311 7.5	753 18.2	310 7.5	1,114 27.0
知的障害	661 100.0	334 50.5	270 40.8	322 48.7	164 24.8	120 18.2	123 18.6	254 38.4	37 5.6	236 35.7	47 7.1	157 23.8	139 21.0	209 31.6
精神障害	1,318 100.0	628 47.6	538 40.8	638 48.4	184 14.0	278 21.1	238 18.1	217 16.5	136 10.3	598 45.4	166 12.6	345 26.2	188 14.3	475 36.0
発達障害	69 100.0	28 40.6	30 43.5	28 40.6	10 14.5	9 13.0	18 26.1	9 13.0	7 10.1	26 37.7	10 14.5	18 26.1	12 17.4	31 44.9
高次脳機能障害	211 100.0	115 54.5	68 32.2	90 42.7	24 11.4	42 19.9	28 13.3	25 11.8	36 17.1	69 32.7	27 12.8	48 22.7	26 12.3	65 30.8
難病等	1,132 100.0	512 45.2	466 41.2	438 38.7	229 20.2	162 14.3	155 13.7	155 13.7	154 13.6	429 37.9	106 9.4	176 15.5	92 8.1	339 29.9

9 障害や障害者への理解などについて

	重度の障害者への対応を進める	虐待の防止や早期発見に努める	手帳制度の対象となっていない「障害」への対応を行う	スポーツや文化芸術活動を進める	精神保健・精神医療施策を進める	障害の発生予防や早期発見に努める	医療現場リハビリテーションを充実するとともに、退院・退所後も引き続き地域で安心して暮らせるような支援体制の整備を進める	保健・医療・福祉サービスの充実と、連携を強くする	一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える	障害の早期発見、早期療育が可能となるよう早期療育体制をよりよくする	障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する	バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める
全 体	917 12.2	1,260 16.8	1,319 17.5	600 8.0	1,068 14.2	1,085 14.4	2,398 31.9	2,745 36.5	2,766 36.8	1,288 17.1	1,524 20.3	3,244 43.1
身体障害	488 11.8	530 12.8	558 13.5	266 6.4	262 6.3	460 11.1	1,350 32.7	1,448 35.1	1,300 31.5	537 13.0	643 15.6	1,902 46.0
知的障害	106 16.0	151 22.8	107 16.2	75 11.3	67 10.1	88 13.3	154 23.3	265 40.1	319 48.3	126 19.1	183 27.7	212 32.1
精神障害	168 12.7	292 22.2	343 26.0	144 10.9	550 41.7	293 22.2	341 25.9	493 37.4	608 46.1	326 24.7	371 28.1	438 33.2
発達障害	9 13.0	17 24.6	20 29.0	11 15.9	23 33.3	14 20.3	23 33.3	23 33.3	32 46.4	22 31.9	25 36.2	34 49.3
高次脳機能障害	25 11.8	42 19.9	46 21.8	17 8.1	47 22.3	41 19.4	101 47.9	60 28.4	96 45.5	38 18.0	42 19.9	94 44.5
難病等	121 10.7	228 20.1	245 21.6	87 7.7	119 10.5	189 16.7	429 37.9	456 40.3	411 36.3	239 21.1	260 23.0	564 49.8

	市営住宅における住宅の確保や、民間住宅への入居支援など住宅・住環境の整備を進める	災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める	障害者支援施設などにおける安全対策の構築、防犯教室などによる啓発活動を実施するなど、防犯対策を進める	一般企業などへの就労を進める	一般企業などへの就労が困難な重度障害者が利用できる、就労継続支援事業などを増やす	障害の有無にかかわらず情報が取得できるよう、情報のバリアフリーを進める	円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実する	その他	特になし	わからない	回答なし
全 体	2,149 28.6	2,857 38.0	1,365 18.1	1,809 24.0	2,135 28.4	2,270 30.2	2,438 32.4	187 2.5	67 0.9	200 2.7	684 9.1
身体障害	991 24.0	1,549 37.5	640 15.5	778 18.8	973 23.6	1,198 29.0	1,151 27.9	83 2.0	39 0.9	105 2.5	450 10.9
知的障害	211 31.9	248 37.5	190 28.7	166 25.1	232 35.1	158 23.9	282 42.7	10 1.5	5 0.8	21 3.2	50 7.6
精神障害	552 41.9	502 38.1	298 22.6	471 35.7	464 35.2	462 35.1	537 40.7	61 4.6	8 0.6	35 2.7	81 6.1
発達障害	28 40.6	23 33.3	19 27.5	25 36.2	28 40.6	23 33.3	33 47.8	3 4.3	1 1.4	0 0.0	2 2.9
高次脳機能障害	66 31.3	78 37.0	36 17.1	91 43.1	80 37.9	77 36.5	80 37.9	8 3.8	3 1.4	3 1.4	8 3.8
難病等	301 26.6	457 40.4	182 16.1	278 24.6	358 31.6	352 31.1	355 31.4	22 1.9	11 1.0	36 3.2	93 8.2

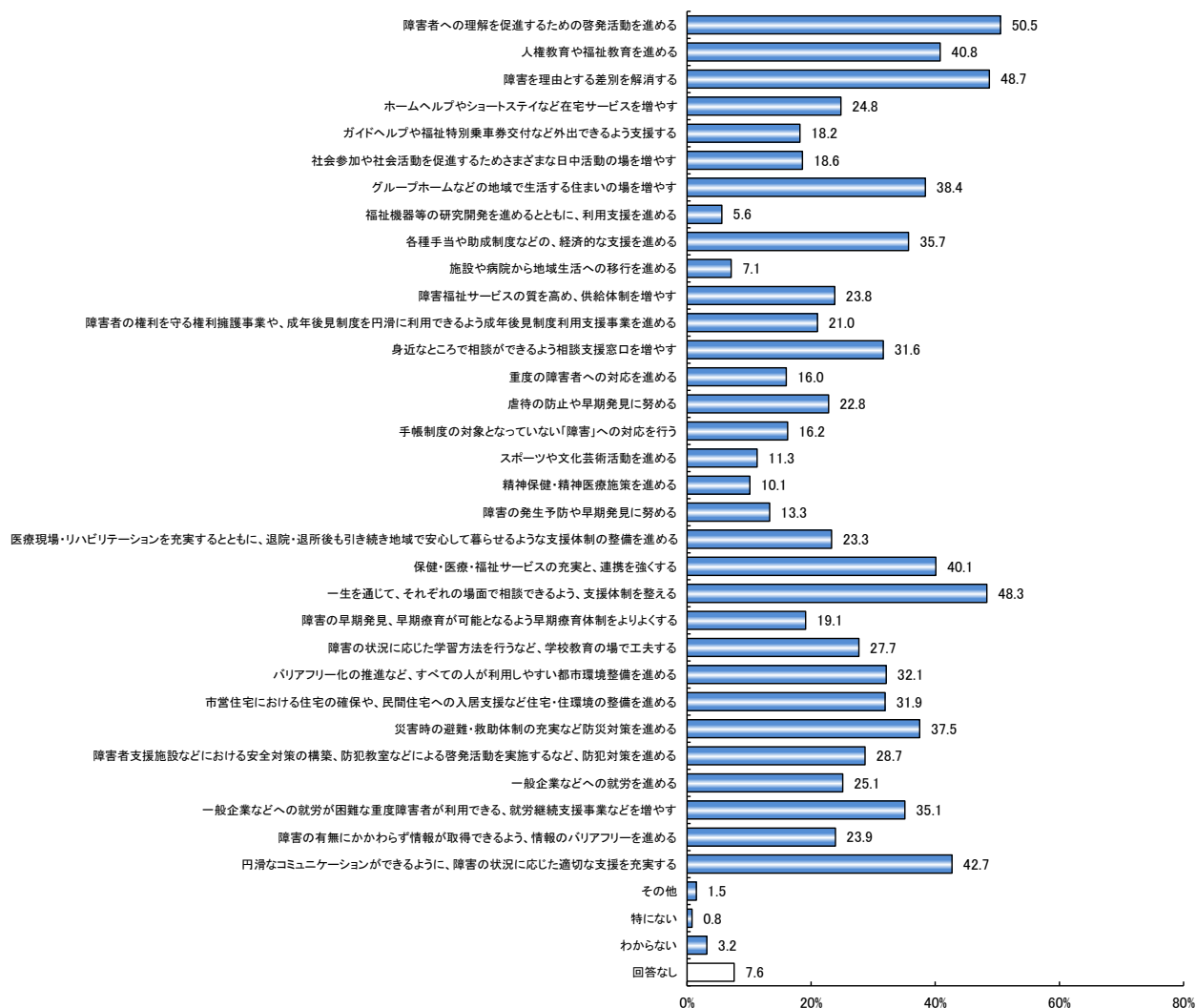
■ 身体障害 ■



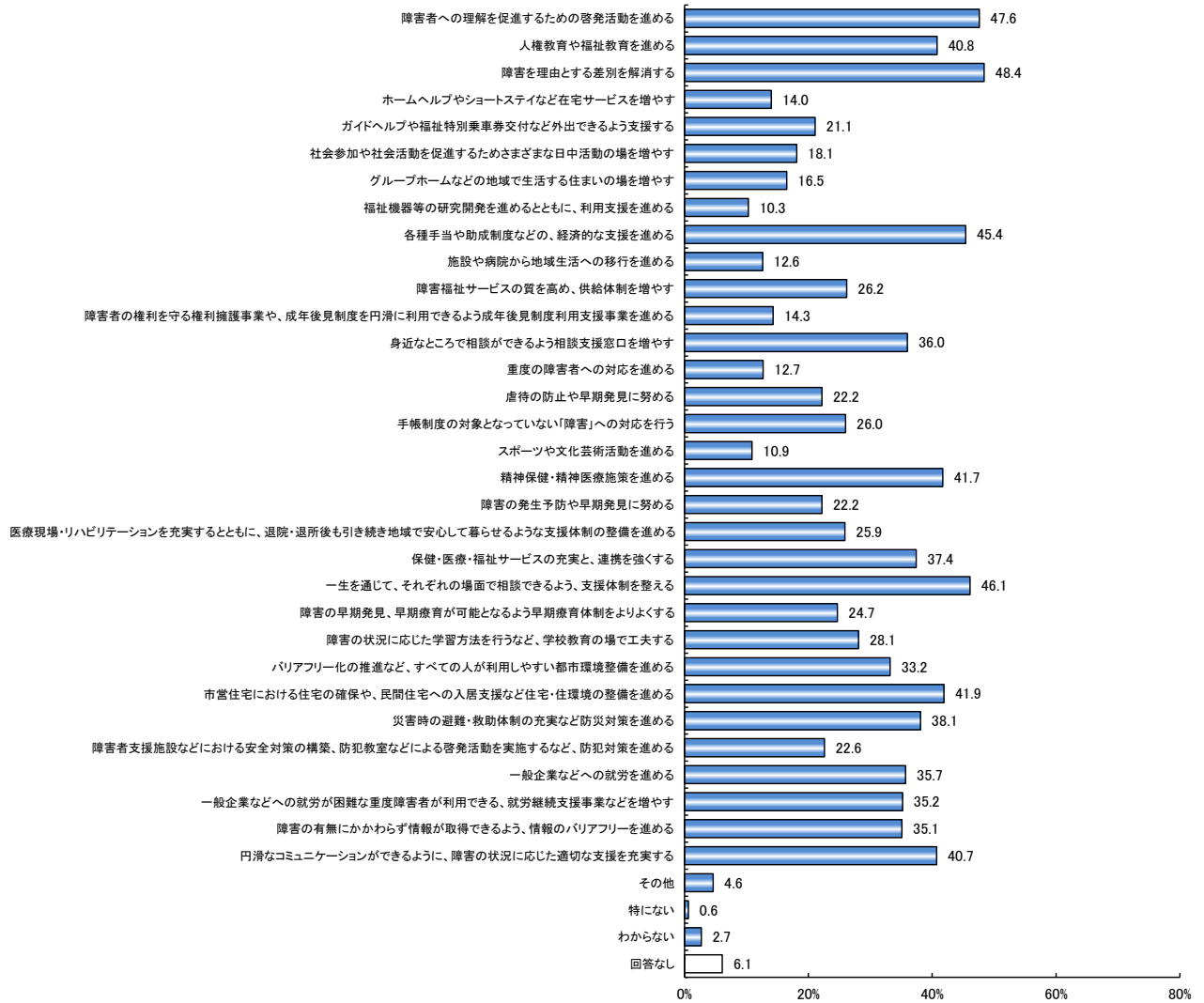


9 障害や障害者への理解などについて

知的障害



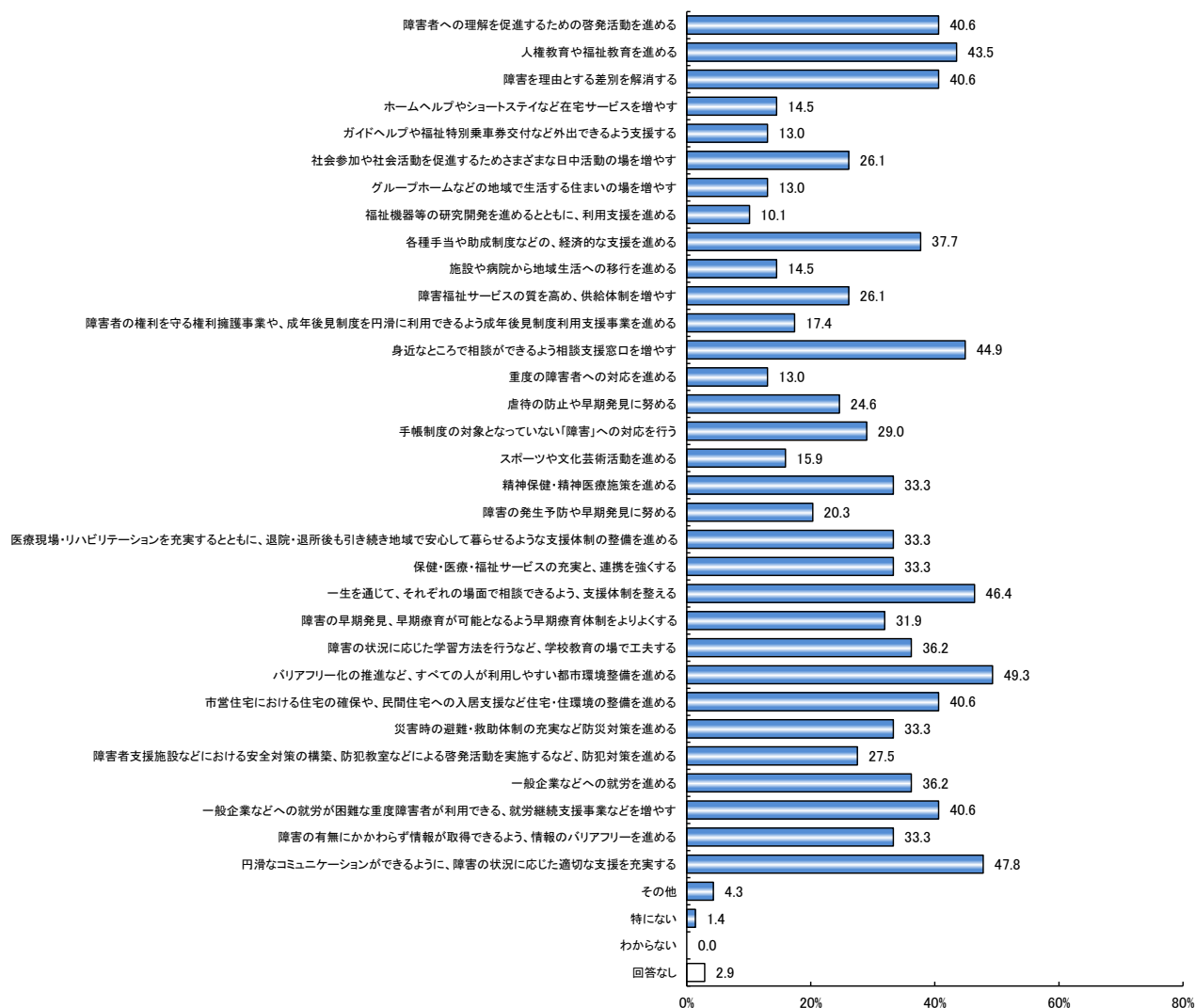
■ 精神障害 ■



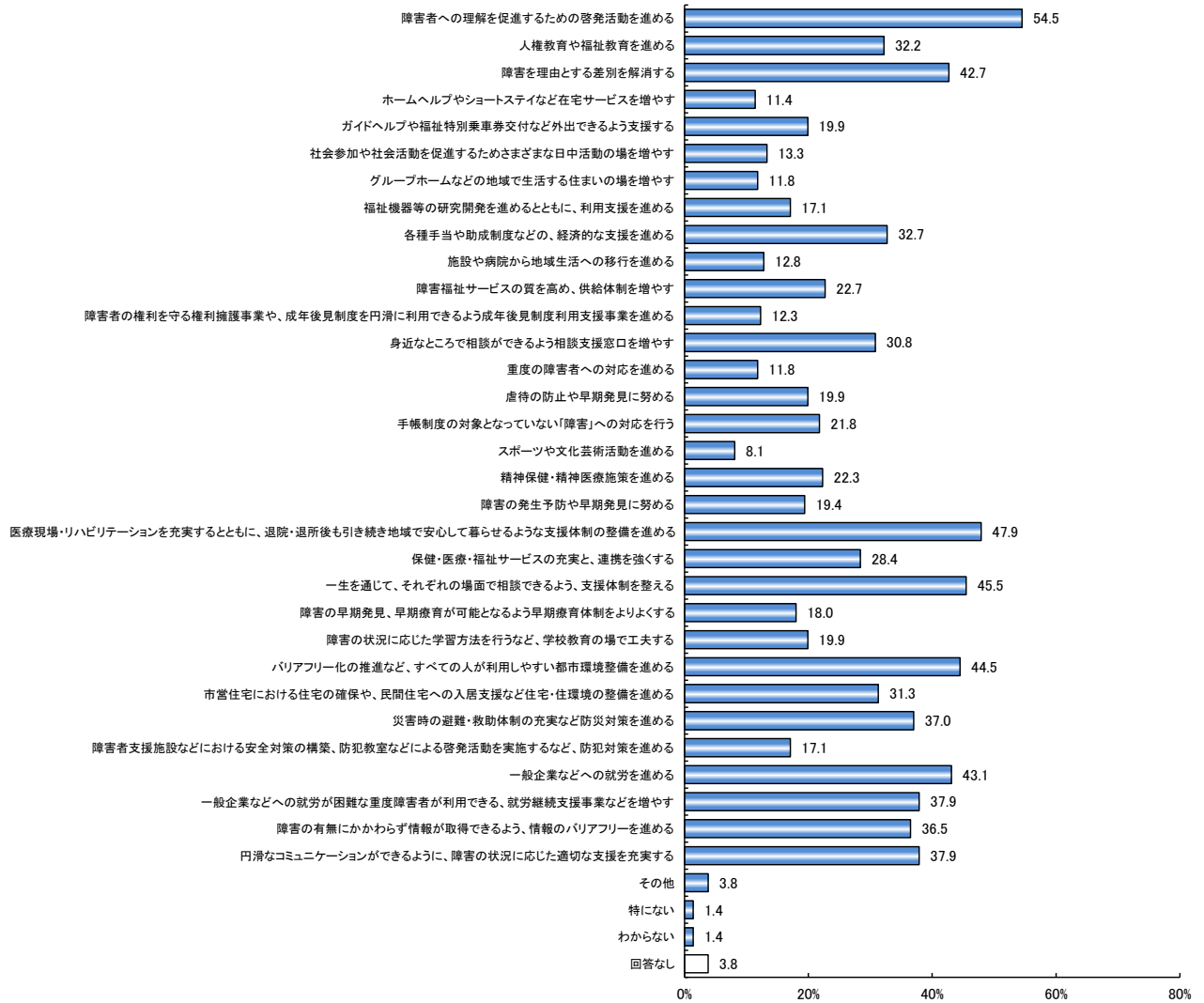


9 障害や障害者への理解などについて

■ 発達障害 ■



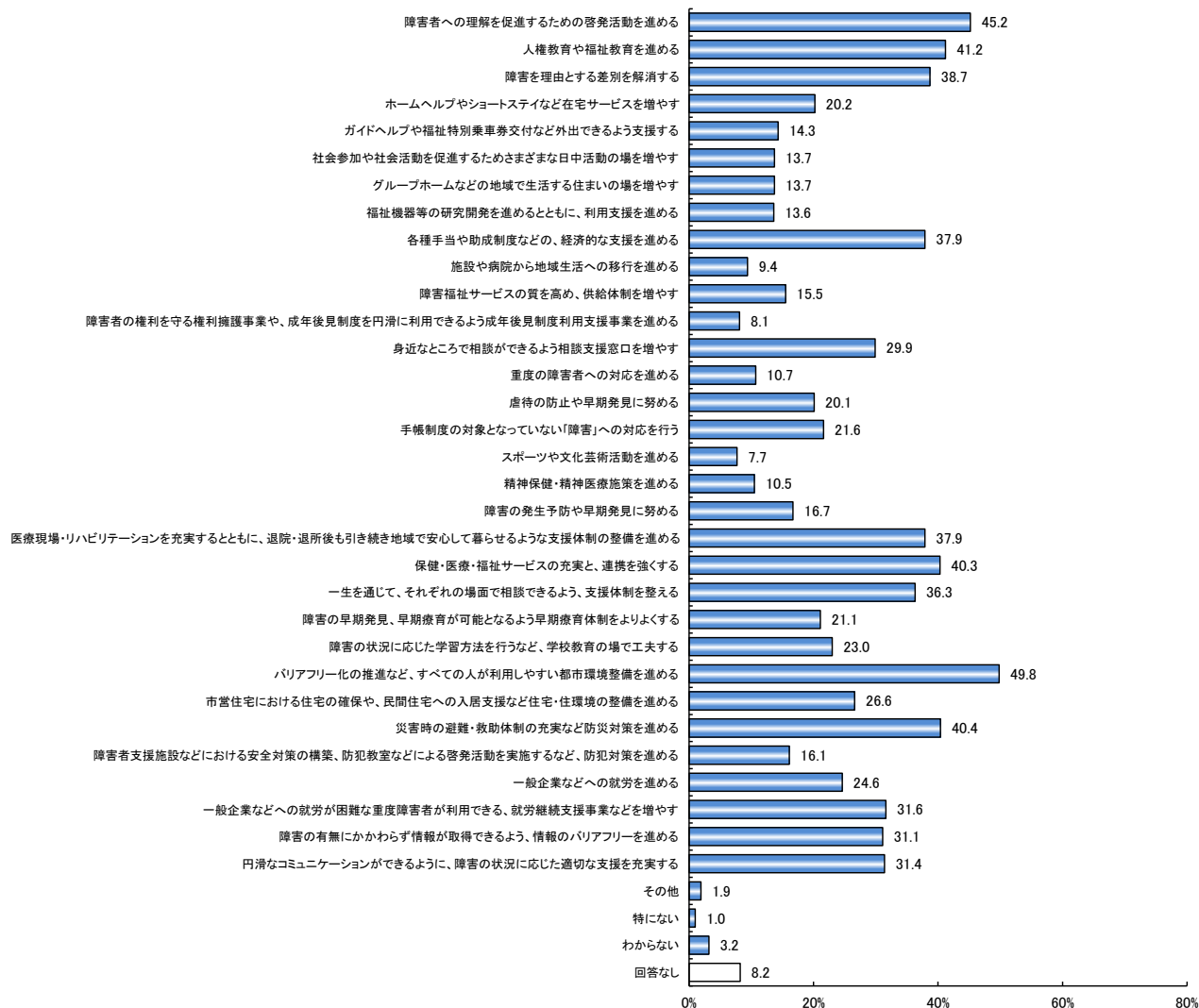
■ 高次脳機能障害 ■





9 障害や障害者への理解などについて

■ 難病等 ■





10 文化芸術活動・スポーツについて

10-1 文化芸術活動の種類【問31】

【問31】あなたは、文化芸術活動として、どのようなことを行っていますか。(いくつでも○)

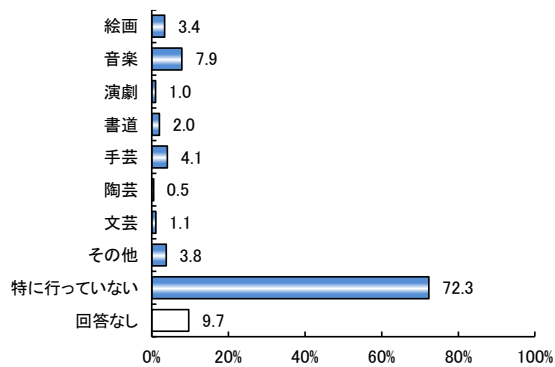
- 全体をみると、「特に行っていない」(71.3%)が最も多く、次いで「音楽」(10.5%)、「手芸」(4.8%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「特に行っていない」が最も多く、次いで「音楽」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

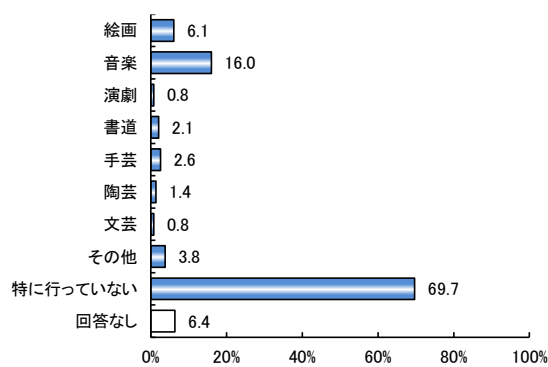
	回答者数	絵画	音楽	演劇	書道	手芸	陶芸	文芸	その他	特に行っていない	回答なし
全 体	7,522 100.0	339 4.5	788 10.5	93 1.2	161 2.1	360 4.8	46 0.6	107 1.4	290 3.9	5,361 71.3	604 8.0
身体障害	4,131 100.0	139 3.4	325 7.9	40 1.0	84 2.0	169 4.1	21 0.5	46 1.1	158 3.8	2,988 72.3	401 9.7
知的障害	661 100.0	40 6.1	106 16.0	5 0.8	14 2.1	17 2.6	9 1.4	5 0.8	25 3.8	461 69.7	42 6.4
精神障害	1,318 100.0	100 7.6	208 15.8	29 2.2	30 2.3	95 7.2	8 0.6	35 2.7	69 5.2	872 66.2	69 5.2
発達障害	69 100.0	7 10.1	12 17.4	0 0.0	2 2.9	6 8.7	1 1.4	2 2.9	2 2.9	47 68.1	4 5.8
高次脳機能障害	211 100.0	16 7.6	31 14.7	4 1.9	4 1.9	8 3.8	1 0.5	3 1.4	7 3.3	149 70.6	11 5.2
難病等	1,132 100.0	37 3.3	106 9.4	15 1.3	27 2.4	65 5.7	6 0.5	16 1.4	29 2.6	844 74.6	77 6.8



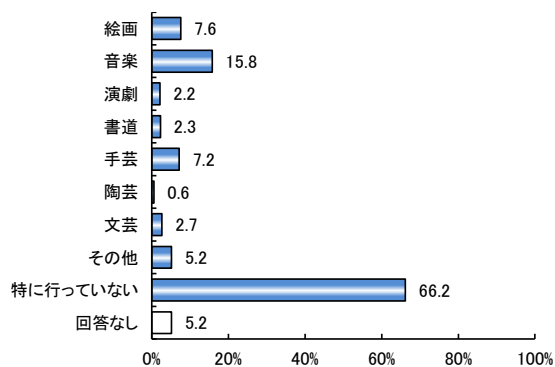
■ 身体障害 ■



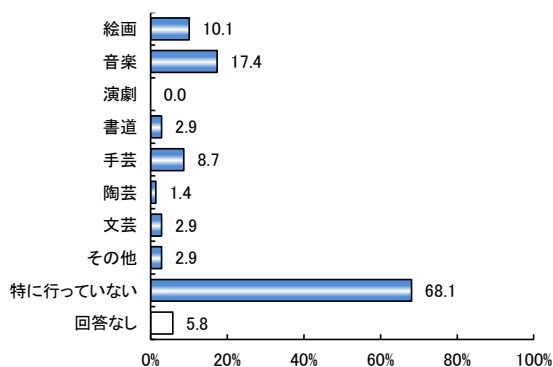
■ 知的障害 ■



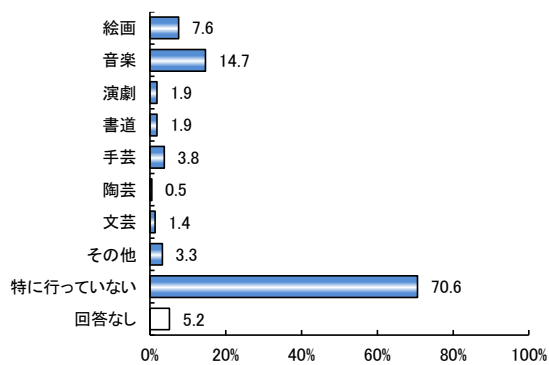
■ 精神障害 ■



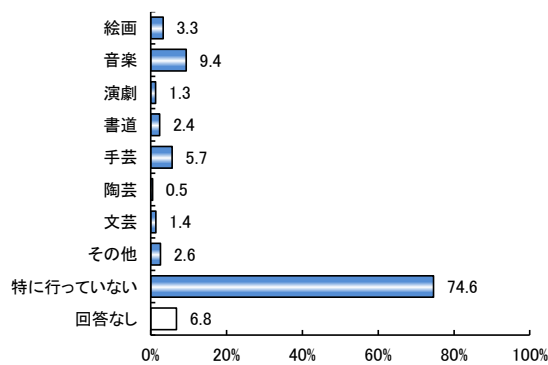
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



10-2 文化芸術活動を行う頻度【問32】

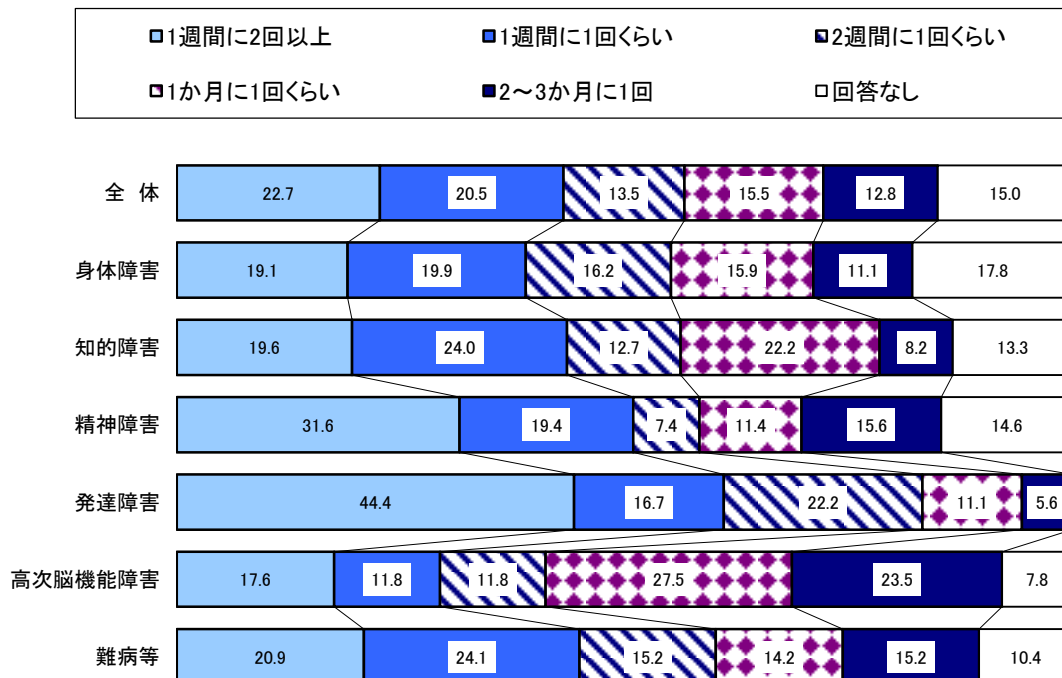
【問32】文化芸術活動を行っている方にお聞きます。

あなたが文化芸術活動を行う頻度はどのくらいですか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「1週間に2回以上」(22.7%)が最も多く、次いで「1週間に1回くらい」(20.5%)、「1か月に1回くらい」(15.5%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、難病等では「1週間に1回くらい」が最も多く、次いで「1週間に2回以上」、知的では「1週間に1回くらい」が最も多く、次いで「1か月に1回くらい」、精神では「1週間に2回以上」が最も多く、次いで「1週間に1回くらい」、発達では「1週間に2回以上」が最も多く、次いで「2週間に1回くらい」、高次脳機能では「1か月に1回くらい」が最も多く、次いで「2～3か月に1回」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	1週間に 2回以上	1週間に 1回くらい	2週間に 1回くらい	1か月に 1回くらい	2～3か月に1回	回答なし
全 体	1,557 100.0	353 22.7	319 20.5	210 13.5	242 15.5	199 12.8	234 15.0
身体障害	742 100.0	142 19.1	148 19.9	120 16.2	118 15.9	82 11.1	132 17.8
知的障害	158 100.0	31 19.6	38 24.0	20 12.7	35 22.2	13 8.2	21 13.3
精神障害	377 100.0	119 31.6	73 19.4	28 7.4	43 11.4	59 15.6	55 14.6
発達障害	18 100.0	8 44.4	3 16.7	4 22.2	2 11.1	1 5.6	0 0.0
高次脳 機能障害	51 100.0	9 17.6	6 11.8	6 11.8	14 27.5	12 23.5	4 7.8
難病等	211 100.0	44 20.9	51 24.1	32 15.2	30 14.2	32 15.2	22 10.4



10-3 作品展・発表会への参加意志【問33】

【問33】文化芸術活動を行っている方にお聞きます。

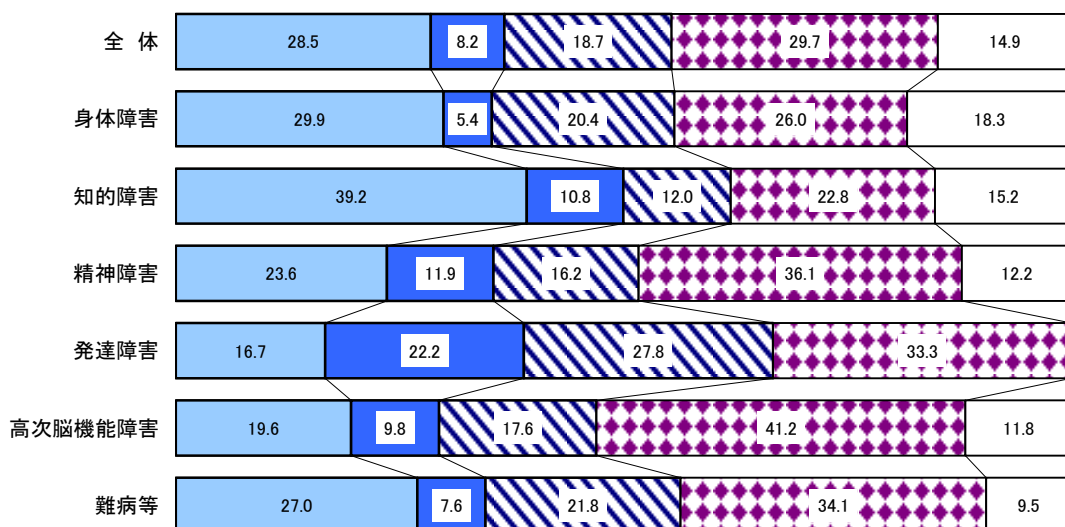
あなたは、文化芸術活動として作品展や発表会に出たいと思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「出たいと思わないため、出たことがない」（29.7％）が最も多く、次いで「出たことがある」（28.5％）、「出たことはないが、他の人の作品展や発表会を見に行ったことはある」（18.7％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的では「出たことがある」、精神、発達、高次脳機能、難病等では「出たいと思わないため、出たことがない」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	出たことがある	出たいと思うが、 出たことはない	出たことはないが、 他の人の作品展や 発表会を見に行った ことはある	出たいと思わないた め、出たことがない	回答なし
全 体	1,557 100.0	443 28.5	127 8.2	291 18.7	464 29.7	232 14.9
身体障害	742 100.0	222 29.9	40 5.4	151 20.4	193 26.0	136 18.3
知的障害	158 100.0	62 39.2	17 10.8	19 12.0	36 22.8	24 15.2
精神障害	377 100.0	89 23.6	45 11.9	61 16.2	136 36.1	46 12.2
発達障害	18 100.0	3 16.7	4 22.2	5 27.8	6 33.3	0 0.0
高次脳 機能障害	51 100.0	10 19.6	5 9.8	9 17.6	21 41.2	6 11.8
難病等	211 100.0	57 27.0	16 7.6	46 21.8	72 34.1	20 9.5

- 出たことがある
- 出たいと思うが、出たことはない
- ▨ 出たことはないが、他の人の作品展や発表会を見に行ったことはある
- 出たいと思わないため、出たことがない
- 回答なし



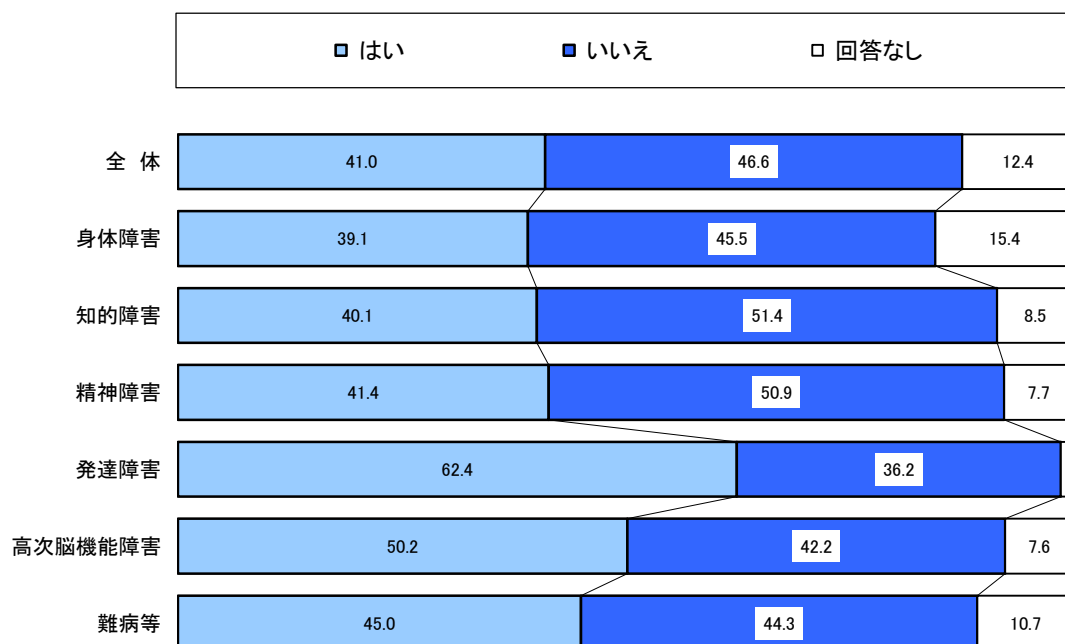


10-4 運動やスポーツの実施有無【問34】

【問34】あなたは、健康づくりのために意識的に行う運動・スポーツを、種類に関係なく合わせて1週間に1回以上行っていますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「はい」(41.0%)、「いいえ」(46.6%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、精神では「いいえ」が、「はい」より多く、発達、高次脳機能、難病等では「はい」が、「いいえ」より多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕				
	合 計	はい	いいえ	回答なし
全 体	7,522 100.0	3,084 41.0	3,507 46.6	931 12.4
身体障害	4,131 100.0	1,616 39.1	1,880 45.5	635 15.4
知的障害	661 100.0	265 40.1	340 51.4	56 8.5
精神障害	1,318 100.0	545 41.4	671 50.9	102 7.7
発達障害	69 100.0	43 62.4	25 36.2	1 1.4
高次脳機能障害	211 100.0	106 50.2	89 42.2	16 7.6
難病等	1,132 100.0	509 45.0	502 44.3	121 10.7



10-5 運動やスポーツを行わない理由【問34-①】

【問34-①】問34で「2. いいえ」を選択した方にお聞きします。

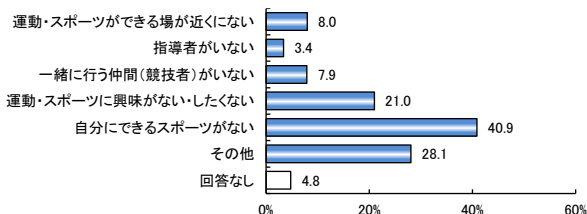
あなたが運動やスポーツを行わない理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「自分にできるスポーツがない」(34.5%)が最も多く、次いで「その他」(27.7%)、「運動・スポーツに興味がない・したくない」(27.0%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「自分にできるスポーツがない」が最も多く、次いで「その他」、知的、高次脳機能では「運動・スポーツに興味がない・したくない」が最も多く、次いで「自分にできるスポーツがない」、精神では「運動・スポーツに興味がない・したくない」が最も多く、次いで「その他」、発達では「運動・スポーツに興味がない・したくない」が最も多く、難病等では「その他」が最も多く、次いで「自分にできるスポーツがない」となっています。

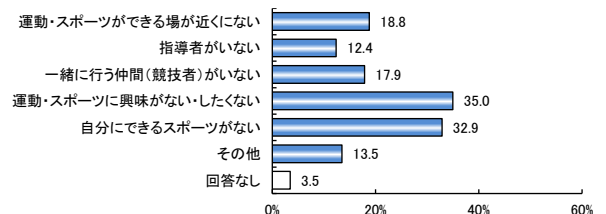
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	運動・スポーツ ができる場が 近くにない	指導者が いない	一緒に行う 仲間(競技者) がいない	運動・スポーツ に興味がない・ したくない	自分にできる スポーツがない	その他	回答なし
全 体	3,507 100.0	352 10.0	171 4.9	381 10.9	948 27.0	1,209 34.5	972 27.7	148 4.2
身体障害	1,880 100.0	151 8.0	63 3.4	148 7.9	394 21.0	768 40.9	529 28.1	90 4.8
知的障害	340 100.0	64 18.8	42 12.4	61 17.9	119 35.0	112 32.9	46 13.5	12 3.5
精神障害	671 100.0	76 11.3	42 6.3	94 14.0	272 40.5	164 24.4	191 28.5	23 3.4
発達障害	25 100.0	2 8.0	1 4.0	5 20.0	13 52.0	5 20.0	5 20.0	1 4.0
高次脳 機能障害	89 100.0	18 20.2	9 10.1	16 18.0	29 32.6	27 30.3	18 20.2	1 1.1
難病等	502 100.0	41 8.2	14 2.8	57 11.4	121 24.1	133 26.5	183 36.5	21 4.2

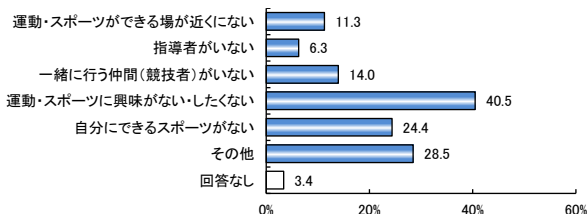
■ 身体障害 ■



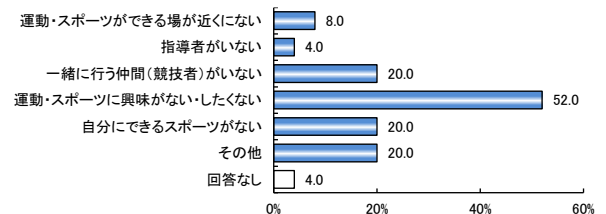
■ 知的障害 ■



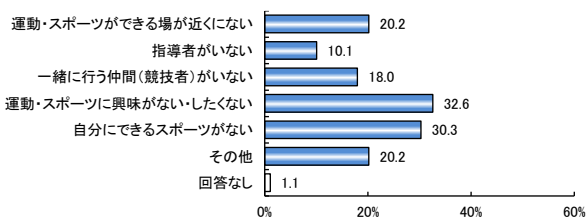
■ 精神障害 ■



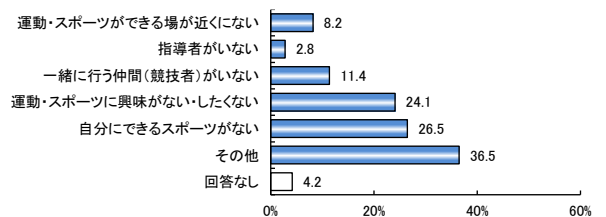
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



11 外出の状況について

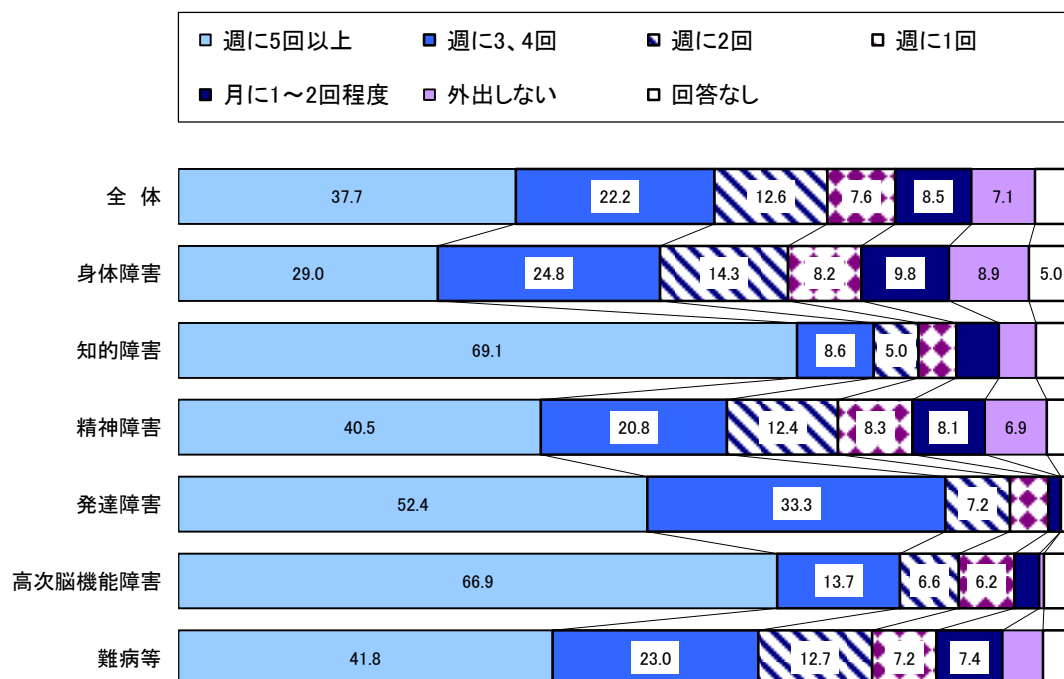
11-1 外出頻度【問36】

【問36】あなたは、通勤や通学、通院や買い物などの外出を、月にどのくらいしますか。
(最も近いもの1つに○)

- 全体をみると、「週に5回以上」(37.7%)、が最も多く、次いで「週に3、4回」(22.2%)、「週に2回」(12.6%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「週に5回以上」が最も多く、次いで「週に3、4回」となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	合 計	週に5回以上	週に3、4回	週に2回	週に1回	月に1～2回程度	外出しない	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,836 37.7	1,669 22.2	950 12.6	575 7.6	636 8.5	536 7.1	320 4.3
身体障害	4,131 100.0	1,197 29.0	1,026 24.8	590 14.3	340 8.2	406 9.8	366 8.9	206 5.0
知的障害	661 100.0	456 69.1	57 8.6	33 5.0	28 4.2	32 4.8	27 4.1	28 4.2
精神障害	1,318 100.0	534 40.5	274 20.8	164 12.4	109 8.3	107 8.1	91 6.9	39 3.0
発達障害	69 100.0	36 52.4	23 33.3	5 7.2	3 4.3	1 1.4	0 0.0	1 1.4
高次脳機能障害	211 100.0	141 66.9	29 13.7	14 6.6	13 6.2	6 2.8	1 0.5	7 3.3
難病等	1,132 100.0	472 41.8	260 23.0	144 12.7	82 7.2	84 7.4	51 4.5	39 3.4





11-2 外出の目的【問37】

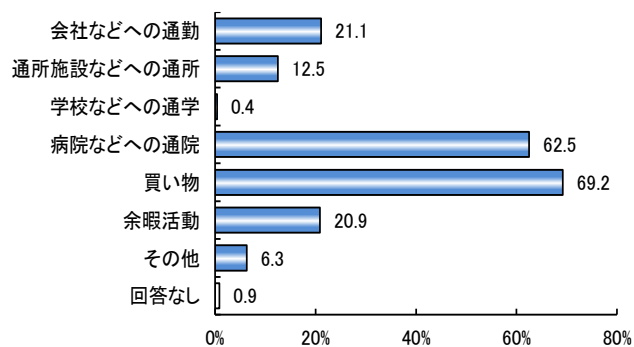
【問37】どのような目的で外出することが多いですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「買い物」(68.7%)が最も多く、次いで「病院などへの通院」(58.0%)、「会社などへの通勤」(28.7%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「買い物」が最も多く、次いで身体、精神、発達、難病等では「病院などへの通院」、知的では「通所施設などへの通所」、高次脳機能では「会社などへの通勤」となっています。

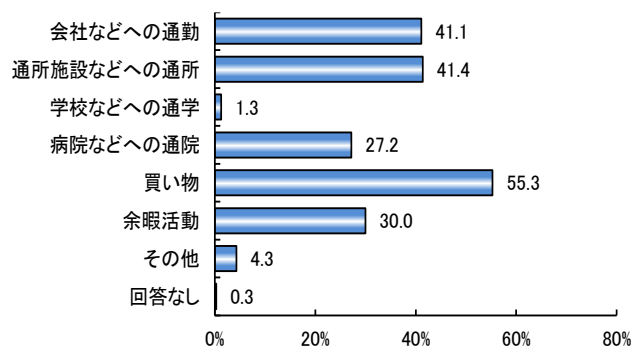
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	会社などへの 通勤	通所施設など への通所	学校などへの 通学	病院などへの 通院	買い物	余暇活動	その他	回答なし
全 体	6,666 100.0	1,915 28.7	1,011 15.2	52 0.8	3,868 58.0	4,577 68.7	1,524 22.9	388 5.8	51 0.8
身体障害	3,559 100.0	752 21.1	444 12.5	13 0.4	2,224 62.5	2,462 69.2	745 20.9	225 6.3	32 0.9
知的障害	606 100.0	249 41.1	251 41.4	8 1.3	165 27.2	335 55.3	182 30.0	26 4.3	2 0.3
精神障害	1,188 100.0	361 30.4	176 14.8	18 1.5	737 62.0	856 72.1	273 23.0	69 5.8	7 0.6
発達障害	68 100.0	23 33.8	26 38.2	0 0.0	32 47.1	48 70.6	24 35.3	5 7.4	1 1.5
高次脳 機能障害	203 100.0	119 58.6	50 24.6	2 1.0	89 43.8	121 59.6	57 28.1	8 3.9	3 1.5
難病等	1,042 100.0	411 39.4	64 6.1	11 1.1	621 59.6	755 72.5	243 23.3	55 5.3	6 0.6

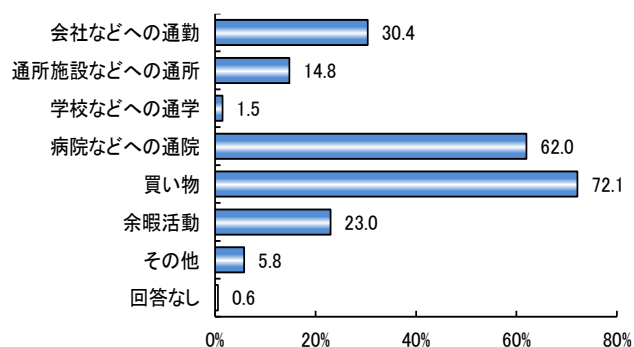
■ 身体障害 ■



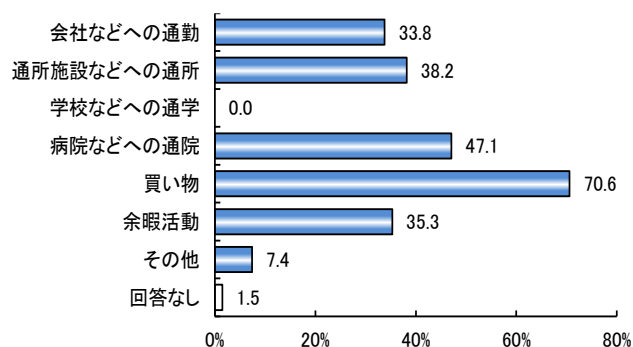
■ 知的障害 ■



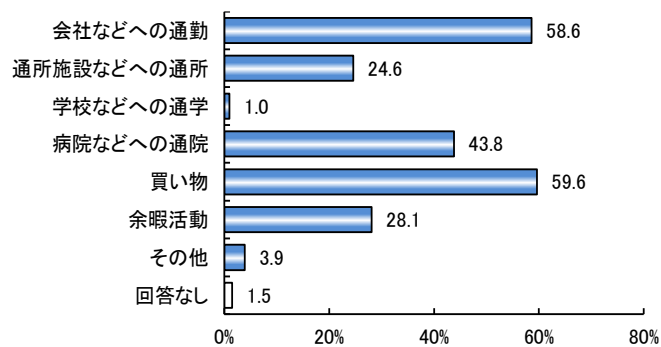
■ 精神障害 ■



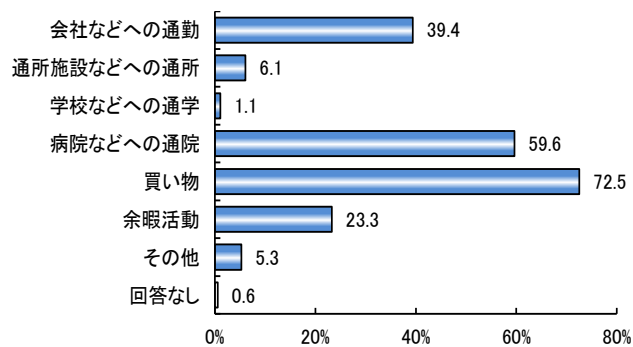
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



11-3 移動手段【問38】

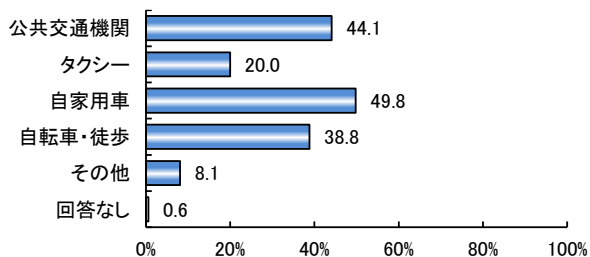
【問38】外出の際、利用する移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「公共交通機関」(51.5%)が最も多く、次いで「自家用車」(45.5%)、「自転車・徒歩」(44.5%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、難病等では「自家用車」が最も多く、次いで「公共交通機関」、知的、精神、高次脳機能では「公共交通機関」が最も多く、次いで「自転車・徒歩」、発達では「自転車・徒歩」が最も多く、次いで「公共交通機関」となっています。

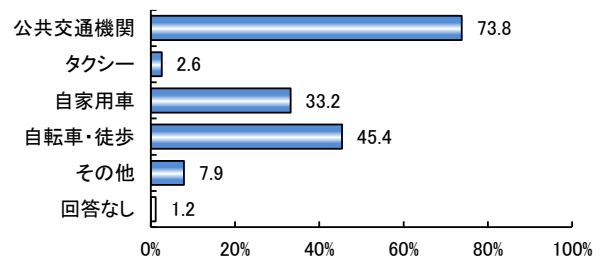
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	公共交通機関	タクシー	自家用車	自転車・徒歩	その他	回答なし
全 体	6,666	3,431	965	3,032	2,964	465	48
	100.0	51.5	14.5	45.5	44.5	7.0	0.7
身体障害	3,559	1,571	711	1,773	1,382	290	22
	100.0	44.1	20.0	49.8	38.8	8.1	0.6
知的障害	606	447	16	201	275	48	7
	100.0	73.8	2.6	33.2	45.4	7.9	1.2
精神障害	1,188	768	109	342	705	59	9
	100.0	64.6	9.2	28.8	59.3	5.0	0.8
発達障害	68	42	2	22	53	3	0
	100.0	61.8	2.9	32.4	77.9	4.4	0.0
高次脳機能障害	203	144	10	71	97	8	2
	100.0	70.9	4.9	35.0	47.8	3.9	1.0
難病等	1,042	459	117	623	452	57	8
	100.0	44.0	11.2	59.8	43.4	5.5	0.8

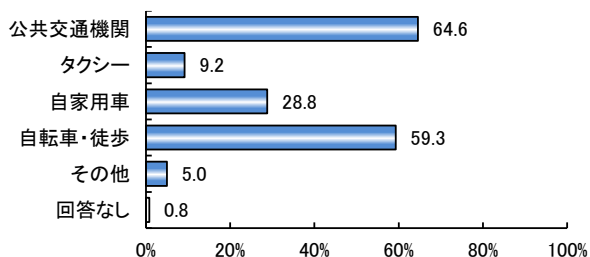
■ 身体障害 ■



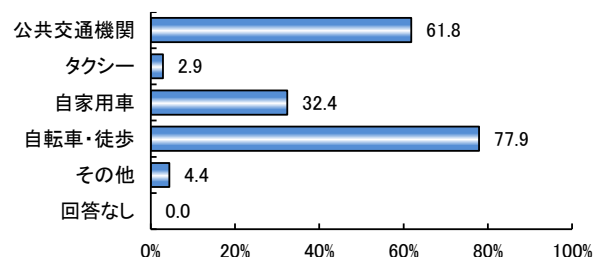
■ 知的障害 ■



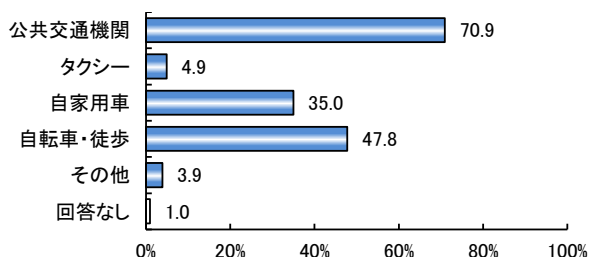
■ 精神障害 ■



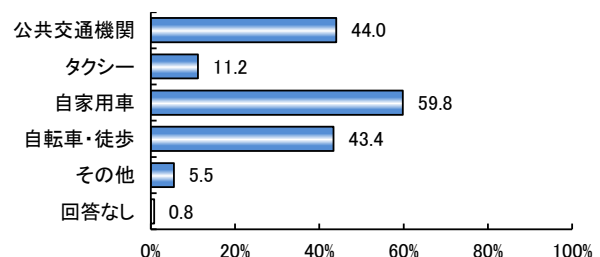
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





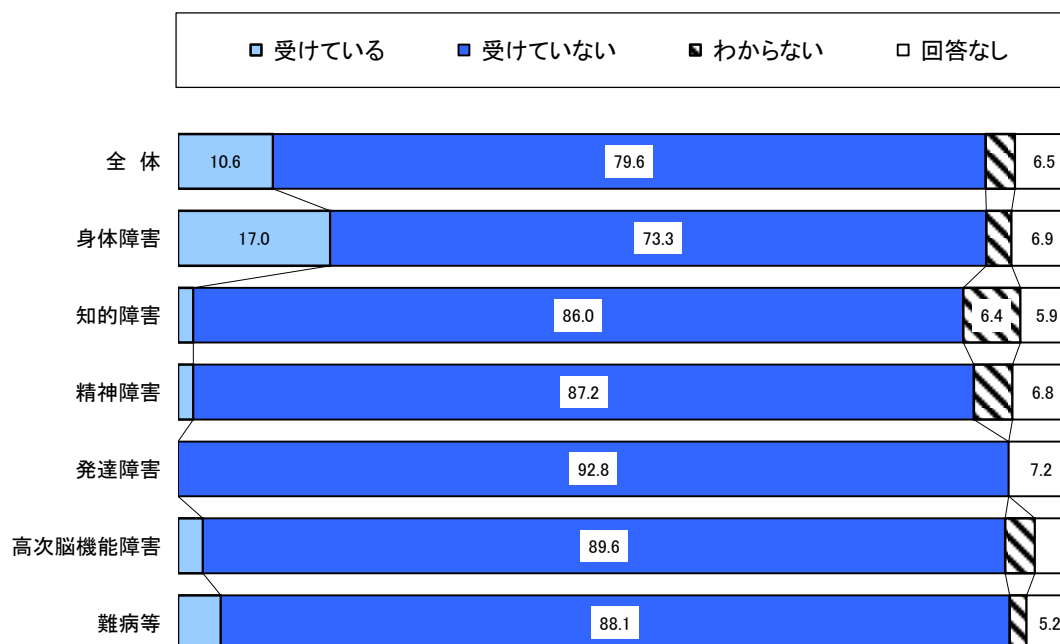
11-4 重度障害者福祉タクシー利用券の交付の有無【問39】

【問39】あなたは、重度障害者福祉タクシー利用券の交付を受けていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「受けている」（10.6%）、「受けていない」（79.6%）となっています。
- 障害種別でみると、「受けている」と答えた人の割合は、身体 17.0%、知的 1.7%、精神 1.7%、発達 0%、高次脳機能 2.8%、難病等 4.8%となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	受けている	受けていない	わからない	回答なし
全 体	7,522 100.0	797 10.6	5,992 79.6	245 3.3	488 6.5
身体障害	4,131 100.0	704 17.0	3,024 73.3	117 2.8	286 6.9
知的障害	661 100.0	11 1.7	569 86.0	42 6.4	39 5.9
精神障害	1,318 100.0	22 1.7	1,149 87.2	57 4.3	90 6.8
発達障害	69 100.0	0 0.0	64 92.8	0 0.0	5 7.2
高次脳機能障害	211 100.0	6 2.8	189 89.6	7 3.3	9 4.3
難病等	1,132 100.0	54 4.8	997 88.1	22 1.9	59 5.2



11-5 重度障害者タクシー利用券の利用量【問39-①】

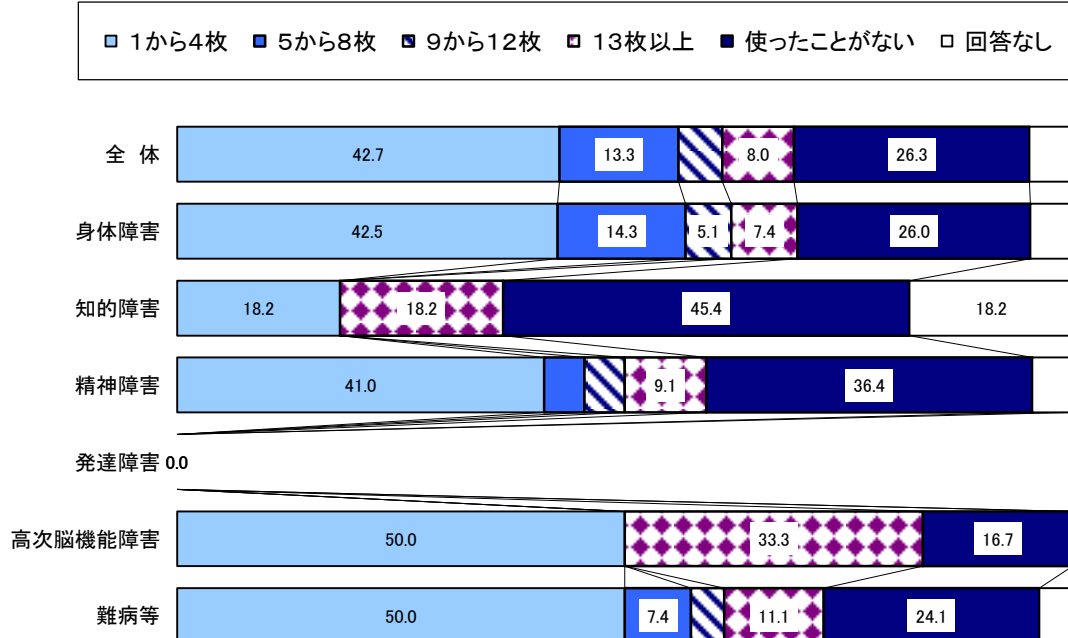
【問39-①】問39で「1. 受けている」に○を付けた方にお聞きます。

あなたは、重度障害者福祉タクシー利用券を月に何枚利用していますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「1から4枚」（42.7%）が最も多く、次いで「使ったことがない」（26.3%）、
「5から8枚」（13.3%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、高次脳機能、難病等では「1から4枚」、知的では「使ったことがない」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	1から4枚	5から8枚	9から12枚	13枚以上	使ったことがない	回答なし
全 体	797 100.0	340 42.7	106 13.3	39 4.9	64 8.0	210 26.3	38 4.8
身体障害	704 100.0	299 42.5	101 14.3	36 5.1	52 7.4	183 26.0	33 4.7
知的障害	11 100.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2	5 45.4	2 18.2
精神障害	22 100.0	9 41.0	1 4.5	1 4.5	2 9.1	8 36.4	1 4.5
発達障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
難病等	54 100.0	27 50.0	4 7.4	2 3.7	6 11.1	13 24.1	2 3.7



11-6 重度障害者タクシー利用券複数利用の際の外出の機会【問39-②】

【問39-②】問39で「1. 受けている」に○を付けた方にお聞きします。

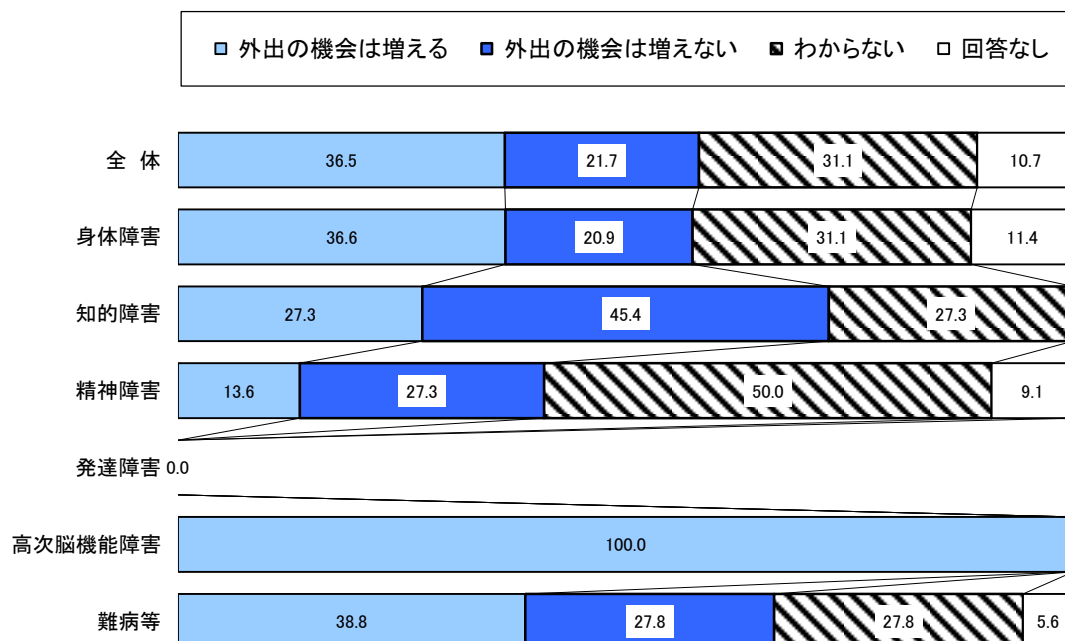
現在、重度障害者福祉タクシー利用券は1回の乗車で1枚利用できます。

1回の乗車で2枚以上の重度障害者福祉タクシー利用券を利用できる場合、あなたの外出の機会は増えますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「外出の機会は増える」(36.5%)が最も多く、次いで「わからない」(31.1%)、「外出の機会は増えない」(21.7%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、高次脳機能、難病等では「外出の機会は増える」、知的では「外出の機会は増えない」、精神では「わからない」が多くなっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	合 計	外出の機会は増える	外出の機会は増えない	わからない	回答なし
全 体	797 100.0	291 36.5	173 21.7	248 31.1	85 10.7
身体障害	704 100.0	258 36.6	147 20.9	219 31.1	80 11.4
知的障害	11 100.0	3 27.3	5 45.4	3 27.3	0 0.0
精神障害	22 100.0	3 13.6	6 27.3	11 50.0	2 9.1
発達障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	54 100.0	21 38.8	15 27.8	15 27.8	3 5.6



12 障害者の表し方や呼び方について

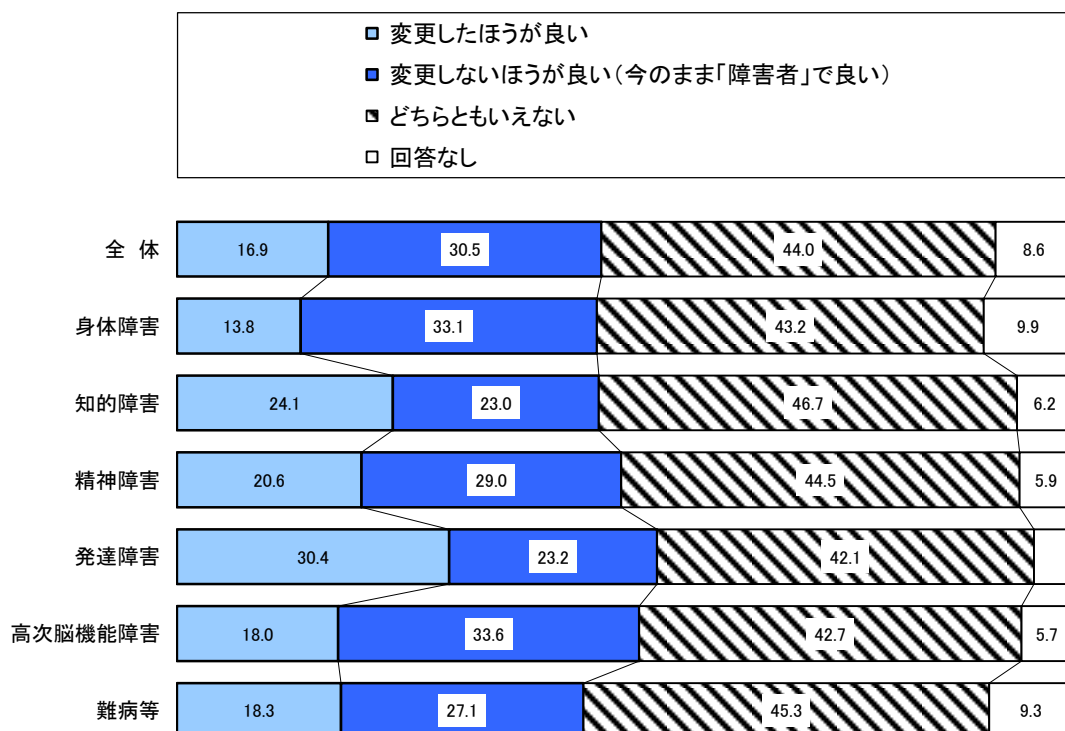
12-1 障害者の表し方の変更【問40】

【問40】あなたは、「障害者（すべて漢字で表す）」の表し方（表現）や呼び方（呼称）の変更についてどう思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「どちらともいえない」（44.0%）が最も多く、次いで「変更しないほうが良い（今のまま『障害者』で良い）」（30.5%）、「変更したほうが良い」（16.9%）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「どちらともいえない」が最も多く、次いで身体、精神、高次脳機能、難病等では「変更しないほうが良い（今のまま『障害者』で良い）」、知的、発達では「変更したほうが良い」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	変更したほうが良い	変更しないほうが良い(今のまま「障害者」で良い)	どちらともいえない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,268 16.9	2,294 30.5	3,310 44.0	650 8.6
身体障害	4,131 100.0	571 13.8	1,366 33.1	1,783 43.2	411 9.9
知的障害	661 100.0	159 24.1	152 23.0	309 46.7	41 6.2
精神障害	1,318 100.0	272 20.6	382 29.0	586 44.5	78 5.9
発達障害	69 100.0	21 30.4	16 23.2	29 42.1	3 4.3
高次脳機能障害	211 100.0	38 18.0	71 33.6	90 42.7	12 5.7
難病等	1,132 100.0	207 18.3	307 27.1	513 45.3	105 9.3



12-2 表し方を変更した方が良いと思う理由【問41】

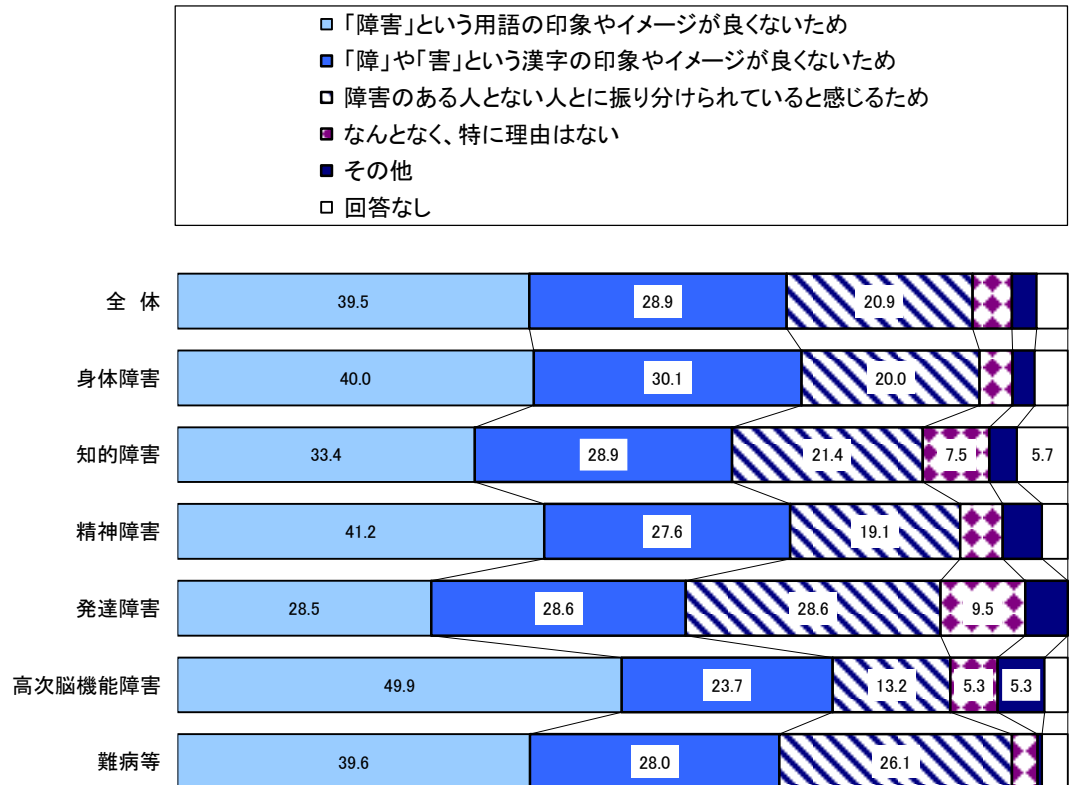
【問41】問40で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きます。

変更した方が良いと思う理由は、次のうちどれですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、『障害』という用語の印象やイメージが良くないため」（39.5%）が最も多く、次いで『障』や『害』という漢字の印象やイメージが良くないため」（28.9%）、「障害のある人」とない人とは振り分けられていると感じるため」（20.9%）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも『障害』という用語の印象やイメージが良くないため」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	「障害」という用語 の印象や イメージが良くな いたため	「障」や「害」という 漢字の印象やイメ ージが良くない ため	障害のある人と ない人とは 振り分けられてい る感じるため	なんとなく、特に 理由はない	その他	回答なし
全 体	1,268 100.0	501 39.5	366 28.9	265 20.9	56 4.4	35 2.8	45 3.5
身体障害	571 100.0	229 40.0	172 30.1	114 20.0	21 3.7	14 2.5	21 3.7
知的障害	159 100.0	53 33.4	46 28.9	34 21.4	12 7.5	5 3.1	9 5.7
精神障害	272 100.0	112 41.2	75 27.6	52 19.1	13 4.8	12 4.4	8 2.9
発達障害	21 100.0	6 28.5	6 28.6	6 28.6	2 9.5	1 4.8	0 0.0
高次脳 機能障害	38 100.0	19 49.9	9 23.7	5 13.2	2 5.3	2 5.3	1 2.6
難病等	207 100.0	82 39.6	58 28.0	54 26.1	6 2.9	1 0.5	6 2.9



12-3 表し方を変更した方が良いと思う言葉【問42】

【問42】問40で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きします。

どのような言葉に変更したほうが良いと思いますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「障がい者（害の漢字をひらがなで表す）」（33.6%）が最も多く、次いで「適切な言葉を思いつかない」（20.0%）、「しょうがい者（いずれもひらがなで表す）」（16.1%）となっています。
- 障害種別でみると、発達では「しょうがい者（いずれもひらがなで表す）」と「適切な言葉を思いつかない」が同数で最も多く、その他の障害種別では「障がい者（害の漢字をひらがなで表す）」が最も多くなっています。

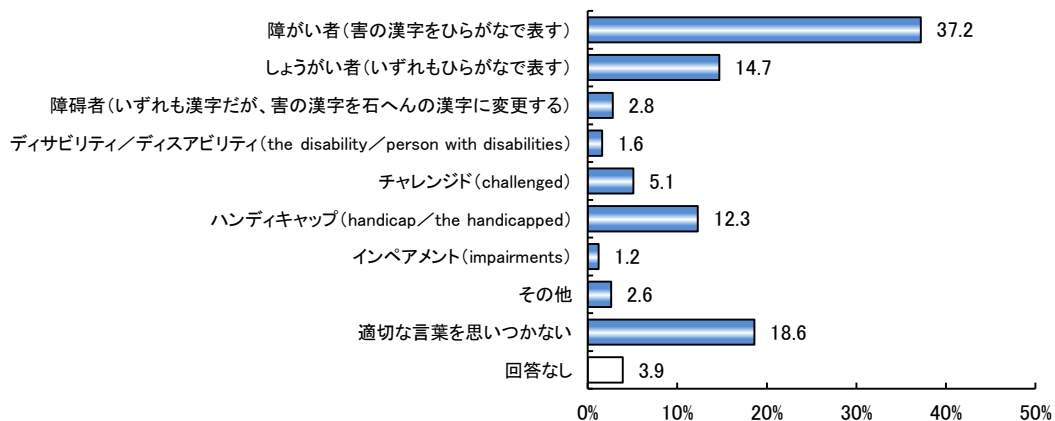
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	障がい者 (害の漢字をひらがなで表す)	しょうがい者(いずれもひらがなで表す)	障害者(いずれも漢字だが、害の漢字を石へんの漢字に変更する)	ディサビリティ/ディ スアビリティ(the disability/ person with disabilities)	チャレンジ ド (challenge d)	ハンディ キャップ (handicap /the handicapped)	インペア メント (impairments)	その他	適切な 言葉を 思いつ かない	回答なし
全 体	1,268 100.0	428 33.6	204 16.1	44 3.5	21 1.7	66 5.2	156 12.3	16 1.3	38 3.0	253 20.0	42 3.3
身体障害	571 100.0	213 37.2	84 14.7	16 2.8	9 1.6	29 5.1	70 12.3	7 1.2	15 2.6	106 18.6	22 3.9
知的障害	159 100.0	54 33.9	35 22.0	6 3.8	3 1.9	9 5.7	23 14.5	1 0.6	3 1.9	22 13.8	3 1.9
精神障害	272 100.0	81 29.9	39 14.3	18 6.6	5 1.8	16 5.9	27 9.9	5 1.8	14 5.1	57 21.0	10 3.7
発達障害	21 100.0	4 19.0	6 28.5	0 0.0	0 0.0	2 9.5	1 4.8	0 0.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8
高次脳 機能障害	38 100.0	13 34.3	7 18.4	1 2.6	0 0.0	0 0.0	6 15.8	0 0.0	1 2.6	7 18.4	3 7.9
難病等	207 100.0	63 30.7	33 15.9	3 1.4	4 1.9	10 4.8	29 14.0	3 1.4	4 1.9	55 26.6	3 1.4

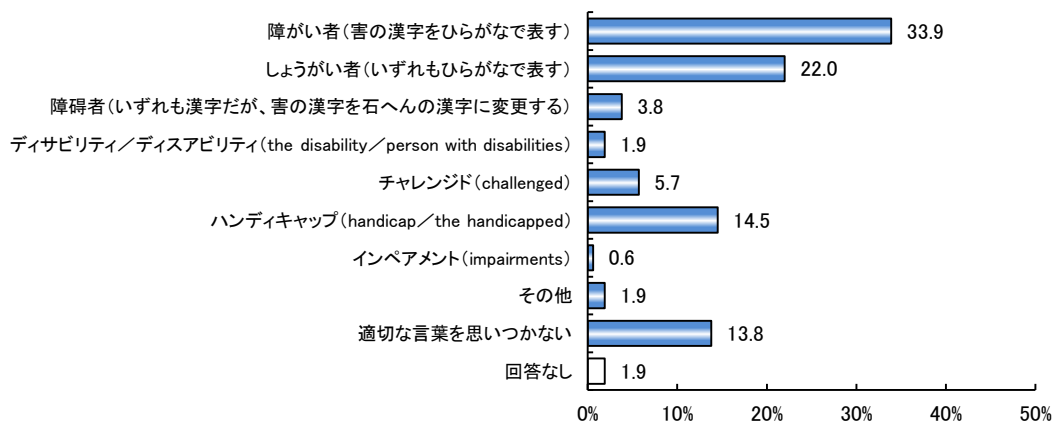


1 2 障害者の表し方や呼び方について

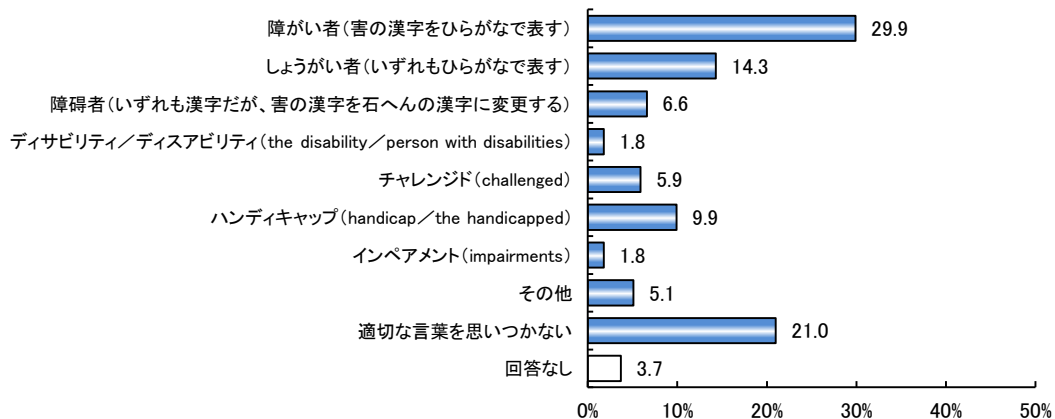
■ 身体障害 ■



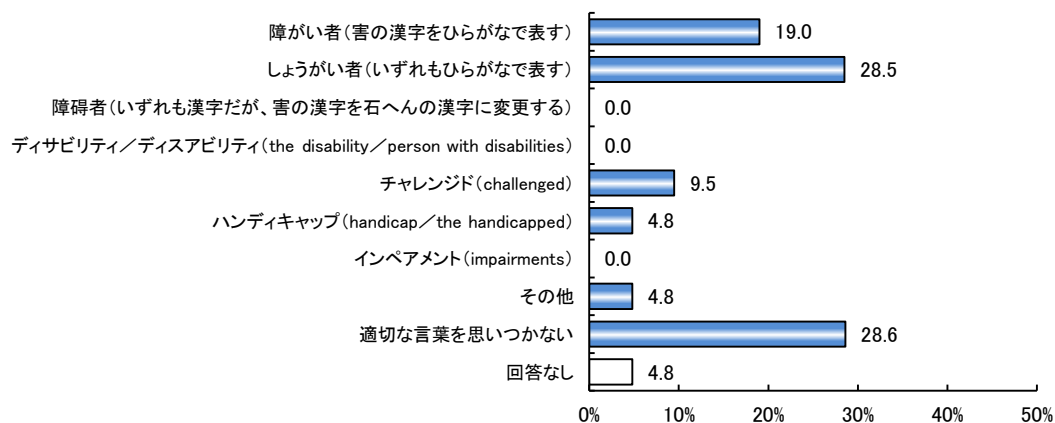
■ 知的障害 ■



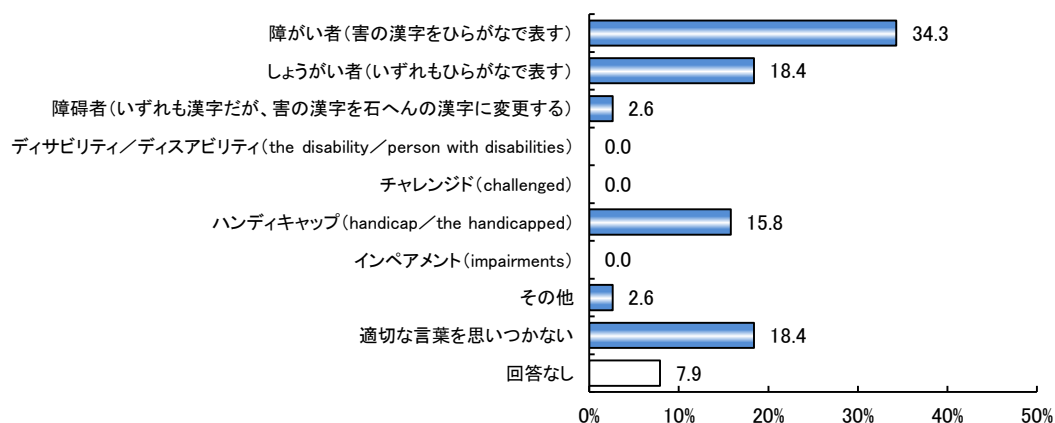
■ 精神障害 ■



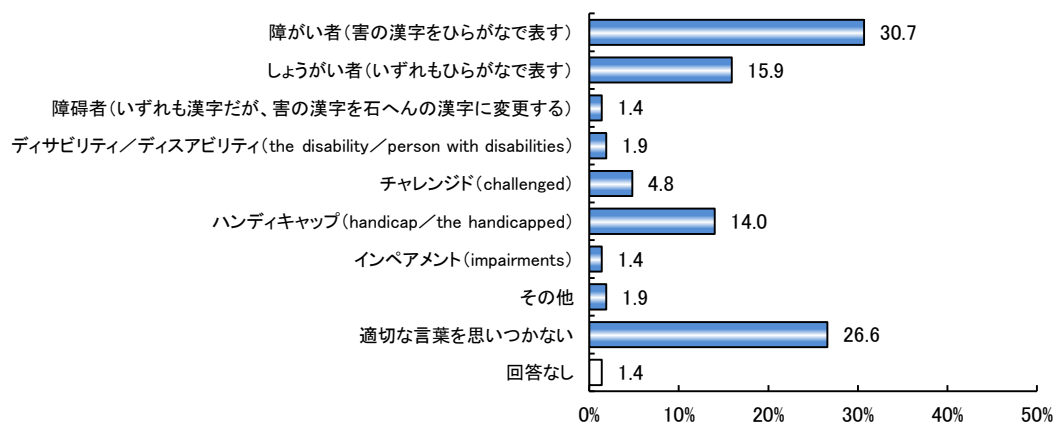
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



12-4 表し方を変更しない方が良いと思う理由【問44】

【問44】問40で「2. 変更しないほうが良い（今のまま「障害者」で良い）」に○をつけた方にお聞きします。

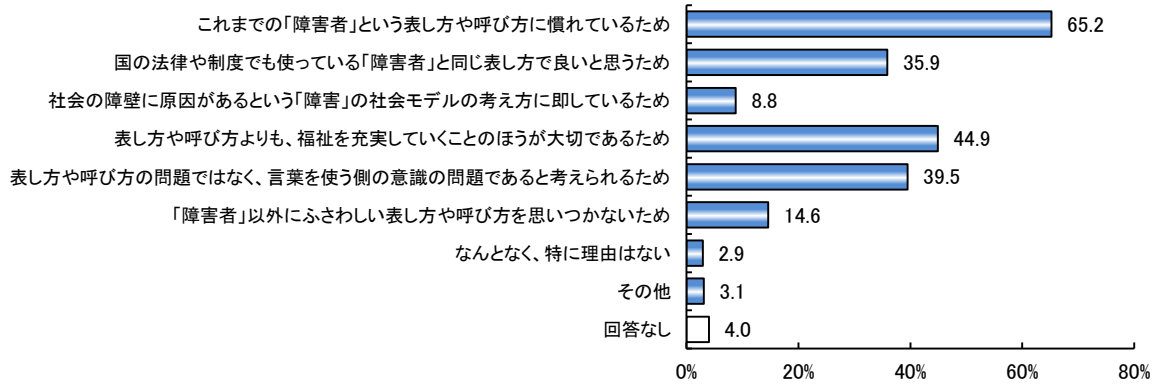
変更しない方が良いと思う理由は、次のうちどれですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「これまでの『障害者』という表し方や呼び方に慣れているため」（64.3%）が最も多く、次いで「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」（46.4%）、「表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため」（41.1%）となっています。
- 障害種別でみると、発達では「これまでの『障害者』という表し方や呼び方に慣れているため」と「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」が同数で最も多くなっています。その他の障害種別では「これまでの『障害者』という表し方や呼び方に慣れているため」が最も多く、次いで身体、知的、難病等では「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」、精神、高次脳機能では「表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため」となっています。

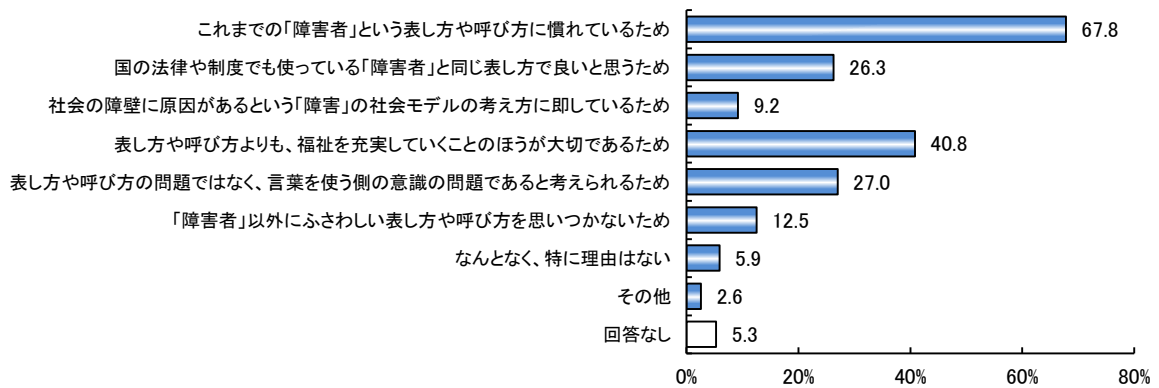
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	これまでの「障害者」という表し方や呼び方に慣れているため	国の法律や制度でも使っている「障害者」と同じ表し方で良いと思うため	社会の障壁に原因があるという「障害」の社会モデルの考え方に即しているため	表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため	表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため	「障害者」以外にふさわしい表し方や呼び方を思いつかないため	なんとなく、特に理由はない	その他	回答なし
全 体	2,294 100.0	1,476 64.3	784 34.2	232 10.1	1,065 46.4	943 41.1	314 13.7	65 2.8	96 4.2	82 3.6
身体障害	1,366 100.0	891 65.2	490 35.9	120 8.8	614 44.9	539 39.5	199 14.6	39 2.9	42 3.1	55 4.0
知的障害	152 100.0	103 67.8	40 26.3	14 9.2	62 40.8	41 27.0	19 12.5	9 5.9	4 2.6	8 5.3
精神障害	382 100.0	239 62.6	128 33.5	60 15.7	177 46.3	179 46.9	57 14.9	11 2.9	27 7.1	11 2.9
発達障害	16 100.0	8 50.0	3 18.8	2 12.5	8 50.0	6 37.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3
高次脳機能障害	71 100.0	40 56.3	23 32.4	10 14.1	32 45.1	34 47.9	6 8.5	1 1.4	7 9.9	4 5.6
難病等	307 100.0	195 63.5	100 32.6	26 8.5	172 56.0	144 46.9	32 10.4	5 1.6	16 5.2	3 1.0

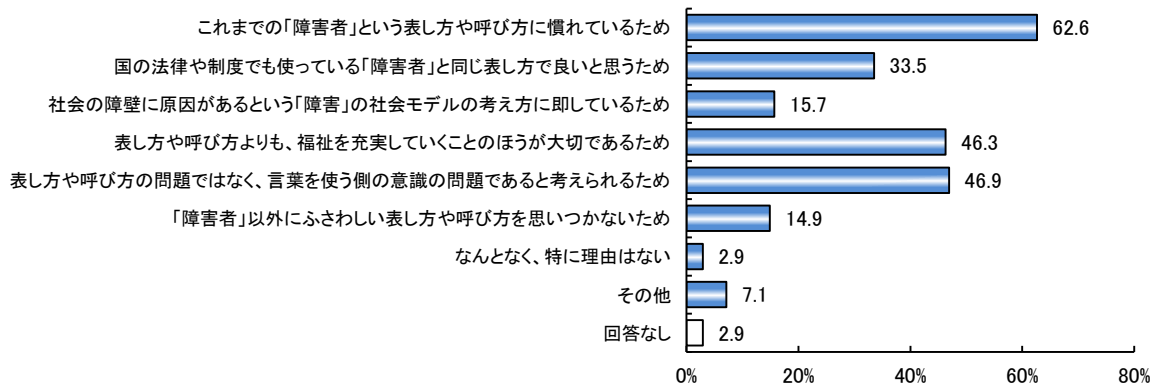
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



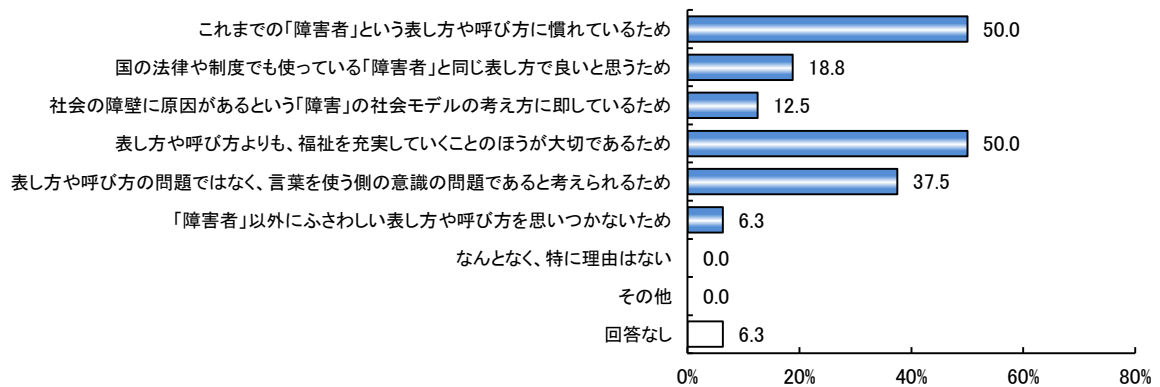
■ 精神障害 ■



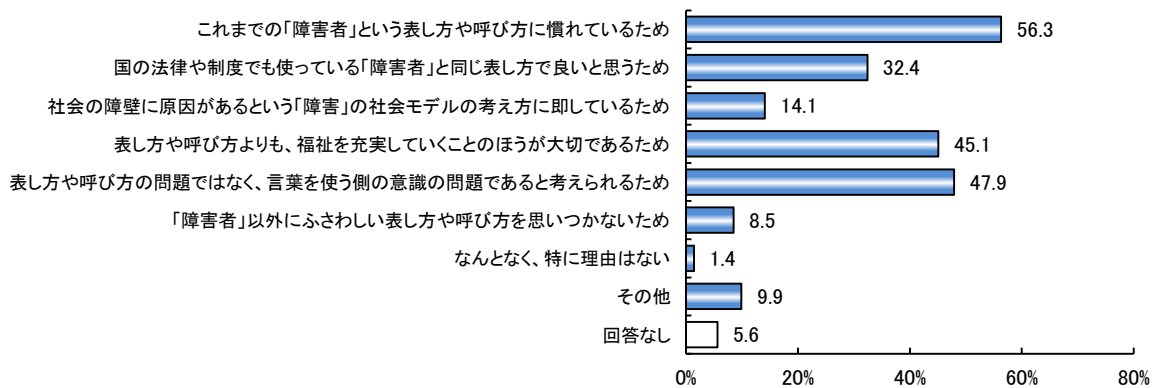


1 2 障害者の表し方や呼び方について

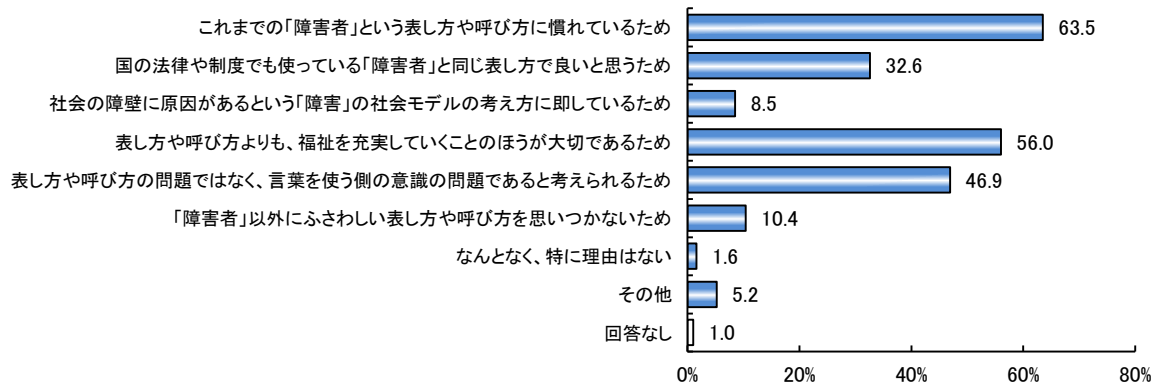
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



13 区役所・支所の窓口について

13-1 障害福祉制度利用手続き受付窓口の統一について思うこと【問45】

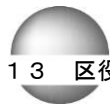
【問45】令和2年度から、障害種別にかかわらず障害福祉制度の利用手続きの受付窓口を福祉課（支所の場合は区民福祉課）に統一しました。

このことについてあなたはどのように思いますか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」（30.3%）が最も多く、次いで「障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった」（26.9%）、「特にこれまでと変わらない」（23.0%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、高次脳機能、難病等では「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」、知的では「特にこれまでと変わらない」が最も多く、発達では「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」と「障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった」が同数で最も多くなっています。

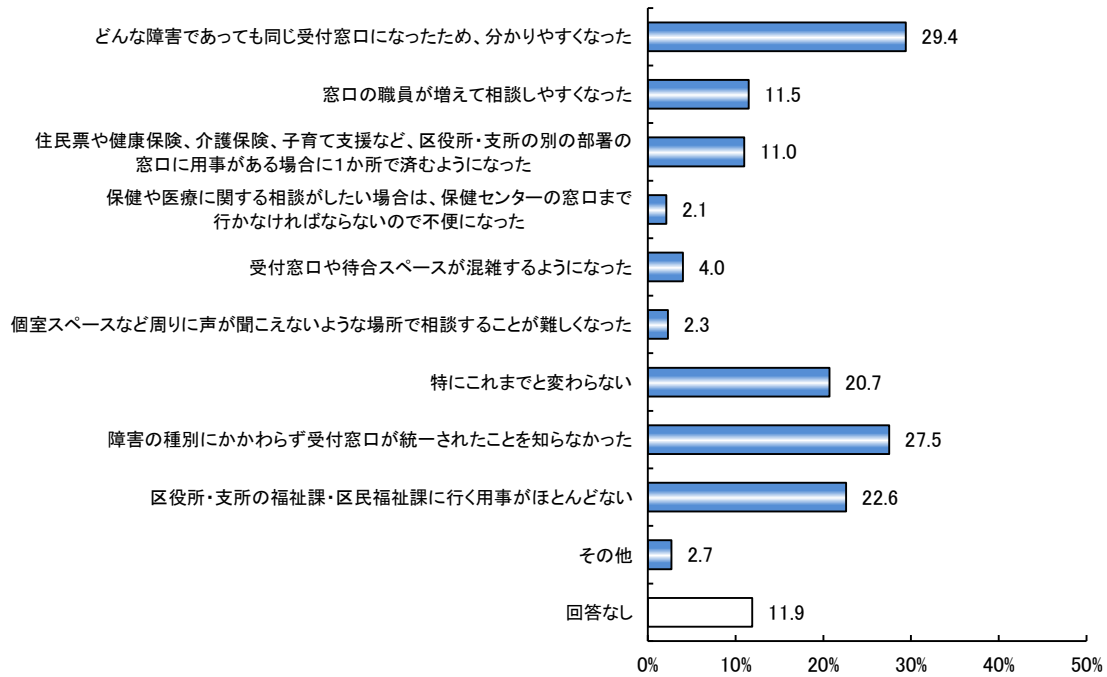
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった	窓口の職員が増えて相談しやすくなった	住民票や健康保険、介護保険、子育て支援など、区役所・支所の別の部署の窓口で用事がある場合に1か所で済むようになった	保健や医療に関する相談がしたい場合は、保健センターの窓口まで行かなければならないので不便になった	受付窓口や待合スペースが混雑するようになった	個室スペースなど周りに声が聞こえないような場所で相談することが難しくなった	特にこれまでと変わらない	障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった	区役所・支所の福祉課・区民福祉課に行く用事がほとんどない	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,280 30.3	836 11.1	902 12.0	201 2.7	337 4.5	255 3.4	1,727 23.0	2,020 26.9	1,335 17.7	219 2.9	776 10.3
身体障害	4,131 100.0	1,216 29.4	473 11.5	456 11.0	87 2.1	164 4.0	96 2.3	856 20.7	1,137 27.5	935 22.6	110 2.7	490 11.9
知的障害	661 100.0	194 29.3	72 10.9	52 7.9	17 2.6	30 4.5	30 4.5	208 31.5	185 28.0	97 14.7	21 3.2	66 10.0
精神障害	1,318 100.0	464 35.2	160 12.1	207 15.7	60 4.6	65 4.9	74 5.6	328 24.9	349 26.5	121 9.2	51 3.9	91 6.9
発達障害	69 100.0	22 31.9	8 11.6	8 11.6	2 2.9	3 4.3	2 2.9	16 23.2	22 31.9	11 15.9	1 1.4	4 5.8
高次脳機能障害	211 100.0	61 28.9	19 9.0	25 11.8	6 2.8	8 3.8	5 2.4	47 22.3	60 28.4	35 16.6	8 3.8	19 9.0
難病等	1,132 100.0	323 28.5	104 9.2	154 13.6	29 2.6	67 5.9	48 4.2	272 24.0	267 23.6	136 12.0	28 2.5	106 9.4

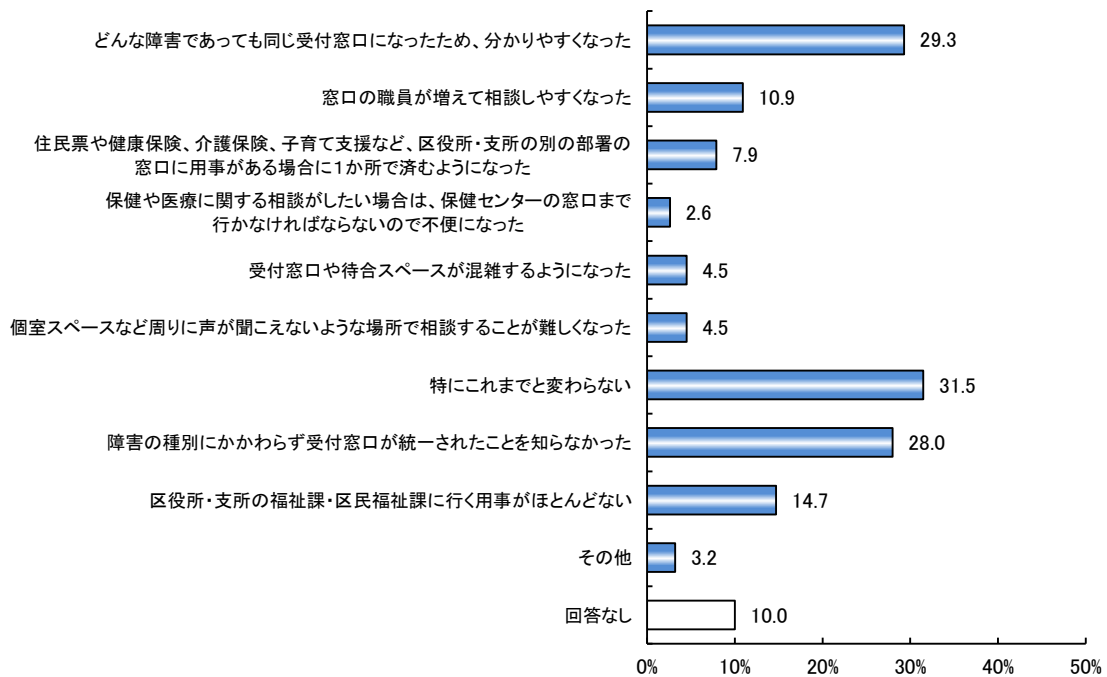


13 区役所・支所の窓口について

■ 身体障害 ■

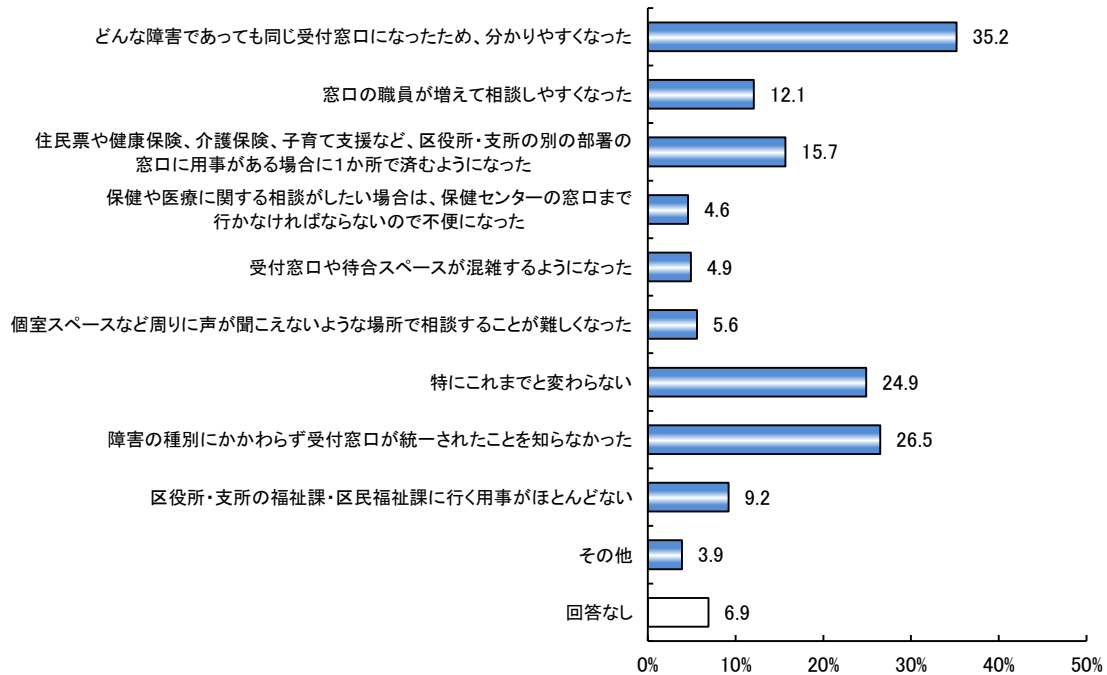


■ 知的障害 ■

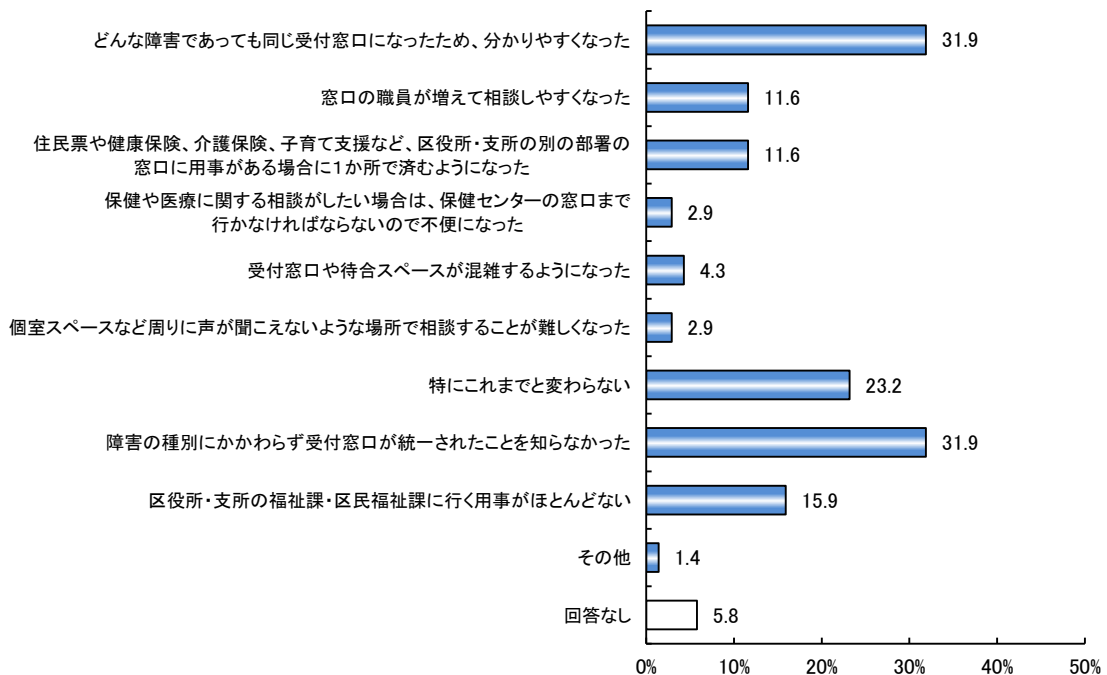


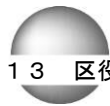


■ 精神障害 ■



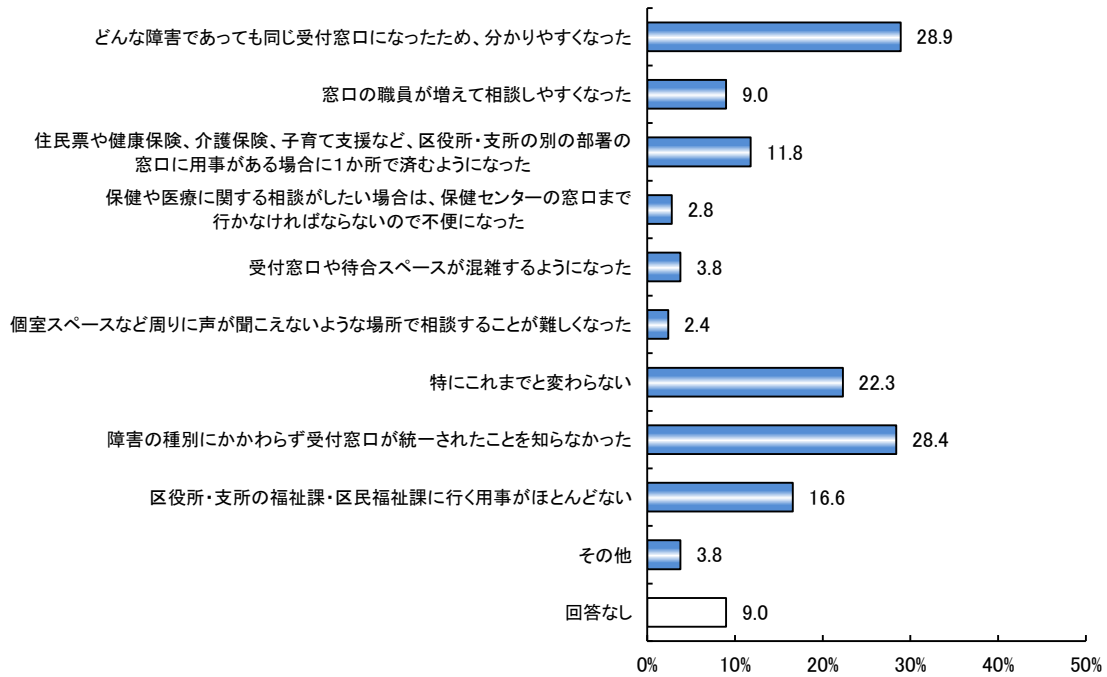
■ 発達障害 ■



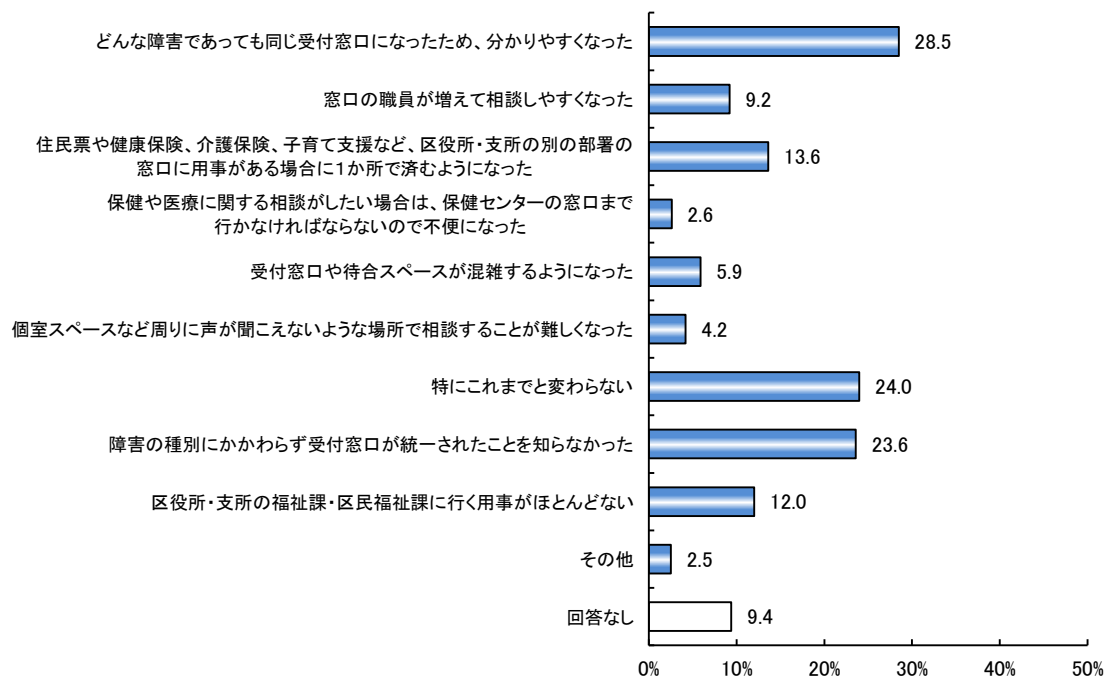


13 区役所・支所の窓口について

■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



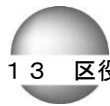
13-2 福祉課等の受付窓口や利用手続きへの期待【問46】

【問46】区役所福祉課・支所区民福祉課の受付窓口や障害福祉制度の利用手続きについて、今後期待することはありますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「丁寧で分かりやすい説明をしてほしい」(29.9%)が最も多く、次いで「今のままで良い」(22.5%)、「利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい」(20.0%)となっています。
- 障害種別でみると、難病等では「ウェブサイトによる手続きの導入や郵送による送付物の交付など、区役所・支所に行かなくても手続きが済むような仕組みを作してほしい」が最も多く、次いで「丁寧で分かりやすい説明をしてほしい」となっています。その他の障害種別では「丁寧で分かりやすい説明をしてほしい」が最も多く、次いで身体、発達では「今のままで良い」、知的、精神では「障害について理解のある職員を配置してほしい」、高次脳機能では「利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい」となっています。

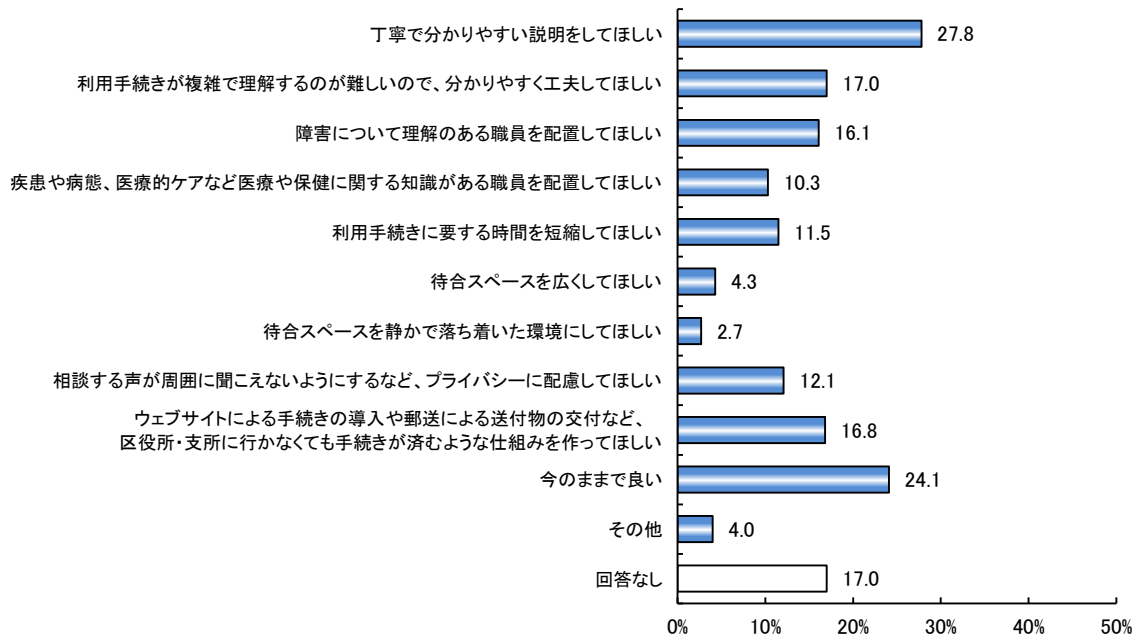
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	丁寧で分かりやすい説明をしてほしい	利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい	障害について理解のある職員を配置してほしい	疾患や病態、医療的ケアなど医療や保健に関する知識がある職員を配置してほしい	利用手続きに要する時間を短縮してほしい	待合スペースを広くしてほしい	待合スペースを静かで落ち着いた環境にしてほしい	相談する声が周囲に聞こえないようにするなど、プライバシーに配慮してほしい	ウェブサイトによる手続きの導入や郵送による送付物の交付など、区役所・支所に行かなくても手続きが済むような仕組みを作してほしい	今のままで良い	その他	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,249 29.9	1,505 20.0	1,446 19.2	961 12.8	987 13.1	410 5.5	330 4.4	1,048 13.9	1,487 19.8	1,694 22.5	290 3.9	1,042 13.9
身体障害	4,131 100.0	1,147 27.8	704 17.0	667 16.1	425 10.3	474 11.5	179 4.3	112 2.7	498 12.1	693 16.8	997 24.1	165 4.0	701 17.0
知的障害	661 100.0	244 36.9	160 24.2	188 28.4	65 9.8	94 14.2	49 7.4	39 5.9	94 14.2	114 17.2	154 23.3	27 4.1	72 10.9
精神障害	1,318 100.0	487 36.9	324 24.6	402 30.5	253 19.2	183 13.9	93 7.1	119 9.0	262 19.9	339 25.7	243 18.4	49 3.7	110 8.3
発達障害	69 100.0	21 30.4	14 20.3	14 20.3	12 17.4	6 8.7	5 7.2	5 7.2	12 17.4	13 18.8	16 23.2	1 1.4	4 5.8
高次脳機能障害	211 100.0	68 32.2	59 28.0	45 21.3	25 11.8	36 17.1	13 6.2	12 5.7	27 12.8	44 20.9	43 20.4	10 4.7	23 10.9
難病等	1,132 100.0	282 24.9	244 21.6	130 11.5	181 16.0	194 17.1	71 6.3	43 3.8	155 13.7	284 25.1	241 21.3	38 3.4	132 11.7

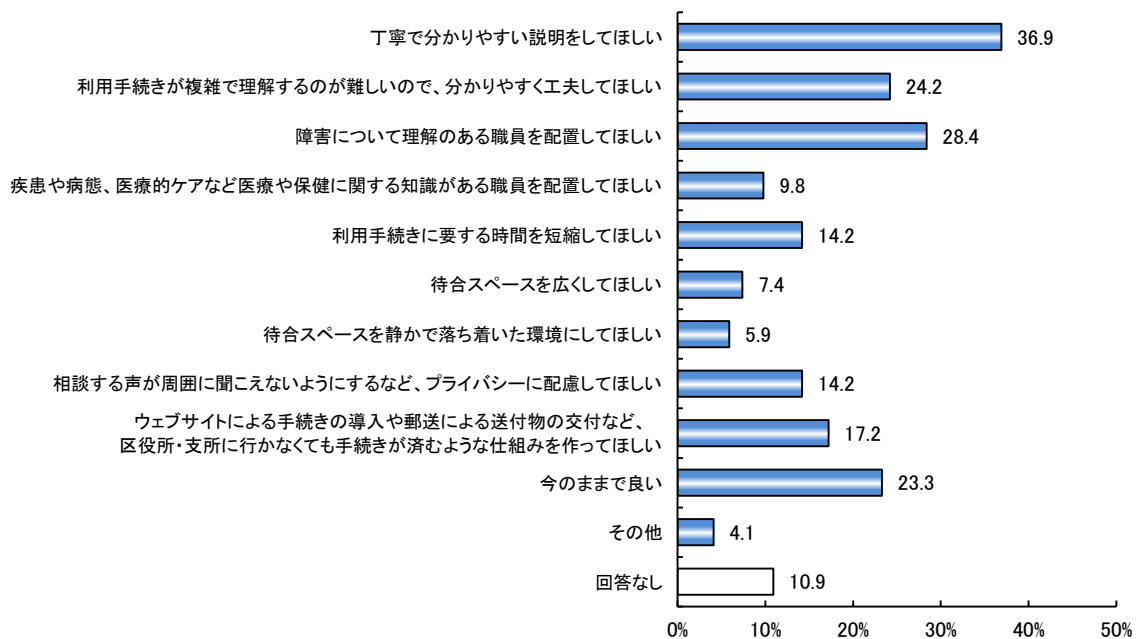


13 区役所・支所の窓口について

■ 身体障害 ■

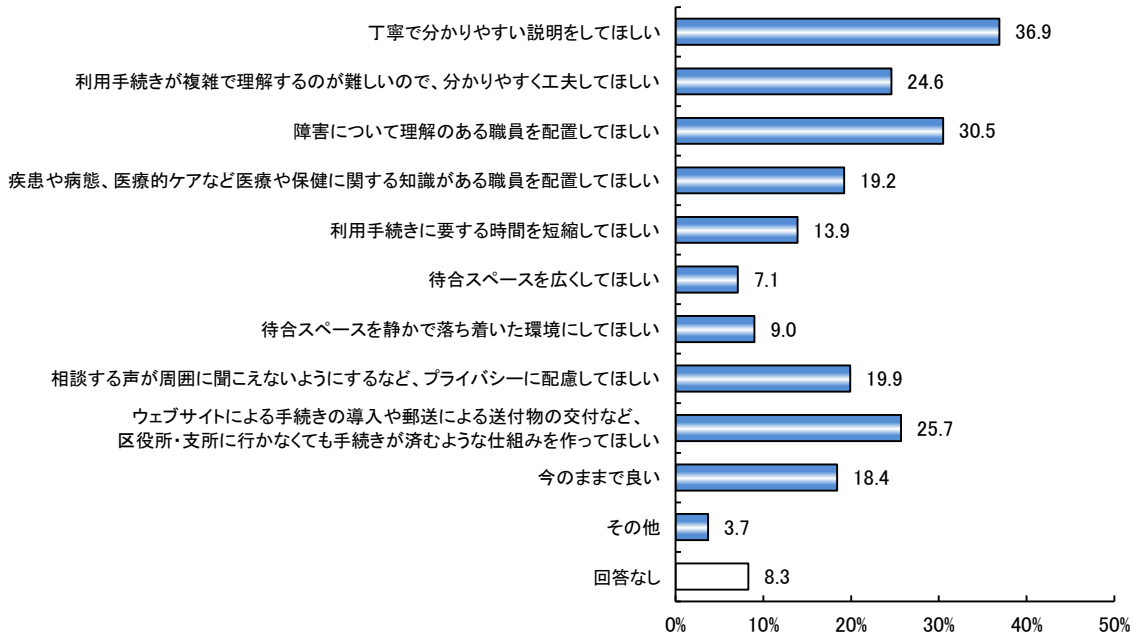


■ 知的障害 ■

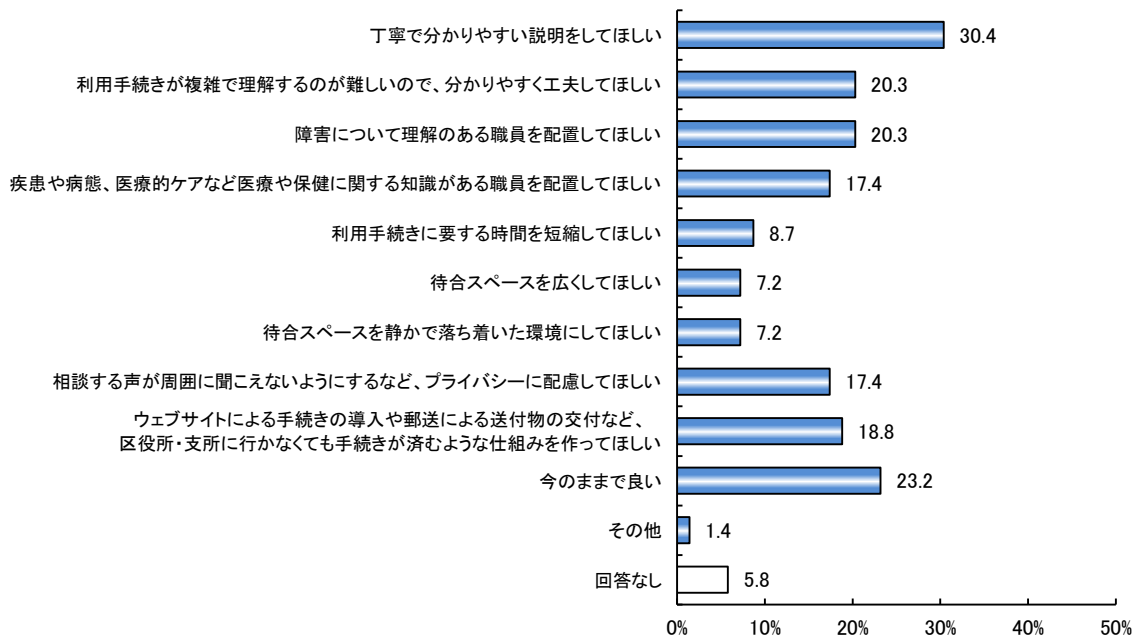


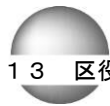


■ 精神障害 ■

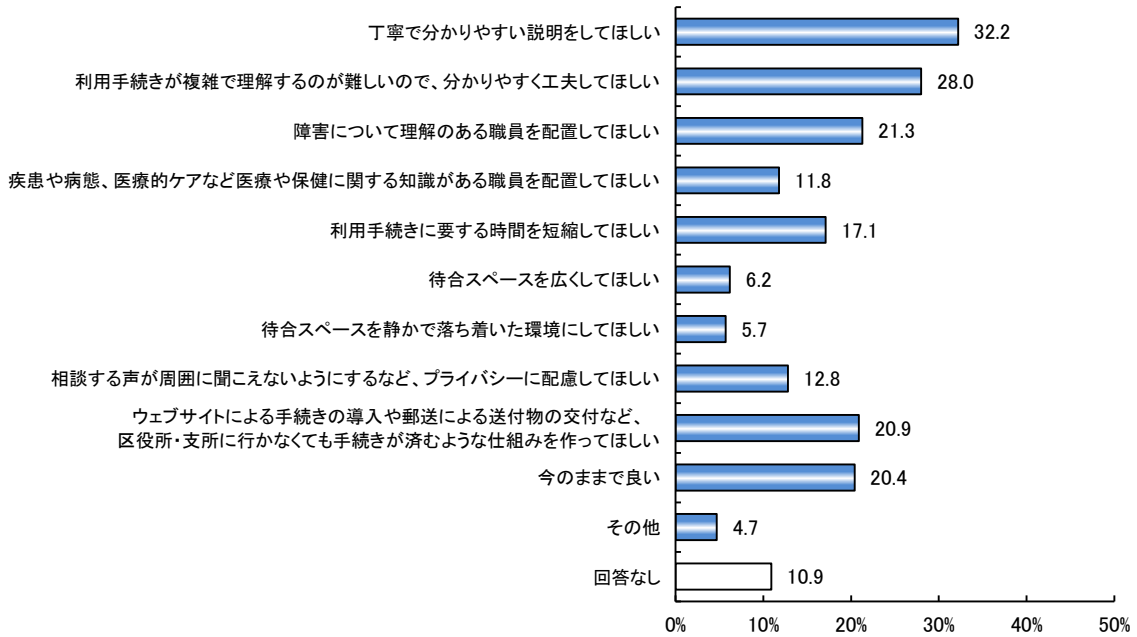


■ 発達障害 ■

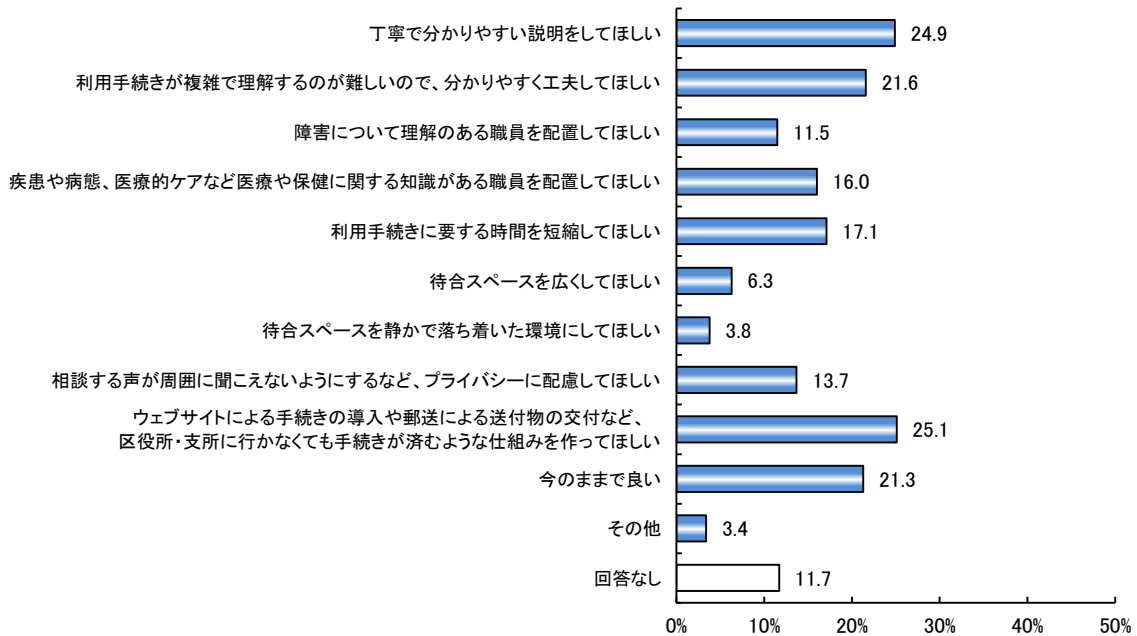




■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



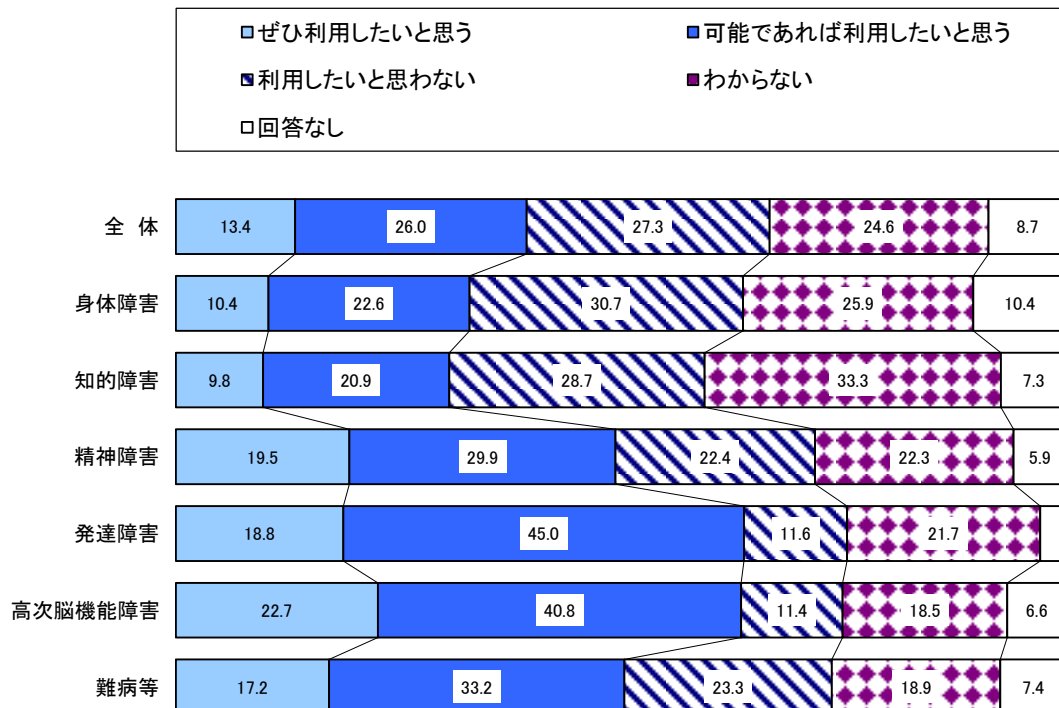
13-3 電子申請の導入【問47】

【問47】デジタル化の推進により、様々な行政手続きについてウェブサイトなどを通じた電子申請の導入が検討されていますが、あなたは利用したいと思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「利用したいと思わない」（27.3%）が最も多く、次いで「可能であれば利用したいと思う」（26.0%）、「わからない」（24.6%）となっています。
- 障害種別でみると、身体では「利用したいと思わない」、知的では「わからない」、精神、発達、高次脳機能、難病等では「可能であれば利用したいと思う」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	ぜひ利用したいと思う	可能であれば利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	回答なし
全 体	7,522 100.0	1,007 13.4	1,957 26.0	2,051 27.3	1,850 24.6	657 8.7
身体障害	4,131 100.0	429 10.4	933 22.6	1,270 30.7	1,068 25.9	431 10.4
知的障害	661 100.0	65 9.8	138 20.9	190 28.7	220 33.3	48 7.3
精神障害	1,318 100.0	257 19.5	394 29.9	295 22.4	294 22.3	78 5.9
発達障害	69 100.0	13 18.8	31 45.0	8 11.6	15 21.7	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	48 22.7	86 40.8	24 11.4	39 18.5	14 6.6
難病等	1,132 100.0	195 17.2	375 33.2	264 23.3	214 18.9	84 7.4



13-4 電子申請を利用したいと思わない理由【問47-①】

【問47-①】問47で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた方にお聞きします。

利用したいと思わない理由は、次のうちどれですか。（いくつでも○）

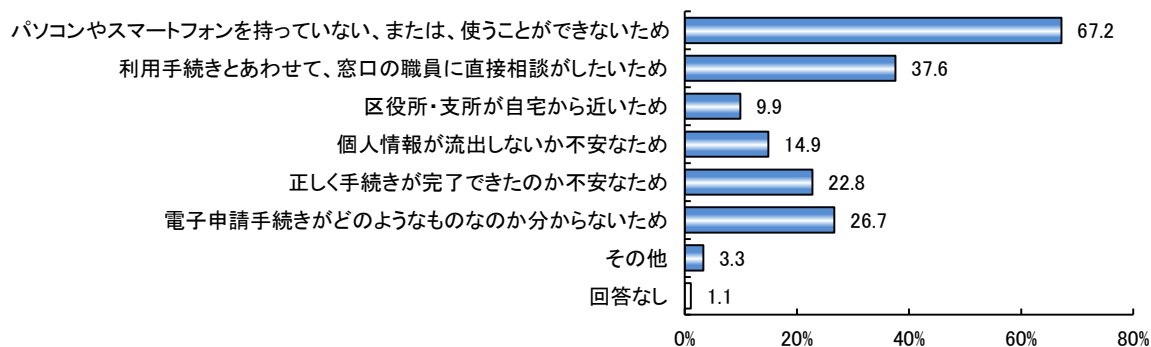
- 全体をみると、「パソコンやスマートフォンを持っていない、または、使うことができないため」（61.5%）が最も多く、次いで「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」（40.9%）、「正しく手続きが完了できたのか不安なため」（29.1%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、精神、難病等では「パソコンやスマートフォンを持っていない、または、使うことができないため」が最も多く、次いで「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」、発達では「正しく手続きが完了できたのか不安なため」が最も多く、次いで「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」、高次脳機能では「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」が最も多く、次いで「正しく手続きが完了できたのか不安なため」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

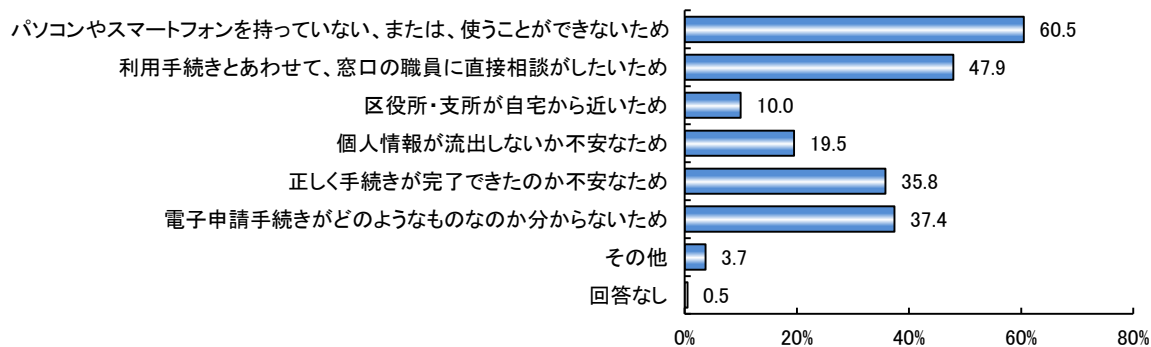
	回答者数	パソコンやスマートフォンを持っていない、または、使うことができないため	利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため	区役所・支所が自宅から近い	個人情報流出し不安なため	正しく手続きが完了できたのか不安なため	電子申請手続きがどのようなものかわからないため	その他	回答なし
全 体	2,051 100.0	1,261 61.5	838 40.9	220 10.7	364 17.7	596 29.1	558 27.2	79 3.9	20 1.0
身体障害	1,270 100.0	853 67.2	477 37.6	126 9.9	189 14.9	290 22.8	339 26.7	42 3.3	14 1.1
知的障害	190 100.0	115 60.5	91 47.9	19 10.0	37 19.5	68 35.8	71 37.4	7 3.7	1 0.5
精神障害	295 100.0	145 49.2	138 46.8	41 13.9	69 23.4	125 42.4	85 28.8	21 7.1	3 1.0
発達障害	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	24 100.0	9 37.5	16 66.7	1 4.2	6 25.0	14 58.3	5 20.8	0 0.0	1 4.2
難病等	264 100.0	137 51.9	113 42.8	31 11.7	61 23.1	95 36.0	56 21.2	9 3.4	1 0.4



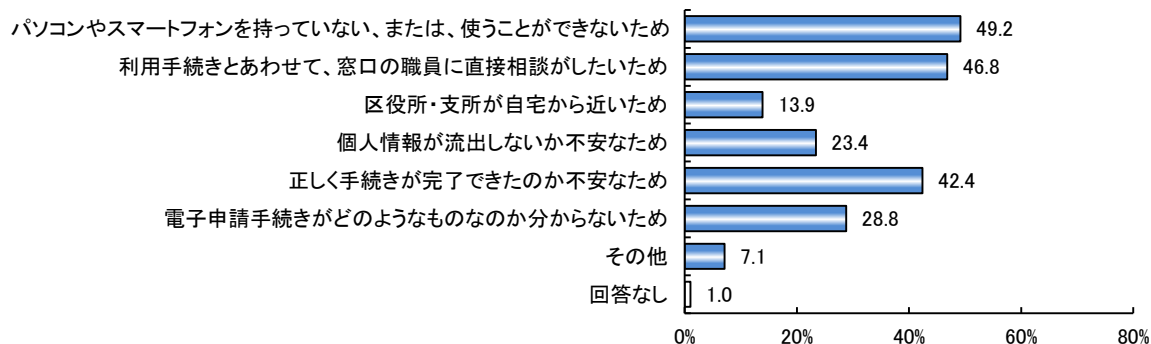
■ 身体障害 ■

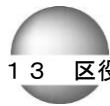


■ 知的障害 ■



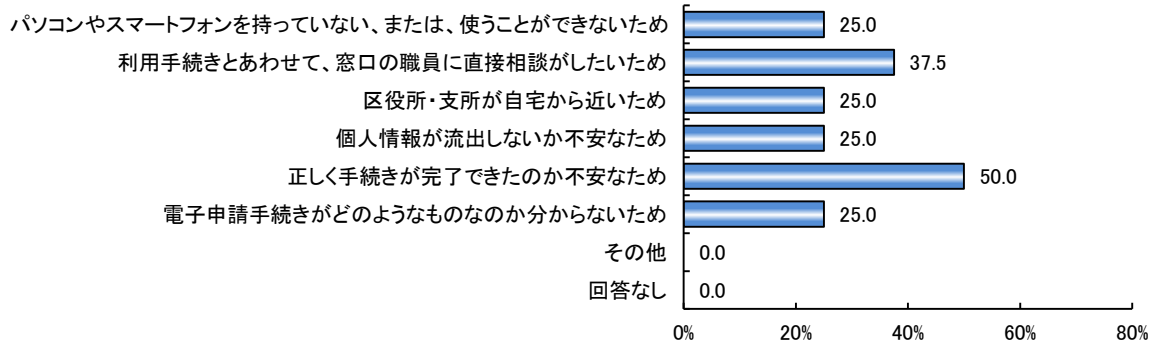
■ 精神障害 ■



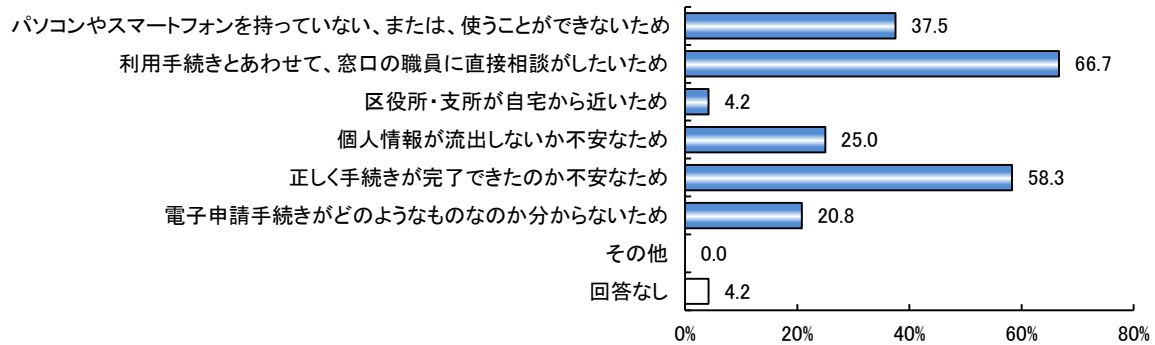


13 区役所・支所の窓口について

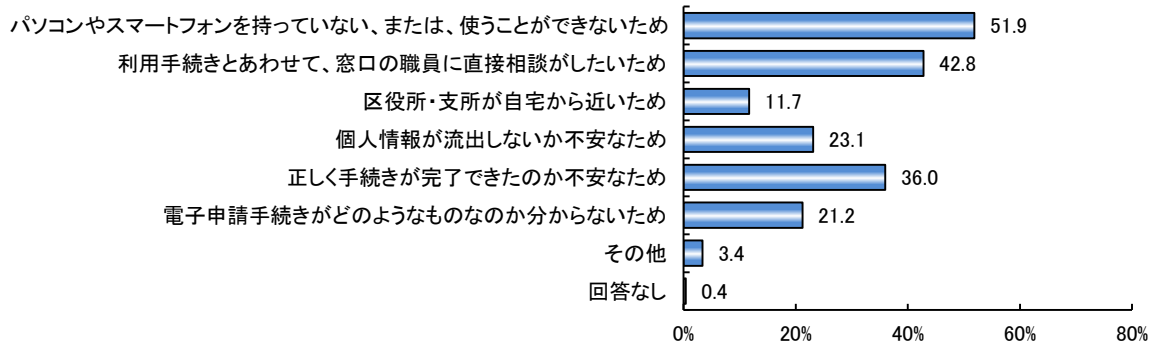
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



14 新型コロナウイルス感染症について

14-1 新型コロナウイルス感染症の流行で生活への影響【問48】

【問48】新型コロナウイルス感染症が流行したことで、あなたの生活に影響を受けましたか。

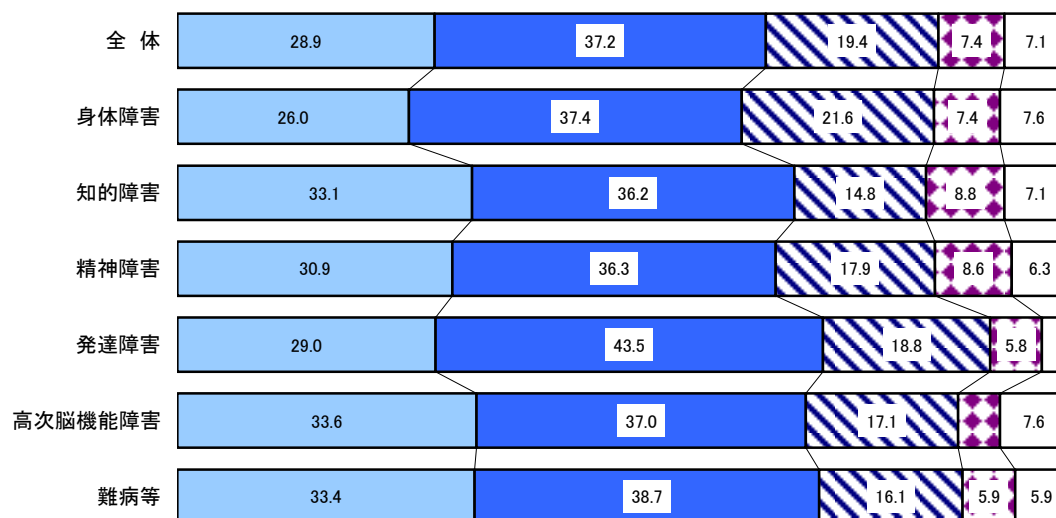
(1つだけ○)

- 全体をみると、「少し影響を受けた」(37.2%)が最も多く、「すごく影響を受けた」(28.9%)と合わせ 66.1%となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「少し影響を受けた」が最も多くなっています。「すごく影響を受けた」、「少し影響を受けた」の合計は、身体 63.4%、知的 69.3%、精神 67.2%、発達 72.5%、高次脳機能 70.6%、難病等 72.1%となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	すごく影響を受けた	少し影響を受けた	あまり影響を受けなかった	全く影響を受けなかった	回答なし
全 体	7,522 100.0	2,171 28.9	2,804 37.2	1,458 19.4	558 7.4	531 7.1
身体障害	4,131 100.0	1,076 26.0	1,541 37.4	893 21.6	305 7.4	316 7.6
知的障害	661 100.0	219 33.1	239 36.2	98 14.8	58 8.8	47 7.1
精神障害	1,318 100.0	407 30.9	478 36.3	236 17.9	114 8.6	83 6.3
発達障害	69 100.0	20 29.0	30 43.5	13 18.8	4 5.8	2 2.9
高次脳機能障害	211 100.0	71 33.6	78 37.0	36 17.1	10 4.7	16 7.6
難病等	1,132 100.0	378 33.4	438 38.7	182 16.1	67 5.9	67 5.9

☐ すごく影響を受けた
 ☐ 少し影響を受けた
 ☐ あまり影響を受けなかった
☐ 全く影響を受けなかった
 ☐ 回答なし



Ⅲ 調査結果（18 歳未満）

【問1】から【問30】までは、18歳未満のお子様の保護者の方にお聞きします。

1 基本属性

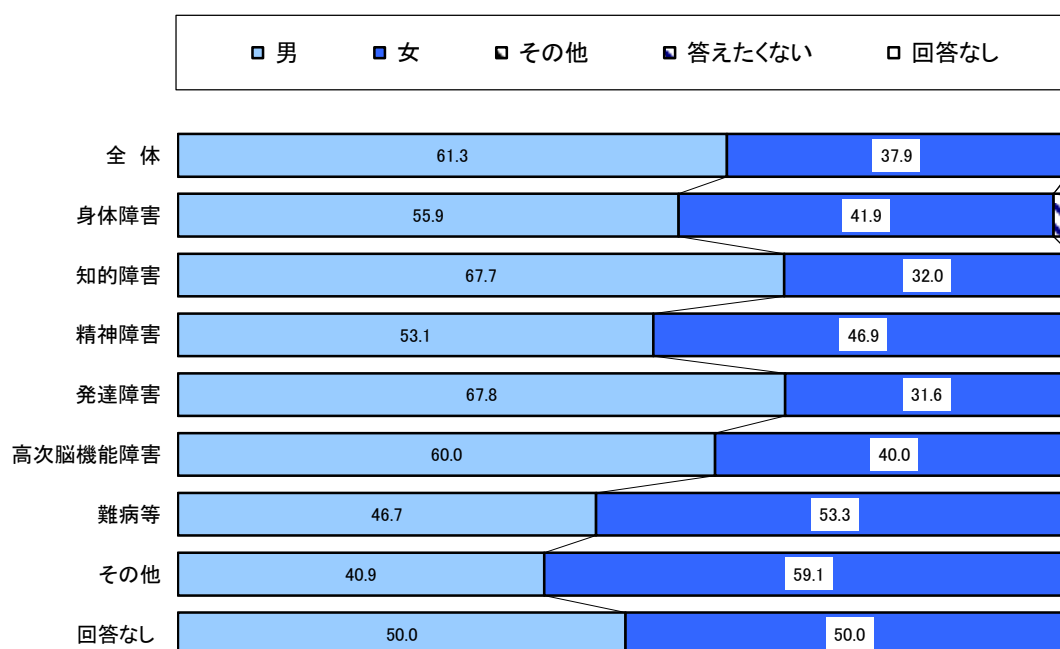
1-1 性別【問1】

【問1】ご本人の性別をお答えください。

- 全体をみると、「男」（61.3%）、「女」（37.9%）となっています。
- 障害種別でみると、難病等では「女」、その他の障害種別では「男」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	男	女	その他	答えたくない	回答なし
全 体	496 100.0	304 61.3	188 37.9	1 0.2	3 0.6	0 0.0
身体障害	93 100.0	52 55.9	39 41.9	0 0.0	2 2.2	0 0.0
知的障害	291 100.0	197 67.7	93 32.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
精神障害	32 100.0	17 53.1	15 46.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害	171 100.0	116 67.8	54 31.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	14 46.7	16 53.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	22 100.0	9 40.9	13 59.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	24 100.0	12 50.0	12 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



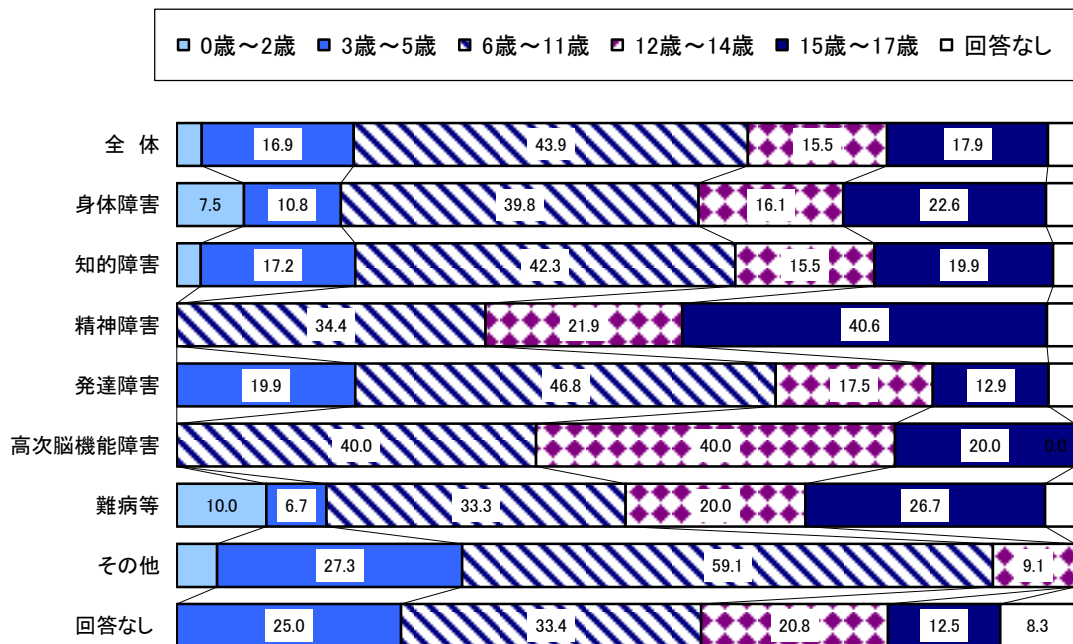
1-2 年齢【問2】

【問2】ご本人の年齢はおいくつですか。（令和4年10月3日現在でお答えください。）

- 全体をみると、「6歳～11歳」（43.9％）が最も多く、次いで「15歳～17歳」（17.9％）、「3歳～5歳」（16.9％）となっています。
- 障害種別でみると、精神では「15歳～17歳」が最も多く、次いで「6歳～11歳」、高次脳機能では「6歳～11歳」と「12歳～14歳」が同数となっています。その他の障害種別では「6歳～11歳」が最も多く、次いで身体、知的、難病等では「15歳～17歳」、発達では「3歳～5歳」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	0 歳～2 歳	3 歳～5 歳	6 歳～11 歳	12 歳～14 歳	15 歳～17 歳	回答なし
全 体	496 100.0	14 2.8	84 16.9	217 43.9	77 15.5	89 17.9	15 3.0
身体障害	93 100.0	7 7.5	10 10.8	37 39.8	15 16.1	21 22.6	3 3.2
知的障害	291 100.0	8 2.7	50 17.2	123 42.3	45 15.5	58 19.9	7 2.4
精神障害	32 100.0	0 0.0	0 0.0	11 34.4	7 21.9	13 40.6	1 3.1
発達障害	171 100.0	0 0.0	34 19.9	80 46.8	30 17.5	22 12.9	5 2.9
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
難病等	30 100.0	3 10.0	2 6.7	10 33.3	6 20.0	8 26.7	1 3.3
その他	22 100.0	1 4.5	6 27.3	13 59.1	2 9.1	0 0.0	0 0.0
回答なし	24 100.0	0 0.0	6 25.0	8 33.4	5 20.8	3 12.5	2 8.3



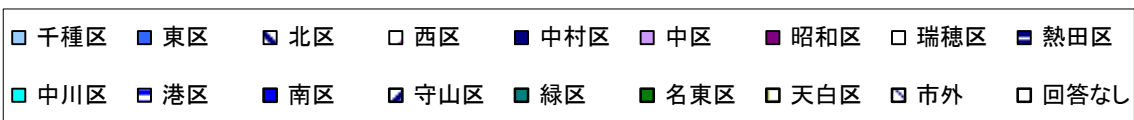
1-3 居住地区【問3】

【問3】ご本人のお住まいの区はどちらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「緑区」（15.0％）が最も多く、次いで「中川区」、「守山区」（各 9.3％）となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合計	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	市外	回答なし
全 体	496	36	11	28	33	24	11	24	29	10	46	30	22	46	74	35	36	0	1
	100.0	7.3	2.2	5.6	6.7	4.8	2.2	4.8	5.8	2.0	9.3	6.0	4.4	9.3	15.0	7.1	7.3	0.0	0.2
身体障害	93	9	1	5	5	3	2	6	8	1	7	6	4	9	16	4	7	0	0
	100.0	9.7	1.1	5.4	5.4	3.2	2.2	6.5	8.6	1.1	7.5	6.5	4.3	9.7	17.0	4.3	7.5	0.0	0.0
知的障害	291	19	5	15	20	18	9	13	18	6	26	19	15	27	40	24	17	0	0
	100.0	6.5	1.7	5.2	6.9	6.2	3.1	4.5	6.2	2.1	8.9	6.5	5.2	9.3	13.7	8.2	5.8	0.0	0.0
精神障害	32	1	0	5	2	1	1	2	0	0	3	1	2	3	8	0	3	0	0
	100.0	3.1	0.0	15.6	6.3	3.1	3.1	6.3	0.0	0.0	9.4	3.1	6.3	9.4	24.9	0.0	9.4	0.0	0.0
発達障害	171	10	5	10	10	6	2	14	10	2	15	14	8	19	25	10	10	0	1
	100.0	5.8	2.9	5.8	5.8	3.5	1.2	8.2	5.8	1.2	8.8	8.2	4.7	11.1	14.8	5.8	5.8	0.0	0.6
高次脳機能障害	5	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病等	30	3	1	2	1	2	1	3	2	0	3	2	1	2	4	1	2	0	0
	100.0	10.0	3.3	6.7	3.3	6.7	3.3	10.0	6.7	0.0	10.0	6.7	3.3	6.7	13.3	3.3	6.7	0.0	0.0
その他	22	2	2	1	2	0	0	1	0	2	2	0	0	0	4	3	3	0	0
	100.0	9.1	9.1	4.5	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.3	13.6	13.6	0.0	0.0
回答なし	24	1	2	0	2	2	1	1	0	0	3	3	0	3	3	1	2	0	0
	100.0	4.2	8.3	0.0	8.3	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0



1-4 障害者手帳所持の有無・障害種別【問4】

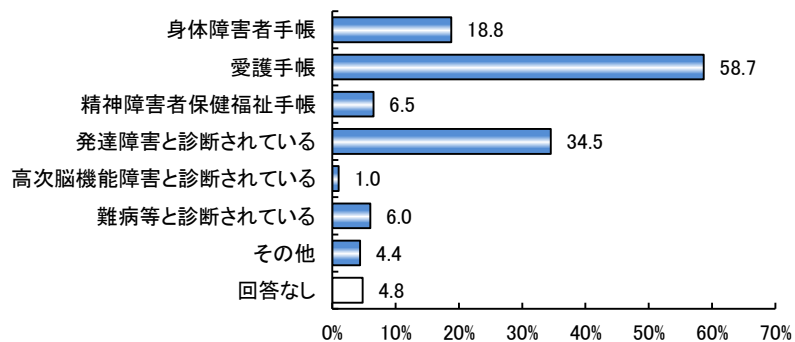
【問4】ご本人は次の手帳をお持ちですか。または障害、難病等と診断されていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 「愛護手帳」(58.7%)が最も多く、次いで「発達障害と診断されている」(34.5%)、「身体障害者手帳」(18.8%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

回答者数	身体障害者手帳	愛護手帳	精神障害者保健福祉手帳	発達障害と診断されている	高次脳機能障害と診断されている	難病等と診断されている	その他(選択肢1～6以外の方)	回答なし
496 100.0	93 18.8	291 58.7	32 6.5	171 34.5	5 1.0	30 6.0	22 4.4	24 4.8



■ 身体障害 ■

1-5 身体障害の障害等級【問4-①ア】

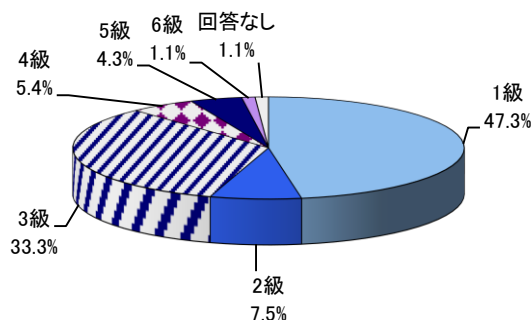
【問4-①】問4で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

- 「1級」(47.3%) が最も多く、次いで「3級」(33.3%)、「2級」(7.5%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	回答なし
93 100.0	44 47.3	7 7.5	31 33.3	5 5.4	4 4.3	1 1.1	1 1.1



1-6 身体障害の区分【問4-①イ】

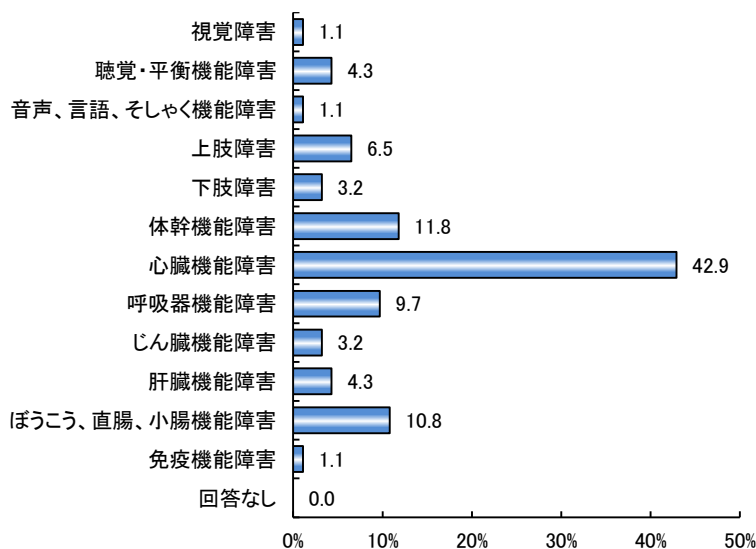
【問4-①】イ) 身体障害は次のうちどれですか。2つ以上障害のある方は、最も重いものはどれですか。

(1つだけ○)

- 「心臓機能障害」(42.9%) が最も多く、次いで「体幹機能障害」(11.8%)、「ぼうこう、直腸、小腸機能障害」(10.8%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声、言語、そしゃく機能障害	上肢障害	下肢障害	体幹機能障害	心臓機能障害	呼吸器機能障害	じん臓機能障害	肝臓機能障害	ぼうこう、直腸、小腸機能障害	免疫機能障害	回答なし
93 100.0	1 1.1	4 4.3	1 1.1	6 6.5	3 3.2	11 11.8	40 42.9	9 9.7	3 3.2	4 4.3	10 10.8	1 1.1	0 0.0



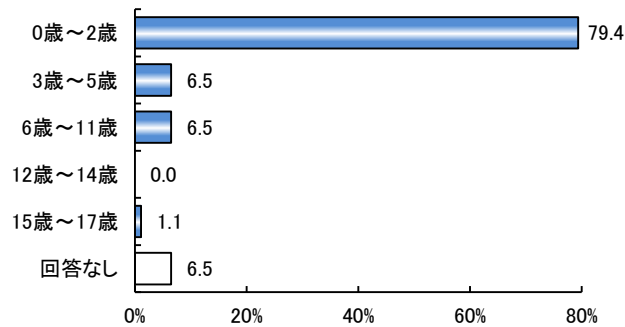
1-7 身体障害の発症年齢【問4-①ウ】

【問4-①】ウ) 身体障害になったのは何歳のときですか。
(身体障害者手帳を交付された時期ではありません。)

- 「0歳～2歳」(79.4%) が最も多くなっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0歳～2歳	3歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～17歳	回答なし
93 100.0	74 79.4	6 6.5	6 6.5	0 0.0	1 1.1	6 6.5



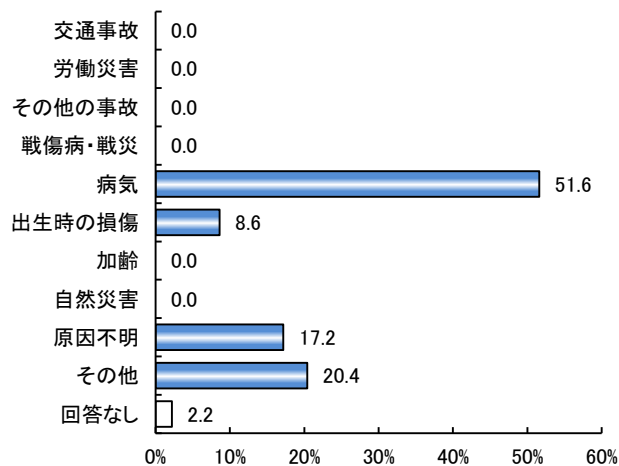
1-8 身体障害の主な原因【問4-①エ】

【問4-①】エ) 身体障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

- 「病気」(51.6%) が最も多く、次いで「その他」(20.4%)、「原因不明」(17.2%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	交通事故	労働災害	その他の事故	戦傷病・戦災	病気	出生時の損傷	加齢	自然災害	原因不明	その他	回答なし
93 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	48 51.6	8 8.6	0 0.0	0 0.0	16 17.2	19 20.4	2 2.2



■ 知的障害 ■

1-9 知的障害の障害等級【問4-②ア】

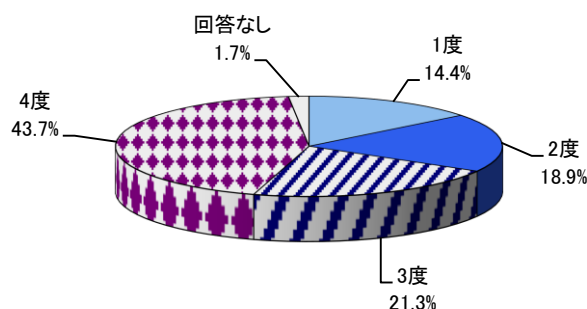
【問4-②】問4で「2. 愛護手帳」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 障害等級は何度ですか。(1つだけ○)

●「4度」(43.7%)が最も多く、次いで「3度」(21.3%)、「2度」(18.9%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	1 度	2 度	3 度	4 度	回答なし
291	42	55	62	127	5
100.0	14.4	18.9	21.3	43.7	1.7



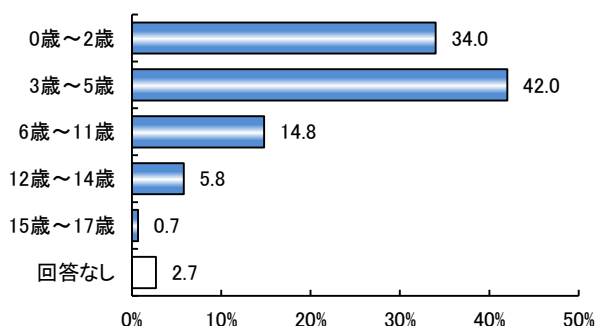
1-10 愛護手帳の交付年齢【問4-②イ】

【問4-②】イ) 初めて愛護手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。

●「3歳～5歳」(42.0%)が最も多く、次いで「0歳～2歳」(34.0%)、「6歳～11歳」(14.8%)となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0 歳～2 歳	3 歳～5 歳	6 歳～11 歳	12 歳～14 歳	15 歳～17 歳	回答なし
291	99	122	43	17	2	8
100.0	34.0	42.0	14.8	5.8	0.7	2.7



1-11 知的障害以外の障害・疾病【問4-②ウ】

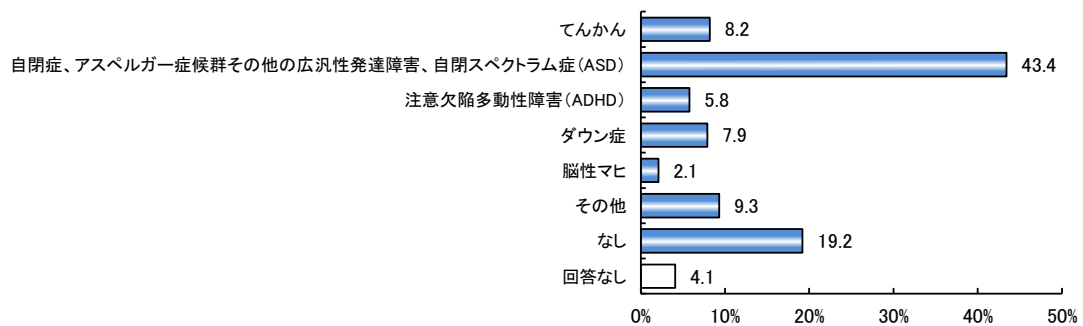
【問4-②】ウ) 知的障害のほかに、障害や疾病がありますか。

2つ以上障害や疾病のある方は、最も重いものはどれですか。(1つだけ○)

- 「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)」(43.4%)が最も多く、次いで「なし」(19.2%)、「その他」(9.3%)となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	てんかん	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)	注意欠陥多動性障害(ADHD)	ダウン症	脳性マヒ	その他	なし	回答なし
291 100.0	24 8.2	126 43.4	17 5.8	23 7.9	6 2.1	27 9.3	56 19.2	12 4.1



■ 精神障害 ■

1-12 精神障害の障害等級【問4-③ア】

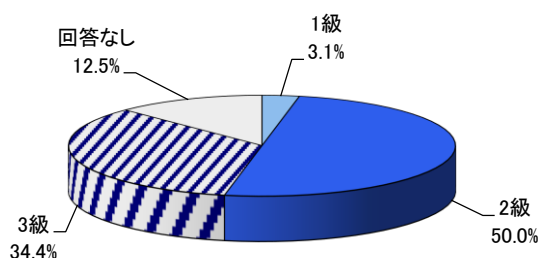
【問4-③】問4で「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

- 「2級」(50.0%) が最も多く、次いで「3級」(34.4%)、「1級」(3.1%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	1 級	2 級	3 級	回答なし
32	1	16	11	4
100.0	3.1	50.0	34.4	12.5



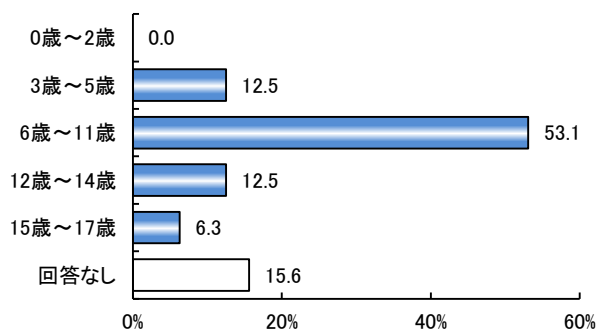
1-13 精神障害者保健福祉手帳の交付年齢【問4-③イ】

【問4-③】イ) 初めて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。

- 「6歳～11歳」(53.1%) が最も多く、次いで「3歳～5歳」、「12歳～14歳」(各12.5%) となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	0 歳～2 歳	3 歳～5 歳	6 歳～11 歳	12 歳～14 歳	15 歳～17 歳	回答なし
32	0	4	17	4	2	5
100.0	0.0	12.5	53.1	12.5	6.3	15.6



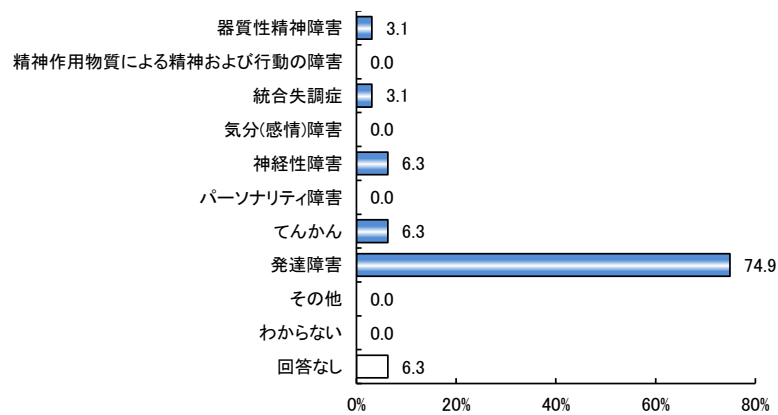
1-14 精神障害の主な病名【問4-③ウ】

【問4-③】ウ) 主な病名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- 「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群など）」(74.9%) が最も多くなっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	器質性精神障害(認知症、高次脳機能障害など)	精神作用物質による精神および行動の障害(アルコール依存症・精神薬、覚せい剤依存症・精神薬など)	統合失調症	気分(感情)障害(うつ病、そううつ病、そう病)	神経性障害(パニック障害、強迫性障害など)	パーソナリティ障害	てんかん	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群など)	その他	わからない	回答なし
32 100.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	24 74.9	0 0.0	0 0.0	2 6.3



■ 発達障害 ■

1-15 発達障害と診断された年齢【問4-④ア】

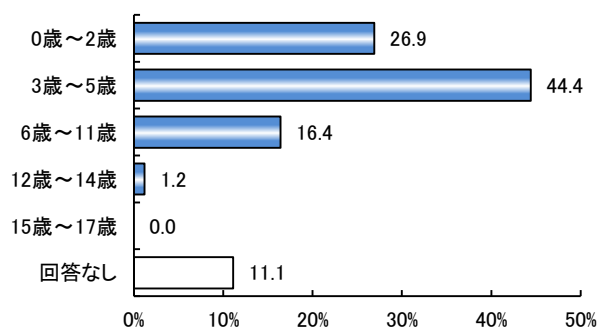
【問4-④】問4で「4. 発達障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて発達障害と診断されたのは何歳のときですか。

- 「3歳～5歳」(44.4%)が最も多く、次いで「0歳～2歳」(26.9%)、「6歳～11歳」(16.4%)となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	0歳～2歳	3歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～17歳	回答なし
171 100.0	46 26.9	76 44.4	28 16.4	2 1.2	0 0.0	19 11.1



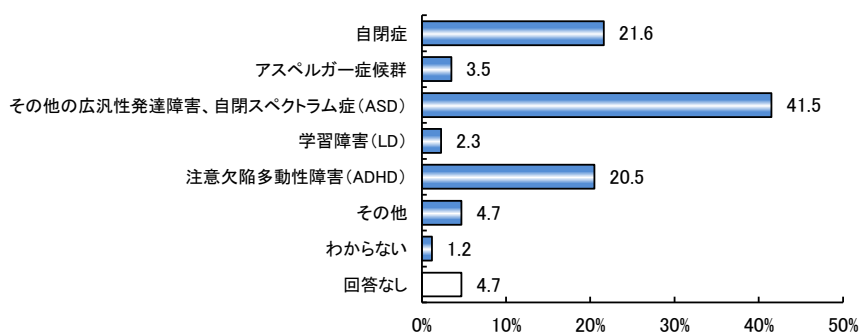
1-16 発達障害の主な診断名【問4-④イ】

【問4-④】イ) 発達障害の主な診断名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- 「その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)」(41.5%)が最も多く、次いで「自閉症」(21.6%)、「注意欠陥多動性障害(ADHD)」(20.5%)となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	自閉症	アスペルガー症候群	その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)	学習障害(LD)	注意欠陥多動性障害(ADHD)	その他	わからない	回答なし
171 100.0	37 21.6	6 3.5	71 41.5	4 2.3	35 20.5	8 4.7	2 1.2	8 4.7



■ 高次脳機能障害 ■

1-17 高次脳機能障害と診断された年齢【問4-⑤ア】

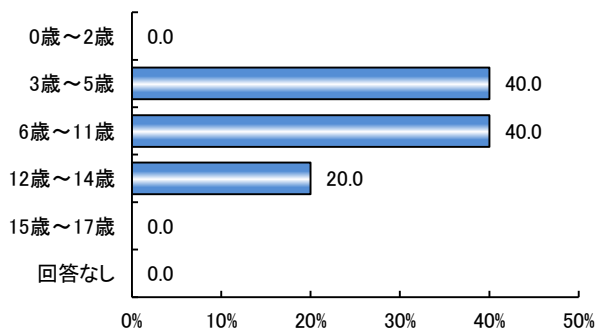
【問4-⑤】問4で「5. 高次脳機能障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きます。

ア) 初めて高次脳機能障害と診断されたのは何歳のときですか。

● 「3歳～5歳」、「6歳～11歳」(各40.0%) が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	0歳～2歳	3歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～17歳	回答なし
5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0



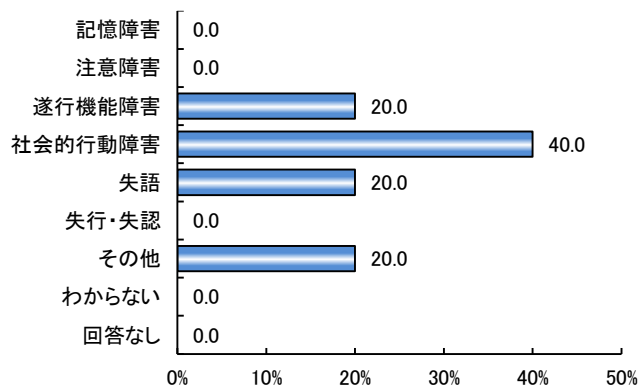
1-18 高次脳機能障害と診断された主な症状【問4-⑤イ】

【問4-⑤】イ) 高次脳機能障害と診断された主な症状は次のうちどれですか。(1つだけ○)

● 「社会的行動障害」(40.0%) が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

合 計	記憶障害	注意障害	遂行機能障害(生活や仕事で段取りを考えたり、効率的に物事を進められなくなったりすること)	社会的行動障害(感情や欲求コントロールの低下、ささいなことにこだわるようになることなど)	失語	失行・失認	その他	わからない	回答なし
5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0



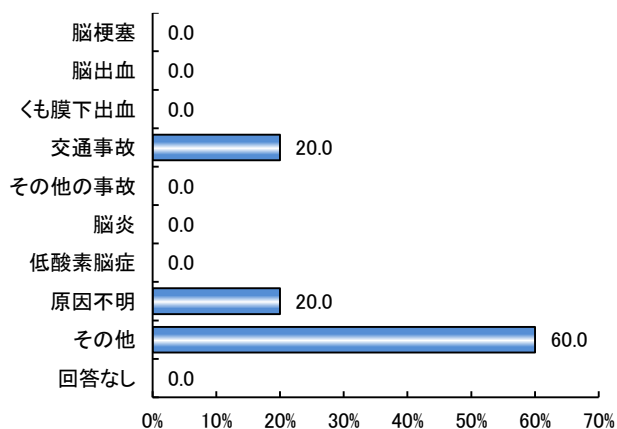
1-19 高次脳機能障害の主な原因【問4-⑤ウ】

【問4-⑤】ウ) 高次脳機能障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

●「その他」(60.0%)が最も多くなっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

合 計	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	交通事故	その他の事故	脳炎	低酸素脳症	原因不明	その他	回答なし
5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0



■ 難病等の方 ■

1-20 難病等と診断された年齢【問4-⑥ア】

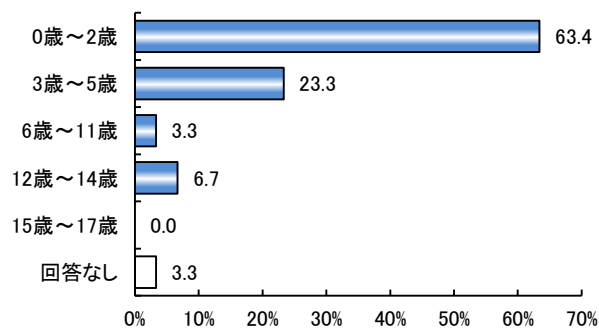
【問4-⑥】問4で「6. 難病等と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 診断を受けたのは何歳のときですか。

※2つ以上診断を受けている場合は、一番早く診断を受けた疾病でお答えください。

●「0歳～2歳」(63.4%) が最も多く、次いで「3歳～5歳」(23.3%) となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕						
合 計	0 歳～2 歳	3 歳～5 歳	6 歳～11 歳	12 歳～14 歳	15 歳～17 歳	回答なし
30	19	7	1	2	0	1
100.0	63.4	23.3	3.3	6.7	0.0	3.3

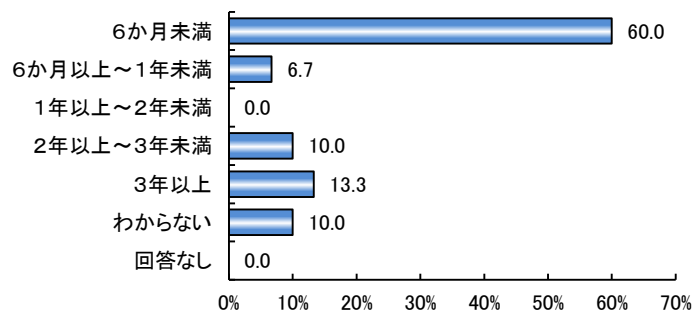


1-21 難病等の発病から病名告知までの期間【問4-⑥イ】

【問4-⑥】イ) 発病から病名告知までにどのくらいの期間がかかりましたか。(1つだけ○)

●「6か月未満」(60.0%) が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕							
合 計	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～2年未満	2年以上～3年未満	3年以上	わからない	回答なし
30	18	2	0	3	4	3	0
100.0	60.0	6.7	0.0	10.0	13.3	10.0	0.0



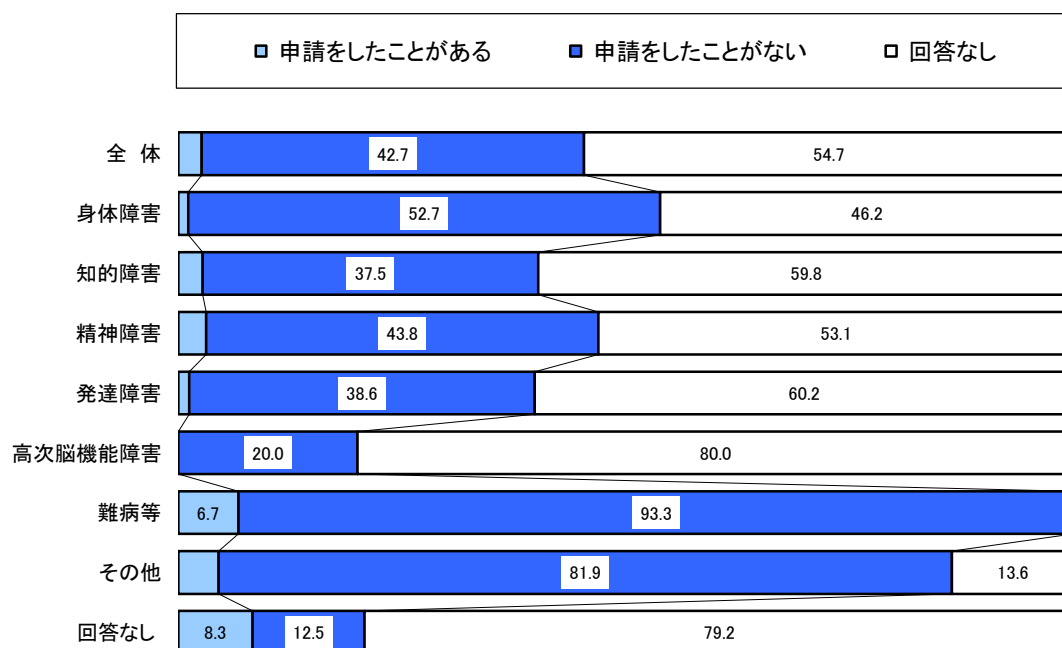
1-22 障害支援区分認定申請の有無【問5】

【問5】ご本人は、障害者総合支援法（「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」）による障害支援区分の認定の申請をしたことがありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「申請をしたことがない」（42.7％）が、「申請をしたことがある」（2.6％）より多くなっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「申請をしたことがない」が、「申請をしたことがある」より多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	申請をしたことがある	申請をしたことがない	回答なし
全 体	496 100.0	13 2.6	212 42.7	271 54.7
身体障害	93 100.0	1 1.1	49 52.7	43 46.2
知的障害	291 100.0	8 2.7	109 37.5	174 59.8
精神障害	32 100.0	1 3.1	14 43.8	17 53.1
発達障害	171 100.0	2 1.2	66 38.6	103 60.2
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0
難病等	30 100.0	2 6.7	28 93.3	0 0.0
その他	22 100.0	1 4.5	18 81.9	3 13.6
回答なし	24 100.0	2 8.3	3 12.5	19 79.2



1-23 障害支援区分認定の結果【問5-①】

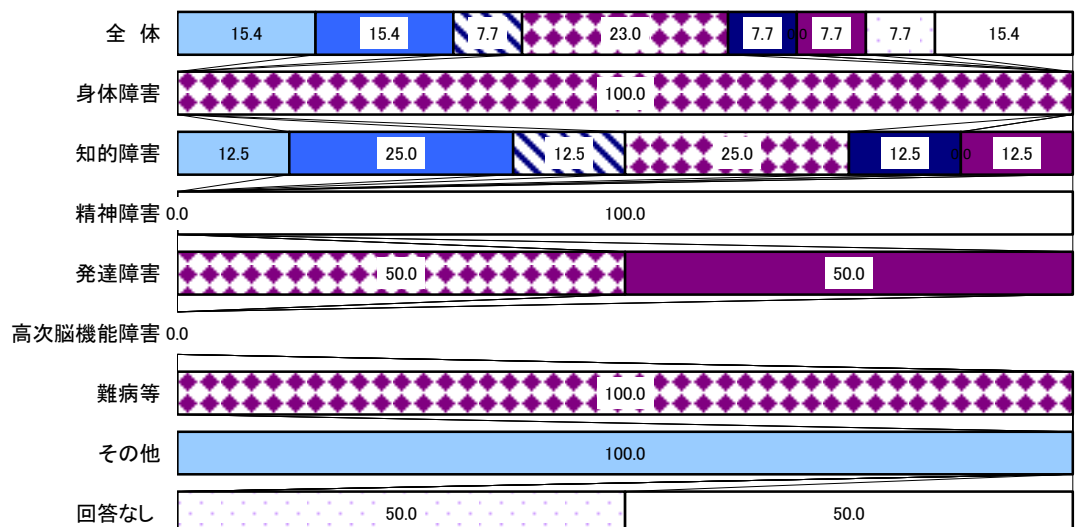
【問5-①】問5で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。
 障害支援区分認定の結果は次のうちどれですか。
 直近の申請結果についてお答えください。（1つだけ○）

●全体をみると、「障害支援区分3」（23.0％）が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	非該当	障害支援区分1	障害支援区分2	障害支援区分3	障害支援区分4	障害支援区分5	障害支援区分6	申請したが結果がまだ出ていない	回答なし
全 体	13 100.0	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4
身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
知的障害	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
精神障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
発達障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0

- 非該当
- 障害支援区分1
- 障害支援区分2
- 障害支援区分3
- 障害支援区分4
- 障害支援区分5
- 障害支援区分6
- 申請したが結果がまだ出ていない
- 回答なし



2 お住まいについて

2-1 同居の有無【問6】

【問6】ご本人はどなたと暮らしていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「家族」（98.6%）が最も多くなっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「家族」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	家族	家族以外	一人	その他	回答なし
全 体	496 100.0	489 98.6	2 0.4	0 0.0	3 0.6	2 0.4
身体障害	93 100.0	92 98.9	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0
知的障害	291 100.0	288 99.0	1 0.3	0 0.0	2 0.7	0 0.0
精神障害	32 100.0	31 96.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害	171 100.0	171 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	22 100.0	21 95.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	23 95.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2





2-2 家族構成【問6-①】

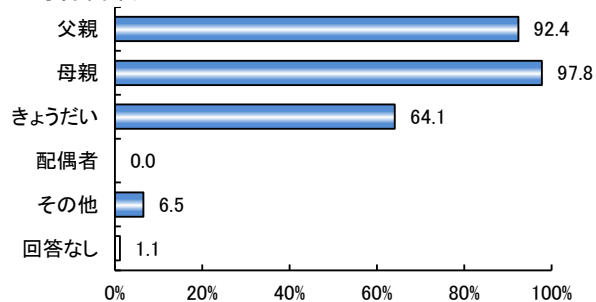
【問6-①】問6で「1. 家族」に○をつけた方にお聞きます。
一緒に暮している方は、どなたですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「母親」(98.4%)が最も多く、次いで「父親」(91.2%)、「きょうだい」(67.3%)となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「母親」が最も多く、次いで「父親」となっています。

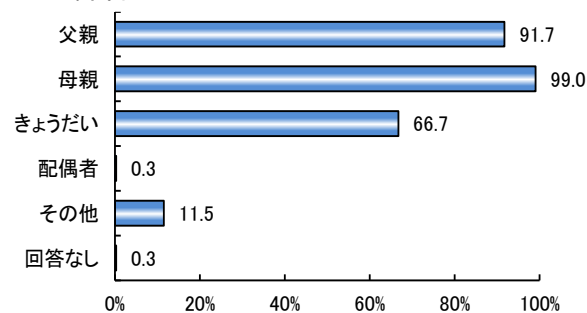
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	回答者数	父親	母親	きょうだい	配偶者	その他	回答なし
全 体	489 100.0	446 91.2	481 98.4	329 67.3	2 0.4	52 10.6	2 0.4
身体障害	92 100.0	85 92.4	90 97.8	59 64.1	0 0.0	6 6.5	1 1.1
知的障害	288 100.0	264 91.7	285 99.0	192 66.7	1 0.3	33 11.5	1 0.3
精神障害	31 100.0	24 77.4	29 93.5	18 58.1	0 0.0	1 3.2	1 3.2
発達障害	171 100.0	159 93.0	168 98.2	113 66.1	1 0.6	17 9.9	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	27 90.0	29 96.7	21 70.0	0 0.0	2 6.7	1 3.3
その他	21 100.0	21 100.0	21 100.0	14 66.7	0 0.0	1 4.8	0 0.0
回答なし	23 100.0	20 87.0	23 100.0	17 73.9	0 0.0	2 8.7	0 0.0

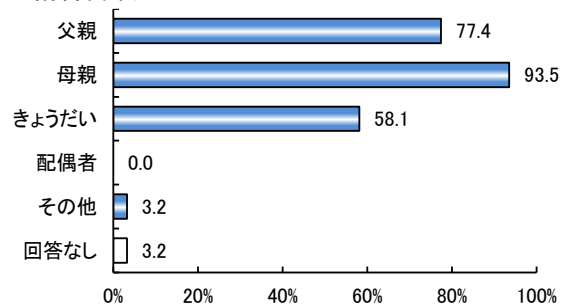
■ 身体障害 ■



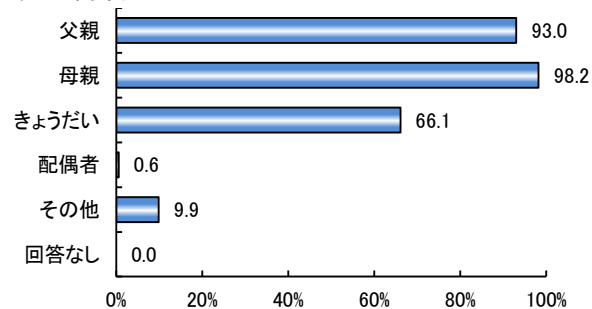
■ 知的障害 ■



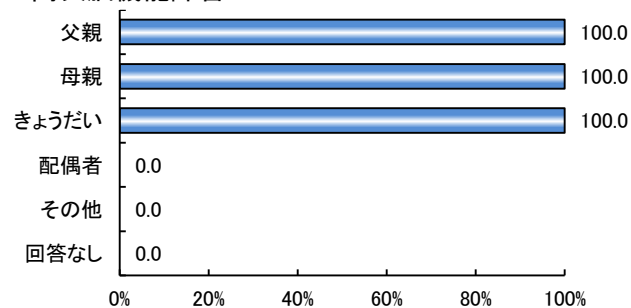
■ 精神障害 ■



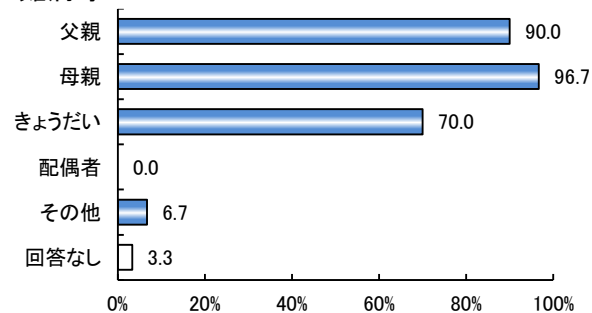
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



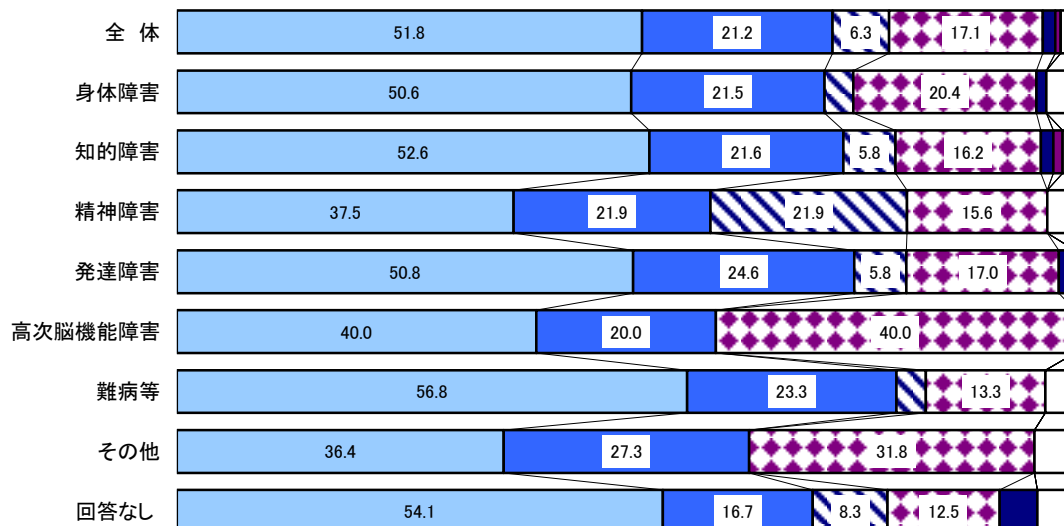
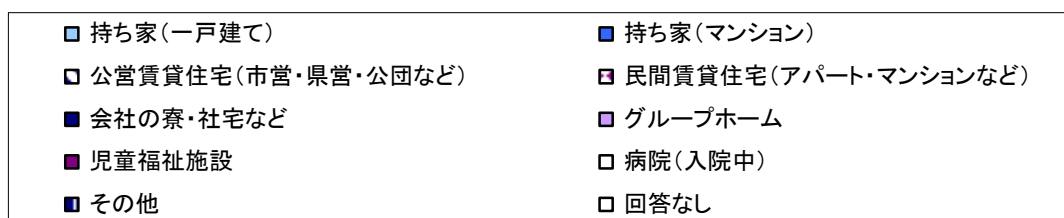
2-3 現在の生活場所【問7】

【問7】ご本人は、現在、どこで生活していますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「持ち家（一戸建て）」（51.8%）が最も多く、次いで「持ち家（マンション）」（21.2%）、「民間賃貸住宅（アパート、マンションなど）」（17.1%）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「持ち家（一戸建て）」が最も多く、次いで「持ち家（マンション）」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	持ち家 (一戸 建て)	持ち家 (マン ション)	公営賃貸 住宅(市 営・県営・ 公団 など)	民間賃貸 住宅(アパ ート・マン ション など)	会社の 寮・社宅 など	グループ ホーム	児童福祉 施設	病院 (入院中)	その他	回答なし
全 体	496 100.0	257 51.8	105 21.2	31 6.3	85 17.1	7 1.4	0 0.0	3 0.6	0 0.0	0 0.0	8 1.6
身体障害	93 100.0	47 50.6	20 21.5	3 3.2	19 20.4	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.2
知的障害	291 100.0	153 52.6	63 21.6	17 5.8	47 16.2	4 1.4	0 0.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0	4 1.4
精神障害	32 100.0	12 37.5	7 21.9	7 21.9	5 15.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1
発達障害	171 100.0	87 50.8	42 24.6	10 5.8	29 17.0	3 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	17 56.8	7 23.3	1 3.3	4 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3
その他	22 100.0	8 36.4	6 27.3	0 0.0	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	13 54.1	4 16.7	2 8.3	3 12.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2



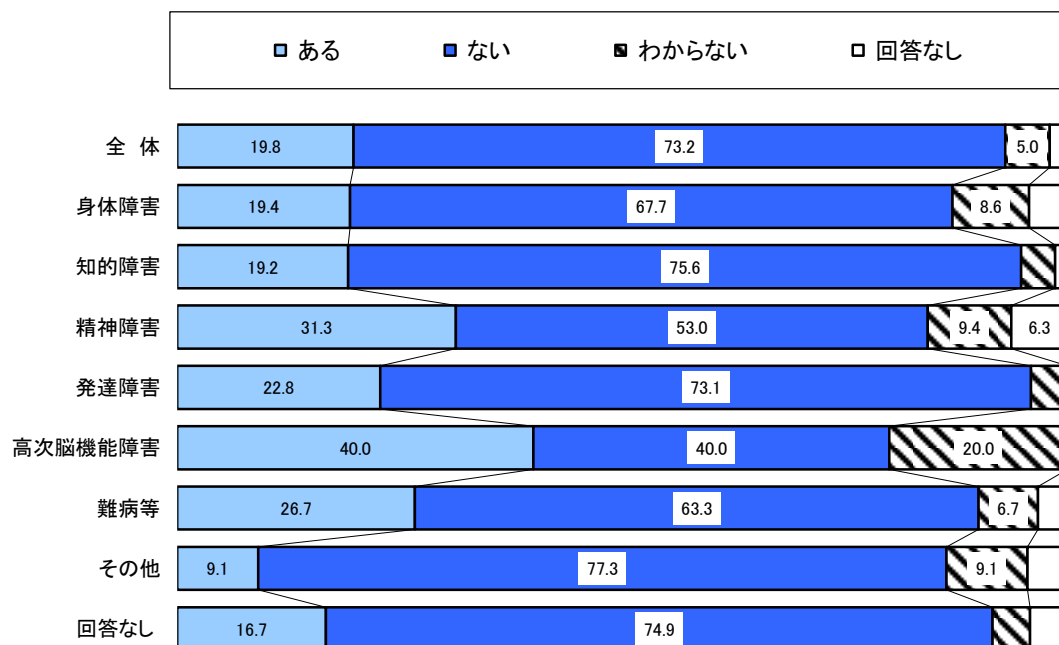
2-4 困りごとの有無【問8】

【問8】現在の住まいについて、困っていることはありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「ある」（19.8%）、「ない」（73.2%）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「ない」が多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	あ る	な い	わ か ら な い	回 答 な し
全 体	496 100.0	98 19.8	363 73.2	25 5.0	10 2.0
身体障害	93 100.0	18 19.4	63 67.7	8 8.6	4 4.3
知的障害	291 100.0	56 19.2	220 75.6	11 3.8	4 1.4
精神障害	32 100.0	10 31.3	17 53.0	3 9.4	2 6.3
発達障害	171 100.0	39 22.8	125 73.1	7 4.1	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
難病等	30 100.0	8 26.7	19 63.3	2 6.7	1 3.3
その他	22 100.0	2 9.1	17 77.3	2 9.1	1 4.5
回答なし	24 100.0	4 16.7	18 74.9	1 4.2	1 4.2





2-5 困りごとの理由【問8-①】

【問8-①】問8で「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。

困っていることは次のうちどれですか。(いくつでも○)

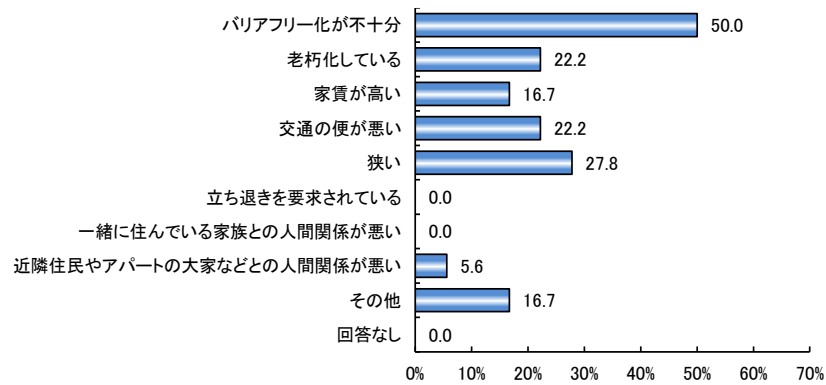
- 全体をみると、「狭い」(33.7%)が最も多く、次いで「老朽化している」、「その他」(各 23.5%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、難病等では「バリアフリー化が不十分」、知的では「その他」、精神では「老朽化している」、発達では「狭い」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

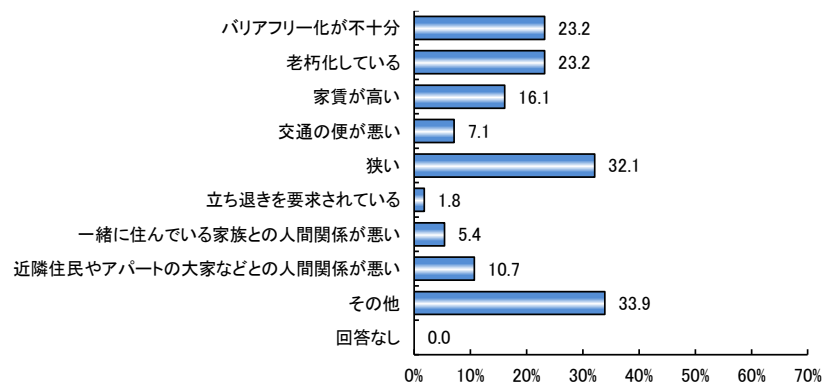
	回答者数	バリアフリー化が不十分	老朽化している	家賃が高い	交通の便が悪い	狭い	立ち退きを要求されている	一緒に住んでいる家族との人間関係が悪い	近隣住民やアパートの大家などとの人間関係が悪い	その他	回答なし
全 体	98 100.0	19 19.4	23 23.5	18 18.4	10 10.2	33 33.7	2 2.0	8 8.2	10 10.2	23 23.5	0 0.0
身体障害	18 100.0	9 50.0	4 22.2	3 16.7	4 22.2	5 27.8	0 0.0	0 0.0	1 5.6	3 16.7	0 0.0
知的障害	56 100.0	13 23.2	13 23.2	9 16.1	4 7.1	18 32.1	1 1.8	3 5.4	6 10.7	19 33.9	0 0.0
精神障害	10 100.0	0 0.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
発達障害	39 100.0	2 5.1	7 17.9	7 17.9	3 7.7	14 35.9	1 2.6	5 12.8	3 7.7	7 17.9	0 0.0
高次脳機能障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
難病等	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
回答なし	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0



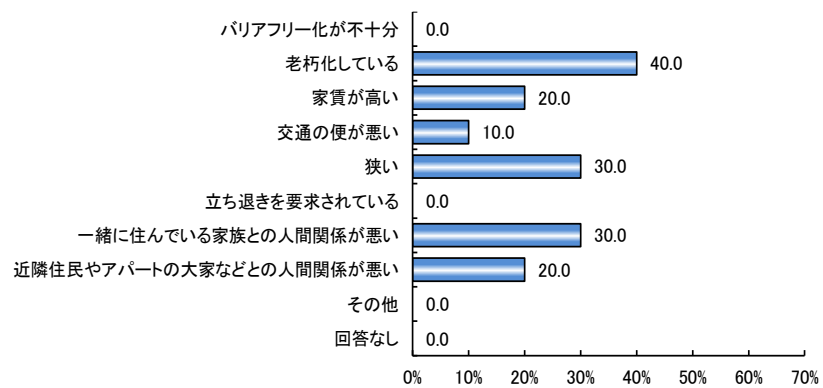
■ 身体障害 ■



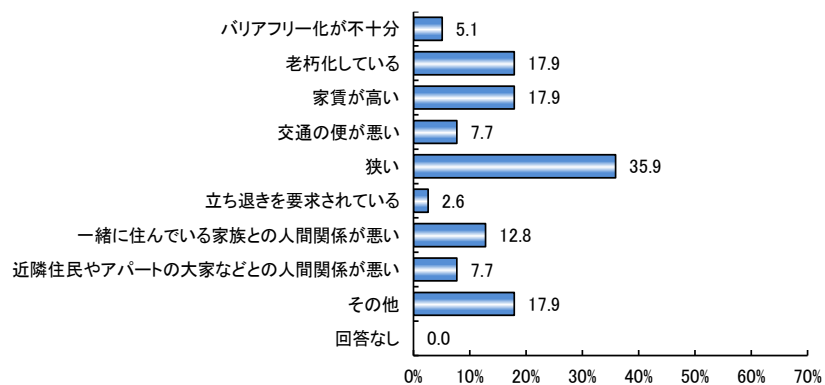
■ 知的障害 ■



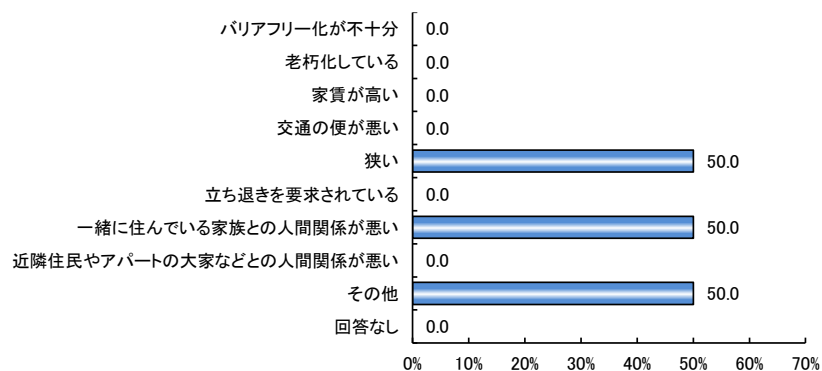
■ 精神障害 ■



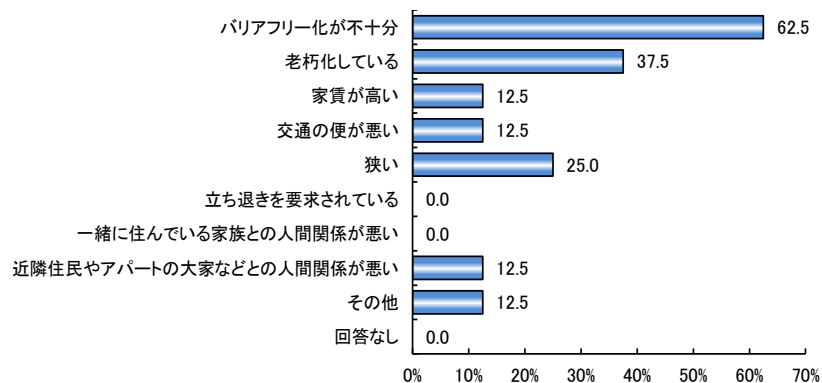
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



3 収入について

3-1 世帯の収入の中心【問9】

【問9】ご本人の属する世帯の収入の中心は、次のうちどれですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「仕事による収入」（87.0％）が最も多くなっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「仕事による収入」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	仕事による収入	年金	手当(特別障害者手当、県在宅重度障害者手当、特別児童扶養手当など)	仕送り	生活保護	その他	回答なし
全 体	496 100.0	431 87.0	5 1.0	19 3.8	1 0.2	8 1.6	7 1.4	25 5.0
身体障害	93 100.0	83 89.2	0 0.0	5 5.4	0 0.0	0 0.0	1 1.1	4 4.3
知的障害	291 100.0	250 86.0	2 0.7	12 4.1	1 0.3	5 1.7	5 1.7	16 5.5
精神障害	32 100.0	22 68.7	2 6.3	6 18.8	0 0.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1
発達障害	171 100.0	156 91.2	3 1.8	3 1.8	0 0.0	4 2.3	1 0.6	4 2.3
高次脳機能障害	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	27 90.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0
その他	22 100.0	21 95.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	22 91.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3



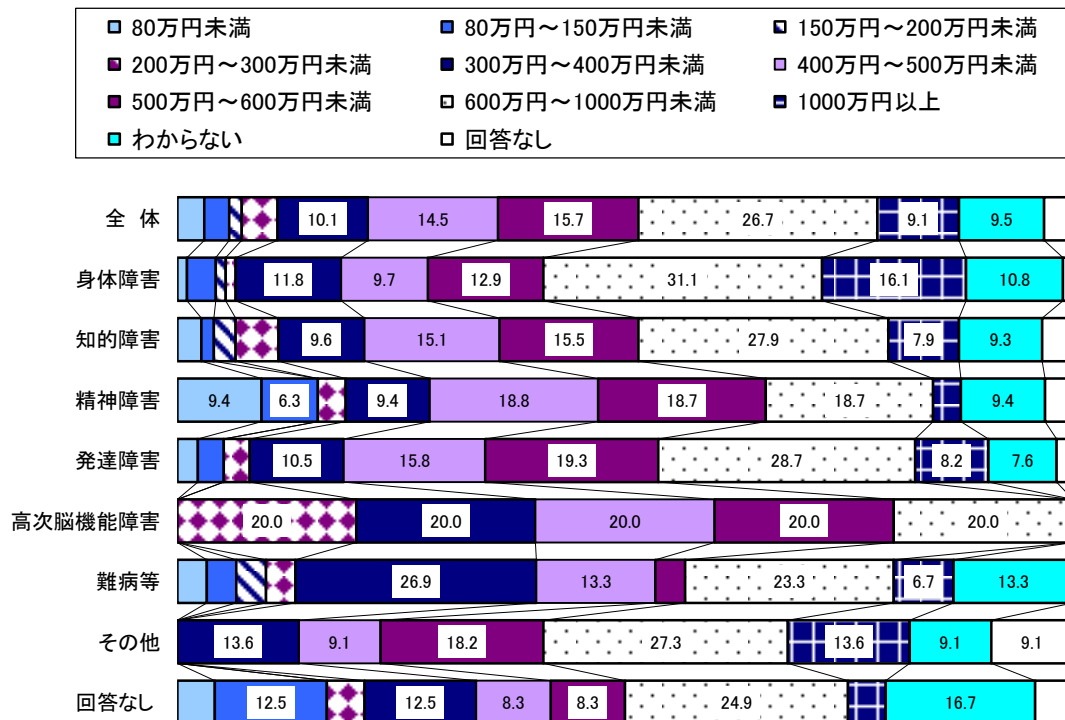
3-2 生計中心者の年間収入額【問10】

【問10】ご本人の家族の生計中心者の令和3年中のすべての収入（税込）はいくらですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「600万円～1000万円未満」（26.7％）が最も多く、次いで「500万円～600万円未満」（15.7％）、「400万円～500万円未満」（14.5％）となっています。
- 障害種別でみると、難病等では「300万円～400万円未満」、概ねその他の障害種別では「600万円～1000万円未満」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	80 万円 未満	80 万円 ～150 万 円未満	150 万円 ～200 万 円未満	200 万円 ～300 万 円未満	300 万円 ～400 万 円未満	400 万円 ～500 万 円未満	500 万円 ～600 万 円未満	600 万円 ～1000 万円未満	1000 万 円以上	わから ない	回答なし
全 体	496 100.0	15 3.0	14 2.8	7 1.4	20 4.0	50 10.1	72 14.5	78 15.7	132 26.7	45 9.1	47 9.5	16 3.2
身体障害	93 100.0	1 1.1	3 3.2	1 1.1	1 1.1	11 11.8	9 9.7	12 12.9	29 31.1	15 16.1	10 10.8	1 1.1
知的障害	291 100.0	8 2.7	4 1.4	7 2.4	14 4.8	28 9.6	44 15.1	45 15.5	81 27.9	23 7.9	27 9.3	10 3.4
精神障害	32 100.0	3 9.4	2 6.3	0 0.0	1 3.1	3 9.4	6 18.8	6 18.7	6 18.7	1 3.1	3 9.4	1 3.1
発達障害	171 100.0	4 2.3	5 2.9	0 0.0	5 2.9	18 10.5	27 15.8	33 19.3	49 28.7	14 8.2	13 7.6	3 1.8
高次脳 機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	1 3.3	8 26.9	4 13.3	1 3.3	7 23.3	2 6.7	4 13.3	0 0.0
その他	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.6	2 9.1	4 18.2	6 27.3	3 13.6	2 9.1	2 9.1
回答なし	24 100.0	1 4.2	3 12.5	0 0.0	1 4.2	3 12.5	2 8.3	2 8.3	6 24.9	1 4.2	4 16.7	1 4.2



4 障害福祉サービスの利用状況について

4-1 障害福祉情報の入手先【問11】

【問11】ご本人や保護者の方は、障害福祉に関する情報を、どこから知りますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「区役所・支所や保健センターに問い合わせる」(53.4%)が最も多く、次いで「利用している施設の職員に聞いてみる」(37.3%)、「家族や友人に聞いてみる」(29.4%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「区役所・支所や保健センターに問い合わせる」が最も多く、次いで身体、精神では「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」、知的、発達、難病等では「利用している施設の職員に聞いてみる」となっています。

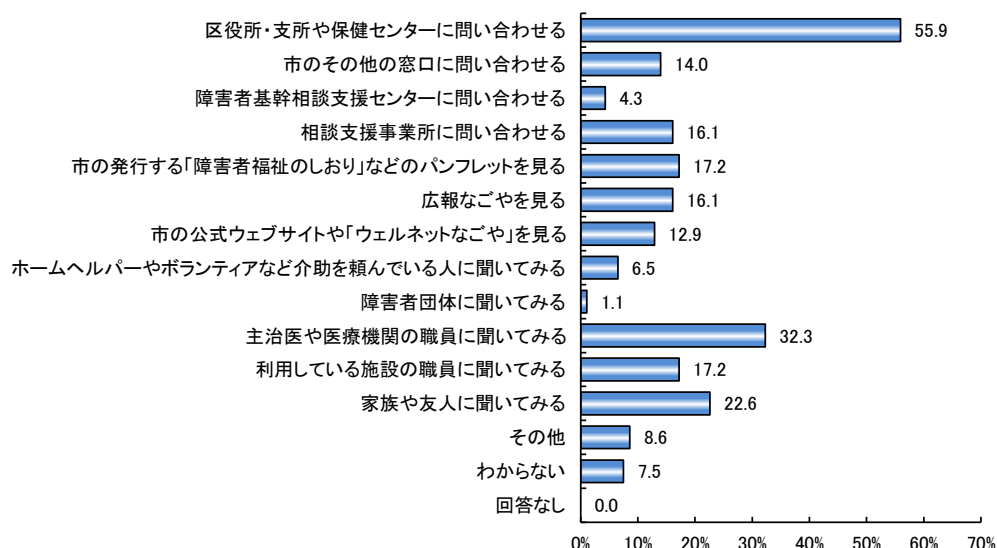
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	区役所・支所や保健センターに問い合わせる	市その他の窓口(療育センター、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センターなど)に問い合わせる	障害者基幹相談支援センターに問い合わせる	相談支援事業所に問い合わせる	市の発行する「障害者福祉のしおり」などのパンフレットを見る	広報などを見る	市の公式ウェブサイトや「ウエルネット」などを見る	ホームヘルパーやボランティアなど介助を頼んでいる人に聞いてみる	障害者団体に聞いてみる	主治医や医療機関の職員に聞いてみる	利用している施設の職員に聞いてみる	家族や友人に聞いてみる	その他	わからない	回答なし
全 体	496 100.0	265 53.4	123 24.8	26 5.2	105 21.2	90 18.1	82 16.5	54 10.9	12 2.4	12 2.4	141 28.4	185 37.3	146 29.4	35 7.1	22 4.4	5 1.0
身体障害	93 100.0	52 55.9	13 14.0	4 4.3	15 16.1	16 17.2	15 16.1	12 12.9	6 6.5	1 1.1	30 32.3	16 17.2	21 22.6	8 8.6	7 7.5	0 0.0
知的障害	291 100.0	146 50.2	85 29.2	19 6.5	78 26.8	62 21.3	52 17.9	33 11.3	9 3.1	9 3.1	61 21.0	117 40.2	99 34.0	24 8.2	14 4.8	2 0.7
精神障害	32 100.0	20 62.5	6 18.8	3 9.4	6 18.8	4 12.5	4 12.5	7 21.9	0 0.0	1 3.1	15 46.9	10 31.3	6 18.8	0 0.0	3 9.4	0 0.0
発達障害	171 100.0	92 53.8	51 29.8	10 5.8	50 29.2	33 19.3	31 18.1	17 9.9	3 1.8	1 0.6	52 30.4	85 49.7	53 31.0	9 5.3	1 0.6	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	17 56.7	5 16.7	0 0.0	5 16.7	6 20.0	3 10.0	7 23.3	1 3.3	1 3.3	8 26.7	9 30.0	8 26.7	2 6.7	0 0.0	0 0.0
その他	22 100.0	9 40.9	6 27.3	0 0.0	3 13.6	1 4.5	3 13.6	3 13.6	0 0.0	0 0.0	5 22.7	8 36.4	5 22.7	3 13.6	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	19 79.2	6 25.0	0 0.0	2 8.3	7 29.2	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 50.0	8 33.3	5 20.8	0 0.0	0 0.0	1 4.2

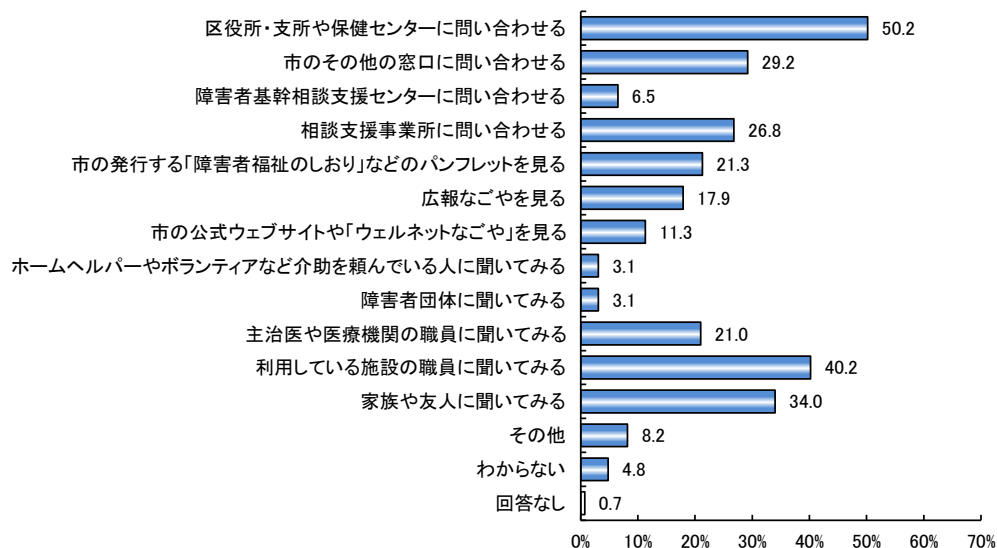


4 障害福祉サービスの利用状況について

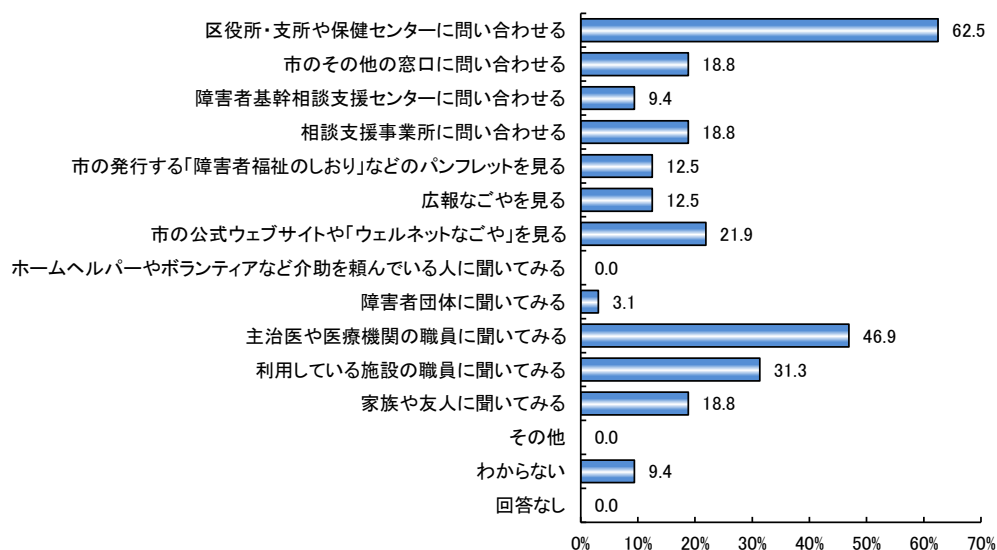
■ 身体障害 ■



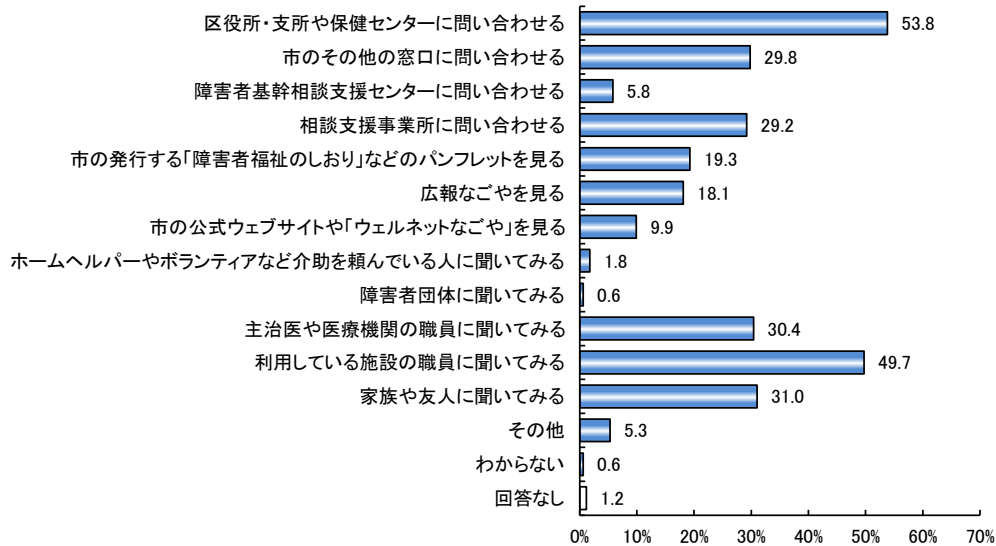
■ 知的障害 ■



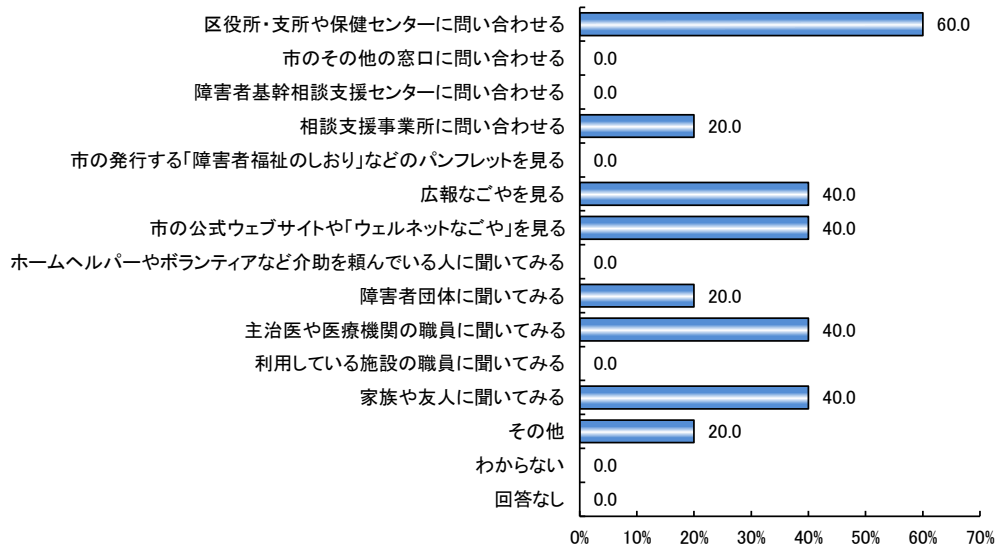
■ 精神障害 ■



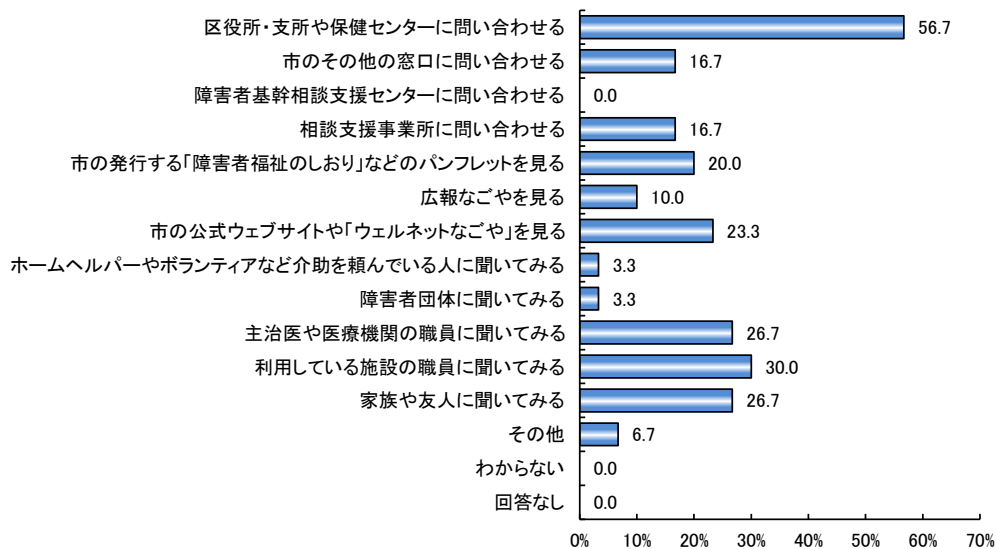
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





4-2 利用している障害福祉サービス【問12】

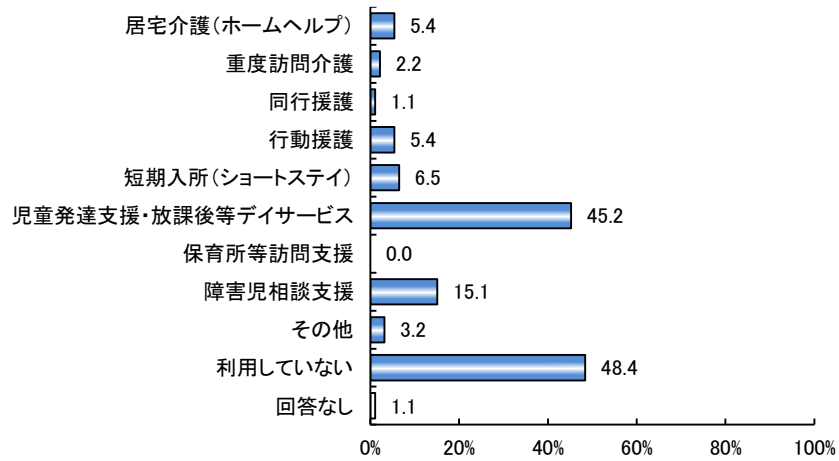
【問12】ご本人は現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「児童発達支援・放課後等デイサービス」(71.0%)が最も多く、次いで「障害児相談支援」(25.2%)、「利用していない」(22.8%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「利用していない」が最も多く、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービス」、知的、発達では「児童発達支援・放課後等デイサービス」が最も多く、次いで「障害児相談支援」、精神、難病等では「児童発達支援・放課後等デイサービス」が最も多く、次いで「利用していない」となっています。

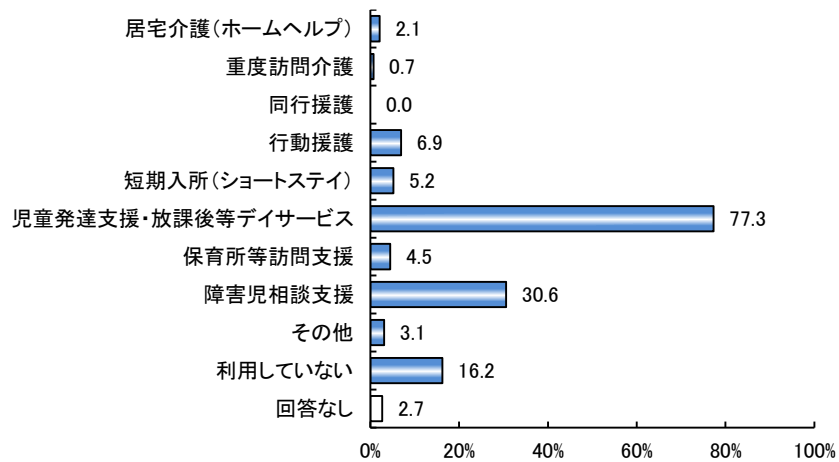
〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	回答者数	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	短期入所(ショートステイ)	児童発達支援・放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	その他	利用していない	回答なし
全 体	496 100.0	12 2.4	2 0.4	2 0.4	21 4.2	19 3.8	352 71.0	16 3.2	125 25.2	16 3.2	113 22.8	12 2.4
身体障害	93 100.0	5 5.4	2 2.2	1 1.1	5 5.4	6 6.5	42 45.2	0 0.0	14 15.1	3 3.2	45 48.4	1 1.1
知的障害	291 100.0	6 2.1	2 0.7	0 0.0	20 6.9	15 5.2	225 77.3	13 4.5	89 30.6	9 3.1	47 16.2	8 2.7
精神障害	32 100.0	4 12.5	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	16 50.0	2 6.3	11 34.4	2 6.3	13 40.6	0 0.0
発達障害	171 100.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	5 2.9	7 4.1	146 85.4	6 3.5	56 32.7	4 2.3	19 11.1	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	2 6.7	0 0.0	3 10.0	2 6.7	16 53.3	1 3.3	8 26.7	1 3.3	11 36.7	0 0.0
その他	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	18 81.8	0 0.0	2 9.1	2 9.1	2 9.1	1 4.5
回答なし	24 100.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	1 4.2	18 75.0	1 4.2	6 25.0	0 0.0	3 12.5	2 8.3

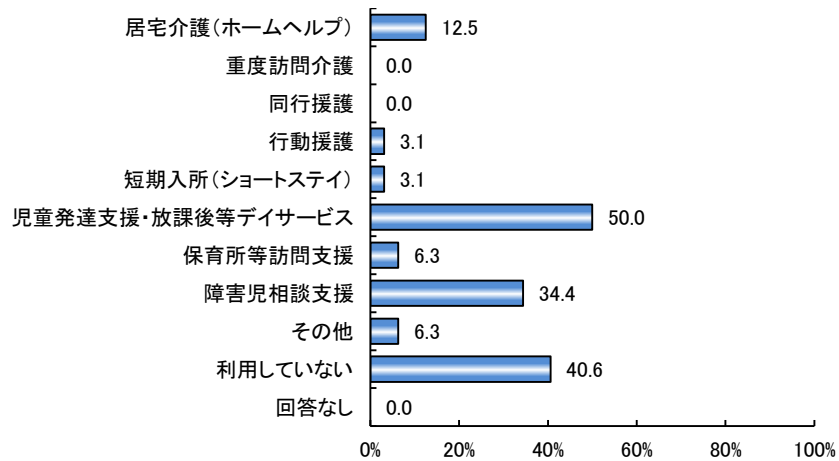
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



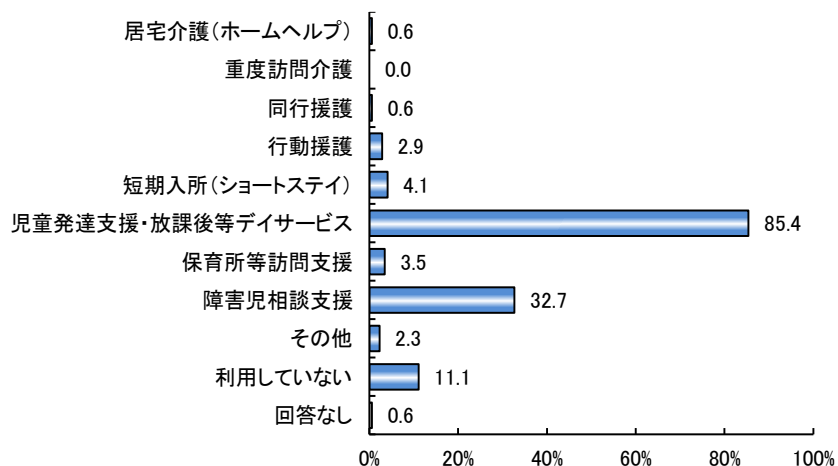
■ 精神障害 ■



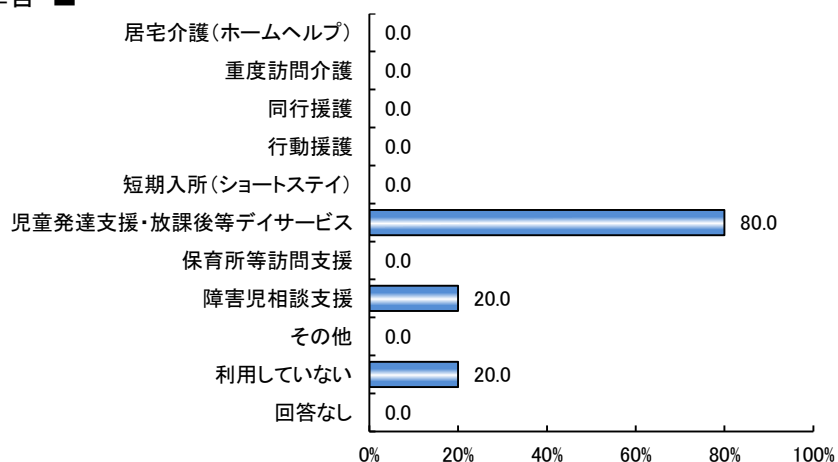


4 障害福祉サービスの利用状況について

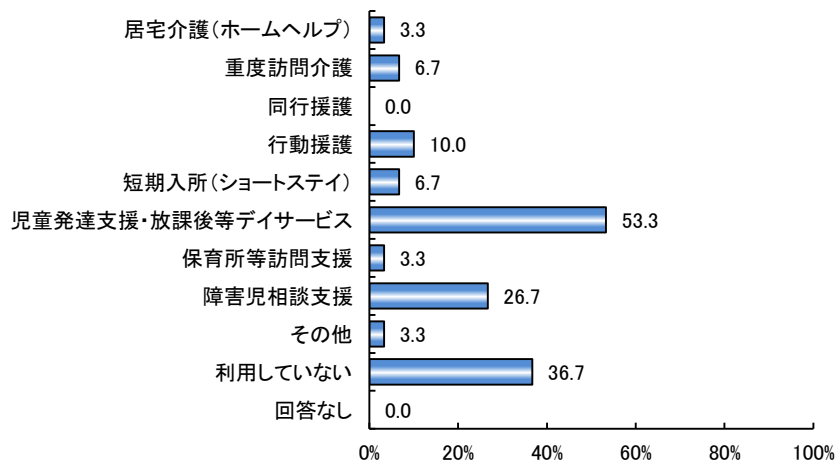
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



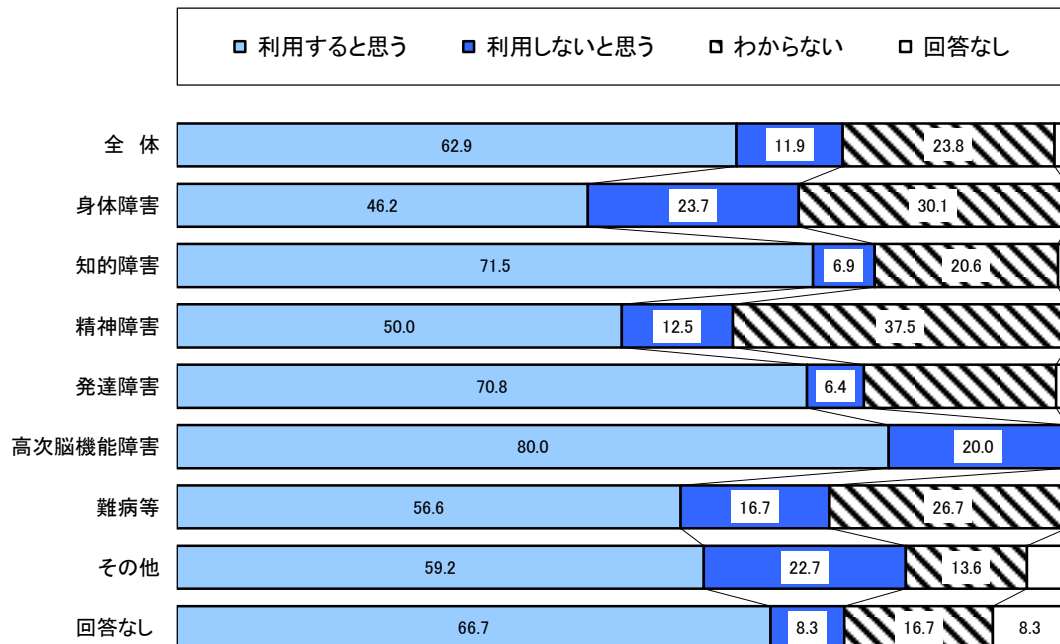
4-3 今後の障害福祉サービスの利用意向【問13】

【問13】ご本人は、今後（おおむね3年以内に）、障害福祉サービスを利用しますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「利用すると思う」（62.9％）が最も多く、次いで「わからない」（23.8％）、「利用しないと思う」（11.9％）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「利用すると思う」が最も多く、次いで「わからない」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	利用すると思う	利用しないと思う	わからない	回答なし
全 体	496 100.0	312 62.9	59 11.9	118 23.8	7 1.4
身体障害	93 100.0	43 46.2	22 23.7	28 30.1	0 0.0
知的障害	291 100.0	208 71.5	20 6.9	60 20.6	3 1.0
精神障害	32 100.0	16 50.0	4 12.5	12 37.5	0 0.0
発達障害	171 100.0	121 70.8	11 6.4	37 21.6	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	17 56.6	5 16.7	8 26.7	0 0.0
その他	22 100.0	13 59.2	5 22.7	3 13.6	1 4.5
回答なし	24 100.0	16 66.7	2 8.3	4 16.7	2 8.3



4-4 その他の福祉サービスの利用意向【問14】

【問14】その他の福祉サービスについてお聞きます。

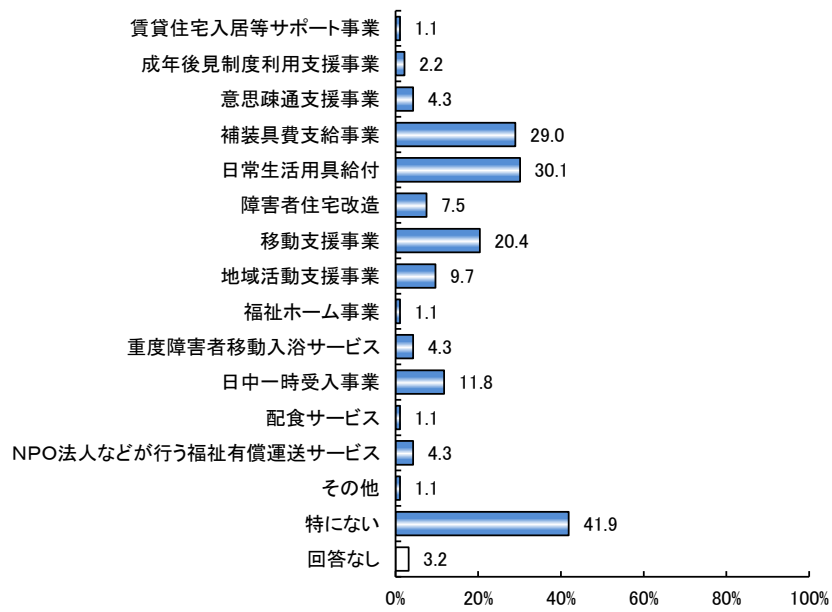
これから（おおむね3年以内に）、ご本人が利用したい福祉サービスは何ですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「特になし」（48.8%）が最も多く、次いで「移動支援事業」（20.4%）、「日中一時受入事業」（8.1%）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「特になし」が最も多く、次いで身体では「日常生活用具給付」、知的、精神、発達では「移動支援事業」となっています。

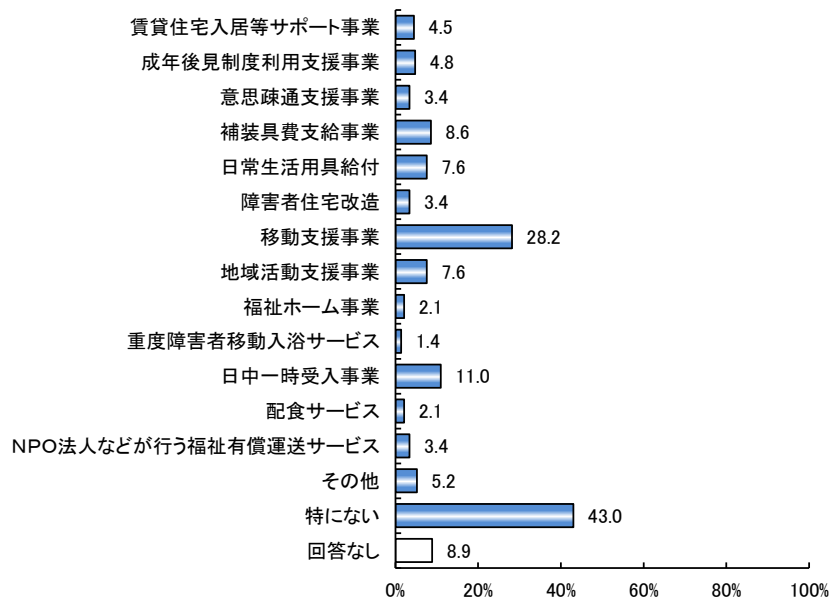
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	賃貸住宅入居等サポート事業	成年後見制度利用支援事業	意思疎通支援事業	補装具費支給事業	日常生活用具給付	障害者住宅改造	移動支援事業	旧精神障害者地域生活支援センター	地域活動支援事業（旧小規模作業所、旧精神障害者地域生活支援センター）	福祉ホーム事業	重度障害者移動入浴サービス	日中一時受入事業	配食サービス	NPO法人などが行う福祉有償運送サービス	その他	特になし	回答なし
全 体	496 100.0	16 3.2	15 3.0	13 2.6	37 7.5	39 7.9	15 3.0	101 20.4	31 6.3	7 1.4	5 1.0	40 8.1	9 1.8	12 2.4	18 3.6	242 48.8	60 12.1	
身体障害	93 100.0	1 1.1	2 2.2	4 4.3	27 29.0	28 30.1	7 7.5	19 20.4	9 9.7	1 1.1	4 4.3	11 11.8	1 1.1	4 4.3	1 1.1	39 41.9	3 3.2	
知的障害	291 100.0	13 4.5	14 4.8	10 3.4	25 8.6	22 7.6	10 3.4	82 28.2	22 7.6	6 2.1	4 1.4	32 11.0	6 2.1	10 3.4	15 5.2	125 43.0	26 8.9	
精神障害	32 100.0	3 9.4	2 6.3	1 3.1	0 0.0	1 3.1	1 3.1	9 28.1	4 12.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1	2 6.3	0 0.0	1 3.1	14 43.8	4 12.5	
発達障害	171 100.0	4 2.3	3 1.8	4 2.3	2 1.2	6 3.5	3 1.8	33 19.3	11 6.4	0 0.0	0 0.0	12 7.0	3 1.8	3 1.8	7 4.1	92 53.8	22 12.9	
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	
難病等	30 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	9 30.0	9 30.0	6 20.0	6 20.0	1 3.3	0 0.0	2 6.7	3 10.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	13 43.3	0 0.0	
その他	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 63.6	6 27.3	
回答なし	24 100.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	3 12.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	8 33.3	10 41.7	

■ 身体障害 ■



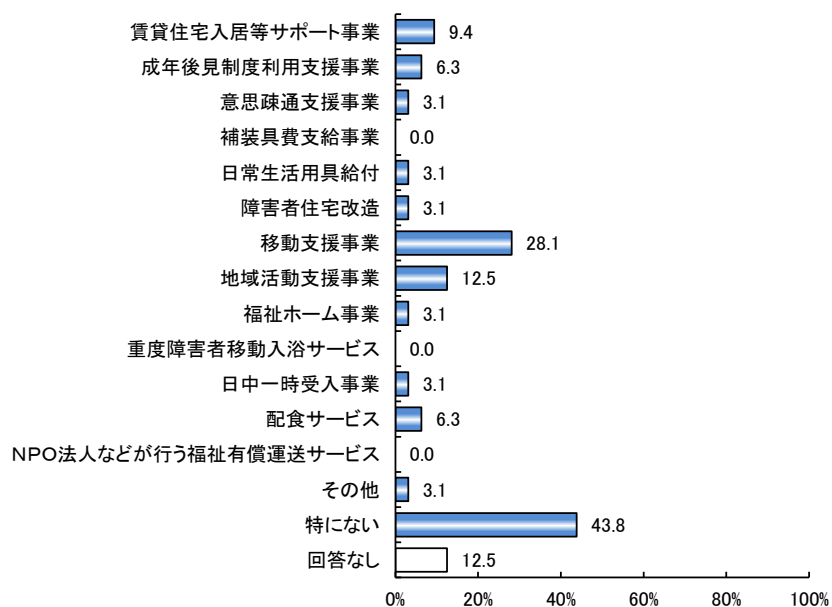
■ 知的障害 ■



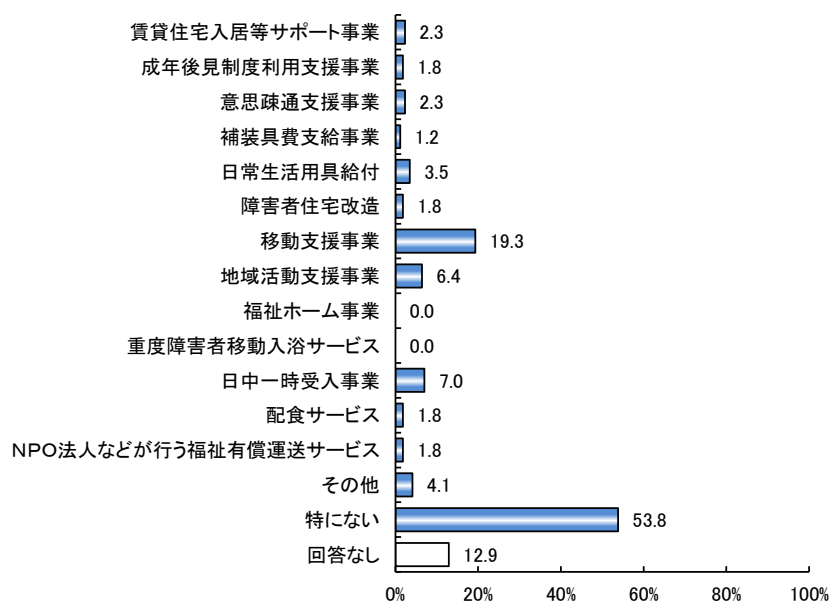


4 障害福祉サービスの利用状況について

■ 精神障害 ■

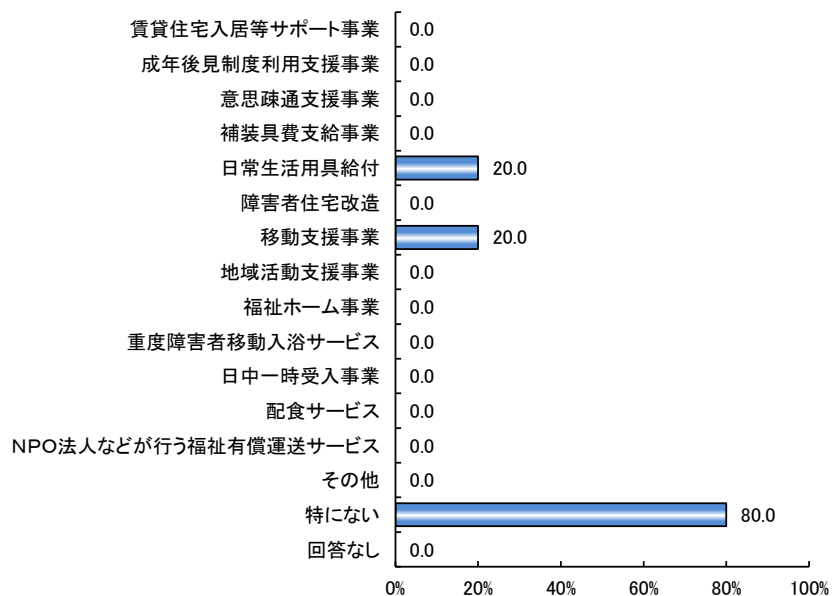


■ 発達障害 ■

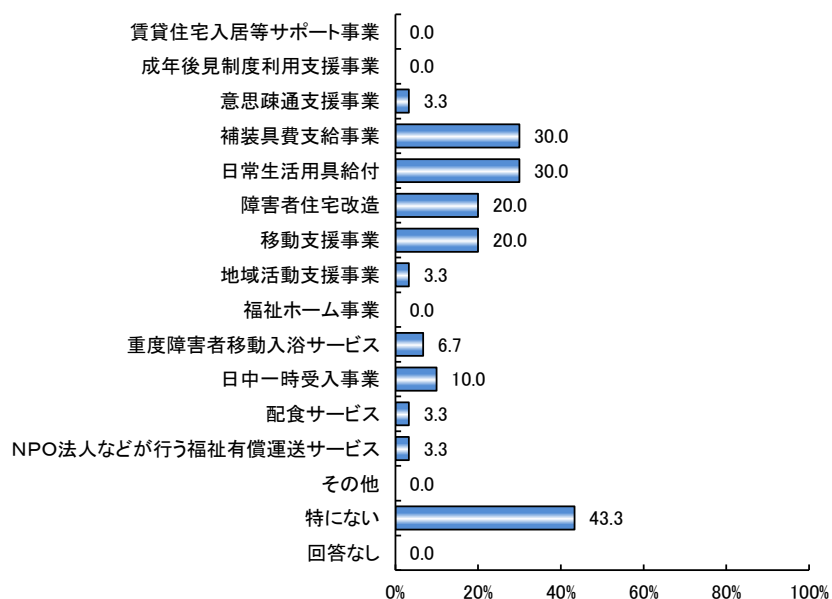




■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



5 災害対策について

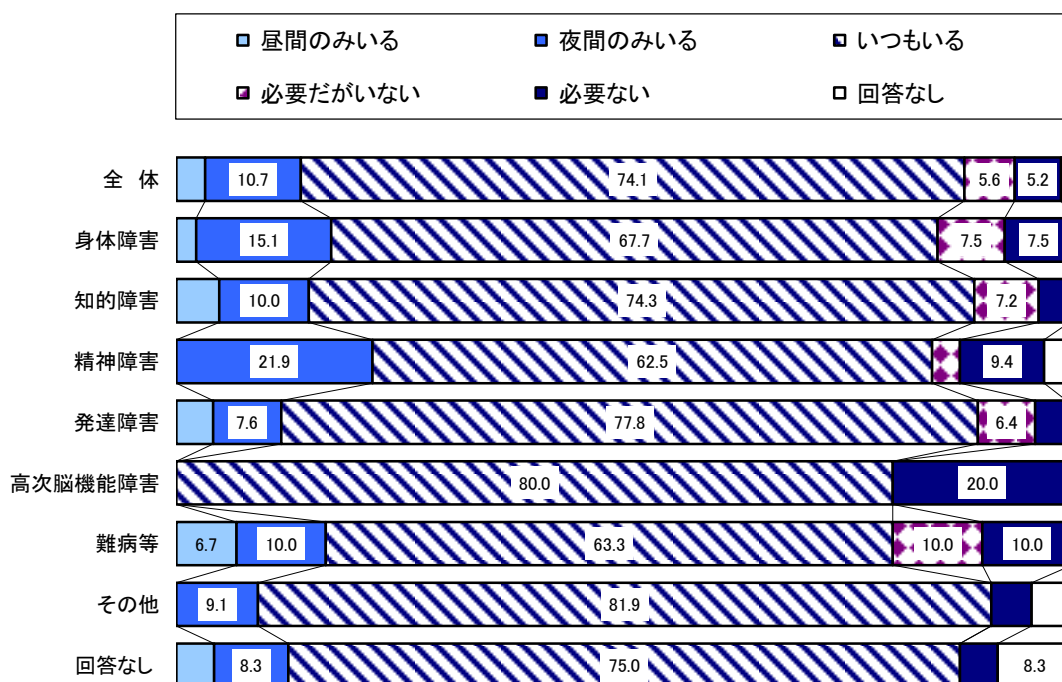
5-1 災害時の援助者の有無【問15】

【問15】台風や地震などで、大きな災害が起こった場合、ご本人を避難場所へ誘導するなど、安全の確保を頼れるような人が身近にいますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「いつもいる」（74.1％）が最も多く、次いで「夜間のみいる」（10.7％）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「いつもいる」が最も多く、次いで「夜間のみいる」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	昼間のみいる	夜間のみいる	いつもいる	必要だがいない	必要ない	回答なし
全 体	496 100.0	16 3.2	53 10.7	367 74.1	28 5.6	26 5.2	6 1.2
身体障害	93 100.0	2 2.2	14 15.1	63 67.7	7 7.5	7 7.5	0 0.0
知的障害	291 100.0	14 4.8	29 10.0	216 74.3	21 7.2	10 3.4	1 0.3
精神障害	32 100.0	0 0.0	7 21.9	20 62.5	1 3.1	3 9.4	1 3.1
発達障害	171 100.0	7 4.1	13 7.6	133 77.8	11 6.4	6 3.5	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
難病等	30 100.0	2 6.7	3 10.0	19 63.3	3 10.0	3 10.0	0 0.0
その他	22 100.0	0 0.0	2 9.1	18 81.9	0 0.0	1 4.5	1 4.5
回答なし	24 100.0	1 4.2	2 8.3	18 75.0	0 0.0	1 4.2	2 8.3





5-2 災害時の援助者【問15-①】

【問15-①】問15で「1. 昼間のみいる」、「2. 夜間のみいる」、「3. いつもいる」に○をつけた方にお聞きします。
それはどなたですか。(いくつでも○)

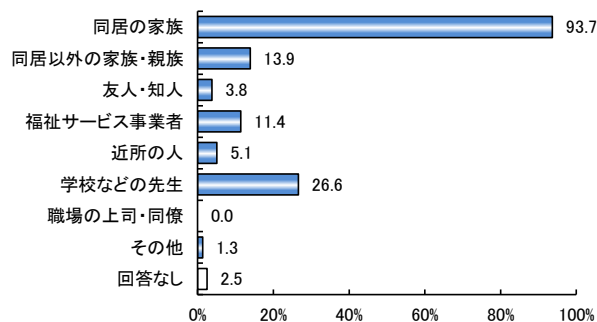
- 全体をみると、「同居の家族」(91.5%)が最も多く、次いで「学校などの先生」(38.8%)、「福祉サービス事業者」(22.5%)となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「同居の家族」が最も多く、次いで「学校などの先生」となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

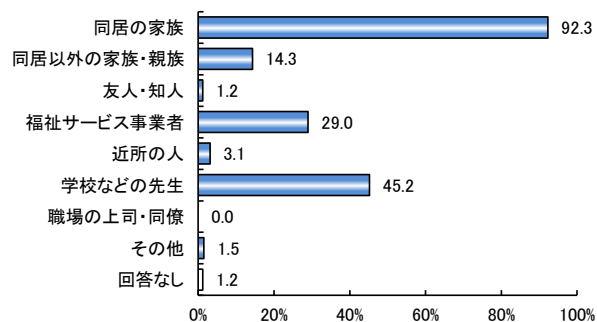
	回答者数	同居の家族	同居以外の 家族・親族	友人・知人	福祉サービ ス事業者	近所の人	学校などの 先生	職場の 上司・同僚	その他	回答なし
全 体	436 100.0	399 91.5	70 16.1	8 1.8	98 22.5	18 4.1	169 38.8	0 0.0	4 0.9	8 1.8
身体障害	79 100.0	74 93.7	11 13.9	3 3.8	9 11.4	4 5.1	21 26.6	0 0.0	1 1.3	2 2.5
知的障害	259 100.0	239 92.3	37 14.3	3 1.2	75 29.0	8 3.1	117 45.2	0 0.0	4 1.5	3 1.2
精神障害	27 100.0	25 92.6	2 7.4	0 0.0	5 18.5	1 3.7	8 29.6	0 0.0	0 0.0	1 3.7
発達障害	153 100.0	133 86.9	40 26.1	3 2.0	42 27.5	6 3.9	59 38.6	0 0.0	0 0.0	3 2.0
高次脳 機能障害	4 100.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	24 100.0	20 83.3	6 25.0	1 4.2	7 29.2	1 4.2	10 41.7	0 0.0	0 0.0	1 4.2
その他	20 100.0	19 95.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	7 35.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
回答なし	21 100.0	21 100.0	1 4.8	0 0.0	3 14.3	1 4.8	6 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0



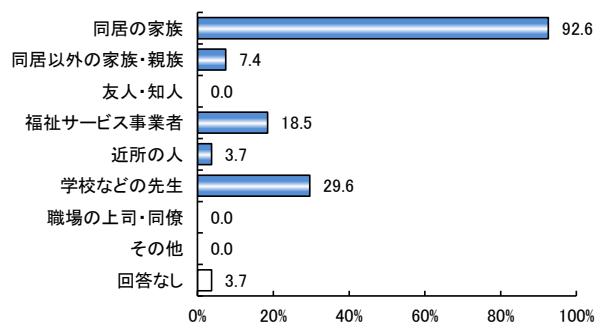
■ 身体障害 ■



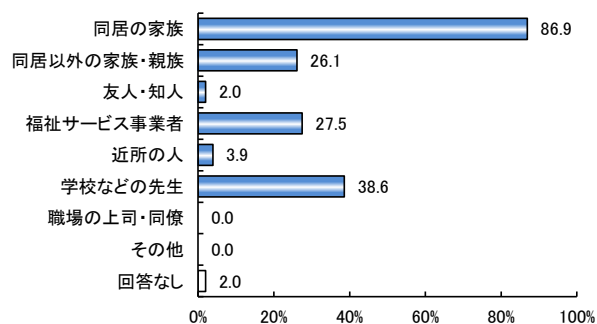
■ 知的障害 ■



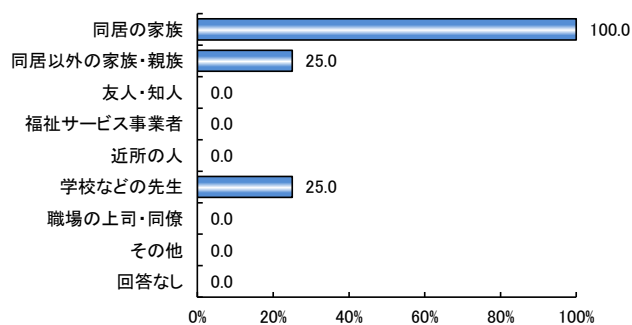
■ 精神障害 ■



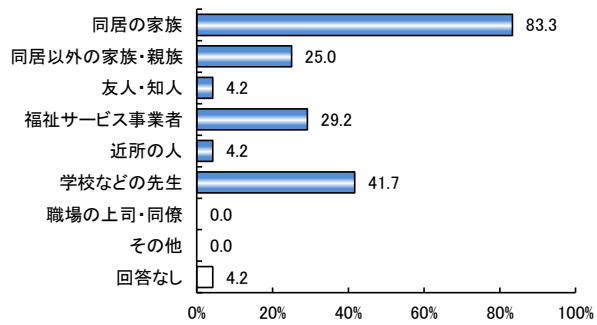
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



5-3 福祉避難所の周知度【問16】

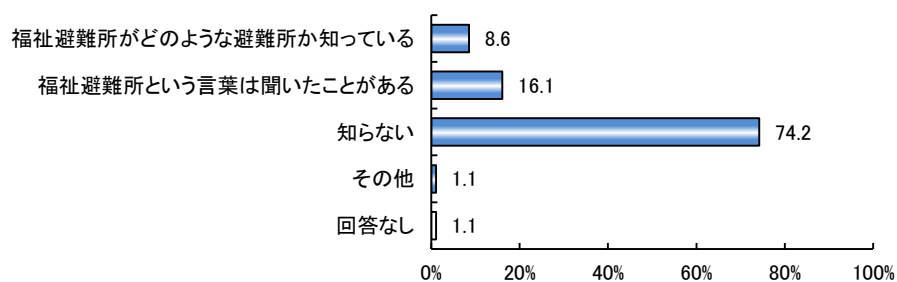
【問16】ご本人や保護者の方は、福祉避難所を知っていますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「知らない」(78.6%)が最も多く、次いで「福祉避難所という言葉は聞いたことがある」(12.3%)、「福祉避難所がどのような避難所か知っている」(6.9%)となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「知らない」が最も多く、次いで「福祉避難所という言葉は聞いたことがある」となっています。

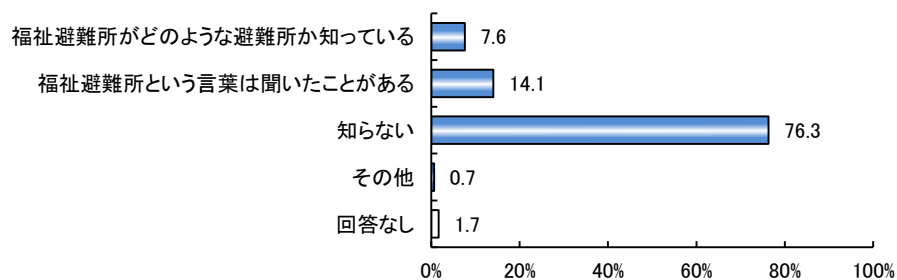
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	回答者数	福祉避難所がどのような避難所か知っている	福祉避難所という言葉は聞いたことがある	知らない	その他	回答なし
全 体	496 100.0	34 6.9	61 12.3	390 78.6	3 0.6	10 2.0
身体障害	93 100.0	8 8.6	15 16.1	69 74.2	1 1.1	1 1.1
知的障害	291 100.0	22 7.6	41 14.1	222 76.3	2 0.7	5 1.7
精神障害	32 100.0	2 6.3	2 6.3	26 81.3	0 0.0	2 6.3
発達障害	171 100.0	12 7.0	21 12.3	137 80.1	1 0.6	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	6 20.0	22 73.3	1 3.3	0 0.0
その他	22 100.0	2 9.1	1 4.5	18 81.8	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	1 4.2	3 12.5	18 75.0	0 0.0	2 8.3

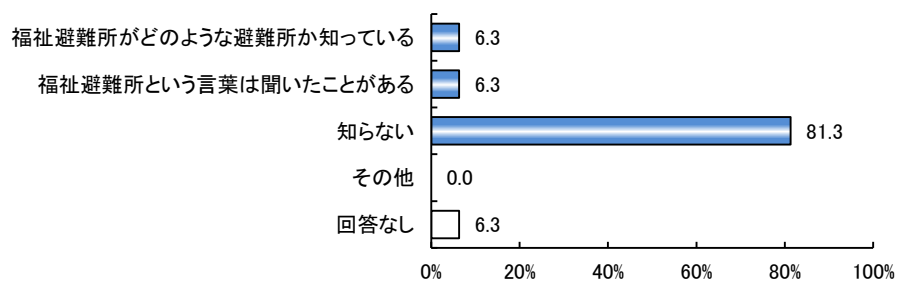
■ 身体障害 ■



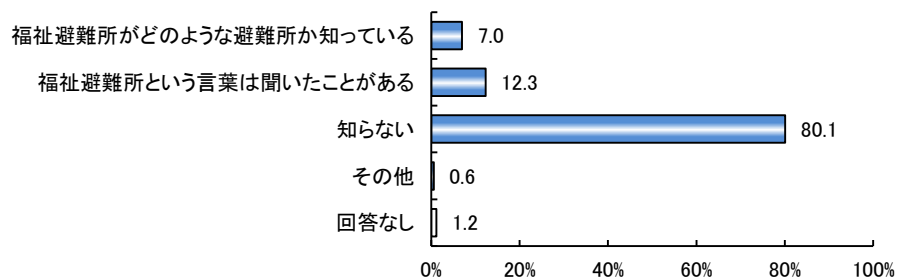
■ 知的障害 ■



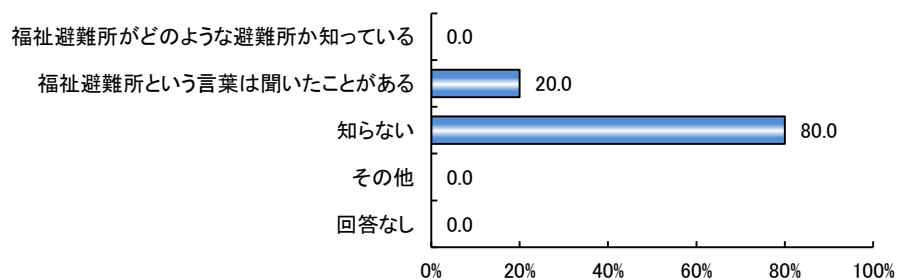
■ 精神障害 ■



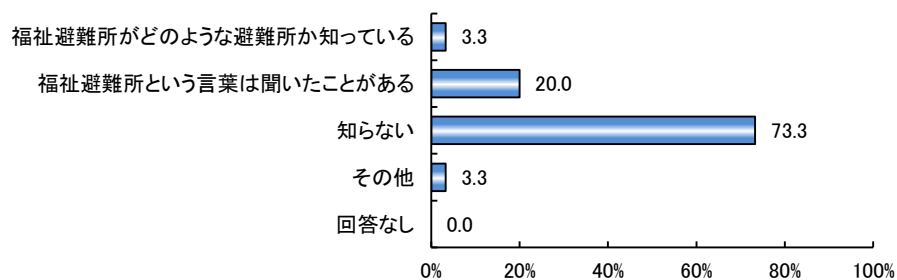
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



5-4 災害発生に際して必要なこと【問17】

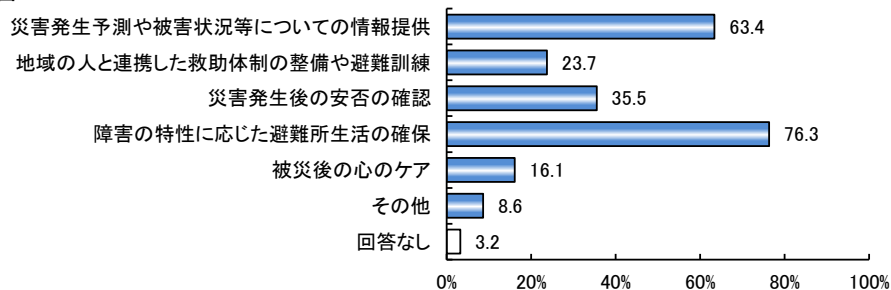
【問17】災害が発生した際に（又は、災害発生に備えて）必要なことは何ですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「障害の特性に応じた避難所生活の確保」（68.3％）が最も多く、次いで「災害発生予測や被害状況等についての情報提供」（60.1％）、「災害発生後の安否の確認」（51.0％）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、発達では「障害の特性に応じた避難所生活の確保」が最も多く、次いで「災害発生予測や被害状況等についての情報提供」、精神では「障害の特性に応じた避難所生活の確保」が最も多く、次いで「災害発生後の安否の確認」、高次脳機能、難病等では「災害発生予測や被害状況等についての情報提供」と「障害の特性に応じた避難所生活の確保」が同数となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

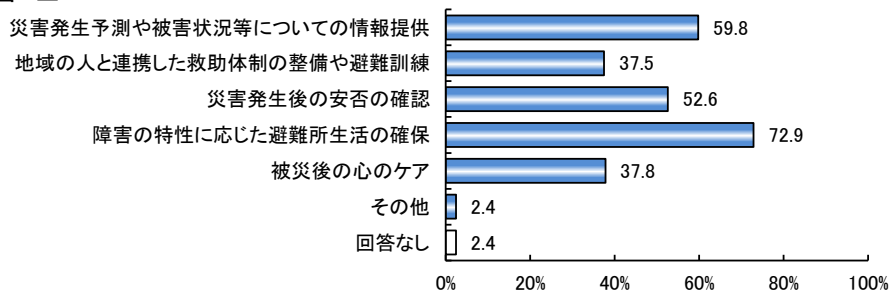
	回答者数	災害発生予測 や被害状況等 についての 情報提供	地域の人(民 生委員や福祉 サービス事業 者を含む)と 連携した救助 体制の整備や 避難訓練	災害発生後の 安否の確認	障害の特性に 応じた避難所 生活の確保	被災後の心の ケア	その他	回答なし
全 体	496 100.0	298 60.1	166 33.5	253 51.0	339 68.3	189 38.1	15 3.0	20 4.0
身体障害	93 100.0	59 63.4	22 23.7	33 35.5	71 76.3	15 16.1	8 8.6	3 3.2
知的障害	291 100.0	174 59.8	109 37.5	153 52.6	212 72.9	110 37.8	7 2.4	7 2.4
精神障害	32 100.0	15 46.9	10 31.3	19 59.4	22 68.8	13 40.6	0 0.0	4 12.5
発達障害	171 100.0	108 63.2	67 39.2	100 58.5	124 72.5	84 49.1	5 2.9	5 2.9
高次脳機能障害	5 100.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	20 66.7	7 23.3	13 43.3	20 66.7	6 20.0	4 13.3	0 0.0
その他	22 100.0	11 50.0	3 13.6	11 50.0	10 45.5	11 50.0	1 4.5	2 9.1
回答なし	24 100.0	16 66.7	8 33.3	8 33.3	13 54.2	8 33.3	0 0.0	2 8.3

■ 身体障害 ■

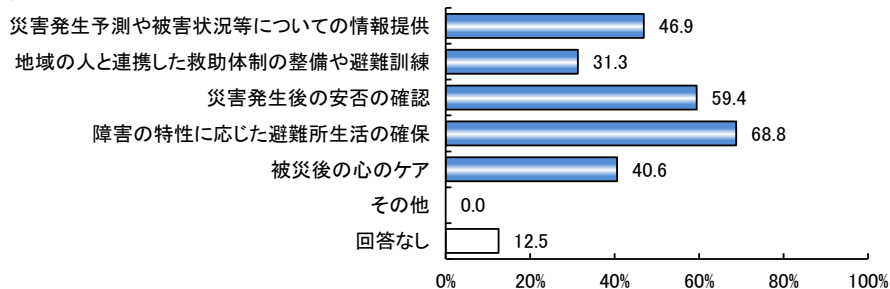




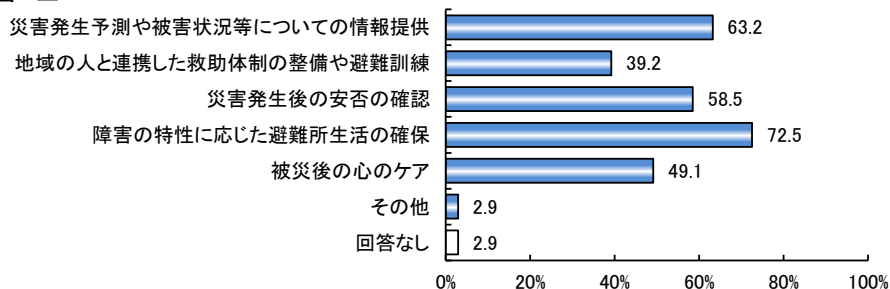
■ 知的障害 ■



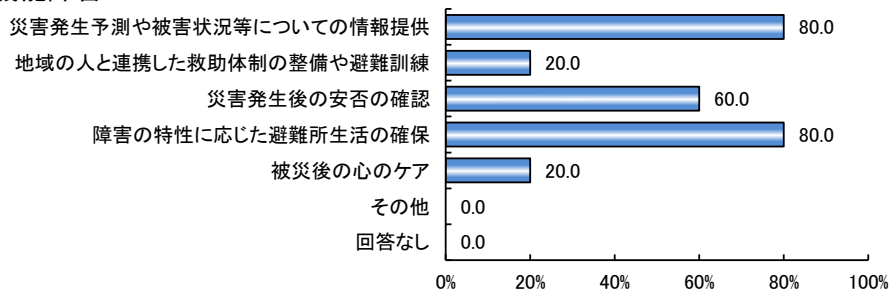
■ 精神障害 ■



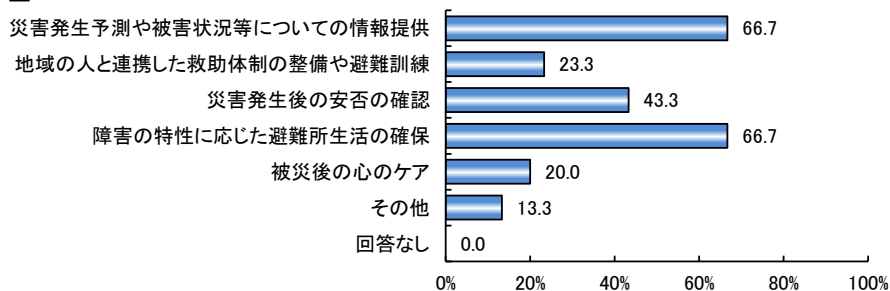
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



6 障害者の表し方や呼び方について

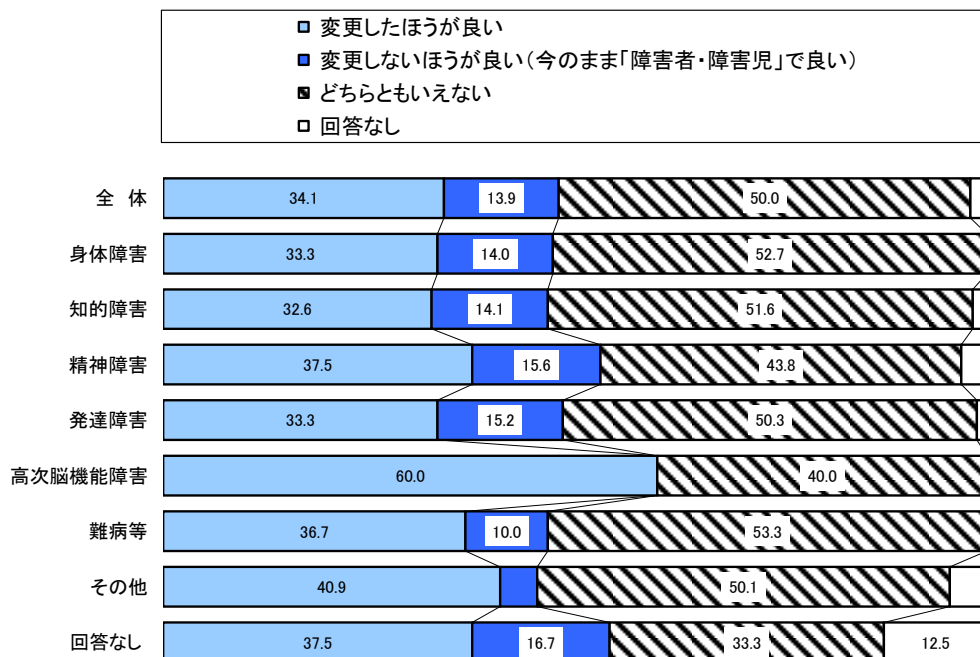
6-1 障害者の表し方の変更【問19】

【問19】「障害者・障害児（すべて漢字で表す）」の表し方（表現）や呼び方（呼称）の変更についてどう思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「どちらともいえない」（50.0％）が最も多く、次いで「変更したほうが良い」（34.1％）、「変更しないほうが良い（今のまま『障害者・障害児』で良い）」（13.9％）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「どちらともいえない」が最も多く、次いで「変更したほうが良い」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	変更したほうが良い	変更しないほうが良い （今のまま「障害者・障害児」で良い）	どちらともいえない	回答なし
全 体	496 100.0	169 34.1	69 13.9	248 50.0	10 2.0
身体障害	93 100.0	31 33.3	13 14.0	49 52.7	0 0.0
知的障害	291 100.0	95 32.6	41 14.1	150 51.6	5 1.7
精神障害	32 100.0	12 37.5	5 15.6	14 43.8	1 3.1
発達障害	171 100.0	57 33.3	26 15.2	86 50.3	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
難病等	30 100.0	11 36.7	3 10.0	16 53.3	0 0.0
その他	22 100.0	9 40.9	1 4.5	11 50.1	1 4.5
回答なし	24 100.0	9 37.5	4 16.7	8 33.3	3 12.5



6-2 表し方を変更した方が良いと思う理由【問20】

【問20】問19で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きます。

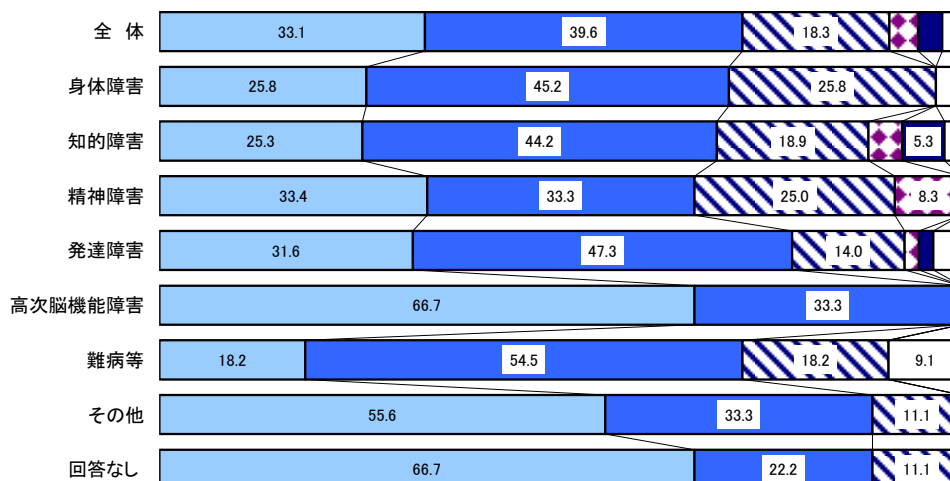
変更した方が良いと思う理由は、次のうちどれですか。（1つだけ○）

- 全体をみると、『障』や『害』という漢字の印象やイメージが良くないため」（39.6%）が最も多く、次いで『障害』という用語の印象やイメージが良くないため」（33.1%）、「障害のある人」とない人との振り分けられていると感じるため」（18.3%）となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも『障』や『害』という漢字の印象やイメージが良くないため」が最も多く、次いで『障害』という用語の印象やイメージが良くないため」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	「障害」という用語の印象やイメージが良くないため	「障」や「害」という漢字の印象やイメージが良くないため	障害のある人とならない人との振り分けられていると感じるため	なんとなく、特に理由はない	その他	回答なし
全 体	169 100.0	56 33.1	67 39.6	31 18.3	6 3.6	5 3.0	4 2.4
身体障害	31 100.0	8 25.8	14 45.2	8 25.8	0 0.0	0 0.0	1 3.2
知的障害	95 100.0	24 25.3	42 44.2	18 18.9	4 4.2	5 5.3	2 2.1
精神障害	12 100.0	4 33.4	4 33.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
発達障害	57 100.0	18 31.6	27 47.3	8 14.0	1 1.8	1 1.8	2 3.5
高次脳機能障害	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	11 100.0	2 18.2	6 54.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1
その他	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	9 100.0	6 66.7	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 「障害」という用語の印象やイメージが良くないため
- 「障」や「害」という漢字の印象やイメージが良くないため
- ▨ 障害のある人とならない人との振り分けられていると感じるため
- なんとなく、特に理由はない
- その他
- 回答なし



6-3 表し方を変更した方が良いと思う言葉【問21】

【問21】問19で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きます。

どのような言葉に変更したほうが良いと思いますか。(1つだけ○)

- 全体をみると、「障がい者・障がい児（害の漢字をひらがなで表す）」(36.0%)が最も多く、次いで「ハンディキャップ(handicap/the handicapped)」(22.5%)、「適切な言葉を思いつかない」(20.1%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「ハンディキャップ(handicap/the handicapped)」が最も多く、次いで「障がい者・障がい児（害の漢字をひらがなで表す）」、知的、発達では「障がい者・障がい児（害の漢字をひらがなで表す）」が最も多く、次いで「ハンディキャップ(handicap/the handicapped)」となっています。

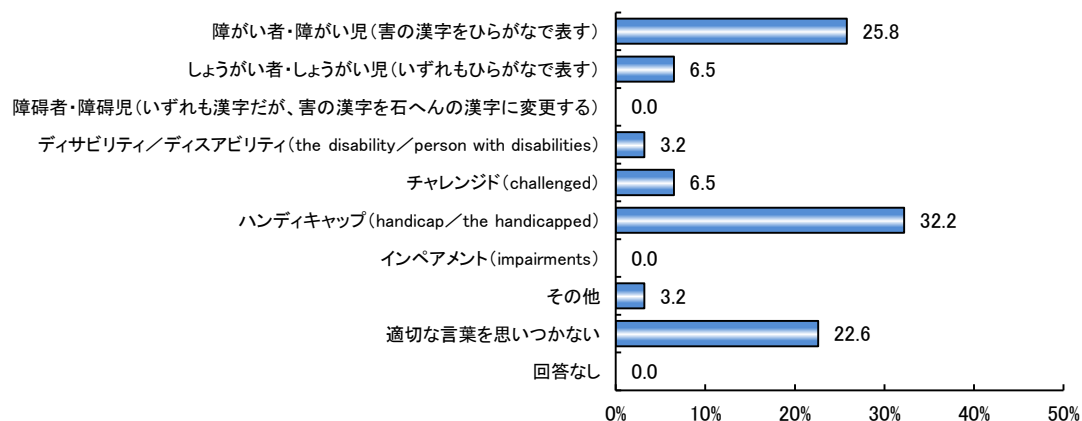
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	合 計	障がい者・障がい児(害の漢字をひらがなで表す)	しょうがい者・しょうがい児(いづれもひらがなで表す)	障害者・障害児(いづれも漢字だが、害の漢字を石へんの漢字に変更する)	ディサビリティ/ディサビリティ(the disability/person with disabilities)	チャレンジド(challenged)	ハンディキャップ(handicap/the handicapped)	インペアメント(impairments)	その他	適切な言葉を思いつかない	回答なし
全 体	169 100.0	61 36.0	12 7.1	4 2.4	3 1.8	13 7.7	38 22.5	0 0.0	4 2.4	34 20.1	0 0.0
身体障害	31 100.0	8 25.8	2 6.5	0 0.0	1 3.2	2 6.5	10 32.2	0 0.0	1 3.2	7 22.6	0 0.0
知的障害	95 100.0	42 44.1	5 5.3	4 4.2	1 1.1	5 5.3	21 22.1	0 0.0	3 3.2	14 14.7	0 0.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	5 41.7	0 0.0
発達障害	57 100.0	23 40.3	3 5.3	0 0.0	2 3.5	6 10.5	13 22.8	0 0.0	1 1.8	9 15.8	0 0.0
高次脳機能障害	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.4	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
難病等	11 100.0	3 27.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0
その他	9 100.0	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.4	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0
回答なし	9 100.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	3 33.4	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0

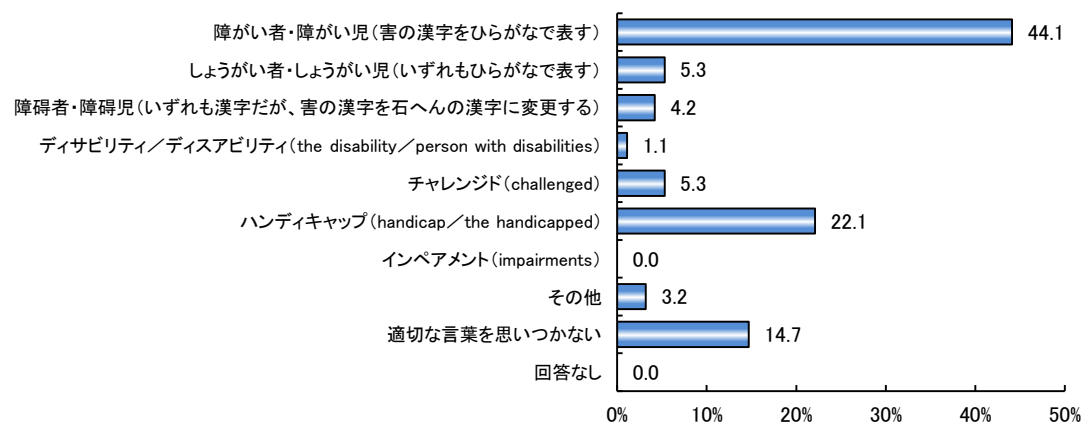


6 障害者の表し方や呼び方について

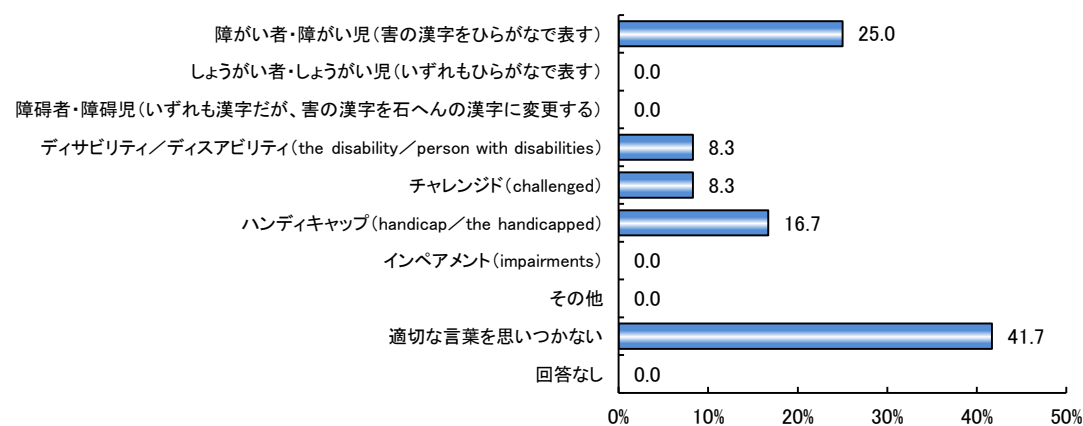
■ 身体障害 ■



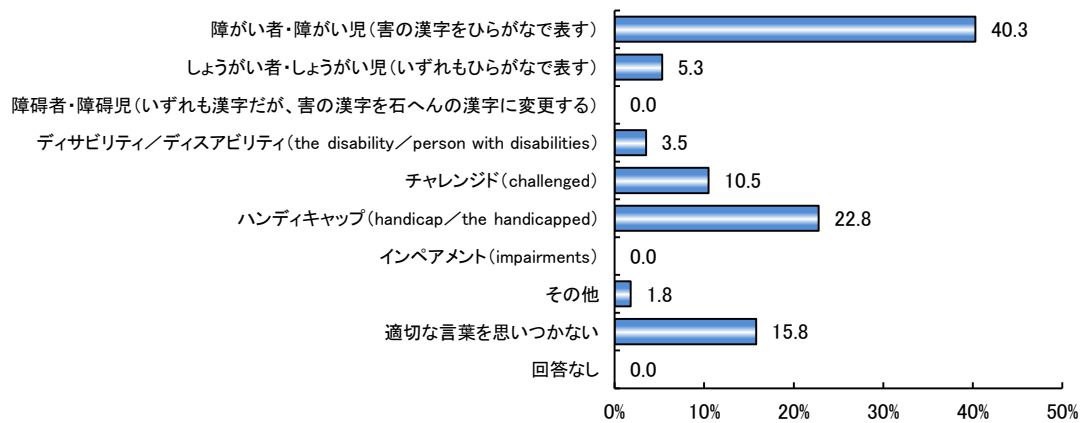
■ 知的障害 ■



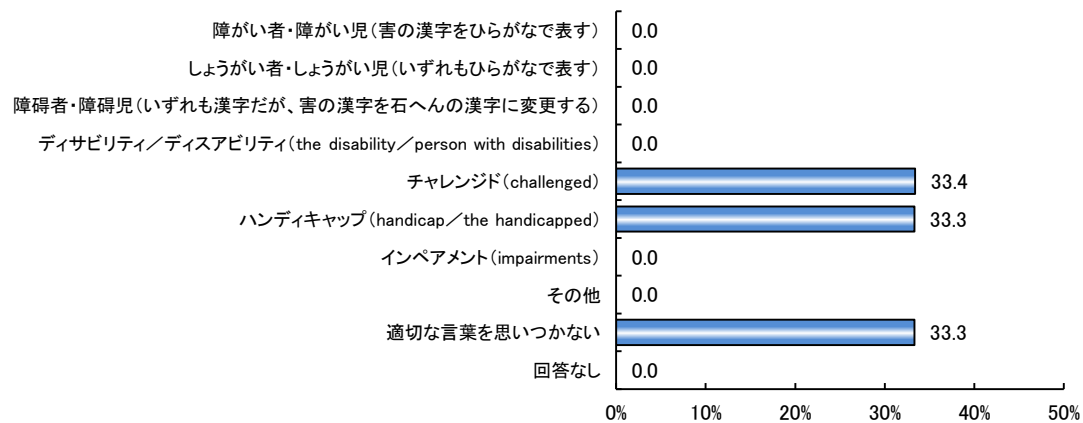
■ 精神障害 ■



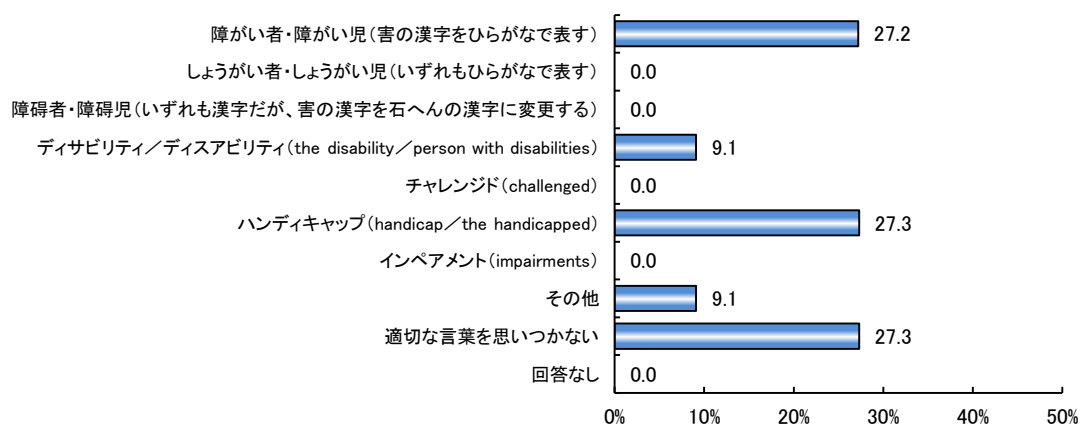
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



6-4 表し方を変更しない方が良いと思う理由【問23】

【問23】問19で「2. 変更しないほうが良い（今のまま「障害者・障害児」で良い）」に○をつけた方にお聞きします。

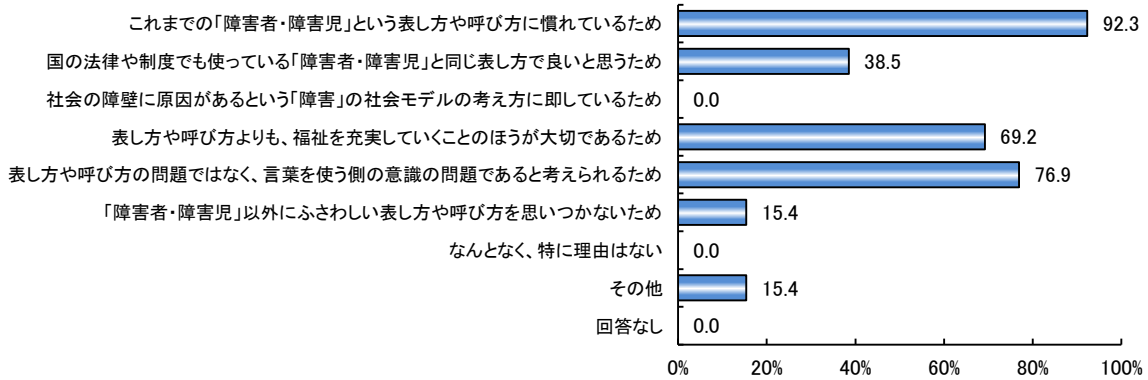
変更しない方が良いと思う理由は、次のうちどれですか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」（65.2%）が最も多く、次いで「これまでの『障害者・障害児』という表し方や呼び方に慣れているため」（59.4%）、「表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため」（55.1%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、難病等では「これまでの『障害者・障害児』という表し方や呼び方に慣れているため」、知的では「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」が最も多く、発達では「これまでの『障害者・障害児』という表し方や呼び方に慣れているため」と「表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため」が同数となっています。

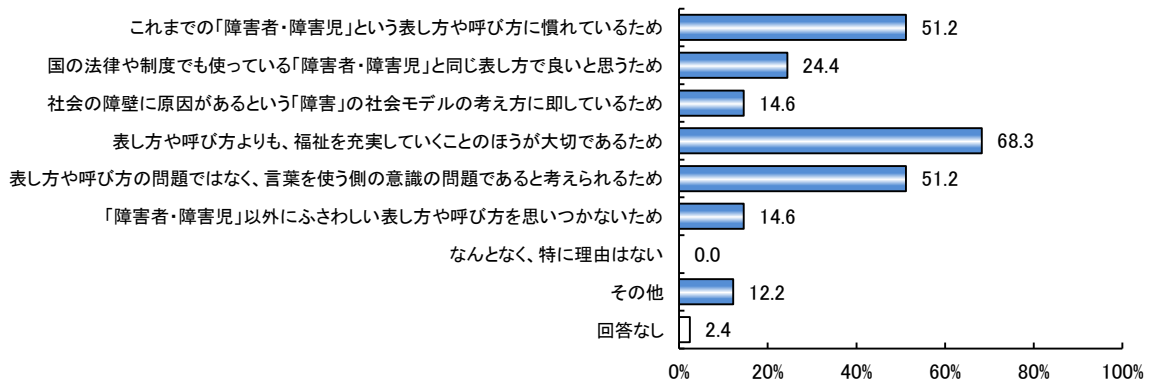
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	これまでの「障害者・障害児」という表し方や呼び方に慣れているため	国の法律や制度でも使っている「障害者・障害児」と同じ表し方で良いと思うため	社会の障壁に原因があるという「障害」の社会モデルの考え方に即しているため	表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため	表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため	「障害者・障害児」以外にふさわしい表し方や呼び方を思いつかないため	なんとなく、特に理由はない	その他	回答なし
全 体	69 100.0	41 59.4	22 31.9	9 13.0	45 65.2	38 55.1	8 11.6	0 0.0	8 11.6	1 1.4
身体障害	13 100.0	12 92.3	5 38.5	0 0.0	9 69.2	10 76.9	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0 0.0
知的障害	41 100.0	21 51.2	10 24.4	6 14.6	28 68.3	21 51.2	6 14.6	0 0.0	5 12.2	1 2.4
精神障害	5 100.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
発達障害	26 100.0	15 57.7	8 30.8	5 19.2	15 57.7	14 53.8	2 7.7	0 0.0	4 15.4	1 3.8
高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	3 100.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

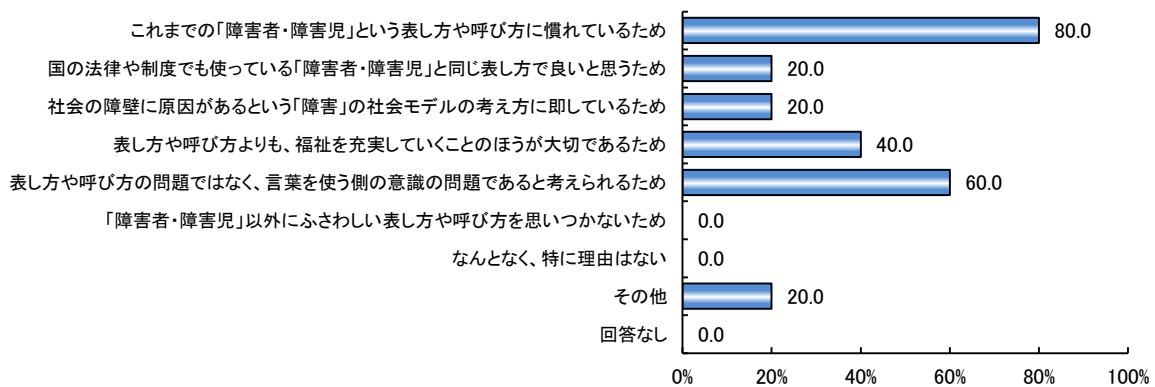
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



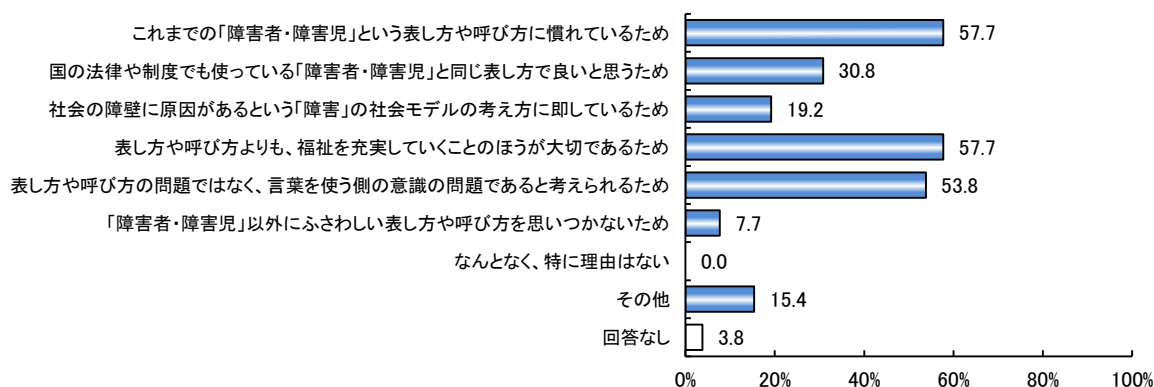
■ 精神障害 ■



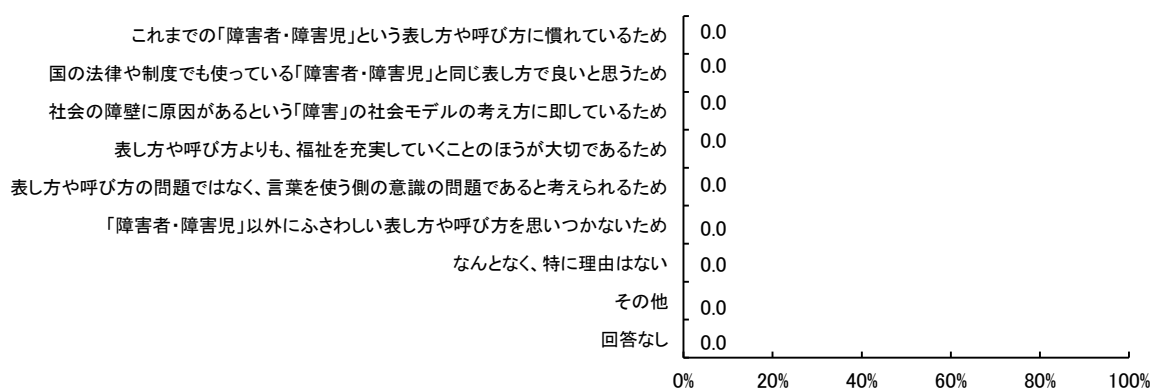


6 障害者の表し方や呼び方について

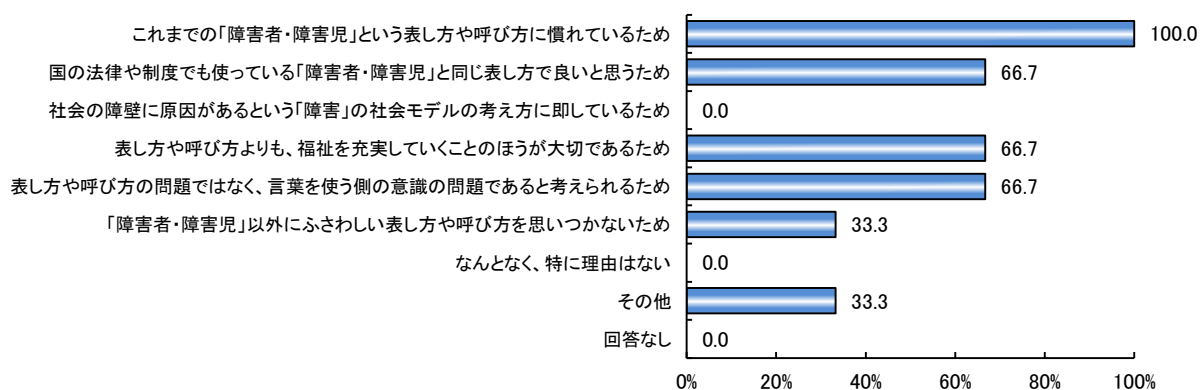
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



7 区役所・支所の窓口について

7-1 障害福祉制度利用手続き受付窓口の統一について思うこと【問24】

【問24】令和2年度から、障害種別にかかわらず障害福祉制度の利用手続きの受付窓口を福祉課（支所の場合は区民福祉課）に統一しました。

このことについてどう思いますか。（いくつでも○）

- 全体をみると、「障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった」（39.1%）が最も多く、次いで「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」（26.6%）、「特にこれまでと変わらない」（25.8%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、発達では「障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった」、精神、高次脳機能では「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」が最も多く、難病等では「どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった」と「特にこれまでと変わらない」が同数となっています。

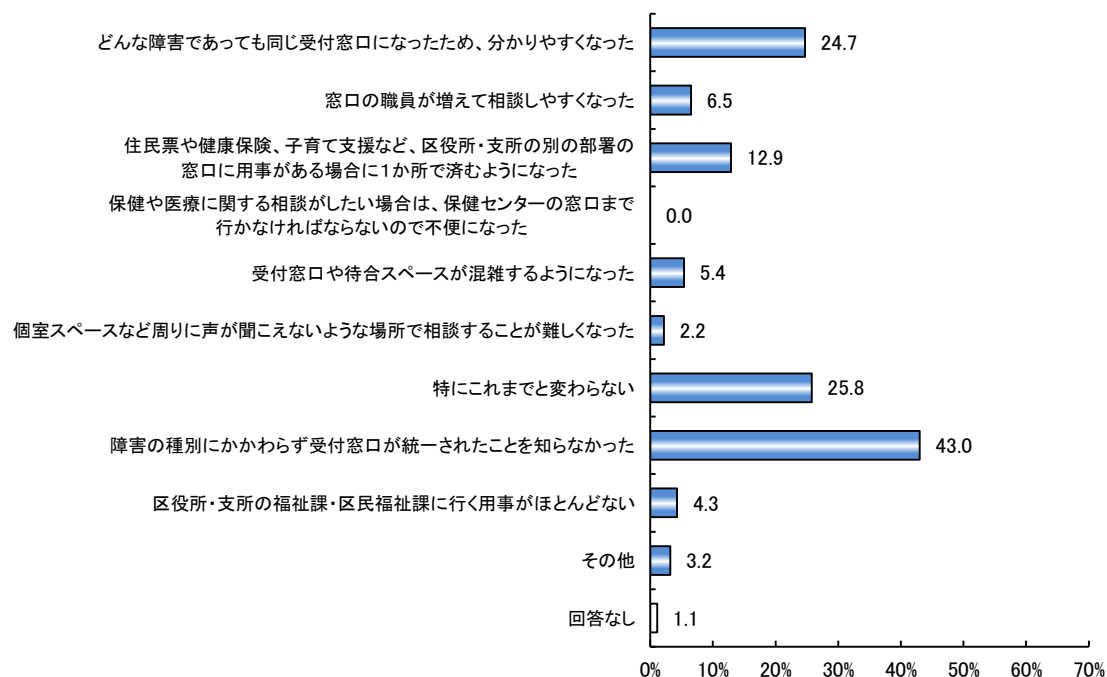
〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	回答者数	どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった	窓口の職員が増えて相談しやすくなった	住民票や健康保険、子育て支援など、区役所・支所の別の部署の窓口で用事がある場合に1か所で済むようになった	保健や医療に関する相談がしたい場合は、保健センターの窓口まで行かなければならないので不便になった	受付窓口や待合スペースが混雑するようになった	個室スペースなど周りに声が聞こえないような場所で相談することが難しくなった	特にこれまでと変わらない	障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった	区役所・支所の福祉課・区民福祉課に行く用事がほとんどない	その他	回答なし
全 体	496 100.0	132 26.6	33 6.7	62 12.5	5 1.0	27 5.4	21 4.2	128 25.8	194 39.1	48 9.7	14 2.8	10 2.0
身体障害	93 100.0	23 24.7	6 6.5	12 12.9	0 0.0	5 5.4	2 2.2	24 25.8	40 43.0	4 4.3	3 3.2	1 1.1
知的障害	291 100.0	72 24.7	19 6.5	31 10.7	5 1.7	17 5.8	9 3.1	78 26.8	126 43.3	28 9.6	10 3.4	5 1.7
精神障害	32 100.0	10 31.3	1 3.1	5 15.6	0 0.0	3 9.4	3 9.4	7 21.9	9 28.1	1 3.1	2 6.3	1 3.1
発達障害	171 100.0	50 29.2	9 5.3	20 11.7	0 0.0	10 5.8	6 3.5	46 26.9	71 41.5	12 7.0	4 2.3	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	9 30.0	2 6.7	3 10.0	0 0.0	2 6.7	1 3.3	9 30.0	8 26.7	4 13.3	1 3.3	0 0.0
その他	22 100.0	6 27.3	2 9.1	3 13.6	0 0.0	1 4.5	4 18.2	4 18.2	6 27.3	4 18.2	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	8 33.3	2 8.3	6 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 29.2	5 20.8	2 8.3	0 0.0	2 8.3

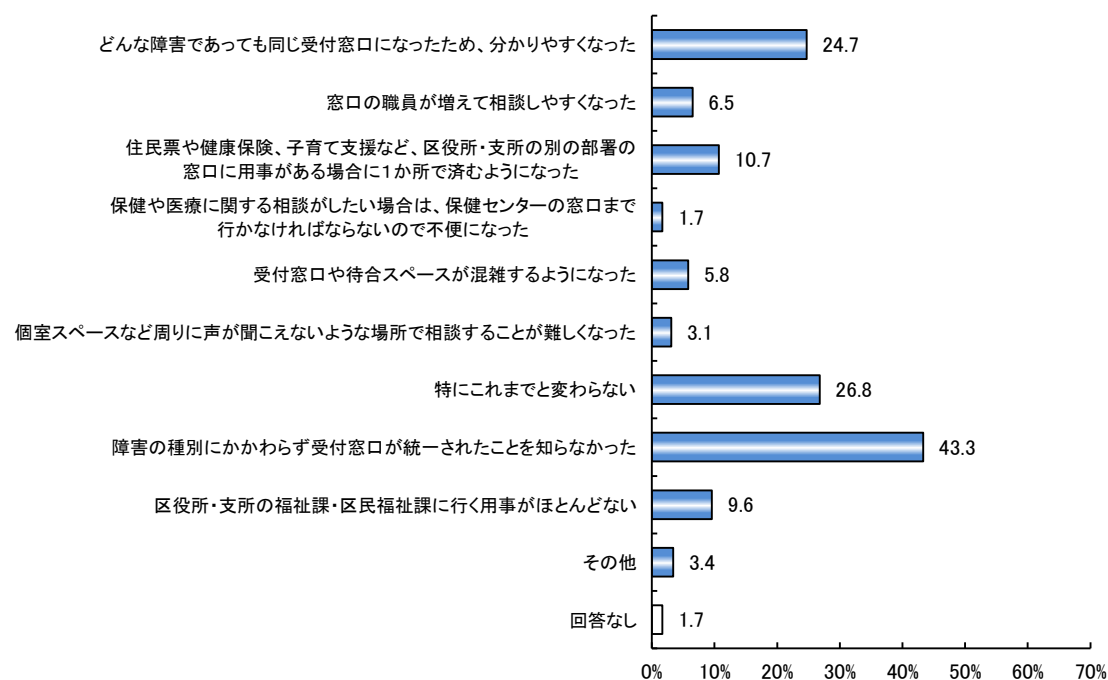


7 区役所・支所の窓口について

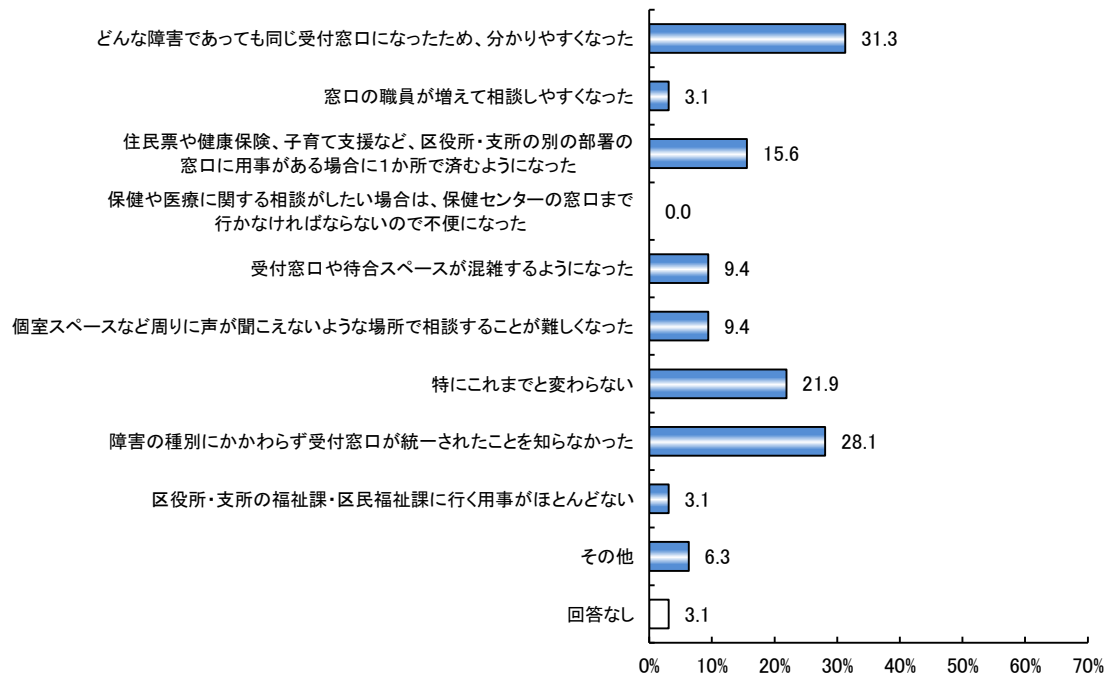
■ 身体障害 ■



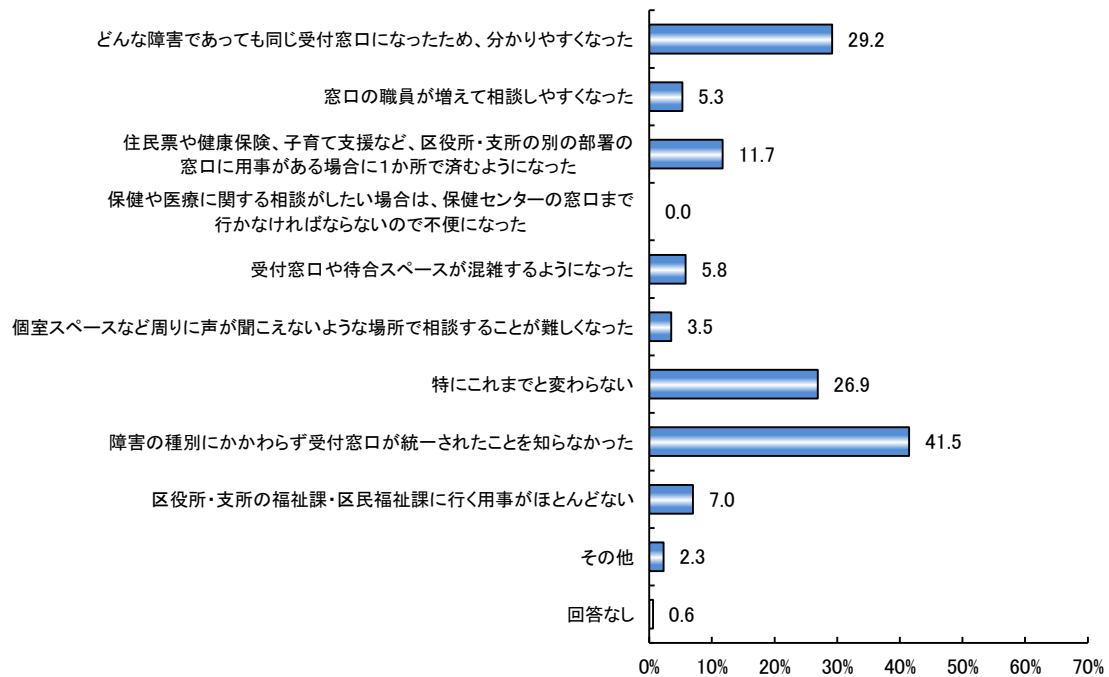
■ 知的障害 ■



■ 精神障害 ■



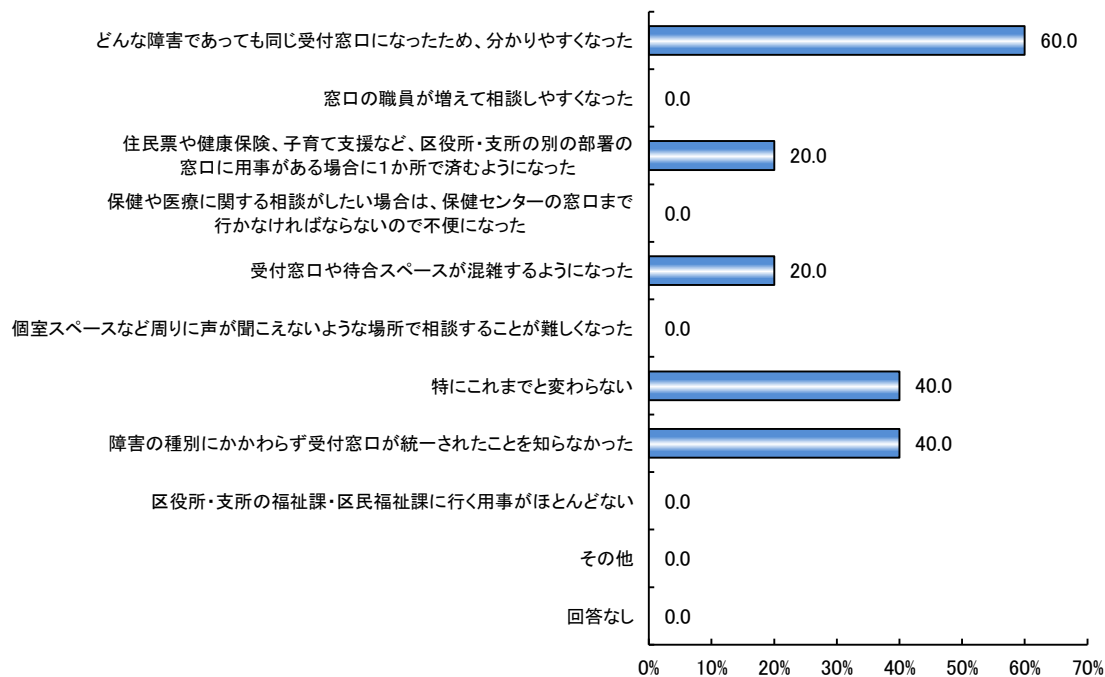
■ 発達障害 ■



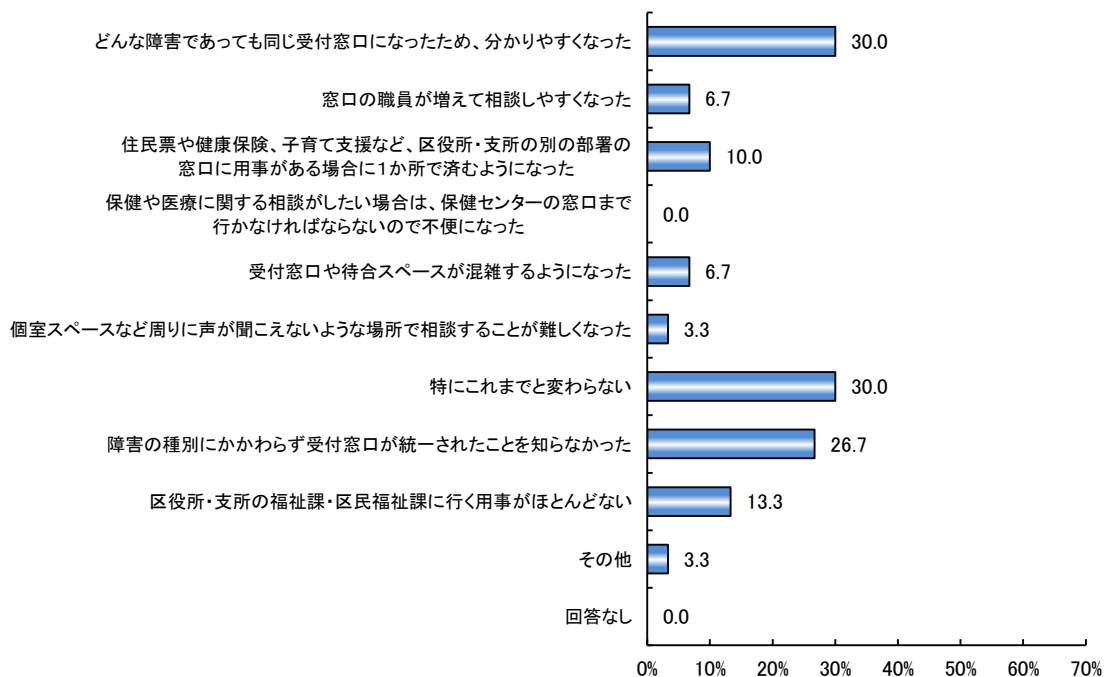


7 区役所・支所の窓口について

■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



7-2 福祉課等の受付窓口や利用手続きへの期待【問25】

【問25】区役所福祉課・支所区民福祉課の受付窓口や障害福祉制度の利用手続きについて、今後期待することはありますか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「丁寧で分かりやすい説明をしてほしい」(45.0%)が最も多く、次いで「障害について理解のある職員を配置してほしい」(42.5%)、「利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい」(38.1%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、高次脳機能では「ウェブサイトによる手続きの導入や郵送による送付物の交付など、区役所・支所に行かなくても手続きが済むような仕組みを作してほしい」、知的、精神、難病等では「丁寧で分かりやすい説明をしてほしい」、発達では「障害について理解のある職員を配置してほしい」が最も多くなっています。

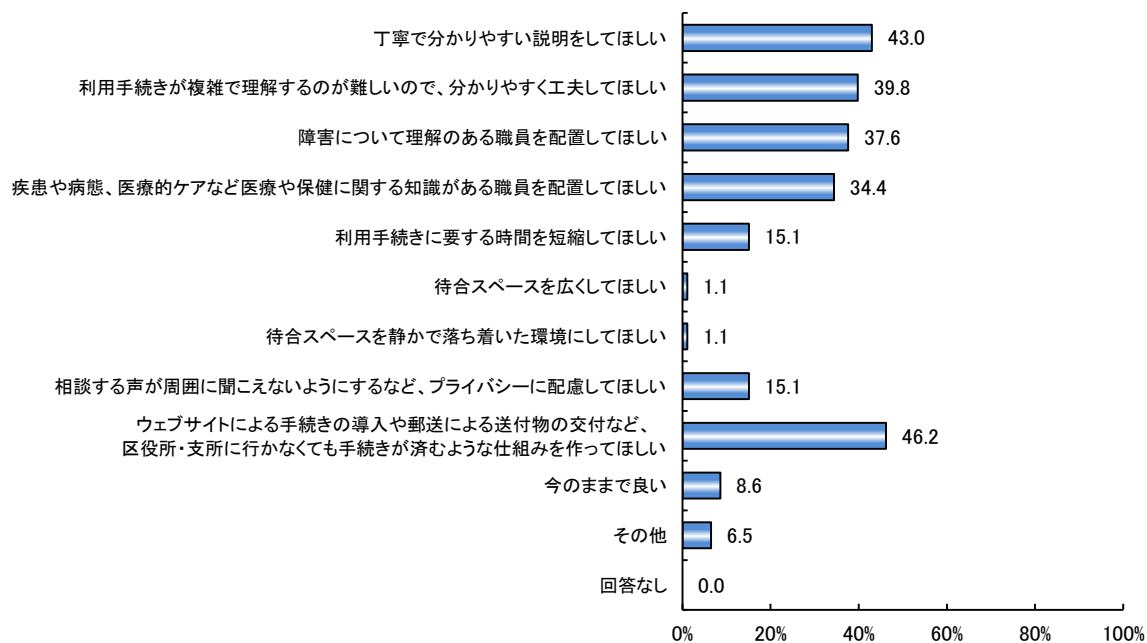
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	回答者数	丁寧で分かりやすい説明をしてほしい	利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい	障害について理解のある職員を配置してほしい	疾患や病態、医療的ケアなど医療や保健に関する知識がある職員を配置してほしい	利用手続きに要する時間を短縮してほしい	待合スペースを広くしてほしい	待合スペースを静かで落ち着いた環境にしてほしい	相談する声が周囲に聞こえないようにするなど、プライバシーに配慮してほしい	ウェブサイトによる手続きの導入や郵送による送付物の交付など、区役所・支所に行かなくても手続きが済むような仕組みを作してほしい	今のままで良い	その他	回答なし
全 体	496 100.0	223 45.0	189 38.1	211 42.5	87 17.5	84 16.9	21 4.2	26 5.2	109 22.0	188 37.9	47 9.5	22 4.4	14 2.8
身体障害	93 100.0	40 43.0	37 39.8	35 37.6	32 34.4	14 15.1	1 1.1	1 1.1	14 15.1	43 46.2	8 8.6	6 6.5	0 0.0
知的障害	291 100.0	137 47.1	115 39.5	127 43.6	46 15.8	44 15.1	13 4.5	16 5.5	58 19.9	104 35.7	29 10.0	15 5.2	6 2.1
精神障害	32 100.0	17 53.1	15 46.9	14 43.8	4 12.5	3 9.4	2 6.3	3 9.4	12 37.5	11 34.4	3 9.4	0 0.0	2 6.3
発達障害	171 100.0	75 43.9	61 35.7	80 46.8	31 18.1	30 17.5	9 5.3	12 7.0	40 23.4	69 40.4	12 7.0	7 4.1	6 3.5
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	17 56.7	12 40.0	16 53.3	12 40.0	6 20.0	1 3.3	1 3.3	6 20.0	13 43.3	2 6.7	3 10.0	0 0.0
その他	22 100.0	12 54.5	8 36.4	12 54.5	7 31.8	5 22.7	0 0.0	0 0.0	8 36.4	11 50.0	3 13.6	0 0.0	1 4.5
回答なし	24 100.0	9 37.5	7 29.2	7 29.2	1 4.2	5 20.8	1 4.2	2 8.3	2 8.3	9 37.5	4 16.7	1 4.2	2 8.3

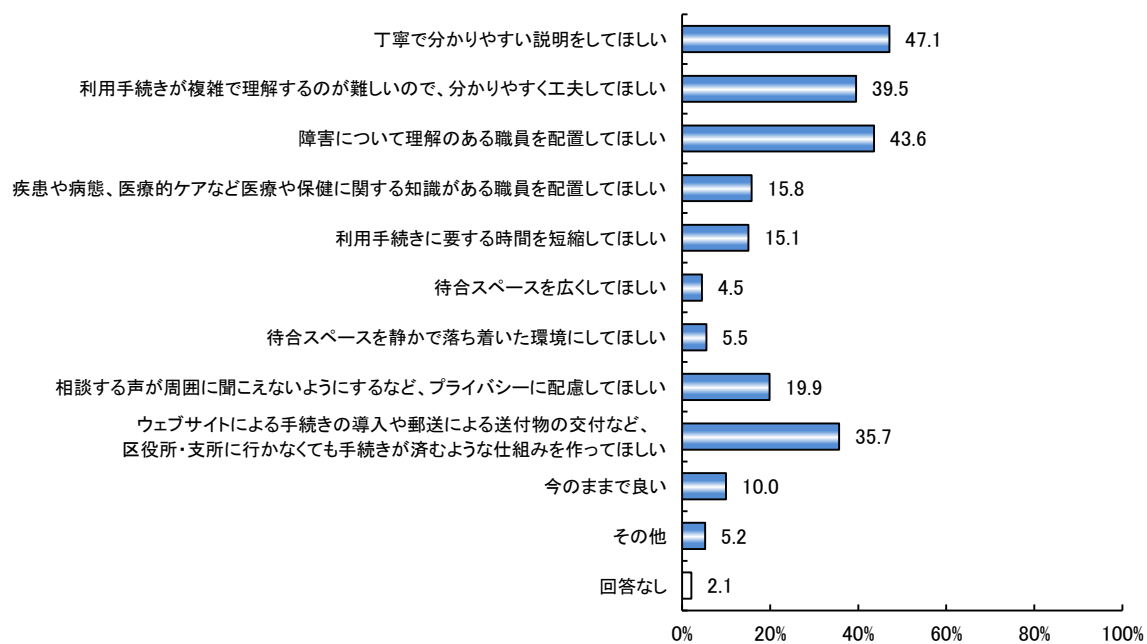


7 区役所・支所の窓口について

■ 身体障害 ■

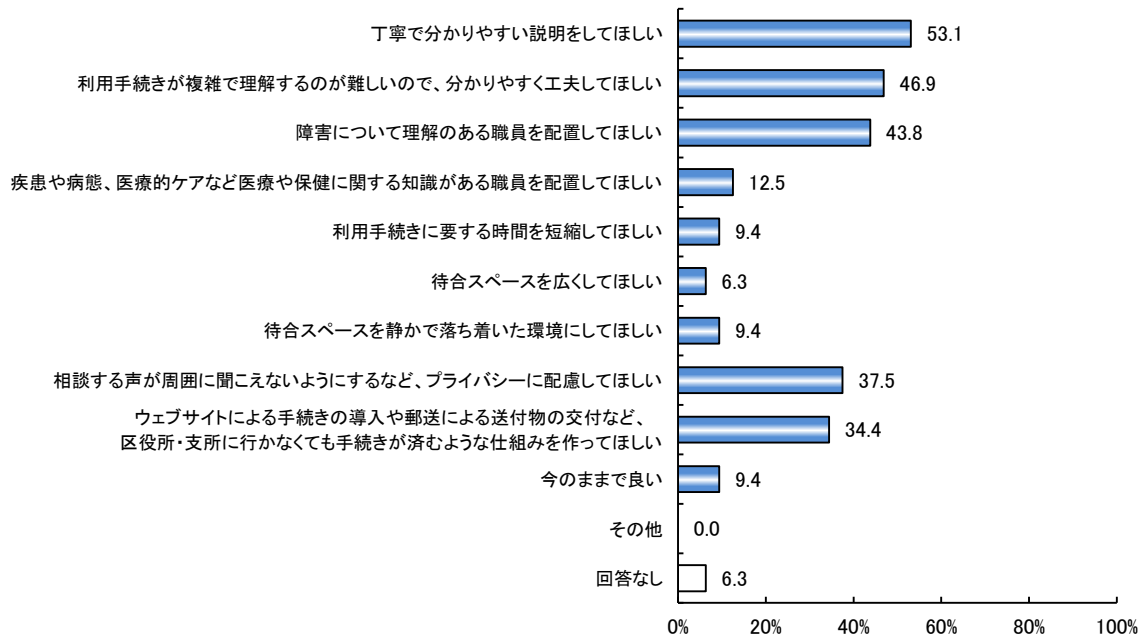


■ 知的障害 ■

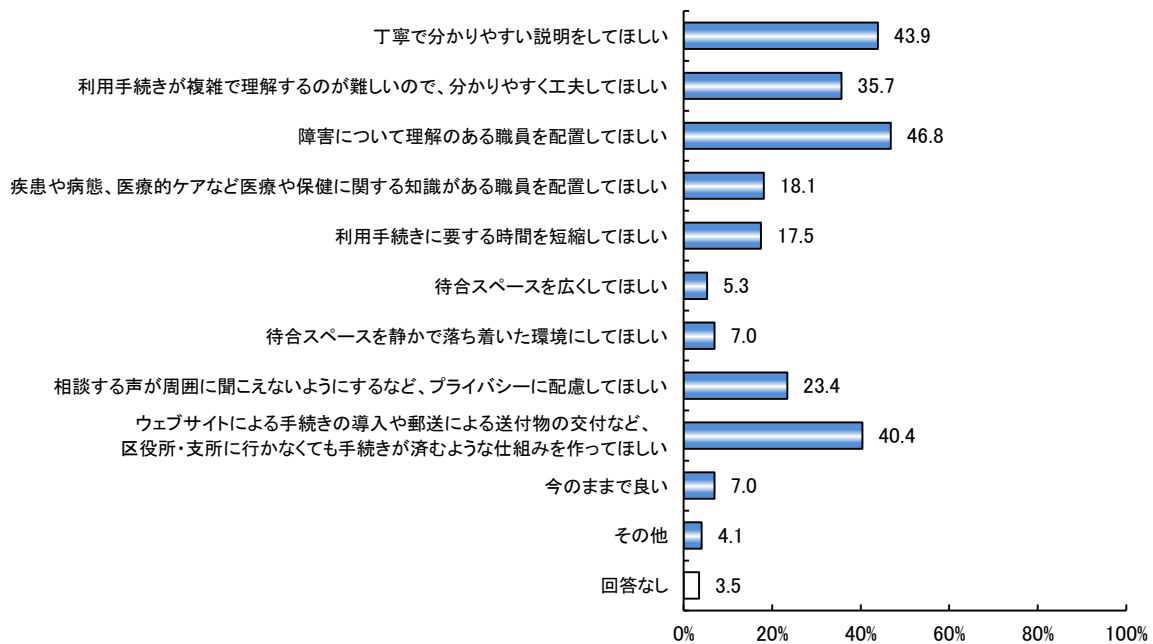




■ 精神障害 ■



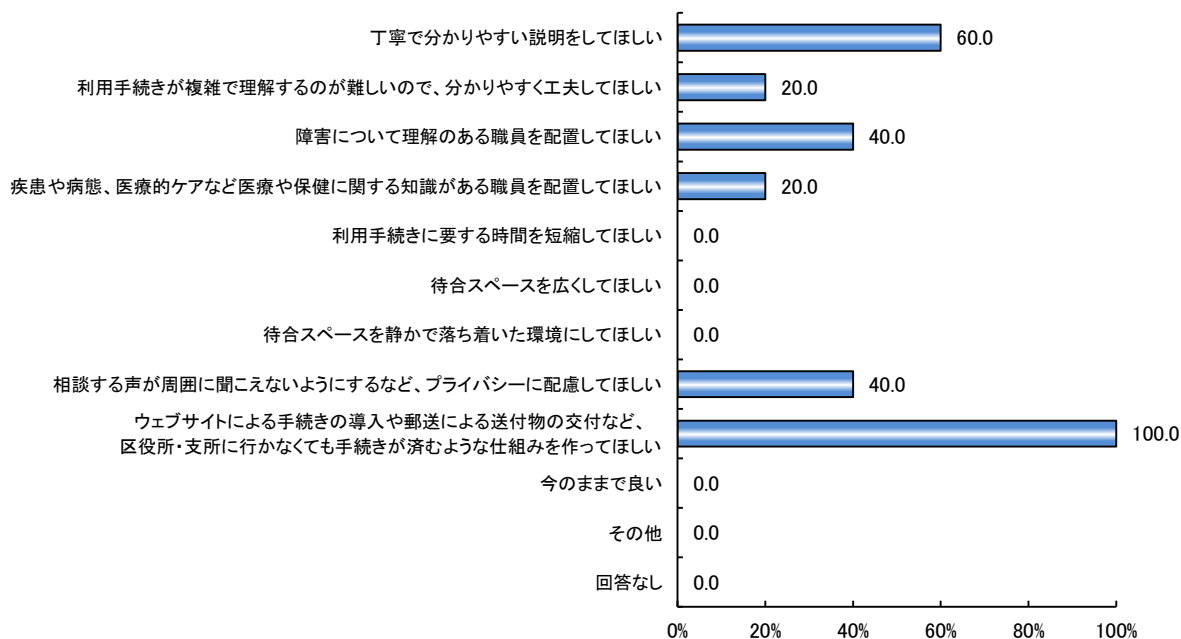
■ 発達障害 ■



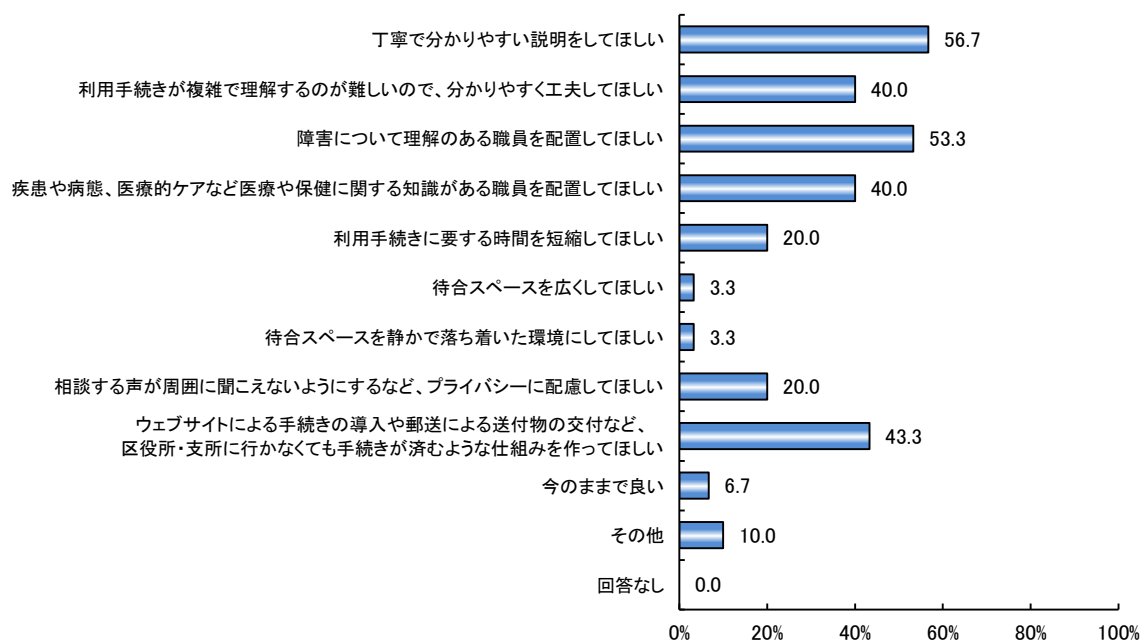


7 区役所・支所の窓口について

■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



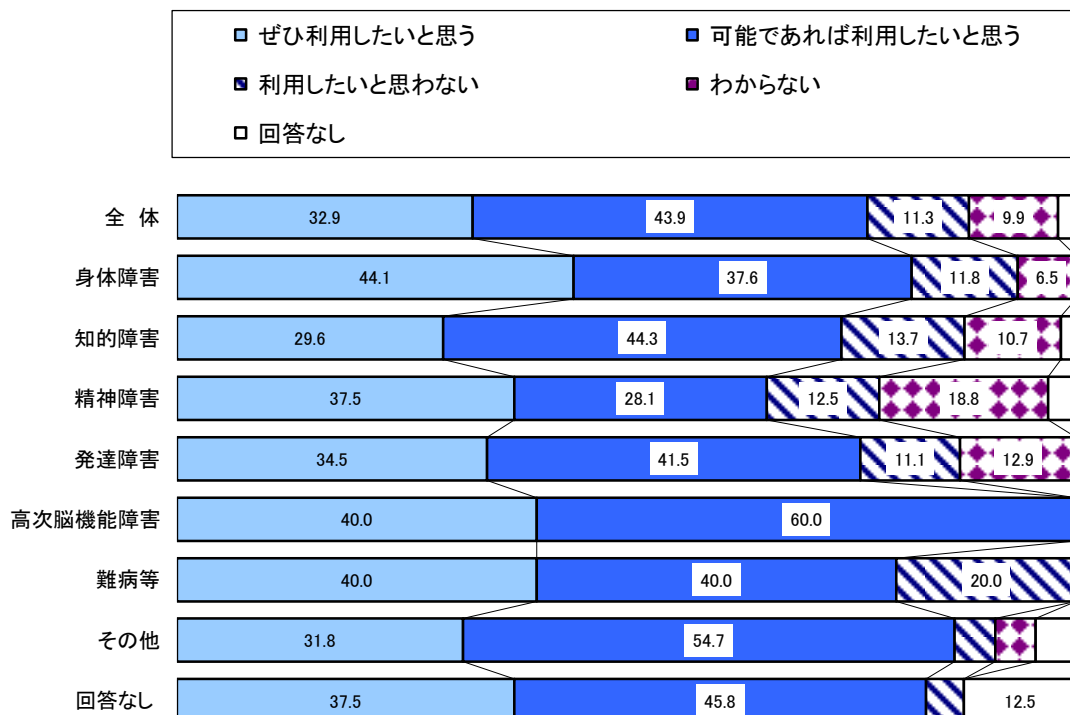
7-3 電子申請の導入【問26】

【問26】デジタル化の推進により、様々な行政手続きについてウェブサイトなどを通じた電子申請の導入が検討されていますが、利用したいと思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「可能であれば利用したいと思う」（43.9%）が最も多く、次いで「ぜひ利用したいと思う」（32.9%）、「利用したいと思わない」（11.3%）となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神では「ぜひ利用したいと思う」、知的、発達、高次脳機能では「可能であれば利用したいと思う」が最も多く、難病等では「ぜひ利用したいと思う」と「可能であれば利用したいと思う」が同数となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	ぜひ利用したいと思う	可能であれば利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	回答なし
全 体	496 100.0	163 32.9	218 43.9	56 11.3	49 9.9	10 2.0
身体障害	93 100.0	41 44.1	35 37.6	11 11.8	6 6.5	0 0.0
知的障害	291 100.0	86 29.6	129 44.3	40 13.7	31 10.7	5 1.7
精神障害	32 100.0	12 37.5	9 28.1	4 12.5	6 18.8	1 3.1
発達障害	171 100.0	59 34.5	71 41.5	19 11.1	22 12.9	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	12 40.0	12 40.0	6 20.0	0 0.0	0 0.0
その他	22 100.0	7 31.8	12 54.7	1 4.5	1 4.5	1 4.5
回答なし	24 100.0	9 37.5	11 45.8	1 4.2	0 0.0	3 12.5





7-4 電子申請を利用したいと思わない理由【問26-①】

【問26-①】問26で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた方にお聞きします。

利用したいと思わない理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

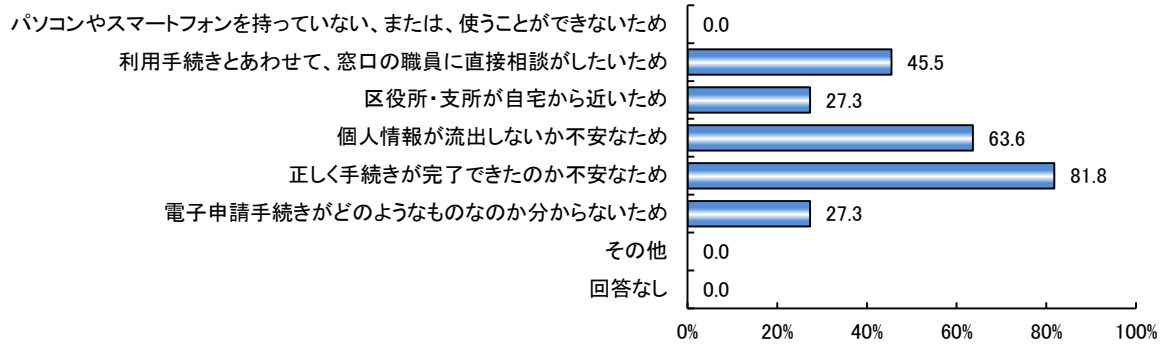
- 全体をみると、「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」(69.6%)が最も多く、次いで「正しく手続きが完了できたのか不安なため」(67.9%)、「個人情報流出しないか不安なため」(41.1%)となっています。
- 障害種別でみると、身体では「正しく手続きが完了できたのか不安なため」、知的、発達、難病等では「利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため」が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

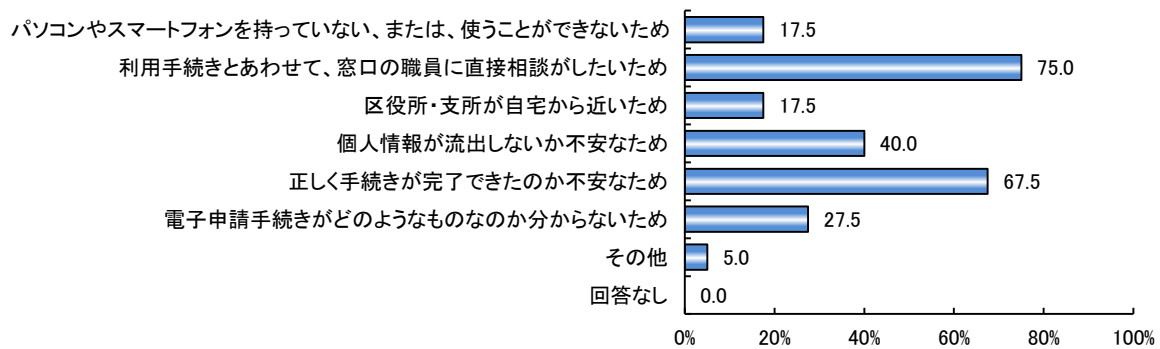
	回答者数	パソコンやスマートフォンを持っていない、または、使うことができないため	利用手続きとあわせて、窓口の職員に直接相談がしたいため	区役所・支所が自宅から近い	個人情報流出しないか不安なため	正しく手続きが完了できたのか不安なため	電子申請手続きがどのようなものかわからないため	その他	回答なし
全 体	56 100.0	9 16.1	39 69.6	9 16.1	23 41.1	38 67.9	14 25.0	4 7.1	0 0.0
身体障害	11 100.0	0 0.0	5 45.5	3 27.3	7 63.6	9 81.8	3 27.3	0 0.0	0 0.0
知的障害	40 100.0	7 17.5	30 75.0	7 17.5	16 40.0	27 67.5	11 27.5	2 5.0	0 0.0
精神障害	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
発達障害	19 100.0	2 10.5	14 73.7	5 26.3	8 42.1	13 68.4	4 21.1	1 5.3	0 0.0
高次脳機能障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	6 100.0	0 0.0	5 83.3	2 33.3	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
回答なし	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



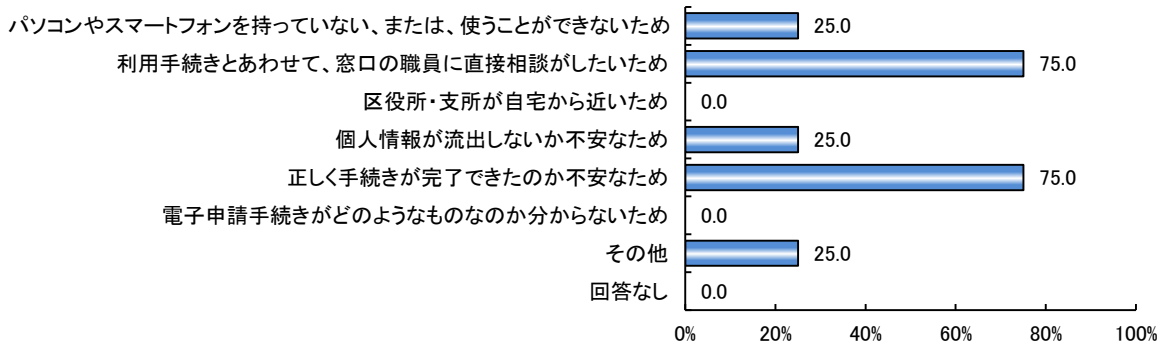
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



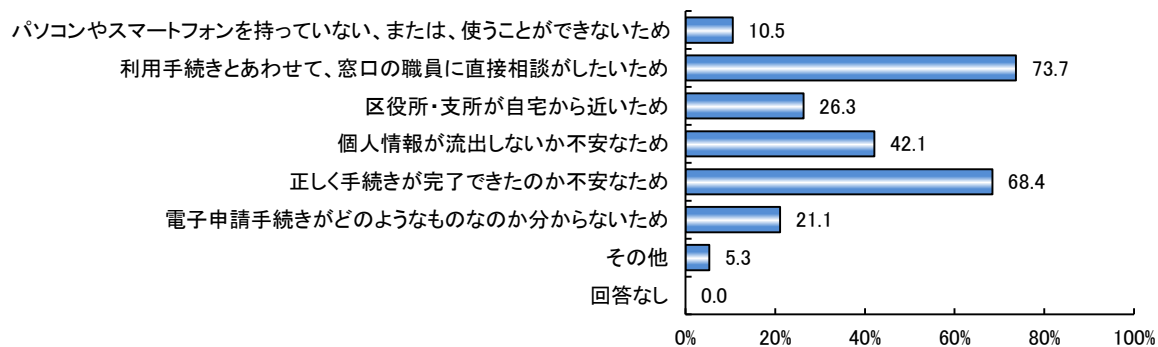
■ 精神障害 ■



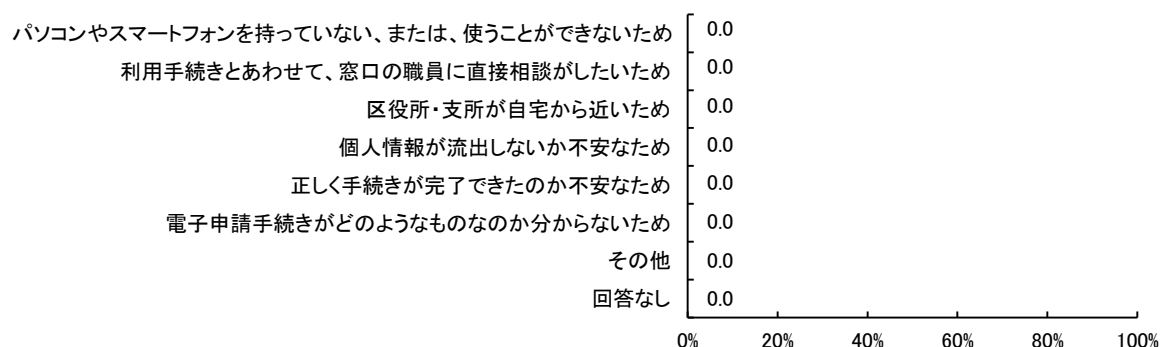


7 区役所・支所の窓口について

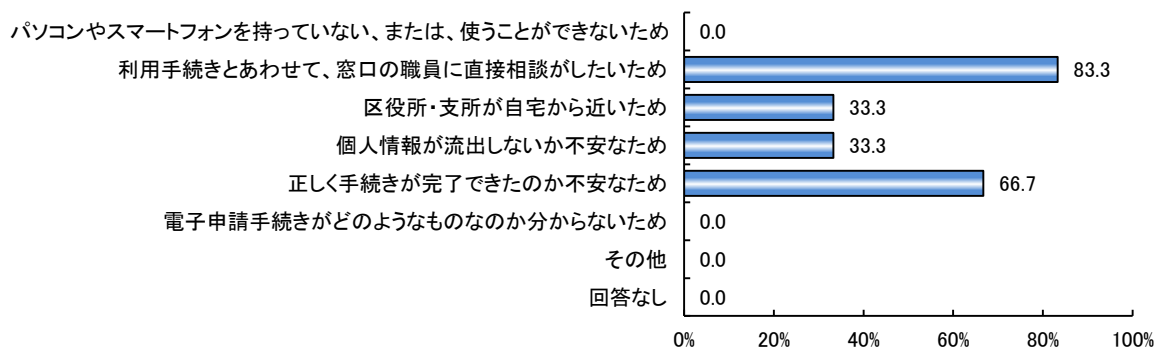
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





8 障害や障害者への理解などについて

8-1 市職員の障害・障害者に対する理解の有無【問27】

【問27】あなたは、名古屋市職員（区役所や、地下鉄・市バスなどの交通機関の職員等を含む）が、障害や障害者に対する正しい理解や認識を持って、接していると思いますか。（1つだけ○）

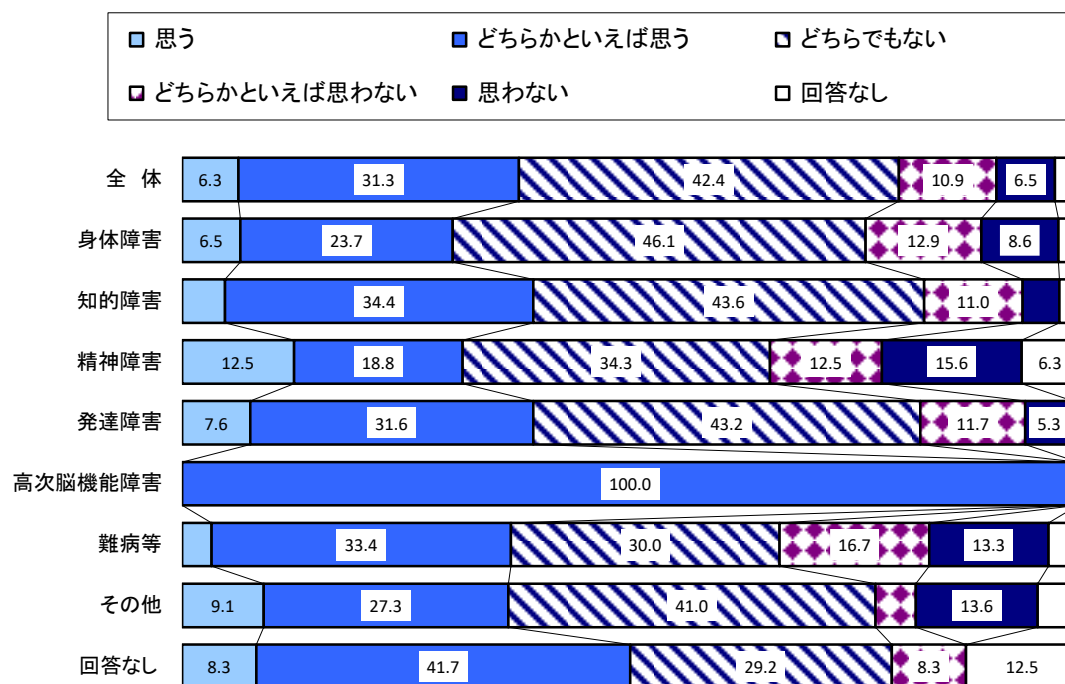
- 全体をみると、「思う」、「どちらかといえば思う」の合計（37.6％）は、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計（17.4％）より多くなっています。一方、「どちらでもない」は42.4％となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「思う」、「どちらかといえば思う」の合計が、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計より多くなっています。「思う」、「どちらかといえば思う」の合計は、身体30.2％、知的39.2％、精神31.3％、発達39.2％、高次脳機能100.0％、難病等36.7％となっています。

[上段：回答数（人）、下段：構成比（％）]

	合 計	思う	どちらかといえば 思う	どちらでもない	どちらかといえば 思わない	思わない	回答なし
全 体	496 100.0	31 6.3	155 31.3	211 42.4	54 10.9	32 6.5	13 2.6
身体障害	93 100.0	6 6.5	22 23.7	43 46.1	12 12.9	8 8.6	2 2.2
知的障害	291 100.0	14 4.8	100 34.4	127 43.6	32 11.0	12 4.1	6 2.1
精神障害	32 100.0	4 12.5	6 18.8	11 34.3	4 12.5	5 15.6	2 6.3
発達障害	171 100.0	13 7.6	54 31.6	74 43.2	20 11.7	9 5.3	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	10 33.4	9 30.0	5 16.7	4 13.3	1 3.3
その他	22 100.0	2 9.1	6 27.3	9 41.0	1 4.5	3 13.6	1 4.5
回答なし	24 100.0	2 8.3	10 41.7	7 29.2	2 8.3	0 0.0	3 12.5



8 障害や障害者への理解などについて



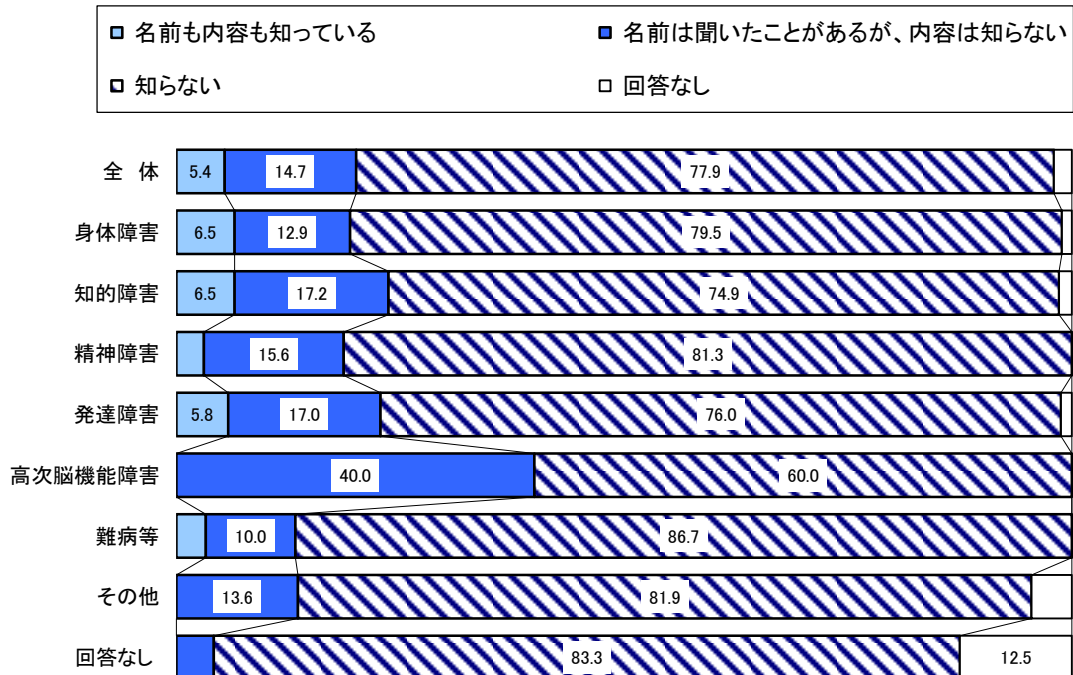
8-2 条例認知の有無【問28】

【問28】名古屋市が、「障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」を策定・施行したことを知っていますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「知らない」（77.9％）が最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」（14.7％）、「名前も内容も知っている」（5.4％）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「知らない」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	名前も内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	回答なし
全 体	496 100.0	27 5.4	73 14.7	386 77.9	10 2.0
身体障害	93 100.0	6 6.5	12 12.9	74 79.5	1 1.1
知的障害	291 100.0	19 6.5	50 17.2	218 74.9	4 1.4
精神障害	32 100.0	1 3.1	5 15.6	26 81.3	0 0.0
発達障害	171 100.0	10 5.8	29 17.0	130 76.0	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	3 10.0	26 86.7	0 0.0
その他	22 100.0	0 0.0	3 13.6	18 81.9	1 4.5
回答なし	24 100.0	0 0.0	1 4.2	20 83.3	3 12.5



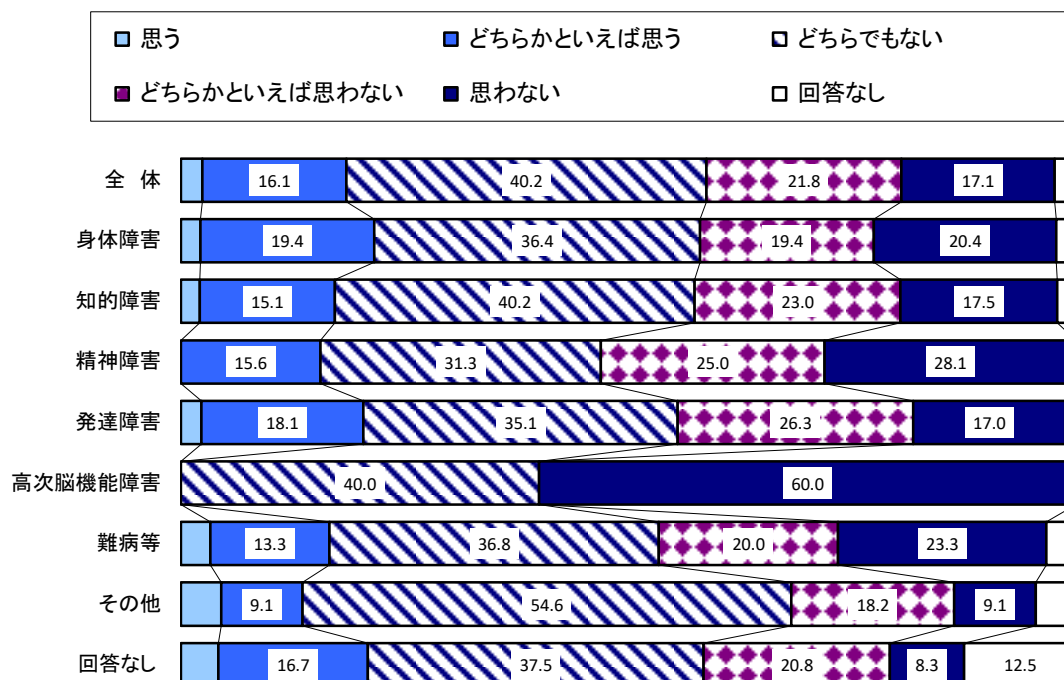
8-3 人権社会実現の現状【問29】

【問29】名古屋市では、「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」を目指しています。あなたは、現在の名古屋市がこのような社会になっていると思いますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計（38.9）％は、「思う」、「どちらかといえば思う」の合計（18.5％）より多くなっています。一方、「どちらでもない」は 40.2％となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「思わない」、「どちらかといえば思わない」の合計が、「思う」、「どちらかといえば思う」の合計より多くなっています。「思う」、「どちらかといえば思う」の合計は、身体 21.6％、知的 17.2％、精神 15.6％、発達 20.4％、高次脳機能 0.0％、難病等 16.6％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	思う	どちらかといえば 思う	どちらでもない	どちらかといえば 思わない	思わない	回答なし
全 体	496 100.0	12 2.4	80 16.1	199 40.2	108 21.8	85 17.1	12 2.4
身体障害	93 100.0	2 2.2	18 19.4	34 36.4	18 19.4	19 20.4	2 2.2
知的障害	291 100.0	6 2.1	44 15.1	117 40.2	67 23.0	51 17.5	6 2.1
精神障害	32 100.0	0 0.0	5 15.6	10 31.3	8 25.0	9 28.1	0 0.0
発達障害	171 100.0	4 2.3	31 18.1	60 35.1	45 26.3	29 17.0	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
難病等	30 100.0	1 3.3	4 13.3	11 36.8	6 20.0	7 23.3	1 3.3
その他	22 100.0	1 4.5	2 9.1	12 54.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5
回答なし	24 100.0	1 4.2	4 16.7	9 37.5	5 20.8	2 8.3	3 12.5



8-4 人権社会実現への施策【問30】

【問30】「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」に向けて、今後、名古屋市が、とくに力をいれるべきことはどのようなことと思いますか。
(いくつでも○)

- 全体をみると、「障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する」(69.8%)が最も多く、次いで「一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える」(68.1%)、「人権教育や福祉教育を進める」、「一般企業などへの就労を進める」(各 53.2%)、「一般企業などへの就労が困難な重度障害者が利用できる、就労継続支援事業などを増やす」(52.8%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、発達では「障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する」が最も多く、次いで「一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える」、知的では「一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える」が最も多く、次いで「障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する」、精神では「各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める」が最も多く、次いで「一般企業などへの就労を進める」、難病等では「人権教育や福祉教育を進める」と「各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める」と「保健・医療・福祉サービスの充実と、連携を強くする」が同数となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

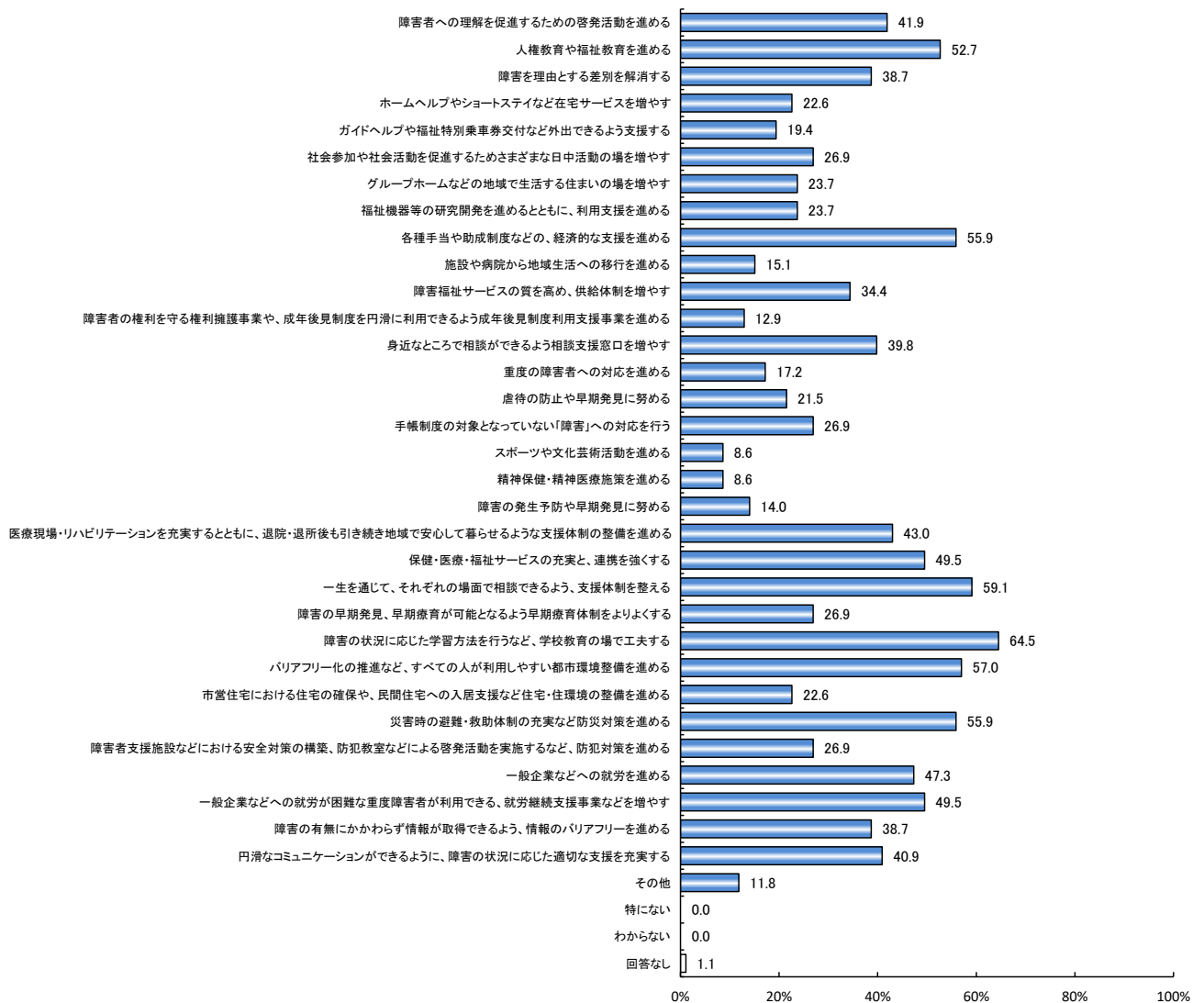
	回答者数	障害者への理解を促進するための啓発活動を進める	人権教育や福祉教育を進める	障害を理由とする差別を解消する	ホームヘルプやショートステイなど在宅サービスを増やす	ガイドヘルプや福祉特別乗車券交付など外出できるよう支援する	社会参加や社会活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす	グループホームなどの地域で生活する住まいの場を増やす	福祉機器等の研究開発を進めるとともに、利用支援を進める	各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める	施設や病院から地域生活への移行を進める	障害福祉サービスの質を高め、供給体制を増やす	障害者の権利を守る権利擁護事業や、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見制度利用支援事業を進める
全 体	496 100.0	199 40.1	264 53.2	212 42.7	110 22.2	98 19.8	142 28.6	127 25.6	63 12.7	236 47.6	59 11.9	172 34.7	103 20.8
身体障害	93 100.0	39 41.9	49 52.7	36 38.7	21 22.6	18 19.4	25 26.9	22 23.7	22 23.7	52 55.9	14 15.1	32 34.4	12 12.9
知的障害	291 100.0	122 41.9	157 54.0	132 45.4	77 26.5	65 22.3	105 36.1	100 34.4	35 12.0	136 46.7	41 14.1	111 38.1	77 26.5
精神障害	32 100.0	16 50.0	18 56.3	16 50.0	4 12.5	8 25.0	11 34.4	4 12.5	4 12.5	24 75.0	3 9.4	12 37.5	6 18.8
発達障害	171 100.0	70 40.9	106 62.0	75 43.9	33 19.3	32 18.7	53 31.0	43 25.1	16 9.4	87 50.9	24 14.0	61 35.7	36 21.1
高次脳機能障害	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
難病等	30 100.0	15 50.0	20 66.7	14 46.7	8 26.7	8 26.7	8 26.7	8 26.7	9 30.0	20 66.7	9 30.0	14 46.7	8 26.7
その他	22 100.0	8 36.4	11 50.0	9 40.9	4 18.2	3 13.6	5 22.7	5 22.7	3 13.6	8 36.4	2 9.1	6 27.3	2 9.1
回答なし	24 100.0	9 37.5	7 29.2	9 37.5	5 20.8	7 29.2	3 12.5	5 20.8	3 12.5	8 33.3	2 8.3	5 20.8	3 12.5

8 障害や障害者への理解などについて

	身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす	重度の障害者への対応を進める	虐待の防止や早期発見に努める	手帳制度の対象となっていない「障害」への対応を行う	スポーツや文化芸術活動を進める	精神保健・精神医療施策を進める	障害の発生予防や早期発見に努める	医療現場・リハビリテーションを充実するとともに、退院・退所後も引き続き地域で安心して暮らせるような支援体制の整備を進める	保健・医療・福祉サービスの充実と、連携を強くする	一生を通じて、それぞれの場面で相談できるように、支援体制を整える	障害の早期発見、早期療育が可能となるよう早期療育体制をよりよくする	障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する	バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める
全 体	215 43.3	67 13.5	118 23.8	173 34.9	49 9.9	71 14.3	90 18.1	141 28.4	247 49.8	338 68.1	191 38.5	346 69.8	187 37.7
身体障害	37 39.8	16 17.2	20 21.5	25 26.9	8 8.6	8 8.6	13 14.0	40 43.0	46 49.5	55 59.1	25 26.9	60 64.5	53 57.0
知的障害	123 42.3	45 15.5	75 25.8	86 29.6	39 13.4	32 11.0	55 18.9	93 32.0	155 53.3	210 72.2	120 41.2	194 66.7	115 39.5
精神障害	13 40.6	4 12.5	5 15.6	14 43.8	1 3.1	13 40.6	9 28.1	5 15.6	14 43.8	22 68.8	11 34.4	21 65.6	8 25.0
発達障害	83 48.5	25 14.6	55 32.2	80 46.8	19 11.1	32 18.7	36 21.1	47 27.5	90 52.6	125 73.1	81 47.4	139 81.3	49 28.7
高次脳機能障害	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0
難病等	10 33.3	9 30.0	7 23.3	6 20.0	1 3.3	3 10.0	6 20.0	17 56.7	20 66.7	16 53.3	11 36.7	19 63.3	16 53.3
その他	10 45.5	2 9.1	1 4.5	10 45.5	1 4.5	3 13.6	3 13.6	4 18.2	11 50.0	15 68.2	7 31.8	16 72.7	6 27.3
回答なし	8 33.3	4 16.7	3 12.5	9 37.5	1 4.2	4 16.7	4 16.7	2 8.3	7 29.2	17 70.8	6 25.0	17 70.8	9 37.5

	市営住宅における住宅の確保や、民間住宅への入居支援など住宅・住環境の整備を進める	災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める	障害者支援施設などにおける安全対策の構築、防犯教室などによる啓発活動を実施するなど、防犯対策を進める	一般企業などへの就労を進める	一般企業などへの就労が困難な重度障害者が利用できる、就労継続支援事業などを増やす	障害の有無にかかわらず情報が取得できるよう、情報のバリアフリーを進める	円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実する	その他	特にな	わからない	回答なし
全 体	142 28.6	197 39.7	143 28.8	264 53.2	262 52.8	200 40.3	255 51.4	35 7.1	1 0.2	5 1.0	12 2.4
身体障害	21 22.6	52 55.9	25 26.9	44 47.3	46 49.5	36 38.7	38 40.9	11 11.8	0 0.0	0 0.0	1 1.1
知的障害	96 33.0	119 40.9	95 32.6	152 52.2	175 60.1	122 41.9	160 55.0	20 6.9	0 0.0	3 1.0	7 2.4
精神障害	13 40.6	13 40.6	7 21.9	23 71.9	15 46.9	15 46.9	16 50.0	4 12.5	0 0.0	1 3.1	0 0.0
発達障害	54 31.6	64 37.4	52 30.4	90 52.6	100 58.5	77 45.0	107 62.6	12 7.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2
高次脳機能障害	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	8 26.7	16 53.3	10 33.3	15 50.0	18 60.0	11 36.7	15 50.0	3 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 4.5	8 36.4	5 22.7	12 54.5	7 31.8	6 27.3	8 36.4	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5
回答なし	6 25.0	9 37.5	5 20.8	11 45.8	8 33.3	9 37.5	9 37.5	1 4.2	0 0.0	1 4.2	3 12.5

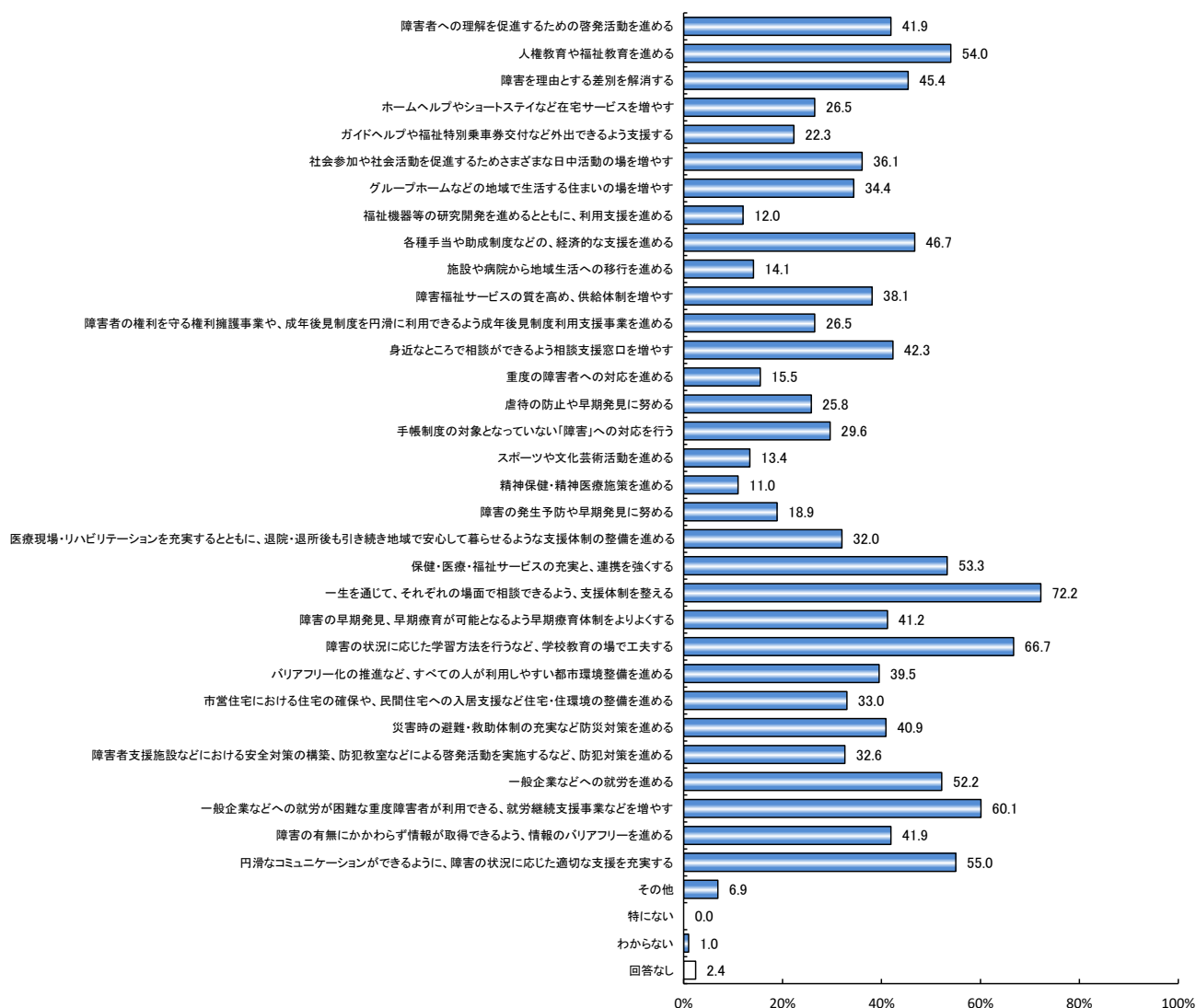
■ 身体障害 ■



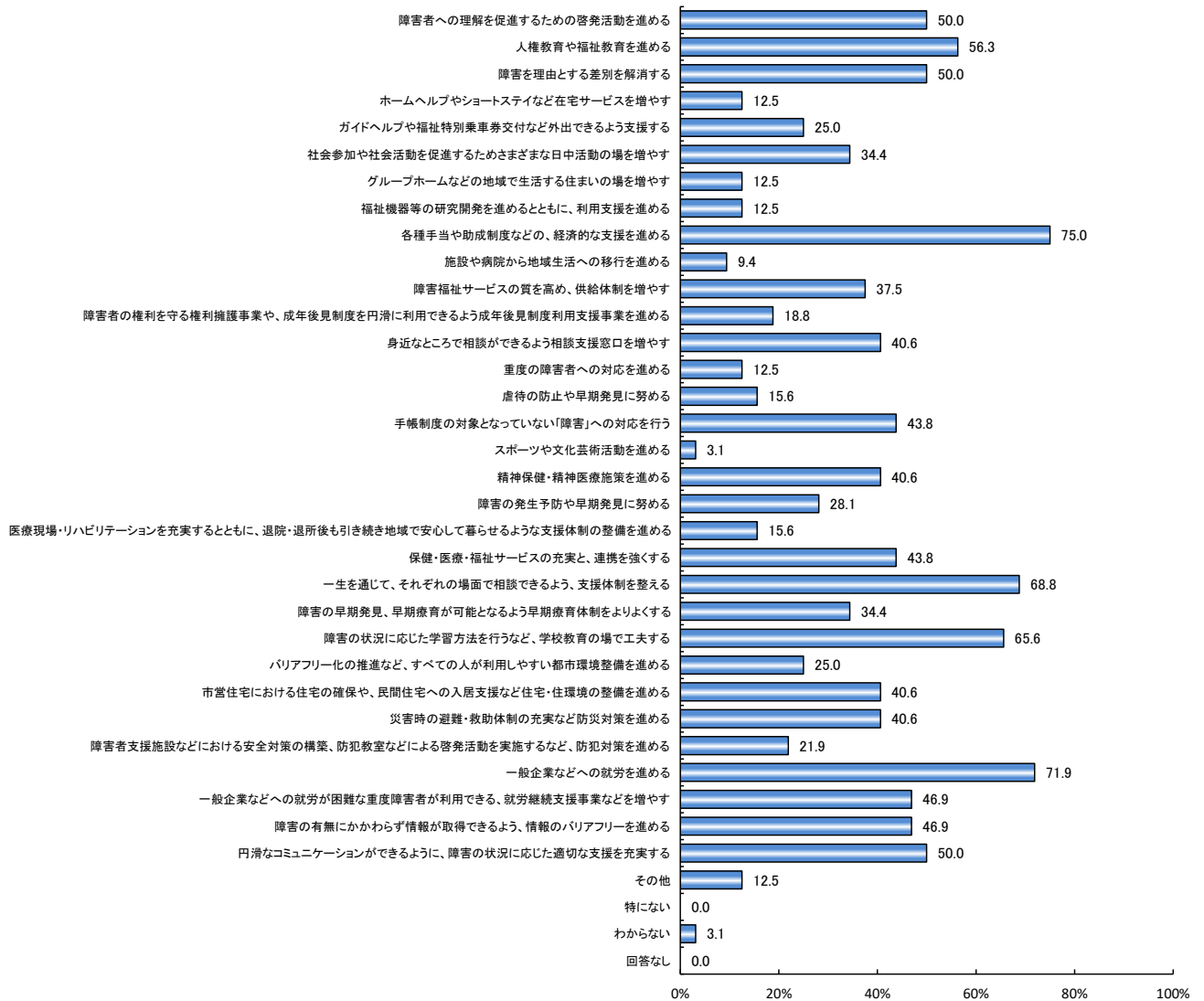


8 障害や障害者への理解などについて

知的障害



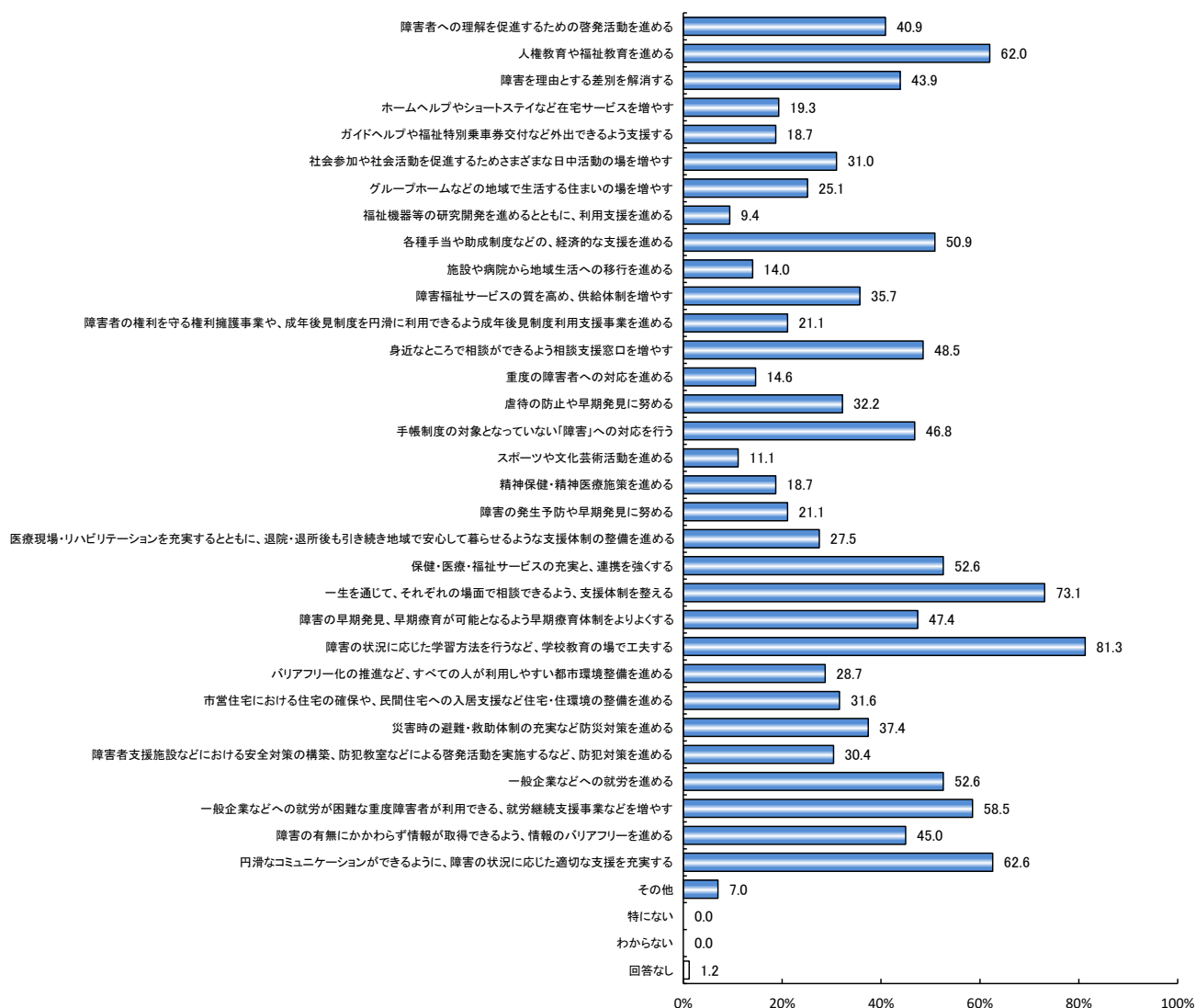
■ 精神障害 ■





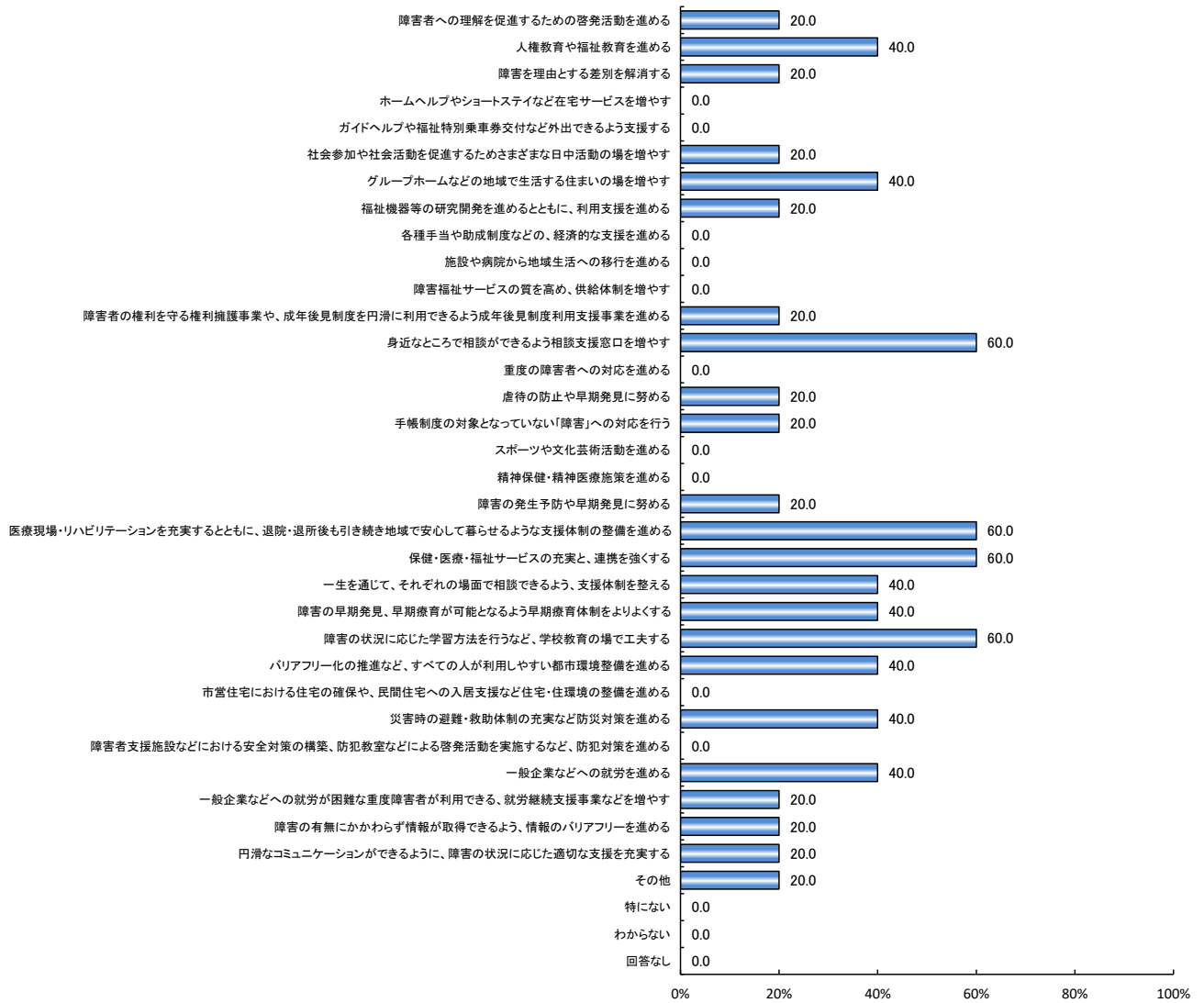
8 障害や障害者への理解などについて

■ 発達障害 ■





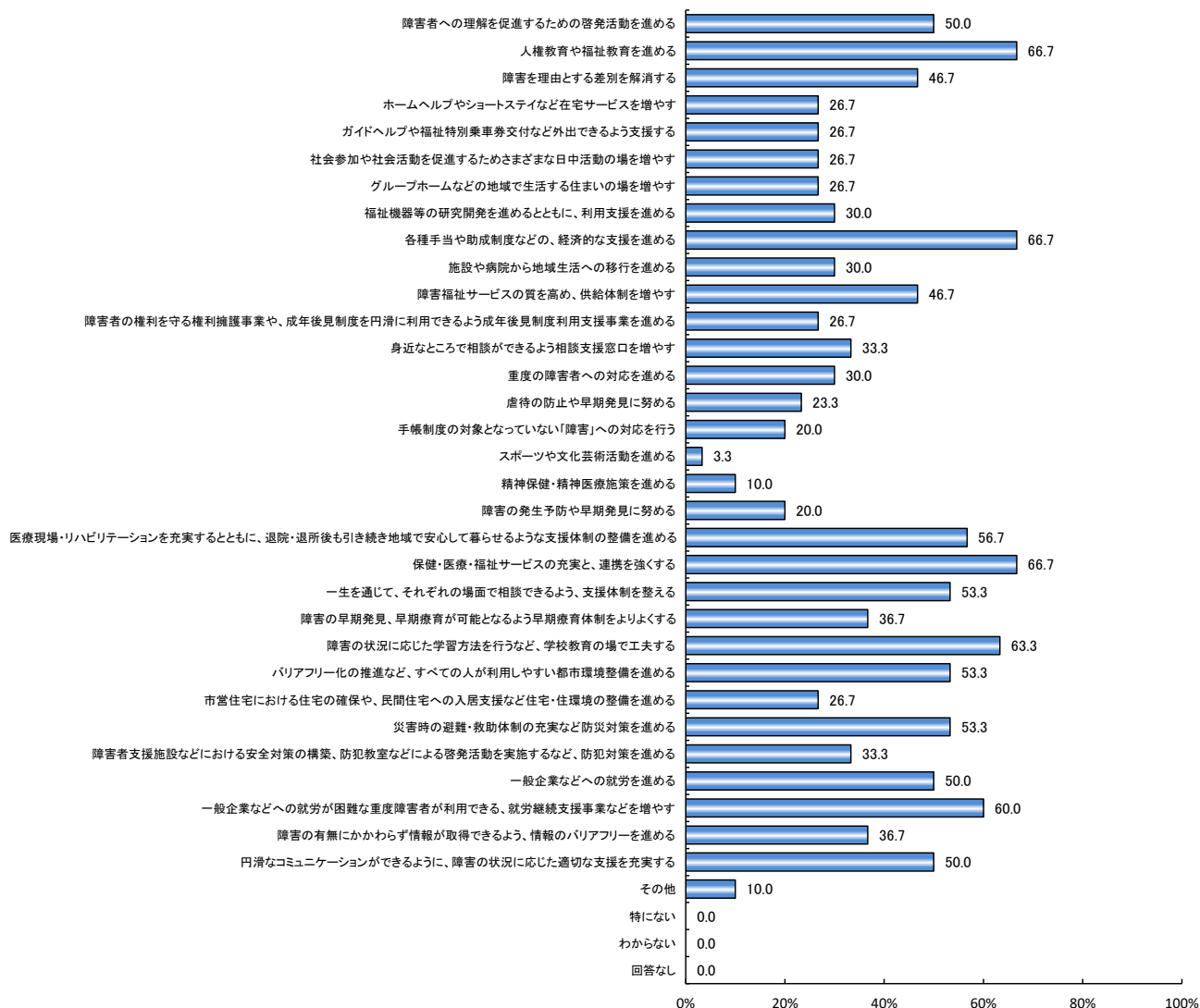
■ 高次脳機能障害 ■





8 障害や障害者への理解などについて

■ 難病等 ■





【問31】から【問40】までは、18歳未満のお子様（ご本人）にお聞きします。

障害特性や年齢等によりご本人が答えられない場合は、ご本人の立場に立って保護者の方がお答えください。

9 余暇の過ごし方、スポーツについて

9-1 余暇活動の内容【問31】

【問31】あなたは学校や仕事以外の自由に使える時間に、どのようなことをしていますか。

(いくつでも○)

- 全体をみると、「家でゆっくりくつろぐ」(83.3%)が最も多く、次いで「家で趣味や学習などを行う」(50.4%)、「買い物などに出かける」(36.7%)となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「家でゆっくりくつろぐ」が最も多く、次いで「家で趣味や学習などを行う」となっています。

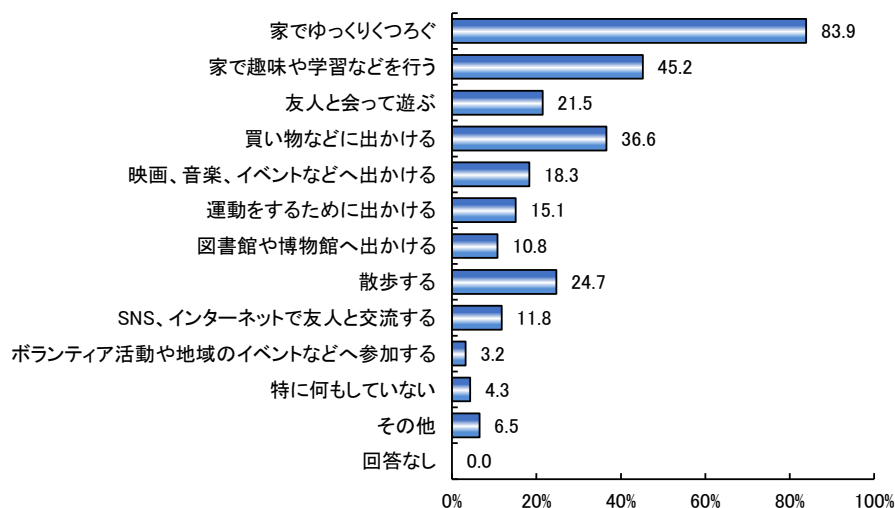
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	回答者数	家でゆっくりくつろぐ	家で趣味や学習などを行う	友人と会って遊ぶ	買い物などに出かける	映画、音楽、イベントなどへ出かける	運動をするために出かける	図書館や博物館へ出かける	散歩する	SNS、インターネットで友人と交流する	ボランティア活動や地域のイベントなどへ参加する	特に何もしていない	その他	回答なし
全 体	496 100.0	413 83.3	250 50.4	85 17.1	182 36.7	73 14.7	105 21.2	53 10.7	122 24.6	54 10.9	8 1.6	10 2.0	33 6.7	9 1.8
身体障害	93 100.0	78 83.9	42 45.2	20 21.5	34 36.6	17 18.3	14 15.1	10 10.8	23 24.7	11 11.8	3 3.2	4 4.3	6 6.5	0 0.0
知的障害	291 100.0	248 85.2	126 43.3	30 10.3	110 37.8	35 12.0	63 21.6	23 7.9	82 28.2	17 5.8	4 1.4	6 2.1	22 7.6	5 1.7
精神障害	32 100.0	22 68.8	16 50.0	6 18.8	10 31.3	7 21.9	4 12.5	3 9.4	4 12.5	10 31.3	2 6.3	0 0.0	3 9.4	1 3.1
発達障害	171 100.0	150 87.7	91 53.2	38 22.2	62 36.3	29 17.0	43 25.1	16 9.4	40 23.4	21 12.3	3 1.8	2 1.2	13 7.6	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	22 73.3	16 53.3	9 30.0	12 40.0	8 26.7	4 13.3	4 13.3	6 20.0	4 13.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	1 3.3
その他	22 100.0	16 72.7	19 86.4	6 27.3	5 22.7	4 18.2	5 22.7	5 22.7	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1
回答なし	24 100.0	21 87.5	13 54.2	2 8.3	10 41.7	3 12.5	5 20.8	3 12.5	8 33.3	6 25.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2

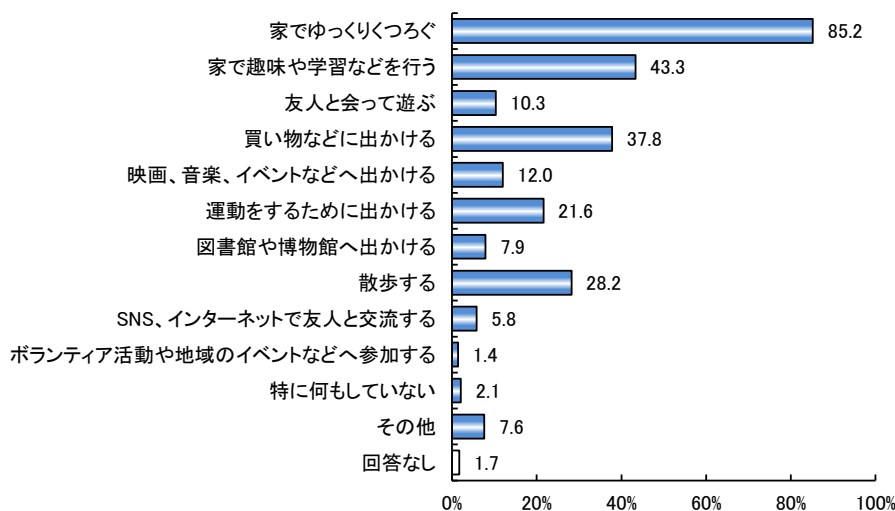


9 余暇の過ごし方、スポーツについて

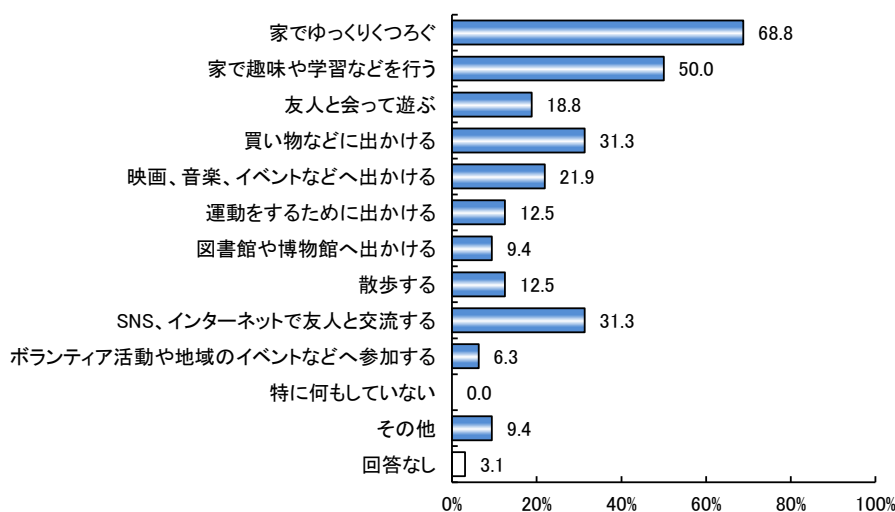
■ 身体障害 ■



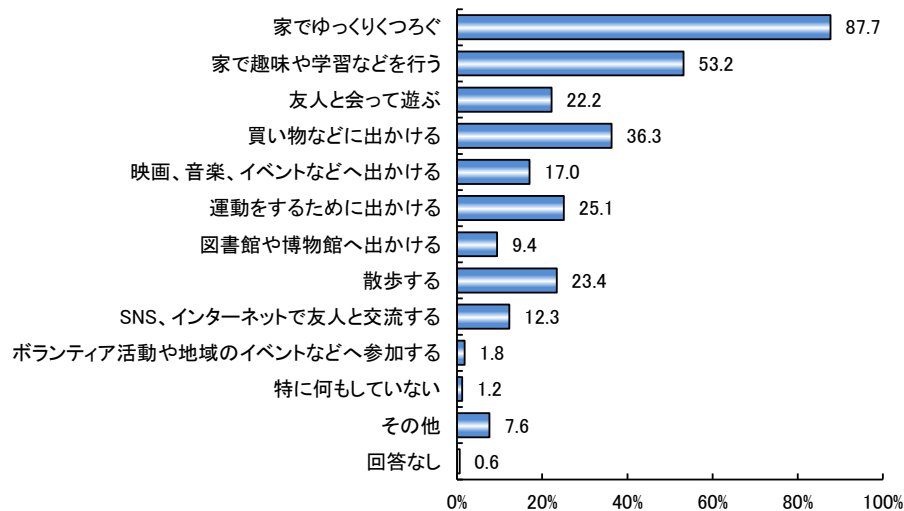
■ 知的障害 ■



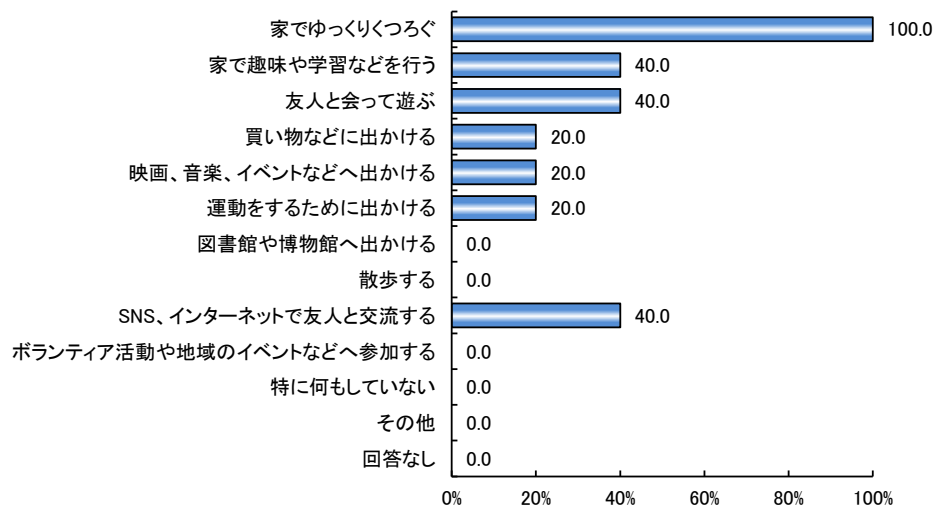
■ 精神障害 ■



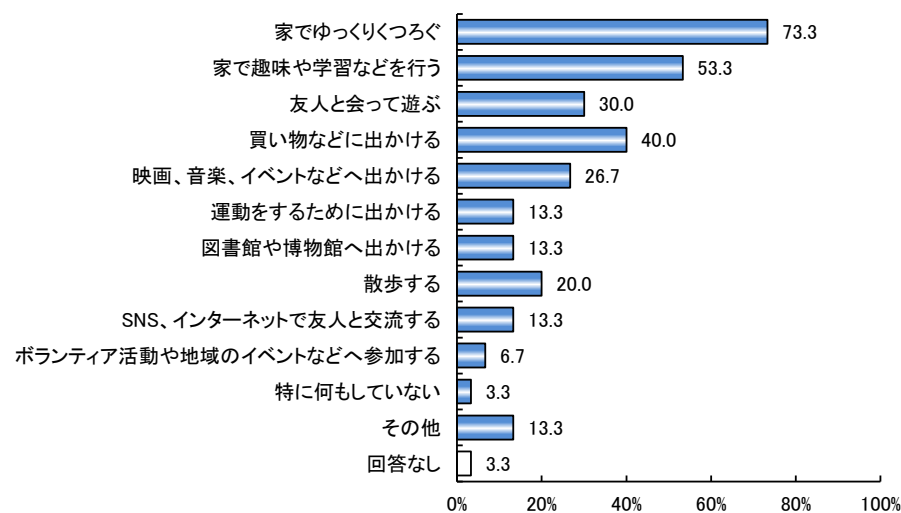
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





9-2 余暇活動の満足度【問32】

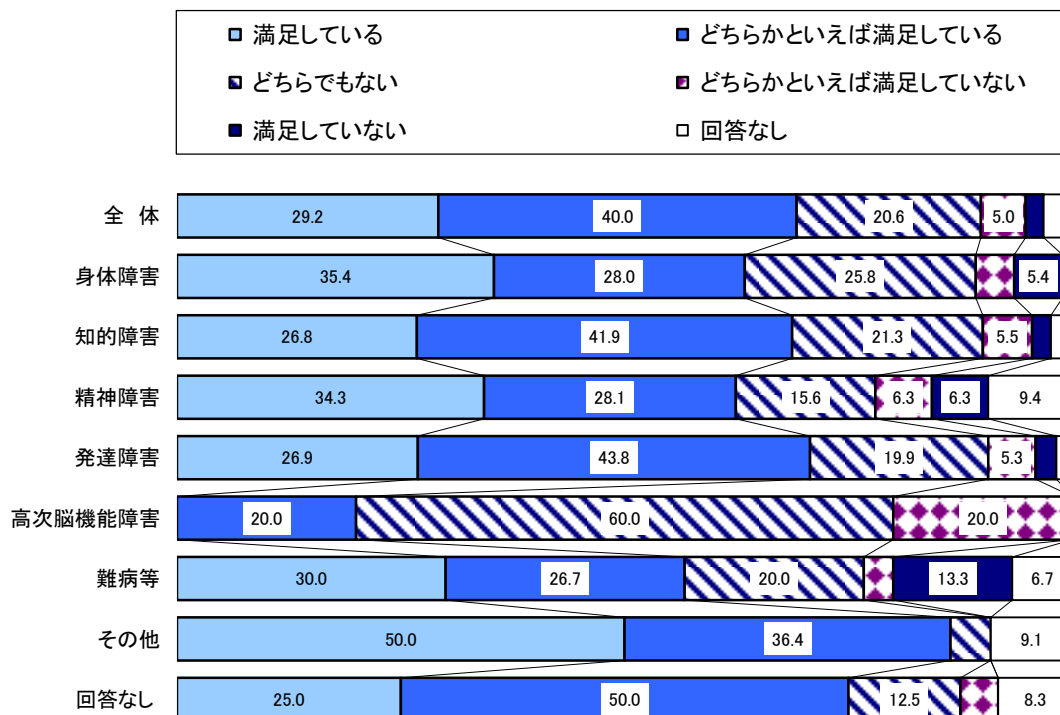
【問32】あなたは現在の、学校や仕事以外の自由に使える時間の過ごし方に満足していますか。

(1つだけ○)

- 全体をみると、「どちらかといえば満足している」(40.0%)が最も多く、「満足している」(29.2%)と合わせ 69.2%となっています。
- 障害種別でみると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計は、身体では 63.4%、知的では 68.7%、精神では 62.4%、発達では 70.7%、高次脳機能では 20.0%、難病等では 56.7%となっており、概ねどの障害種別でも「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」の合計より多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（%）〕

	合 計	満足している	どちらかといえば満足している	どちらでもない	どちらかといえば満足していない	満足していない	回答なし
全 体	496 100.0	145 29.2	198 40.0	102 20.6	25 5.0	10 2.0	16 3.2
身体障害	93 100.0	33 35.4	26 28.0	24 25.8	4 4.3	5 5.4	1 1.1
知的障害	291 100.0	78 26.8	122 41.9	62 21.3	16 5.5	6 2.1	7 2.4
精神障害	32 100.0	11 34.3	9 28.1	5 15.6	2 6.3	2 6.3	3 9.4
発達障害	171 100.0	46 26.9	75 43.8	34 19.9	9 5.3	4 2.3	3 1.8
高次脳機能障害	5 100.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	9 30.0	8 26.7	6 20.0	1 3.3	4 13.3	2 6.7
その他	22 100.0	11 50.0	8 36.4	1 4.5	0 0.0	0 0.0	2 9.1
回答なし	24 100.0	6 25.0	12 50.0	3 12.5	1 4.2	0 0.0	2 8.3



9-3 運動やスポーツの実施有無【問33】

【問33】あなたは、運動・スポーツを、1週間に1回以上行っていますか。

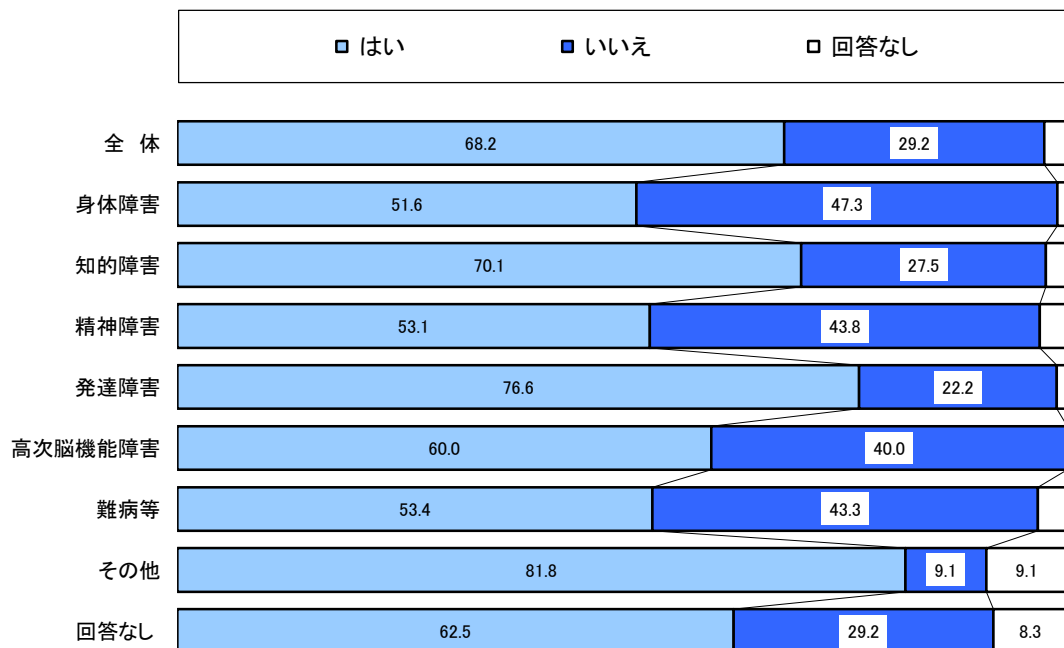
※学校の部活動や休み時間の活動も含みます。

(例 ウォーキング・自転車・ジョギング(通学時も含む)、遊びの中での運動、体操、室内での軽い運動、水中歩行・遊泳、ボウリング、グラウンド・ゴルフ、レクバレー、室内アスレチック運動、競技的スポーツなど)

- 全体をみると、「はい」は68.2%、「いいえ」は29.2%となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「はい」が「いいえ」より多くなっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	合 計	はい	いいえ	回答なし
全 体	496 100.0	338 68.2	145 29.2	13 2.6
身体障害	93 100.0	48 51.6	44 47.3	1 1.1
知的障害	291 100.0	204 70.1	80 27.5	7 2.4
精神障害	32 100.0	17 53.1	14 43.8	1 3.1
発達障害	171 100.0	131 76.6	38 22.2	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
難病等	30 100.0	16 53.4	13 43.3	1 3.3
その他	22 100.0	18 81.8	2 9.1	2 9.1
回答なし	24 100.0	15 62.5	7 29.2	2 8.3





9-4 運動やスポーツを行わない理由【問33-①】

【問33-①】問33で「2. いいえ」を選択した方にお聞きます。

あなたが運動やスポーツを行わない理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

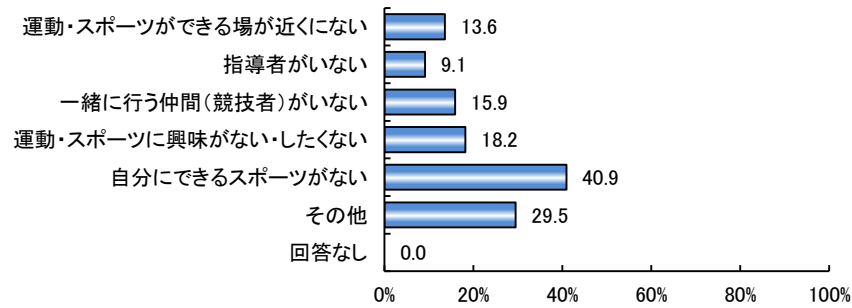
- 全体をみると、「運動・スポーツに興味がない・したくない」、「自分にできるスポーツがない」(各33.8%)が最も多くなっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、難病等では「自分にできるスポーツがない」、精神、発達では「運動・スポーツに興味がない・したくない」が最も多くなっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

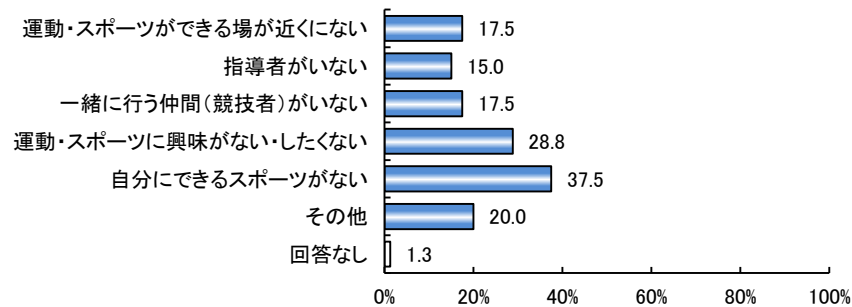
	回答者数	運動・スポーツ ができる場が 近くにない	指導者が いない	一緒に行く 仲間(競技者) がいない	運動・スポーツ に興味がない・ したくない	自分にできる スポーツが ない	その他	回答なし
全 体	145 100.0	22 15.2	21 14.5	30 20.7	49 33.8	49 33.8	30 20.7	3 2.1
身体障害	44 100.0	6 13.6	4 9.1	7 15.9	8 18.2	18 40.9	13 29.5	0 0.0
知的障害	80 100.0	14 17.5	12 15.0	14 17.5	23 28.8	30 37.5	16 20.0	1 1.3
精神障害	14 100.0	2 14.3	2 14.3	5 35.7	7 50.0	4 28.6	2 14.3	0 0.0
発達障害	38 100.0	5 13.2	6 15.8	9 23.7	18 47.4	9 23.7	5 13.2	1 2.6
高次脳機能障害	2 100.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
難病等	13 100.0	0 0.0	2 15.4	3 23.1	2 15.4	6 46.2	5 38.5	0 0.0
その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	4 57.1	4 57.1	1 14.3	1 14.3



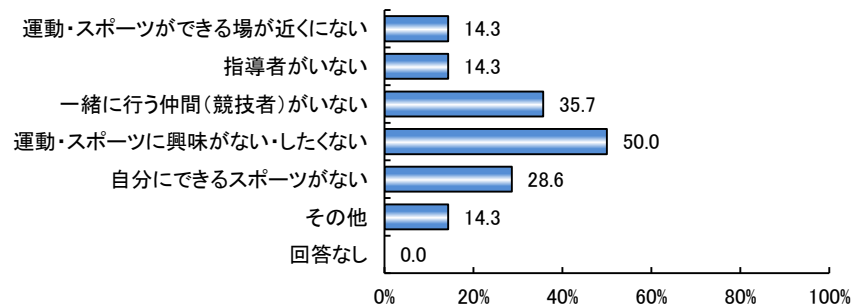
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



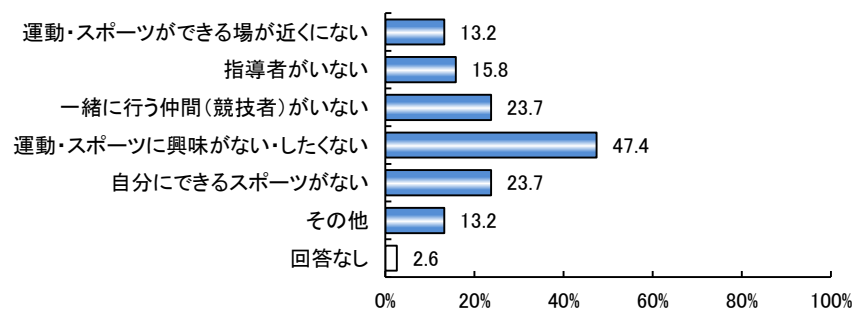
■ 精神障害 ■



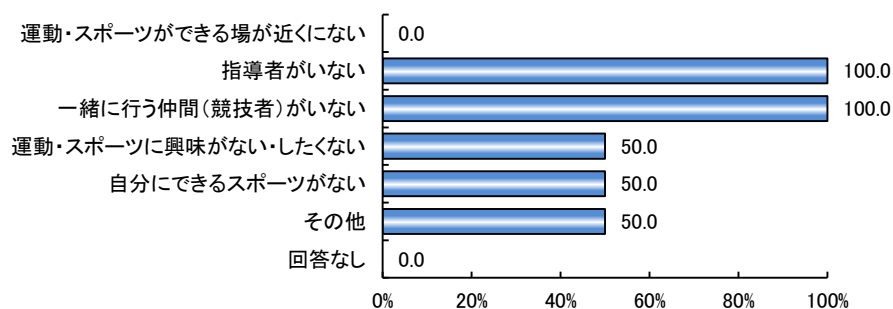


9 余暇の過ごし方、スポーツについて

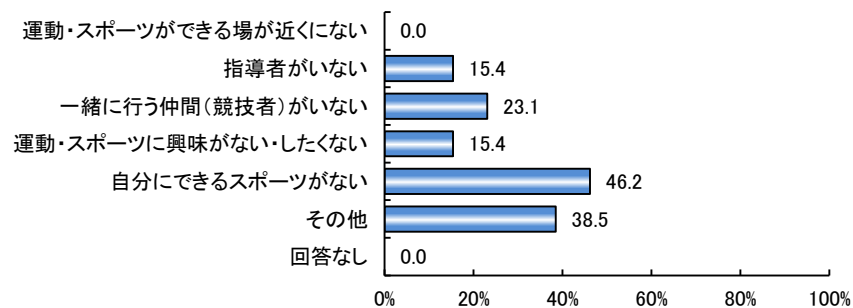
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





10 ICT機器の利用について

10-1 ICT機器の使用状況【問34】

【問34】あなたは、普段から次のICT（情報通信技術）機器を使っていますか。（いくつでも○）

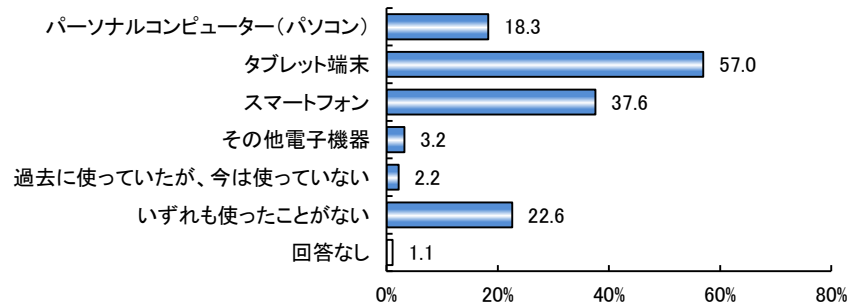
- 全体をみると、「タブレット端末」（60.1％）が最も多く、次いで「スマートフォン」（44.8％）となっています。一方、「いずれも使ったことがない」は13.3％となっています。
- 障害種別でみると、精神では「スマートフォン」、その他の障害種別では「タブレット端末」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

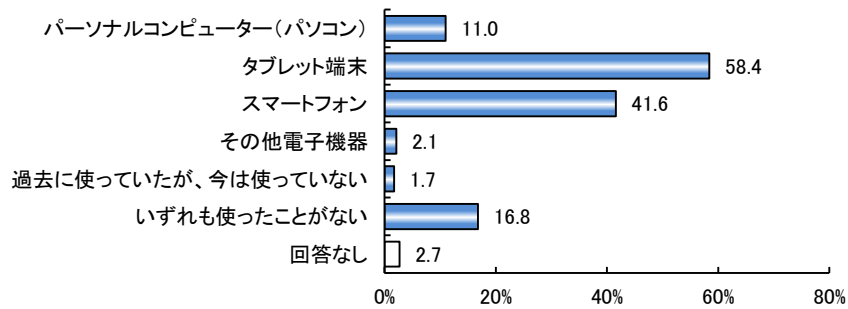
	回答者数	パーソナルコンピュータ (パソコン)	タブレット端末	スマートフォン	その他電子機器	過去に使っていたが、今は使っていない	いずれも使ったことがない	回答なし
全 体	496 100.0	76 15.3	298 60.1	222 44.8	21 4.2	6 1.2	66 13.3	16 3.2
身体障害	93 100.0	17 18.3	53 57.0	35 37.6	3 3.2	2 2.2	21 22.6	1 1.1
知的障害	291 100.0	32 11.0	170 58.4	121 41.6	6 2.1	5 1.7	49 16.8	8 2.7
精神障害	32 100.0	8 25.0	18 56.3	24 75.0	3 9.4	0 0.0	1 3.1	1 3.1
発達障害	171 100.0	30 17.5	108 63.2	83 48.5	10 5.8	2 1.2	20 11.7	2 1.2
高次脳機能障害	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
難病等	30 100.0	3 10.0	16 53.3	10 33.3	0 0.0	1 3.3	6 20.0	2 6.7
その他	22 100.0	3 13.6	17 77.3	4 18.2	1 4.5	0 0.0	1 4.5	2 9.1
回答なし	24 100.0	5 20.8	12 50.0	13 54.2	2 8.3	0 0.0	3 12.5	2 8.3



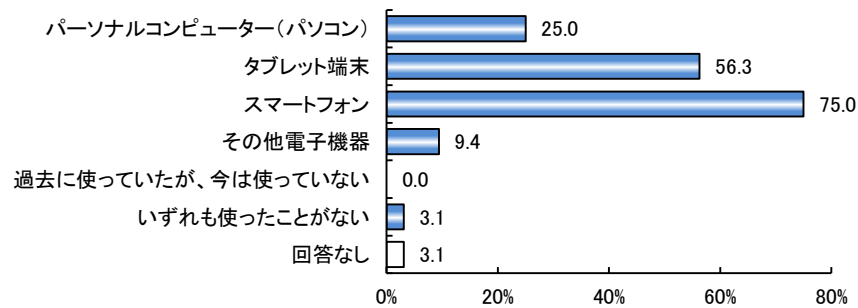
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■

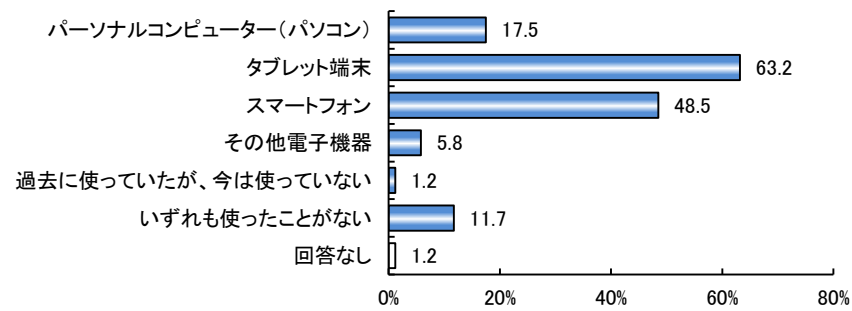


■ 精神障害 ■

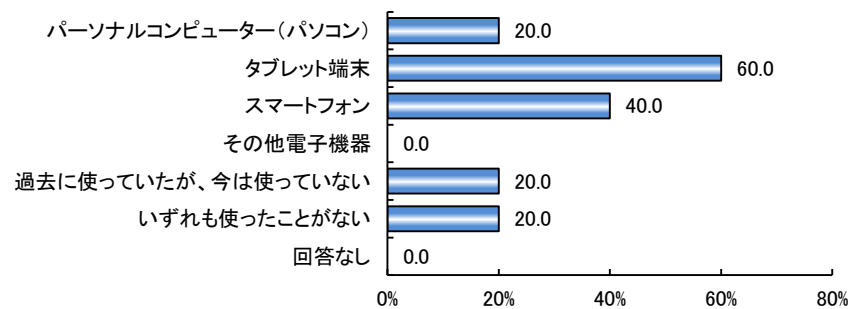




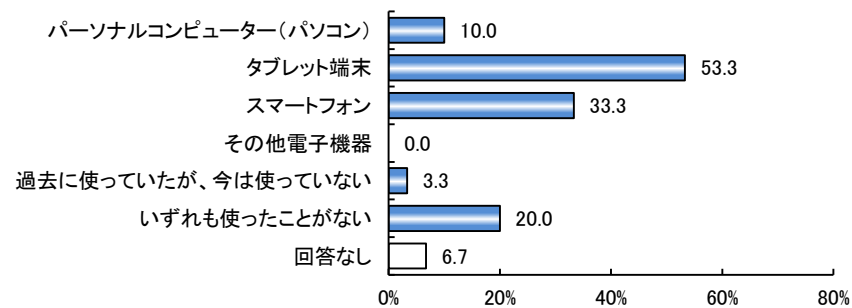
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■





10-2 ICT機器を使用しない理由【問34-①】

【問34-①】問34で「5. 過去に使っていたが、今は使っていない」と「6. いずれも使ったことがない」に○をつけた方にお聞きます。
使っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

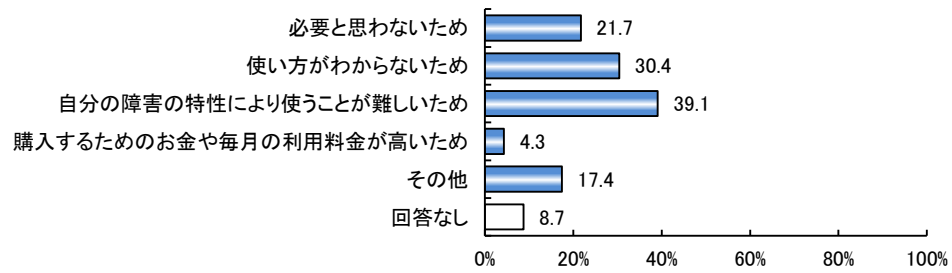
- 全体をみると、「その他」(31.9%)が最も多く、次いで「自分の障害の特性により使うことが難しいため」(27.8%)、「使い方がわからないため」(23.6%)となっています。
- 障害種別でみると、身体、知的では「自分の障害の特性により使うことが難しいため」、発達、難病等では「使い方がわからないため」が最も多くなっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

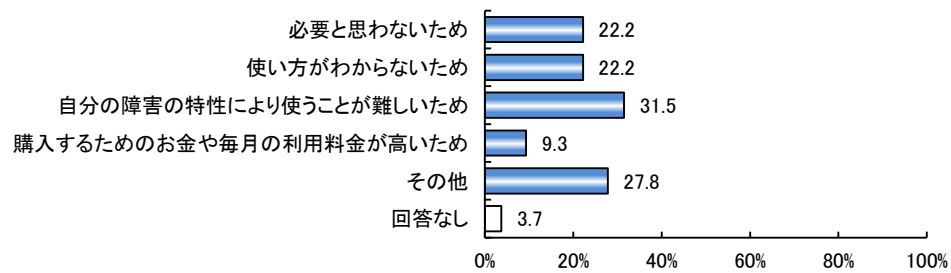
	回答者数	必要と思わないため	使い方がわからないため	自分の障害の特性により使うことが難しいため	購入するためのお金や毎月の利用料金が安い	その他	回答なし
全 体	72 100.0	16 22.2	17 23.6	20 27.8	6 8.3	23 31.9	3 4.2
身体障害	23 100.0	5 21.7	7 30.4	9 39.1	1 4.3	4 17.4	2 8.7
知的障害	54 100.0	12 22.2	12 22.2	17 31.5	5 9.3	15 27.8	2 3.7
精神障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
発達障害	22 100.0	5 22.7	10 45.5	4 18.2	3 13.6	7 31.8	0 0.0
高次脳機能障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	7 100.0	2 28.6	4 57.1	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
回答なし	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0



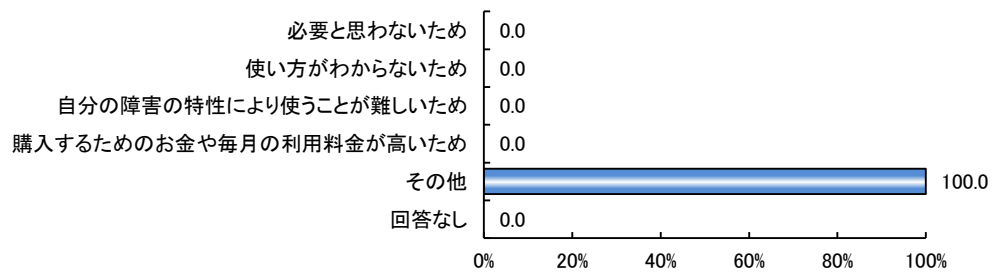
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■

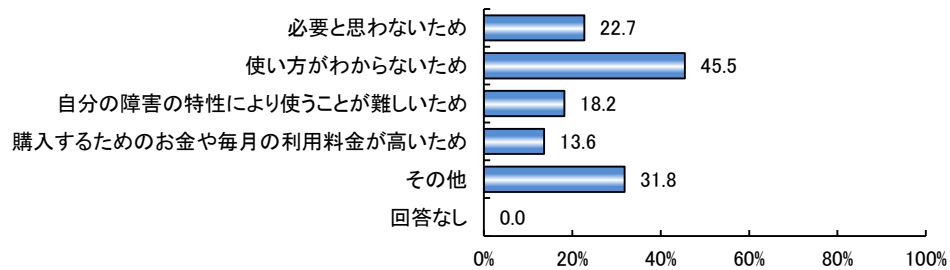


■ 精神障害 ■

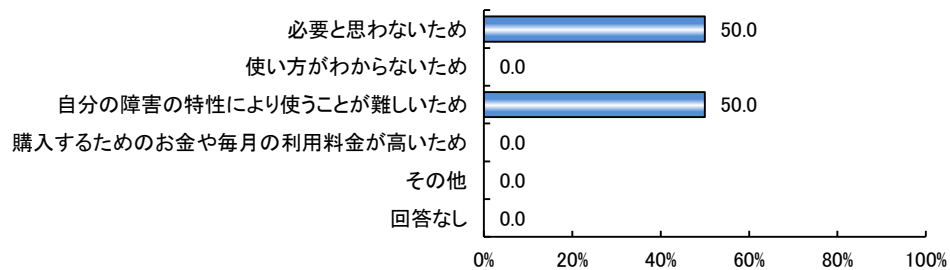




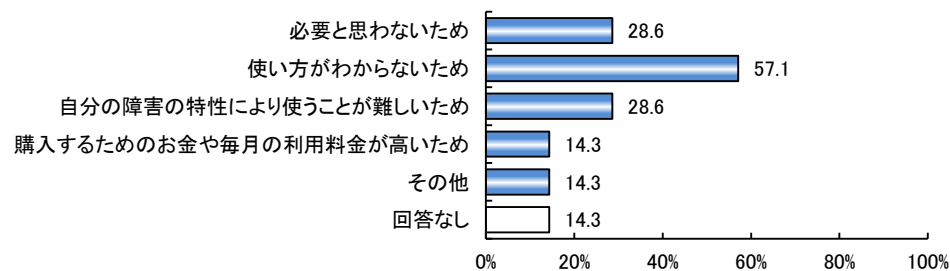
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



11 障害や障害者への理解などについて

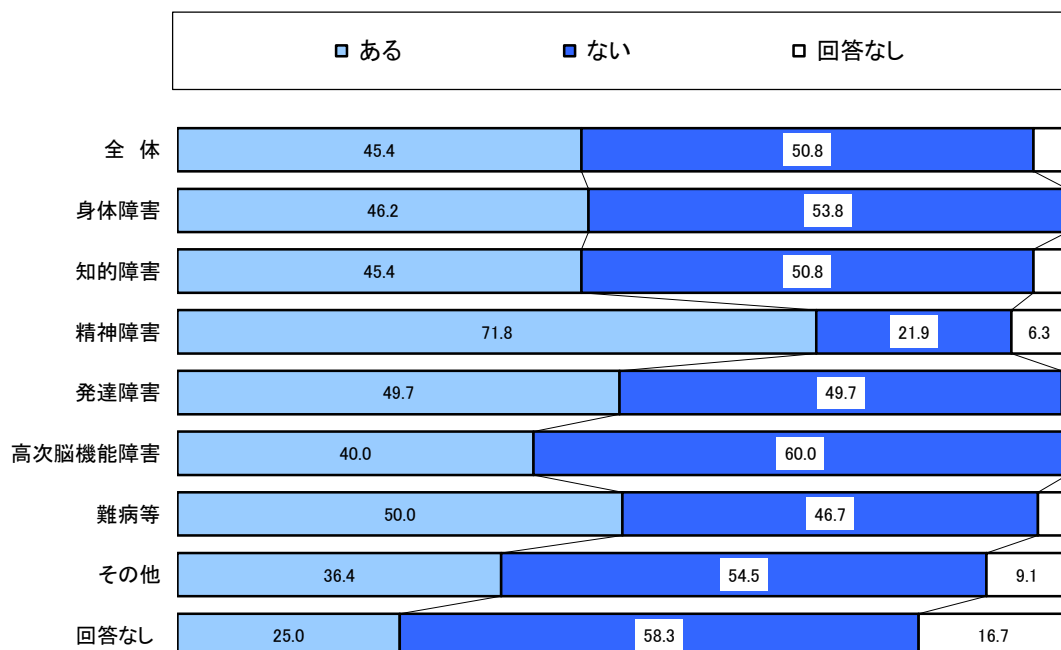
11-1 差別経験の有無【問35】

【問35】あなたは、この5年間に、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。（1つだけ○）

- 全体をみると、「ない」（50.8％）が、「ある」（45.4％）より多くなっています。
- 障害種別でみると、身体、知的、高次脳機能では「ない」が「ある」より多く、精神、難病等では「ある」が「ない」より多く、発達では「ある」と「ない」が同数となっています。「ある」の割合は、身体 46.2％、知的 45.4％、精神 71.8％、発達 49.7％、高次脳機能 40.0％、難病等 50.0％となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

	合 計	あ る	な い	回答なし
全 体	496 100.0	225 45.4	252 50.8	19 3.8
身体障害	93 100.0	43 46.2	50 53.8	0 0.0
知的障害	291 100.0	132 45.4	148 50.8	11 3.8
精神障害	32 100.0	23 71.8	7 21.9	2 6.3
発達障害	171 100.0	85 49.7	85 49.7	1 0.6
高次脳機能障害	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
難病等	30 100.0	15 50.0	14 46.7	1 3.3
その他	22 100.0	8 36.4	12 54.5	2 9.1
回答なし	24 100.0	6 25.0	14 58.3	4 16.7





11-2 差別を受けた場面【問35-①】

【問35-①】問35で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。

どのような場面で障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたりしましたか。

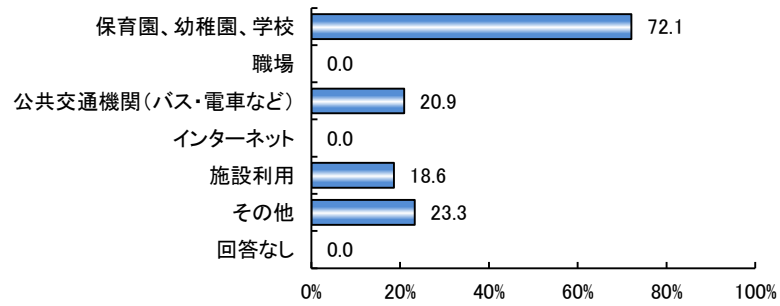
- 全体をみると、「保育園、幼稚園、学校」（72.4％）が最も多く、次いで「その他」（20.9％）、
「施設利用」（18.2％）となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「保育園、幼稚園、学校」が最も多く、次いで知的では「施設利用」、その他の障害種別では「その他」となっています。

〔上段：回答数（人）、下段：構成比（％）〕

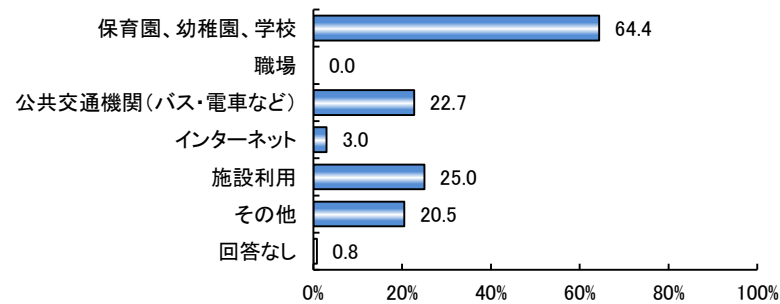
	回答者数	保育園、 幼稚園、学校	職場	公共交通機関 (バス・電車 など)	インターネット	施設利用	その他	回答なし
全 体	225 100.0	163 72.4	0 0.0	39 17.3	4 1.8	41 18.2	47 20.9	2 0.9
身体障害	43 100.0	31 72.1	0 0.0	9 20.9	0 0.0	8 18.6	10 23.3	0 0.0
知的障害	132 100.0	85 64.4	0 0.0	30 22.7	4 3.0	33 25.0	27 20.5	1 0.8
精神障害	23 100.0	22 95.7	0 0.0	1 4.3	0 0.0	1 4.3	5 21.7	0 0.0
発達障害	85 100.0	58 68.2	0 0.0	9 10.6	1 1.2	16 18.8	21 24.7	2 2.4
高次脳機能障害	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	15 100.0	11 73.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	5 33.3	0 0.0
その他	8 100.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
回答なし	6 100.0	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0



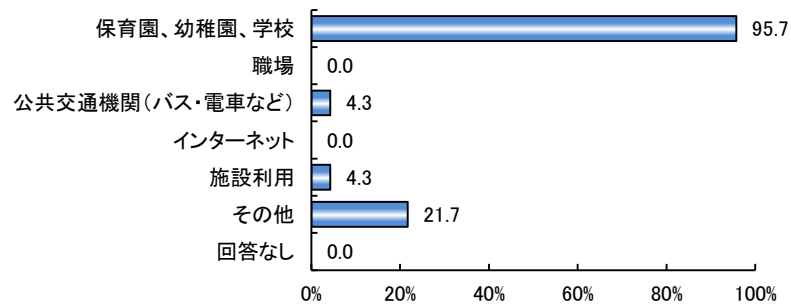
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



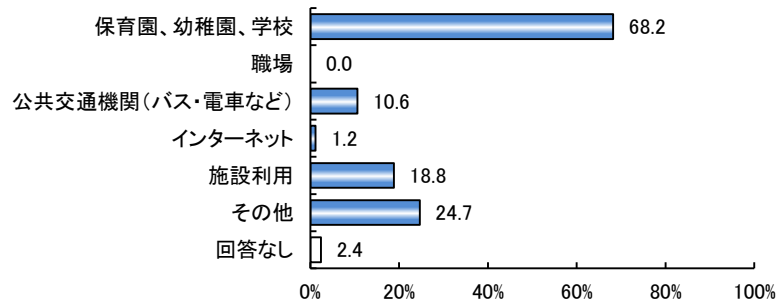
■ 精神障害 ■



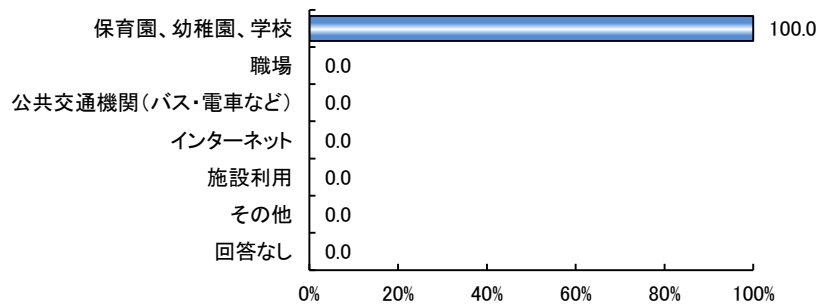


1 1 障害や障害者への理解などについて

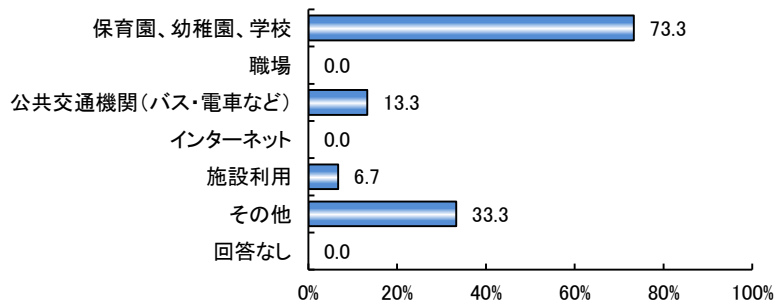
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



12 外出の状況について

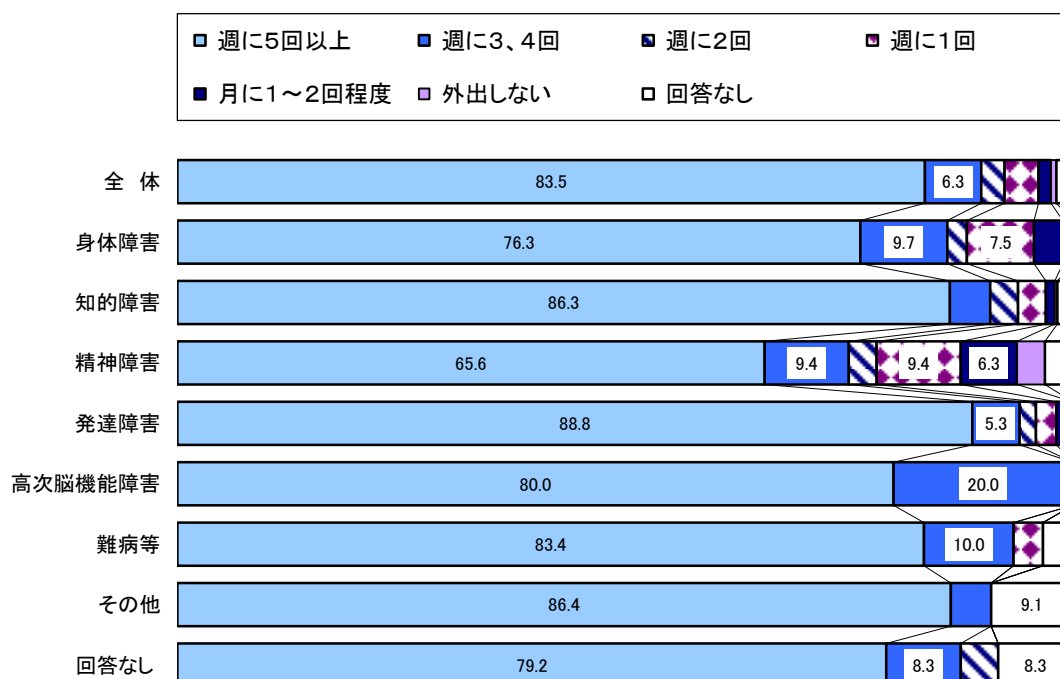
12-1 外出頻度【問36】

【問36】あなたは、学校や仕事、病院や買い物などに行くための外出を、月にどのくらいしますか。
(最も近いもの1つに○)

- 全体をみると、「週に5回以上」(83.5%)が最も多く、次いで「週に3、4回」(6.3%)となっています。
- 障害種別でみると、概ねどの障害種別でも「週に5回以上」が最も多く、次いで「週に3、4回」となっています。

[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	合 計	週に5回以上	週に3、4回	週に2回	週に1回	月に1～2回程度	外出しない	回答なし
全 体	496 100.0	414 83.5	31 6.3	13 2.6	19 3.8	7 1.4	3 0.6	9 1.8
身体障害	93 100.0	71 76.3	9 9.7	2 2.2	7 7.5	3 3.2	1 1.1	0 0.0
知的障害	291 100.0	251 86.3	13 4.5	9 3.1	9 3.1	3 1.0	1 0.3	5 1.7
精神障害	32 100.0	21 65.6	3 9.4	1 3.1	3 9.4	2 6.3	1 3.1	1 3.1
発達障害	171 100.0	152 88.8	9 5.3	3 1.8	4 2.3	3 1.8	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	25 83.4	3 10.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3
その他	22 100.0	19 86.4	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1
回答なし	24 100.0	19 79.2	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3



12-2 外出の目的【問37】

【問37】どのような目的で外出することが多いですか。(いくつでも○)

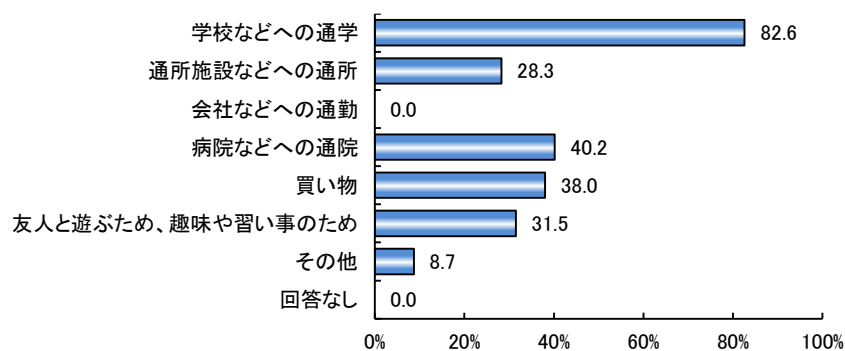
- 全体をみると、「学校などへの通学」(87.4%)が最も多く、次いで「通所施設などへの通所」(44.6%)、「買い物」(41.1%)となっています。
- 障害種別でみると、どの障害種別でも「学校などへの通学」が最も多く、次いで身体、難病等では「病院などへの通院」、知的、発達では「通所施設などへの通所」、精神では「通所施設などへの通所」と「病院などへの通院」が同数となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

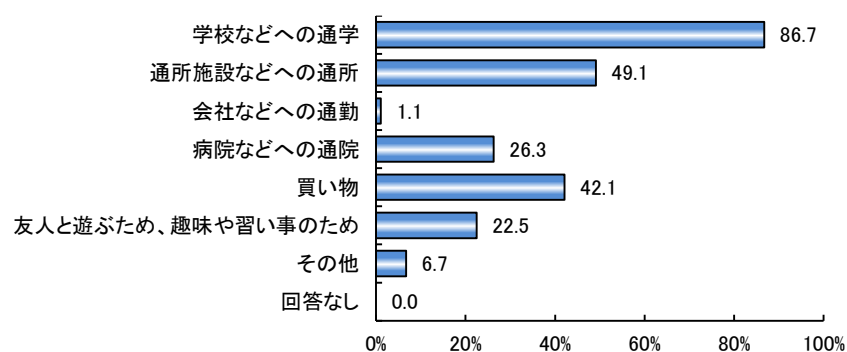
	回答者数	学校などへの通学	通所施設などへの通所	会社などへの通勤	病院などへの通院	買い物	友人と遊ぶため、趣味や習い事のため	その他	回答なし
全 体	484 100.0	423 87.4	216 44.6	6 1.2	126 26.0	199 41.1	140 28.9	34 7.0	1 0.2
身体障害	92 100.0	76 82.6	26 28.3	0 0.0	37 40.2	35 38.0	29 31.5	8 8.7	0 0.0
知的障害	285 100.0	247 86.7	140 49.1	3 1.1	75 26.3	120 42.1	64 22.5	19 6.7	0 0.0
精神障害	30 100.0	23 76.7	11 36.7	1 3.3	11 36.7	10 33.3	9 30.0	1 3.3	0 0.0
発達障害	171 100.0	152 88.9	92 53.8	2 1.2	30 17.5	63 36.8	55 32.2	17 9.9	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
難病等	29 100.0	26 89.7	12 41.4	0 0.0	18 62.1	11 37.9	8 27.6	3 10.3	0 0.0
その他	20 100.0	19 95.0	8 40.0	0 0.0	1 5.0	7 35.0	7 35.0	1 5.0	0 0.0
回答なし	22 100.0	18 81.8	9 40.9	1 4.5	4 18.2	7 31.8	6 27.3	2 9.1	1 4.5



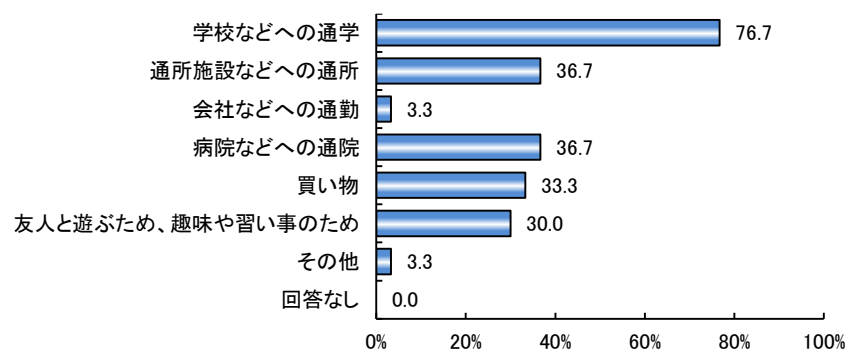
■ 身体障害 ■



■ 知的障害 ■



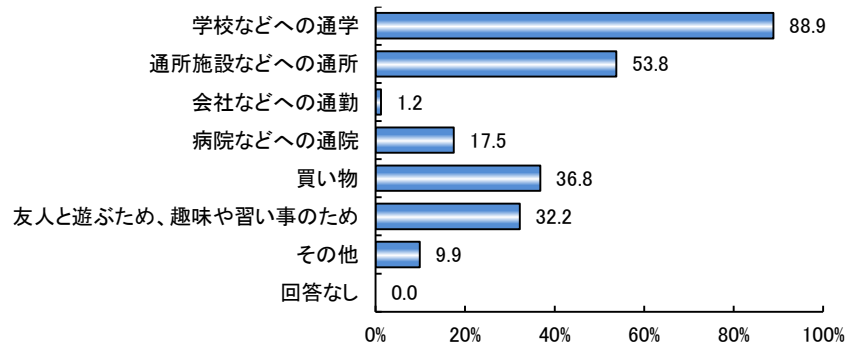
■ 精神障害 ■



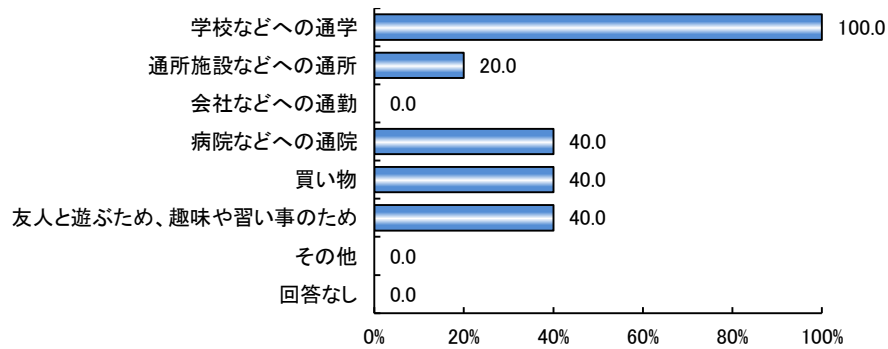


1 2 外出の状況について

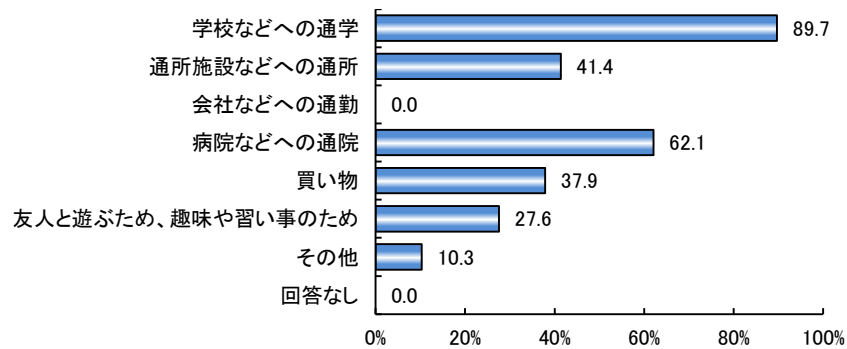
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



12-3 移動手段【問38】

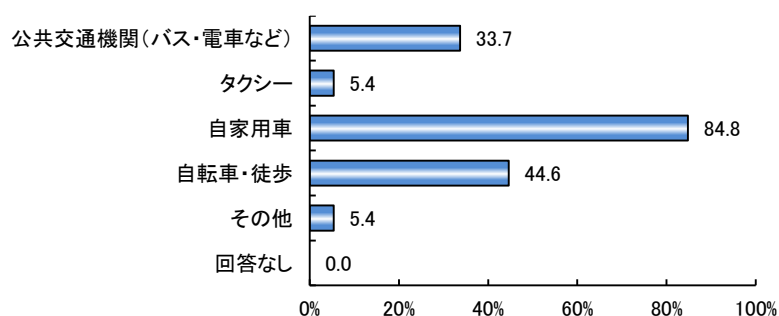
【問38】外出する際に、利用する移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- 全体をみると、「自家用車」(72.7%)が最も多く、次いで「自転車・徒歩」(59.3%)、「公共交通機関(バス・電車など)」(35.3%)となっています。
- 障害種別でみると、精神では「自家用車」と「自転車・徒歩」が同数、概ねその他の障害種別では「自家用車」が最も多く、次いで「自転車・徒歩」となっています。

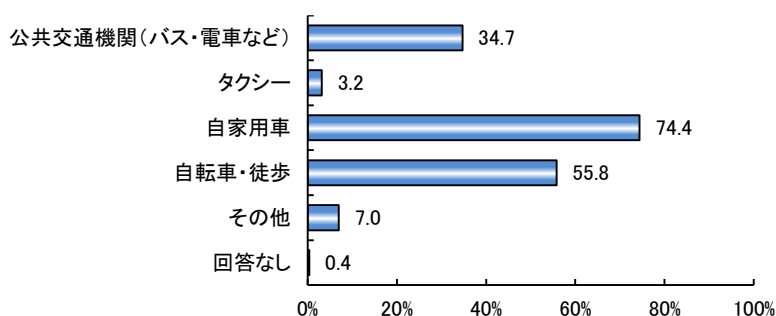
[上段：回答数(人)、下段：構成比(%)]

	回答者数	公共交通機関 (バス・電車など)	タクシー	自家用車	自転車・徒歩	その他	回答なし
全 体	484 100.0	171 35.3	18 3.7	352 72.7	287 59.3	25 5.2	3 0.6
身体障害	92 100.0	31 33.7	5 5.4	78 84.8	41 44.6	5 5.4	0 0.0
知的障害	285 100.0	99 34.7	9 3.2	212 74.4	159 55.8	20 7.0	1 0.4
精神障害	30 100.0	16 53.3	3 10.0	17 56.7	17 56.7	1 3.3	0 0.0
発達障害	171 100.0	59 34.5	7 4.1	118 69.0	113 66.1	9 5.3	0 0.0
高次脳機能障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0
難病等	29 100.0	11 37.9	1 3.4	23 79.3	18 62.1	3 10.3	0 0.0
その他	20 100.0	6 30.0	1 5.0	15 75.0	15 75.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	22 100.0	11 50.0	0 0.0	15 68.2	13 59.1	0 0.0	2 9.1

■ 身体障害 ■



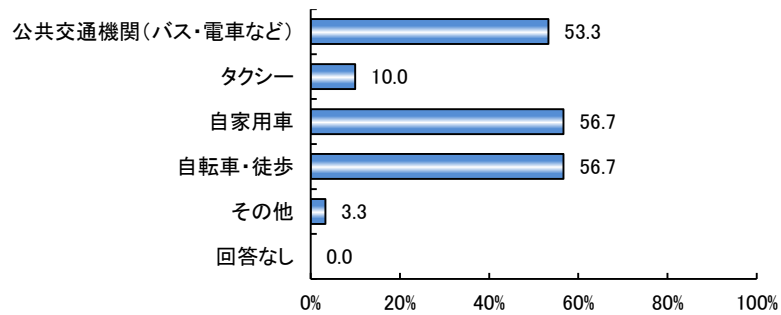
■ 知的障害 ■



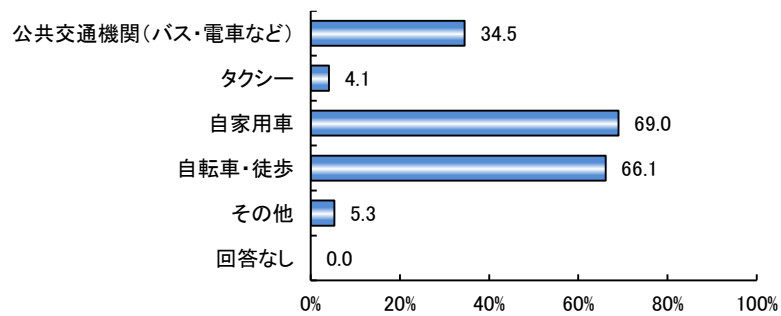


12 外出の状況について

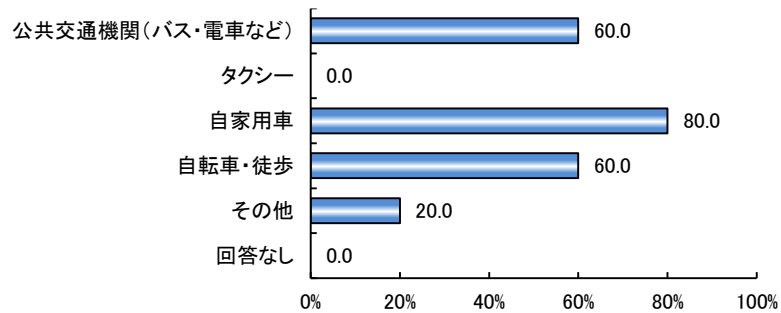
■ 精神障害 ■



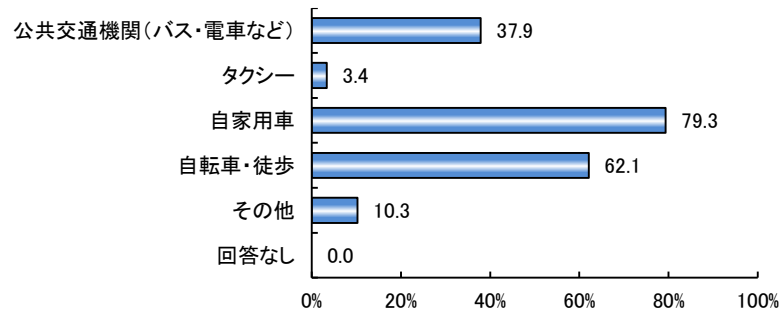
■ 発達障害 ■



■ 高次脳機能障害 ■



■ 難病等 ■



13 新型コロナウイルス感染症について

13-1 新型コロナウイルス感染症の流行で生活への影響【問39】

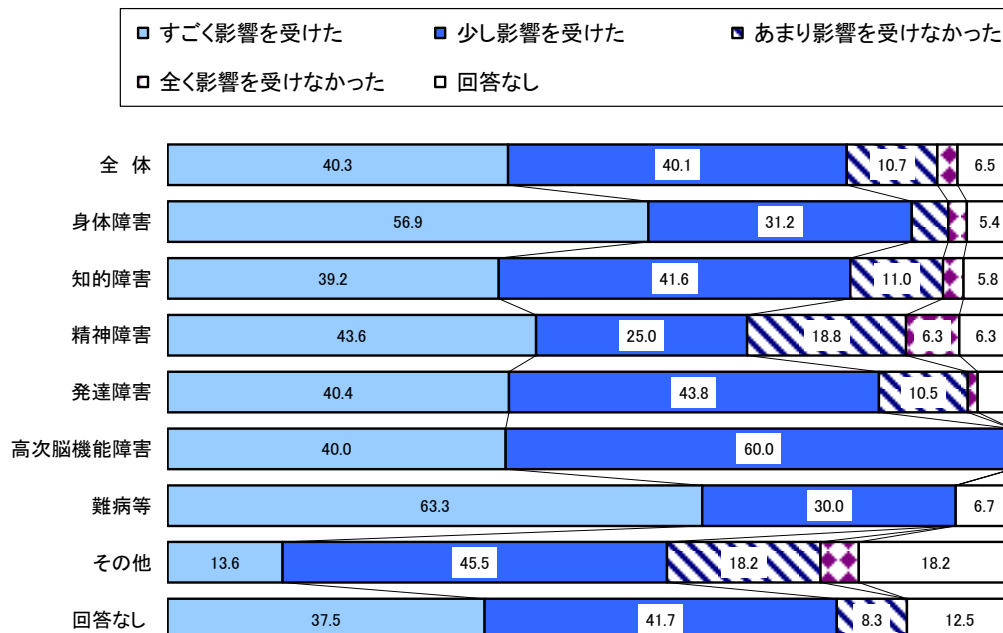
【問39】新型コロナウイルス感染症が流行したことで、あなたの生活に影響を受けましたか。

(1つだけ○)

- 全体をみると、「すごく影響を受けた」(40.3%)が最も多く、「少し影響を受けた」(40.1%)と合わせ80.4%となっています。
- 障害種別でみると、身体、精神、難病等では「すごく影響を受けた」、知的、発達、高次脳機能では「少し影響を受けた」が最も多くなっています。「すごく影響を受けた」、「少し影響を受けた」の合計は、身体88.1%、知的80.8%、精神68.6%、発達84.2%、高次脳機能100.0%、難病等93.3%となっています。

〔上段：回答数(人)、下段：構成比(%)〕

	合 計	すごく影響を受けた	少し影響を受けた	あまり影響を受けなかった	全く影響を受けなかった	回答なし
全 体	496 100.0	200 40.3	199 40.1	53 10.7	12 2.4	32 6.5
身体障害	93 100.0	53 56.9	29 31.2	4 4.3	2 2.2	5 5.4
知的障害	291 100.0	114 39.2	121 41.6	32 11.0	7 2.4	17 5.8
精神障害	32 100.0	14 43.6	8 25.0	6 18.8	2 6.3	2 6.3
発達障害	171 100.0	69 40.4	75 43.8	18 10.5	2 1.2	7 4.1
高次脳機能障害	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病等	30 100.0	19 63.3	9 30.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7
その他	22 100.0	3 13.6	10 45.5	4 18.2	1 4.5	4 18.2
回答なし	24 100.0	9 37.5	10 41.7	2 8.3	0 0.0	3 12.5



IV 調査票（18 歳以上）

名古屋市の障害福祉に関するアンケートのお願い

令和4年10月

名古屋市からアンケートのお願いをいたします。名古屋市の障害福祉計画や障害者施策をつくるにあたって、このアンケートを参考にさせていただきます。

アンケート対象者は、身体・愛護・精神の障害者手帳を所持している方、特定医療費助成制度を受給している方、診断書で障害福祉サービスの申請をされた発達障害等の方の中から無作為に抽出しました。回答は無記名とします。回答内容については秘密を厳守し、他の人に知られることはありません。どうぞご協力をお願いします。

●記入にあたってのお願い●

- このアンケートは、できるかぎり障害のあるご本人がご答えください。
- アンケートの中で「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- ご本人が答えられない場合は、ご本人の立場に立ってお答えください。
- 令和4年10月3日現在の状況でお答えください。
- 回答は、インターネットか郵送のどちらかでお答えください。
- あてはまる番号に○をつけてください。
場合によっては、数字やご意見をお書きいただくものもあります。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、
令和4年10月28日(金)までに お送りください。(切手をはる必要はありません。)

◆本調査はインターネットからもご回答いただけます。

右の二次元コードからアクセスいただくか、
回答フォーム (<https://anket.jp/>) にアクセスして
ID とパスワードを入力の上、ご回答ください。

※ インターネットからご回答いただいた場合は、
調査票の返送は不要です。

担当：名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課

※アンケートの内容などでご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【アンケートお問い合わせ専用電話】

電話 052-846-2223
ファックス 052-841-1015

設置期間：令和4年10月3日～10月28日

(土曜日・日曜日・祝日を除く。午前8時30分～午後5時)

名古屋市の障害福祉に関するアンケートのお願い

高次脳機能障害のある方

令和4年10月

名古屋市では、障害福祉計画や障害者施策の参考にさせていただくため、関係施設・関係団体等に協力を依頼し、高次脳機能障害のある方を対象にアンケートのご協力をお願いしています。回答は無記名とします。回答内容については秘密を厳守し、他の人に知られることはありません。どうぞご協力をお願いします。

※ 同じ内容のアンケートを、身体・愛護・精神の障害者手帳を所持している方、発達障害等の方、特定医療費助成制度を受給している方の中から無作為に抽出して郵送しています。表紙が、白色、黄色、青色、緑色、オレンジ色のアンケートがご自宅に郵送されている場合は、それらのアンケートは破棄し、この紫色のアンケートにお答えください。

●記入にあたってのお願い●

- このアンケートは、できるかぎり障害のあるご本人がお答えください。
- アンケートの中で「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- ご本人が答えられない場合は、ご本人の立場に立ってお答えください。
- 令和4年10月3日現在の状況でお答えください。
- 回答は、インターネットか郵送のどちらかでお答えください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
場合によっては、数字やご意見をお書きいただくものもあります。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、
令和4年10月28日(金)までに お送りください。(切手をはる必要はありません。)

◆本調査はインターネットからもご回答いただけます。

右の二次元コードからアクセスいただくか、
回答フォーム (<https://anket.jp/>) にアクセスして
ID とパスワードを入力の上、ご回答ください。

※ インターネットからご回答いただいた場合は、
調査票の返送は不要です。

担当：名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課

※アンケートの内容などでご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【アンケートお問い合わせ専用電話】

電話 052-846-2223
ファックス 052-841-1015

設置期間：令和4年10月3日～10月28日

(土曜日・日曜日・祝日を除く。午前8時30分～午後5時)

【問1】このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。（1つだけ○）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 本人（自分自身） | 2. 本人が回答するが、家族も同席 |
| 3. 家族（本人が同席せず） | 4. その他（ ） |

◆ご本人（アンケートの対象者）について、お聞きします。
（お答えできる範囲でかまいません。）

【問2】あなた（「ご本人（アンケートの対象者）」以下おなじ。）の性別をお答えください。

- | | | | |
|------|------|--------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|------|------|--------|-----------|

【問3】あなたの年齢はおいくつですか。

（ ）歳（令和4年10月3日現在でお答えください。）

【問4】あなたのお住まいの区はどちらですか。（1つだけ○）

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|---------|
| 1. 千種区 | 2. 東区 | 3. 北区 | 4. 西区 | 5. 中村区 |
| 6. 中区 | 7. 昭和区 | 8. 瑞穂区 | 9. 熱田区 | 10. 中川区 |
| 11. 港区 | 12. 南区 | 13. 守山区 | 14. 緑区 | 15. 名東区 |
| 16. 天白区 | 17. 市外 | | | |

【問5】あなたは次の手帳をお持ちですか。または障害、難病等と診断されていますか。
（あてはまるものすべてに○）

※2つ以上○をつけた場合は、それぞれの選択肢の関係の間すべてにお答えください。

＜例＞選択肢1と5に○をつけた場合、問5-①と問5-⑤に回答します。

- | | | | |
|------------------------|--------|---------|--------|
| 1. 身体障害者手帳 | ⇒問5-①へ | 2. 愛護手帳 | ⇒問5-②へ |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳 | ⇒問5-③へ | | |
| 4. 発達障害（※1）と診断されている | ⇒問5-④へ | | |
| 5. 高次脳機能障害（※2）と診断されている | ⇒問5-⑤へ | | |
| 6. 難病等（※3）と診断されている | ⇒問5-⑥へ | | |
| 7. その他（選択肢1～6以外の方） | ⇒問6へ | | |

（※1）自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症（ASD）、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などの脳機能の障害で、その症状が通常低年齢で発現するもの

(※2) 事故や病気で脳にダメージを受けることで生じる認知障害や行動障害など（認知症、脳性マヒは除く）

(※3) ここでは、特定医療費助成制度の対象である疾病

【問5-①】問5で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。（1つだけ○）

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級

イ) 身体障害は次のうちどれですか。2つ以上障害のある方は、最も重いものはどれですか。（1つだけ○）

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 視覚障害 | 2. 聴覚・平衡機能障害 |
| 3. 音声、言語、そしゃく機能障害 | 4. 上肢障害 |
| 5. 下肢障害 | 6. 体幹機能障害 |
| 7. 心臓機能障害 | 8. 呼吸器機能障害 |
| 9. じん臓機能障害 | 10. 肝臓機能障害 |
| 11. ぼうこう、直腸、小腸機能障害 | |
| 12. 免疫機能障害 | |

ウ) 身体障害になったのは、何歳の時ですか。

（身体障害者手帳を交付された時期ではありません。）

（ ）歳

エ) 身体障害の主な原因は何ですか。（1つだけ○）

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 交通事故 | 2. 労働災害 |
| 3. その他の事故 | 4. 戦傷病・戦災 |
| 5. 病気 | 6. 出生時の損傷 |
| 7. 加齢 | 8. 自然災害 |
| 9. 原因不明 | |
| 10. その他（ ） | |

【問5-②】 問5で「2. 愛護手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

1. 1度

2. 2度

3. 3度

4. 4度

イ) 初めて愛護手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。
() 歳

ウ) 知的障害のほかに、障害や疾病がありますか。

2つ以上障害や疾病のある方は、最も重いものはどれですか。(1つだけ○)

1. てんかん

2. 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症
(ASD)

3. 注意欠陥多動性障害

4. ダウン症

5. 脳性マヒ

6. その他 ()

7. なし

【問5-③】 問5で「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

1. 1級

2. 2級

3. 3級

イ) 初めて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。
() 歳

ウ) 主な病名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

1. 器質性精神障害 (認知症、高次脳機能障害など)

2. 精神作用物質による精神および行動の障害
(アルコール依存症・精神薬、覚せい剤依存症・精神薬など)

3. 統合失調症

4. 気分(感情)障害 (うつ病、そううつ病、そう病)

5. 神経性障害（パニック障害、強迫性障害など）
6. パーソナリティ障害
7. てんかん
8. 発達障害
（自閉症、アスペルガー症候群、自閉スペクトラム症（ASD）、ADHD など）
9. その他（ ） 10. わからない

【問5-④】問5で「4. 発達障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて発達障害と診断されたのは何歳のときですか。
（ ）歳

イ) 発達障害の主な診断名は次のうちどれですか。（1つだけ○）

1. 自閉症
2. アスペルガー症候群
3. その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症（ASD）
4. 学習障害（LD）
5. 注意欠陥多動性障害（ADHD）
6. その他（ ）
7. わからない

【問5-⑤】問5で「5. 高次脳機能障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて高次脳機能障害と診断されたのは何歳のときですか。
（ ）歳

イ) 高次脳機能障害と診断された主な症状は次のうちどれですか。（1つだけ○）

1. 記憶障害
2. 注意障害
3. 遂行機能障害
（生活や仕事で段取りを考えたり、効率的に物事を進められなくなったりすること）
4. 社会的行動障害
（感情や欲求コントロールの低下、ささいなことにこだわるようになることなど）

5. 失語 しつご

6. 失行・失認 しっこう しつにん

7. その他 ()

8. わからない

ウ) 高次脳機能障害 こうじのうきのうしょうがい の主な原因 おも げんいん は何ですか。(1つだけ○)

1. 脳梗塞 のうこうそく

2. 脳出血 のうしゅけつ

3. くも膜下出血 まくかしゅけつ

4. 交通事故 こうつうじこ

5. その他の事故 た じこ

6. 脳炎 のうえん

7. 低酸素脳症 ていさんそのうしょう

8. 原因不明 げんいんふめい

9. その他 ()

【問5-⑥】問5で「6. 難病等 なんびょうとう と診断 しんだん されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 診断 しんだん を受けたのは何歳 なんさい のときですか。

() 歳 さい

※2つ以上診断 いじょうしんだん を受けている場合は、一番早く診断 しんだん を受けた疾病 しつぺい でお答えください。

イ) 発病 はつびょう から病名告知 びょうめいこくち までにどのくらいの期間 きかん がかかりましたか。(1つだけ○)

1. 6か月未満 げつみまん

2. 6か月以上～1年未満 げついじょう ねんみまん

3. 1年以上～2年未満 ねんいじょう ねんみまん

4. 2年以上～3年未満 ねんいじょう ねんみまん

5. 3年以上 ねんいじょう

6. わからない

【問6】あなたは、障害者総合支援法 しょうがいしゃそうごうしえんぽう (「障害者 しょうがいしゃ の日常生活 にちじょうせいかつ 及び社会生活 しゃかいせいかつ を総合的に支援 そうごうてき するための法律 しえん」) による障害支援区分 しょうがいしえんくぶん の認定 にんてい の申請 しんせい をしたことがありますか。

(1つだけ○)

1. 申請 しんせい をしたことがある ⇒ 問6-①へ

2. 申請 しんせい をしたことがない ⇒ 問7へ

【問6-①】問6で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

障害支援区分認定の結果は次のうちどれですか。

直近の申請結果についてお答えください。(1つだけ○)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 非該当 | 2. 障害支援区分1 |
| 3. 障害支援区分2 | 4. 障害支援区分3 |
| 5. 障害支援区分4 | 6. 障害支援区分5 |
| 7. 障害支援区分6 | 8. 申請したが結果がまだ出ていない |

【問7】あなたは介護保険制度の要介護認定または「基本チェックリスト」(日常生活や心身の状態を確認する25項目の質問等)による判定の申請をしたことがありますか。

(1つだけ○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 申請をしたことがある ⇒問7-①へ | 2. 申請をしたことがない |
|----------------------|---------------|

【問7-①】問7で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

要介護認定等の結果は次のうちどれですか。

直近の申請結果についてお答えください。(1つだけ○)

- | | | |
|-----------------------|---------|---------|
| 1. 非該当 | 2. 要支援1 | 3. 要支援2 |
| 4. 要介護1 | 5. 要介護2 | 6. 要介護3 |
| 7. 要介護4 | 8. 要介護5 | |
| 9. 事業対象者(基本チェックリスト該当) | | |
| 10. 申請したが結果がまだ出ていない | | |

す き
◆お住まいについて、お聞きします。

【問 8】あなたはどなたと暮らしていますか。（1 っだけ○）

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> ⇒問 8-①へ | 2. 家族以外 <small>かぞくいがい</small> |
| 3. 一人 <small>ひとり</small> | 4. その他（ <small>た</small> ） |

【問 8-①】問 8 で「1. 家族」に○をつけた方にお聞きします。
一緒に暮らしている方は、どなたですか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 父親 <small>ちちおや</small> | 2. 母親 <small>ははおや</small> |
| 3. きょうだい | 4. 配偶者 <small>はいぐうしゃ</small> |
| 5. 子 <small>こ</small> | 6. その他（ <small>た</small> ） |

【問 9】あなたは、現在、どこで生活していますか。（1 っだけ○）

- | | |
|--|---|
| 1. 持ち家（一戸建て） <small>も いえ いっこだ</small> | |
| 2. 持ち家（マンション） <small>も いえ</small> | |
| 3. 公営賃貸住宅（市営・県営・公団など） <small>こうえいちんたいじゅうたく しえい けんえい こうだん</small> | |
| 4. 民間賃貸住宅（アパート・マンションなど） <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | |
| 5. 会社の寮・社宅など <small>かいしゃ りょう しゃたく</small> | 6. グループホーム |
| 7. 有料老人ホーム <small>ゆうりょうろうじん</small> | 8. サービス付き高齢者住宅 <small>つ こうれいしゃじゅうたく</small> |
| 9. 入所型の保健・福祉施設 <small>にゅうしょがた ほけん ふくししせつ</small> ⇒問 9-①へ | 10. 病院（入院中） <small>びょういん にゅういんちゅう</small> |
| 11. その他（ <small>た</small> ） | |

【問 9-①】問 9 で「9. 入所型の保健・福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。
ア) どんな施設で生活していますか。（1 っだけ○）

- | | |
|--|---|
| 1. 児童福祉施設 <small>じどうふくししせつ</small> | 2. 障害者支援施設 <small>しょうがいしゃしえんしせつ</small> |
| 3. 高齢者の保健・福祉施設など（老人保健施設、特別養護老人ホームなど） <small>こうれいしゃ ほけん ふくししせつ ろうじんほけんしせつ とくべつようごろうじん</small> | |
| 4. 福祉ホーム <small>ふくし</small> | |
| 5. その他（ <small>た</small> ） | |

イ) 将来どのような生活をしたいですか。(1つだけ○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 一人で暮らしたい | 2. 家族と暮らしたい |
| 3. グループホームで暮らしたい | 4. 今の施設で暮らしたい |
| 5. 今とは別の施設で暮らしたい | |
| 6. その他 (|) |

【問10】現在の住まいについて、困っていることはありますか(1つだけ○)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. ある | ⇒問10-①へ | 2. ない |
| 3. わからない | | |

【問10-①】問10で「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。
困っていることは次のうちどれですか(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. バリアフリー化が不十分 | 2. 老朽化している |
| 3. 家賃が高い | 4. 交通の便が悪い |
| 5. 狭い | 6. 立ち退きを要求されている |
| 7. 一緒に住んでいる家族との人間関係が悪い | |
| 8. 近隣住民やアパートの大家などとの人間関係が悪い | |
| 9. その他 (|) |

◆収入について、お聞きします。

【問11】あなたの収入の種類はどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 仕事による収入 | 2. 障害年金 |
| 3. 障害年金以外の年金 | |
| 4. 手当(特別障害者手当、県在宅重度障害者手当など) | |
| 5. 仕送り | 6. 生活保護 |
| 7. その他 (|) |
| | 8. 収入なし |

【問 1 2】 あなたの令和 3 年中のすべての収入（税込）はいくらですか。
（1 つだけ○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 80 万円未満 | 2. 80 万円～150 万円未満 |
| 3. 150 万円～200 万円未満 | 4. 200 万円～300 万円未満 |
| 5. 300 万円～400 万円未満 | 6. 400 万円～500 万円未満 |
| 7. 500 万円～600 万円未満 | 8. 600 万円～1000 万円未満 |
| 9. 1000 万円以上 | 10. わからない |

【問 1 3】 あなたは、家族の生計中心者（最も収入の多い方）ですか。
（1 つだけ○）

- 生計中心者である ⇒ 問 1 3-①へ
- 生計中心者ではない ⇒ 問 1 3-②、③へ

【問 1 3-①】 問 1 3 で「1. 生計中心者である」に○をつけた方にお聞きします。
世帯の収入の中心は、次のうちどれですか。（1 つだけ○）

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 仕事による収入 | 2. 年金 |
| 3. 手当（特別障害者手当、県在宅重度障害者手当など） | |
| 4. 仕送り | 5. 生活保護 |
| 6. その他（ ） | |

【問 1 3-②】 問 1 3 で「2. 生計中心者ではない」に○をつけた方にお聞きします。
家族の生計中心者の収入の種類はどれですか。（いくつでも○）

- | | |
|--------------------------------------|---------|
| 1. 仕事による収入 | 2. 年金 |
| 3. 手当（特別障害者手当、県在宅重度障害者手当、特別児童扶養手当など） | |
| 4. 仕送り | 5. 生活保護 |
| 6. その他（ ） | |

【問 1 3 - ③】 問 1 3 で「2. 生計中心者ではない」に○をつけた方にお聞きします。

家族の生計中心者の令和3年中のすべての収入（税込）はいくらですか。
（1つだけ○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 80万円未満 | 2. 80万円～150万円未満 |
| 3. 150万円～200万円未満 | 4. 200万円～300万円未満 |
| 5. 300万円～400万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 7. 500万円～600万円未満 | 8. 600万円～1000万円未満 |
| 9. 1000万円以上 | 10. わからない |

◆障害福祉サービスの利用状況について、お聞きします。

【問 1 4】 あなたは、障害福祉に関する情報を、どこから知りますか。
（いくつでも○）

1. 区役所・支所や保健センターに問い合わせる
2. 市のその他の窓口（身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、発達障害者支援センターなど）に問い合わせる
3. 障害者基幹相談支援センターに問い合わせる
4. 相談支援事業所に問い合わせる
5. 市の発行する「障害者福祉のしおり」などのパンフレットを見る
6. 広報なごやを見る
7. 市の公式ウェブサイトや「ウェルネットなごや」を見る
8. ホームヘルパーやボランティアなど介助を頼んでいる人に聞いてみる
9. 障害者団体に聞いてみる
10. 主治医や医療機関の職員に聞いてみる
11. 利用している施設の職員に聞いてみる
12. 家族や友人に聞いてみる
13. その他（ ）
14. わからない

【問15】あなたは現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。
(いくつでも○)

＜介護給付＞

1. 居宅介護（ホームヘルプ）

（ホームヘルパーが自宅等に訪問し、食事、ふろ、トイレなどの身体介護や、調理、掃除、洗濯などの家事援助、通院介助をするサービスです。）

2. 重度訪問介護

（重度の肢体不自由または知的障害、精神障害により行動上著しい困難を有する障害者であって、常に介護を必要とする方に対し、ホームヘルパーが自宅等に訪問し、食事、ふろ、トイレなどの身体介護や、調理、掃除、洗濯などの家事援助、外出時における移動中の介護を総合的に行うとともに、入院中の意思疎通の支援等を行うサービスです。）

3. 同行援護

（視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出するときに同行し、移動に必要な情報の提供や援護などを行うサービスです。）

4. 行動援護

（知的障害又は精神障害により、行動上著しい困難がある障害者（児）に対し、外出時において付添だけではなく、移動中の介護や移動中に危険がないように支援を行うサービスです。）

5. 短期入所（ショートステイ）

（自宅で介護をする方が病気の場合などに、短い期間、施設に入所し、ふろ、トイレ、食事などの介護を受けるサービスです。）

6. 生活介護

（いつでも介護を必要とする方が、昼間に、ふろ、トイレ、食事などの介護を受けるとともに、自分の趣味を活かした活動や、ものづくりの活動ができる機会の提供を受けるサービスです。）

7. 療養介護

（医療と常時介護を必要とする方に、主として昼間、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護を行うサービスです。）

8. 施設入所支援（障害者支援施設）

（施設に入所している方に、夜の間や休日に、ふろ、トイレ、食事などの介護を行うサービスです。）

＜訓練等給付＞

9. 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

（自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上の

ために必要な訓練を受けるサービスです。)

10. 就労移行支援

(一般の会社などで働くことが難しい方が、「就職して働くこと」を目指して、必要な訓練を受けるサービスです。)

11. 就労継続支援 (A型、B型)

(一般の会社などとは他のところで、働く場の提供を受けるサービスです。)

12. 就労定着支援

(福祉サービスを使って一般の会社に就職した方に働く上での様々な問題に対して相談や助言を行うサービスです。)

13. 自立生活援助

(施設を退所して、一人暮らしを行う上での様々な問題に対して相談や助言を行うサービスです。)

14. 共同生活援助 (グループホーム)

(障害者が、地域の中で家族以外の方と、夜の間や休日、いっしょに暮らす場所で、職員に相談したり、必要に応じてふろ、トイレ、食事などの介護を受けることができるサービスです。)

15. その他 (

)

16. 利用していない

【問16】あなたは、今後 (おおむね3年以内に)、障害福祉サービスを利用しますか。
(1つだけ○)

1. 利用すると思う

2. 利用しないと思う

3. 介護保険制度等の他制度で福祉サービスを利用すると思う

4. わからない

【問 1 7】 その他の福祉サービスについてお聞きします。

これから（おおむね3年以内に）、あなたが利用したい福祉サービスは何ですか。
（いくつでも○）

1. 相談支援事業

（福祉サービスを利用したいときに相談したり、困ったときに支援を受けたりすることができるサービスです。）

2. 賃貸住宅入居等サポート事業

（アパートなどの住宅を借りるときに契約の手伝いや、家主などへの相談・助言を通じて地域生活の手助けを受けることができるサービスです。）

3. 成年後見制度利用支援事業

（家族や親戚のいない知的障害者または精神障害者の財産管理や契約などを支援する制度の利用について、支援を受けることができるサービスです。）

4. 意思疎通支援事業

（耳に障害がある方に、手話通訳者や、他の人の話やまわりの音を文字にしてわかるようにする要約筆記者を派遣したり、目に障害がある方に、読み書きのサービスを提供したり、意思疎通が困難な障害者（児）が入院・通院し、診療を受ける際に医療従事者と円滑なコミュニケーションが図れるようヘルパーが付き添うなど、互いの意思が伝わるようにするサービスです。）

5. 補装具費支給事業

（身体障害のある方が、義肢、装具、車椅子などの補装具代金の一部の助成を受けることができるサービスです。）

6. 日常生活用具給付

（障害のある方が、特殊マット・入浴補助用具など毎日の暮らしの手助けに必要な用具の代金の一部の助成を受けることができるサービスです。）

7. 障害者住宅改造

（ふろやトイレの中に手すりを設置したり、玄関の段差をなくしたり、窓や壁を防音にしたり、床材をクッションフロアにするなどの工事にかかる費用の一部の助成を受けることができるサービスです。）

8. 移動支援事業

（単独で外出することの困難な障害者（児）が社会生活上不可欠な外出及び余暇活動などの社会参加のためにガイドヘルパーが付き添い、移動の支援を受けることのできるサービスです。）

9. 地域活動支援事業（旧 デイサービス、旧 小規模作業所、旧 精神障害者地域生活支援センター）
（自分の趣味を活かした活動や、ものづくりの活動ができる機会の提供を受けたり、社会との交流の機会などを受けたりすることができるサービスです。）

10. 福祉ホーム事業
（住居を必要としている方に、低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行うサービスです。）

11. 重度障害者移動入浴サービス
（重度の身体障害があって、家のお風呂に入ることができない方に、お風呂を家に運んでもらい、お風呂に入る手助けを受けることができるサービスです。）

12. 日中一時受入事業
（障害のある方の保護者の病気等により、昼間に一時的に支援を必要とする場合に、施設や病院において見守り等を行うサービスです。）

13. 配食サービス
（昼食または夕食を家に配達してもらうとともに、配食サービスを利用する方が、無事なのかどうかを確かめてもらうことができるサービスです。）

14. NPO法人などが行う福祉有償運送サービス
（必要な介助などに続いて、または、介助を受けながら、車で移動しなければならないときに、タクシーに代わって、NPO法人などが自家用車を使い、有料で送り迎えをしてもらうことができるサービスです。）

15. 地域移行支援事業
（施設に入所または長期間精神科に入院している方などに、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談、障害福祉サービス事業所等への同行支援などを行うサービスです。）

16. その他（ ）

17. 特になし

しごと き
◆お仕事について、お聞きします。

【問 1 8】あなたは、現在、仕事をしていますか。（1 っだけ○）

1. 仕事をしている ⇒ 問 1 8-①へ
2. 過去に仕事をしていたが、今はしていない ⇒ 問 1 8-②へ
3. 仕事をしたことがない ⇒ 問 1 8-②へ

【問 1 8-①】問 1 8 で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) どのような仕事をしていますか。（1 っだけ○）

1. 会社などに勤めている（正社員）
2. 会社などに勤めている（パート、アルバイト、派遣社員）
3. 自営業
4. 家の仕事（家業）の手伝い
5. 家で内職
6. 福祉サービス事業所（就労継続支援等）で働いている
7. その他（ ）

イ) 1 週間のうち、仕事をしている時間はどのくらいですか。（1 っだけ○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 10 時間未満 | 2. 10 時間～20 時間未満 |
| 3. 20 時間～30 時間未満 | 4. 30 時間以上 |

ウ) その仕事をどのようにして見つけましたか。（いくつでも○）

1. 職業安定所（ハローワーク）の紹介
2. 家族、友人、知人の紹介
3. 学校の紹介
4. 福祉サービス事業所（就労継続支援、就労移行支援、作業所型地域活動支援）の紹介
5. 就労支援機関（障害者職業センター、障害者雇用支援センター、リハビリテー

シヨンセンター、^{しよくぎょうのうりよくかい}職業能力開発校、^{しょうがいしやしゅうろうしえん}障害者就労支援センター、^{しょうがいしやしゅうぎょう}障害者就業・
^{せいかつしえん}生活支援センター)の^{しょうかい}紹介

6. ^{くやくしょ}区役所・^{ししよ}支所や^{ほけん}保健センターの^{しょうかい}紹介

7. ^{しょうがいしやしきかんそうだんしえん}障害者基幹相談支援センターの^{しょうかい}紹介

8. ^{していとくていそうだんしえん}指定特定相談支援センターの^{しょうかい}紹介

9. ^{びやういん}病院の^{しょうかい}紹介 10. ^{じぶん}自分で^{さが}探した

11. その他 ()

エ) ^{しごと}仕事の^{しゅうにゅう}収入(ボーナス(賞与)は除きます)は、1か月当たり^{ぜいきん}税金などを含めて^{ふく}いくらですか。(1つだけ○)

1. ^{まんえん}1万円未^{まん}満

2. ^{まんえん}1万円～^{まんえん}3万円未^{まん}満

3. ^{まんえん}3万円～^{まんえん}10万円未^{まん}満

4. ^{まんえん}10万円～^{まんえん}20万円未^{まん}満

5. ^{まんえん}20万円以上

オ) ^{いま}今の^{しごと}仕事に^つ就いて、どのくらい^た経ちましたか。(1つだけ○)

1. ^{げつ}6か月未^{まん}満

2. ^{げつ}6か月～^{ねん}1年未^{まん}満

3. ^{ねん}1年～^{ねん}3年未^{まん}満

4. ^{ねん}3年～^{ねん}5年未^{まん}満

5. ^{ねん}5年～^{ねん}10年未^{まん}満

6. ^{ねん}10年以上

【問18-②】^{とい}問18で「2. ^か過去に^{しごと}仕事をしていたが、^{いま}今はしていない」「3. ^{しごと}仕事をしたことがない」に○をつけた方にお聞きします。

^{ひるま}昼間、^{おも}主にどのように^す過ごしていますか。(1つだけ○)

1. ^{がっこう}学校に^{かよ}通っている

2. ^か家事をして^{てつだ}いる・^{てつだ}手伝っている

3. ^{しゅうしよくかつどう}就職活動・^{しゅうしよくくんれん}就職訓練を^う受けている

4. ^{デイサービス}・^{デイケア}に^{かよ}通っている

5. ^{ほけん}保健・^{ふくし}福祉施設で^す過ごしている

6. ^{びやういん}病院に^{にゅういん}入院している

7. ^{じたく}自宅で^{りょうよう}療養している

8. その他 ()

◆余暇の過ごし方について、お聞きします。

【問19】あなたは余暇活動としてどのようなことをしていますか。(いくつでも○)

1. 家でゆっくりくつろぐ
2. 家で趣味や学習活動などを行う
3. 友人などと一緒に交流を深める
4. 買い物などに出かける
5. 映画、音楽、行事などへ出かける
6. 運動をするために出かける
7. 図書館や博物館へ出かける
8. 散歩する
9. SNS、インターネットを通じた知人等との交流
10. ボランティア活動や地域活動への参加
11. 特に何もしていない
12. その他 ()

【問20】あなたは現在行っている余暇活動に満足していますか。(1つだけ○)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらでもない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

◆ICT機器の利用について、お聞きします。

【問21】あなたは、日常生活において次のICT（情報通信技術）機器を使用していますか。(いくつでも○)

1. パーソナルコンピュータ（パソコン）
2. タブレット端末
3. スマートフォン
4. その他電子機器
5. 過去に使っていたが、今は使っていない ⇒問21-①へ
6. いずれも使ったことがない ⇒問21-①へ

【問 2 1 - ①】 問 2 1 で「5. 過去に使っていたが、今は使っていない」と「6. いずれも使ったことがない」に○をつけた方にお聞きします。

ICT 機器を使用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 必要性を感じないため
2. 使い方がわからないため
3. 障害特性により使うことが困難なため
4. 購入代金や通信料が高額なため
5. その他

◆災害対策について、お聞きします。

【問 2 2】 台風や地震など、大きな災害が起こった場合、あなたを避難場所へ誘導するなど、安全の確保を頼れるような人が身近にいますか。(1 つだけ○)

1. 昼間のみいる ⇒ 問 2 2 - ① へ
2. 夜間のみいる ⇒ 問 2 2 - ① へ
3. いつもいる ⇒ 問 2 2 - ① へ
4. 必要だがいない
5. 必要ない

【問 2 2 - ①】 問 2 2 で「1. 昼間のみいる」、「2. 夜間のみいる」、「3. いつもいる」に○をつけた方にお聞きします。
それはどなたですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 同居の家族 | 2. 同居以外の家族・親族 |
| 3. 友人・知人 | 4. 福祉サービス事業者 |
| 5. 近所の人 | 6. 職場の上司・同僚 |
| 7. その他 (|) |

【問 2 3】あなたは、福祉避難所を知っていますか。(いくつでも○)

1. 福祉避難所がどのような避難所か知っている
2. 福祉避難所という言葉は聞いたことがある
3. 知らない
4. その他 ()

【問 2 4】災害が発生した際に(又は、災害発生に備えて)必要なことは何ですか。
(いくつでも○)

1. 災害発生予測や被害状況等についての情報提供
2. 地域の人(民生委員や福祉サービス事業者を含む)と連携した
救助体制の整備や避難訓練
3. 災害発生後の安否の確認
4. 障害の特性に応じた避難所生活の確保
5. 被災後の心のケア
6. その他 ()

【問 2 5】その他、災害対策について、ご意見やご要望がありましたらお書きください。

しょうがい しょうがいしゃ りかい かん き
◆障害や障害者への理解などに関することについて、お聞きします。

【問26】あなたは、この5年間に、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。(1つだけ○)

1. ある ⇒問26-①へ

2. ない

【問26-①】問26で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。

差し支えなければ、それはどのようなことかお書きください。

【問27】あなたは、名古屋市職員(区役所や、地下鉄・市バスなどの交通機関の職員等を含む)が、障害や障害者に対する正しい理解や認識を持って、接していると思いますか。(1つだけ○)

1. 思う

2. どちらかといえば思う

3. どちらでもない

4. どちらかといえば思わない ⇒問27-①へ

5. 思わない ⇒問27-①へ

【問27-①】問27で「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」に○をつけた方にお聞きします。

差し支えなければ、その理由をお書きください。

【問28】名古屋市が「障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」を策定・施行したことを知っていますか。（1つだけ○）

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

【問29】名古屋市では、「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」を目指しています。あなたは、現在の名古屋市がこのような社会になっていると思いますか。（1つだけ○）

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば思わない ⇒問29-①へ
5. 思わない ⇒問29-①へ

【問29-①】問29で「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」に○をつけた方にお聞きします。

差し支えなければ、その理由をお書きください。

【問30】「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」に向けて、今後、名古屋市が、とくに力をいれるべきことはどのようなことだと思いますか。（いくつでも○）

けいはつかつどう 啓発活動	1. 障害者への理解を促進するための啓発活動を進める 2. 人権教育や福祉教育を進める 3. 障害を理由とする差別を解消する
------------------	--

せいかつしえん 生活支援	4. ホームヘルプやショートステイなど在宅サービスを増やす 5. ガイドヘルプや福祉特別乗車券交付など外出できるよう支援する 6. 社会参加や社会活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす 7. グループホームなどの地域で生活する住まいの場を増やす 8. 福祉機器等の研究開発を進めるとともに、利用支援を進める 9. 各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める 10. 施設や病院から地域生活への移行を進める 11. 障害福祉サービスの質を高め、供給体制を増やす 12. 障害者の権利を守る権利擁護事業や、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見制度利用支援事業を進める 13. 身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす 14. 重度の障害者への対応を進める 15. 虐待の防止や早期発見に努める 16. 手帳制度の対象となっていない「障害」への対応を行う 17. スポーツや文化芸術活動を進める
ほけん 保健 ・ いりょう 医療	18. 精神保健・精神医療施策を進める 19. 障害の発生予防や早期発見に努める 20. 医療現場・リハビリテーションを充実するとともに、退院・退所後も引き続き地域で安心して暮らせるような支援体制の整備を進める 21. 保健・医療・福祉サービスの充実と、連携を強くする
きょういく 教 育 ・ いくせい 育 成	22. 一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える 23. 障害の早期発見、早期療育が可能となるよう早期療育体制をよりよくする 24. 障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する
せいかつかんきょう 生活環境	25. バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める 26. 市営住宅における住宅の確保や、民間住宅への入居支援など住宅・住環境の整備を進める

ぼう さい 防 災 ・ ぼう はん 防 犯	27. さいがい じ ひなん きゅうじょたいせい じゅうじつ ぼうさいたいさく すす 災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める 28. しょうがいしゅ しえん しせつ あんぜんたいさく こうちく ぼうはんきょうしつ 障害者支援施設などにおける安全対策の構築、防犯教室などによ る けいはつかつどう じっし ぼうはんたいさく すす 啓発活動を実施するなど、防犯対策を進める。
こ よう 雇 用 ・ しゅう ぎょう 就 業	29. いっぱんきぎょう しゅうろう すす 一般企業などへの就労を進める 30. いっぱんきぎょう しゅうろう こんなん じゅうどしょうがいしゅ りよう しゅうろう 一般企業などへの就労が困難な重度障害者が利用できる、就労 けいぞく しえん じぎょう ふ 継続支援事業などを増やす
しょうほう 情報・コ ミュニケ ーション	31. しょうがい う む しょうほう しゅとく しょうほう 障害の有無にかかわらず情報が取得できるよう、情報のバリアフ リーを進める 32. えんかつ しゅうろう しょうがい しょうきょう おう 円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた てきせつ しえん じゅうじつ 適切な支援を充実する
その他	33. その他（ ） 34. 特にない 35. わからない

ぶん かげいじゅつかつどう き ◆文化芸術活動、スポーツについてお聞きます。

【問 3 1】あなたは、文化芸術活動として、どのようなことを行っていますか。
 (いくつでも○)

1. かいが 絵画	2. おんがく 音楽
3. えんげき 演劇	4. しょうどう 書道
5. しゅげい 手芸	6. どうげい 陶芸
7. ぶんげい 文芸	8. その他
9. とく おこな 特に行っていない	

【問 3 2】文化芸術活動を行っている方にお聞きます。

あなたが文化芸術活動を行う頻度はどのくらいですか。(1つだけ○)

1. しゅうかん かいじょう 1週間に2回以上	2. しゅうかん かい 1週間に1回くらい
3. しゅうかん かい 2週間に1回くらい	4. げつ かい 1か月に1回くらい
5. げつ かい 2～3か月に1回	

【問33】文化芸術活動を行っている方にお聞きします。

あなたは、文化芸術活動として作品展や発表会に出たいと思いますか。
(1つだけ○)

1. 出たことがある
2. 出たいと思うが、出たことはない
3. 出たことはないが、他の人の作品展や発表会を見に行ったことはある
4. 出たいと思わないため、出たことがない

【問34】あなたは、健康づくりのために意識的に行う運動・スポーツを、種類に関係なく合わせて1週間に1回以上行っていますか。

(例 ウォーキング・自転車・ジョギング(通勤時も含む)、子どもとの遊びの中での運動、体操、室内での軽い運動、水中歩行・遊泳、ボウリング、グラウンド・ゴルフ、レクバレー、室内アスレチック運動、競技的スポーツなど)

(1つだけ○)

1. はい
2. いいえ⇒問34-①へ

【問34-①】問34で「2. いいえ」を選択した方にお聞きします。

あなたが運動やスポーツを行わない理由は、次のうちどれですか。
(いくつでも○)

1. 運動・スポーツができる場が近くにない
2. 指導者がいない
3. 一緒に行う仲間(競技者)がいない
4. 運動・スポーツに興味がない・したくない
5. 自分にできるスポーツがない
6. その他()

【問35】文化芸術活動や運動・スポーツについて、市や入所している施設などに対してご意見・ご要望があればお書きください。

◆あなたの外出の状況等について、お聞きします。

【問36】あなたは、通勤や通学、通院や買い物などの外出を、月にどのくらいしますか。（最も近いもの1つに○）

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3、4回 |
| 3. 週に2回 | 4. 週に1回 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. 外出しない ⇒問36-①へ |

【問36-①】問36で「6. 外出しない」に○を付けた方にお聞きします。
差し支えなければ、外出しない理由について、お書きください。

【問37】どのような目的で外出することが多いですか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 会社などへの通勤 | 2. 通所施設などへの通所 |
| 3. 学校などへの通学 | 4. 病院などへの通院 |
| 5. 買い物 | 6. 余暇活動 |
| 7. その他（ | ） |

【問38】外出の際、利用する移動手段は何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 公共交通機関 | 2. タクシー |
| 3. 自家用車 | 4. 自転車・徒歩 |
| 5. その他（ | ） |

【問39】あなたは、重度障害者福祉タクシー利用券の交付を受けていますか。
(1つだけ○)

1. 受けている ⇒ 問39-① および 問39-②へ
2. 受けていない
3. わからない

【問39-①】問39で「1. 受けている」に○を付けた方にお聞きします。

あなたは、重度障害者福祉タクシー利用券を月に何枚利用していますか。
(1つだけ○)

1. 1から4枚
2. 5から8枚
3. 9から12枚
4. 13枚以上
5. 使ったことがない

【問39-②】問39で「1. 受けている」に○を付けた方にお聞きします。

現在、重度障害者福祉タクシー利用券は1回の乗車で1枚利用できます。

1回の乗車で2枚以上の重度障害者福祉タクシー利用券を利用できる場合、あなたの外出の機会は増えますか。(1つだけ○)

1. 外出の機会は増える
2. 外出の機会は増えない
3. わからない

◆^{しょうがいしゃ}障害者の^{あらわ}表し方^{かた}や^よ呼び方^{かた}について、^きお聞きします。

令和^{れいわ}3年^{ねん}5月^{がつ}に改正^{かいせい}された「^{しょうがいしゃ}障害者^さ差別^{さつべつ}解消^{かいしょう}法^{ぽう}」において、以下^いの^かとおり^{ふた}附帯^{いたい}決議^{けつぎ}が盛^もり込ま^これました。

法律^{ほうりつ}等^{とう}において用^{もち}いられている「^{しょうがいしゃ}障害者^し」の^うかんむり^いの「^{がい}害^し」の^い字^しを、石^{いし}へん^{へん}の「^{がい}碍^い」とし、^{また}又は、ひらがな^{また}の「^{がい}が^い」とする^{けんとう}かどうか^しについての^{しょうがい}検討^{けんとう}に資^しするため、^{しょうがい}障害^{しょうがい}当事^{とうじ}者の^{いこう}意向^{いこう}や^{せろん}世論^{せろん}の^{どうこう}動向^{どうこう}を^{はあく}把握^{はあく}すること。

今回^{こんかい}のアンケートでは、「^{がい}害^し」という^{かんじ}漢字^{かんじ}を^かひらがな^かに変^かえるかどうか^よだけでなく、^よ呼^よび方^{かた}その^{へんこう}もの^{へんこう}の変^{へんこう}更^{ふく}も^{みな}含^{ひろ}めて、^{いけん}皆^{いけん}さまに^き広^きく^き意^き見^きを^き聞^きく^きもの^きです。

【問40】あなたは、「^{しょうがいしゃ}障害者^{かんじ}（すべて漢字^{かんじ}で表^{あらわ}す）」の^{あらわ}表^{かた}し方^{ひょうげん}（表現^{ひょうげん}）や^よ呼^よび方^{かた}（呼称^{こしょう}）の^{へんこう}変^{へんこう}更^{おも}についてどう^{おも}思^{おも}いますか。

（1つだけ○）

1. 変^{へんこう}更^よした^よほう^よが^よ良^よい ⇒ 問41 および 問42、問43へ
2. 変^{へんこう}更^よしない^よほう^よが^よ良^よい（^{いま}今^{いま}の^{いま}ま^{いま}ま「^{しょうがいしゃ}障害者^し」で^よ良^よい） ⇒ 問44へ
3. ど^いち^いら^いと^いも^いい^いえ^いない ⇒ 問45へ

【問41】問40で「1. 変^{へんこう}更^よした^よほう^よが^よ良^よい」に○をつけた方^{まる}にお^{かた}聞^きき^きし^きま^きす。
変^{へんこう}更^{ほう}した^よ方^{おも}が^{りゆう}良^{つぎ}い^{つぎ}と^{つぎ}思^{つぎ}う^{つぎ}理^{つぎ}由^{つぎ}は、次^{つぎ}の^{つぎ}う^{つぎ}ち^{つぎ}ど^{つぎ}れ^{つぎ}で^{つぎ}す^{つぎ}か。（1つだけ○）

1. 「^{しょうがい}障^{しょうがい}害^{しょうがい}」という^{ようご}用^{いんしょう}語^{いんしょう}の^よ印^よ象^よや^よイ^よメ^よー^よジ^よが^よ良^よく^よな^よい^よた^よめ
2. 「^{しょう}障^{しょう}」や「^{がい}害^{がい}」という^{かんじ}漢^{いんしょう}字^{いんしょう}の^よ印^よ象^よや^よイ^よメ^よー^よジ^よが^よ良^よく^よな^よい^よた^よめ
3. ^{しょうがい}障^{しょうがい}害^{しょうがい}の^{ひと}あ^{ひと}る^{ひと}人^{ひと}と^ふな^ふい^ふ人^ふと^わに^わ振^わり^わ分^わけ^わら^われ^わて^わい^わる^わと^{かん}感^{かん}じ^{かん}る^{かん}た^{かん}め
4. な^{とく}ん^{とく}と^{りゆう}く^{りゆう}、特^{りゆう}に^{りゆう}理^{りゆう}由^{りゆう}は^{りゆう}な^{りゆう}い
5. そ^たの^た他^た（

【問42】問40で「1. 変^{へんこう}更^よした^よほう^よが^よ良^よい」に○をつけた方^{まる}にお^{かた}聞^きき^きし^きま^きす。
ど^{ことば}の^{へんこう}よ^{へんこう}う^よな^{おも}言^{おも}葉^{おも}に^{おも}変^{おも}更^{おも}した^{おも}ほう^{おも}が^{おも}良^{おも}い^{おも}と^{おも}思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す^{おも}か。（1つだけ○）

1. ^{しょう}障^{しょう}が^{しょう}い^{しょう}者^{しょう}（^{がい}害^{がい}の^{かんじ}漢^{あらわ}字^{あらわ}を^{あらわ}ひ^{あらわ}ら^{あらわ}が^{あらわ}な^{あらわ}で^{あらわ}表^{あらわ}す）
2. ^{しょうがい}者^{しょうがい}（^{しや}い^{しや}ず^{しや}れ^{しや}も^{しや}ひ^{しや}ら^{しや}が^{しや}な^{しや}で^{しや}表^{あらわ}す）

3. 障害者（いずれも漢字だが、害の漢字を石へんの漢字に変更する）
4. ディサビリティ／ディスアビリティ（the disability／person with disabilities）
5. チャレンジド（challenged）
6. ハンディキャップ（handicap／the handicapped）
7. インペアメント（impairments）
8. その他（ ）
9. 適切な言葉を思いつかない

【問43】問42で「1. 障がい者（害の漢字をひらがなで表す）」から「8. その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

差し支えなければ、選んだ理由について、お書きください。

【問44】問40で「2. 変更しないほうが良い（今のまま「障害者」で良い）」に○をつけた方にお聞きします。

変更しないほうが良いと思う理由は、次のうちどれですか。（いくつでも○）

1. これまでの「障害者」という表し方や呼び方に慣れているため
2. 国の法律や制度でも使っている「障害者」と同じ表し方で良いと思うため
3. 社会の障壁に原因があるという「障害」の社会モデルの考え方に即しているため
4. 表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため
5. 表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため
6. 「障害者」以外にふさわしい表し方や呼び方を思いつかないため
7. なんとなく、特に理由はない
8. その他（ ）

＜参考1＞「社会モデル」とは

障害者が日常生活または社会生活で受ける制限は、心身の機能の障害のみならず、生活の中で直面する様々な障壁・バリア（階段や段差、設備の使いづらさ、制度、意識など）によっても生ずるという考え方です。

＜参考2＞「障害」の表記に関する歴史的変遷

「障害」は、もともと仏教語で、「しょうげ」と読み、「ものごとの発生、持続にあたってさまたげになること」を意味していましたが、平安末期以降「悪魔、怨霊などが邪魔すること。さわり。障害。」の意味で多く使われてきました。

明治期に入ると、「障害」を「しょうがい」と読む事例が現れ、「しょうげ」と「しょうがい」という二つの読み方で使われるようになりました。こうした不便な状況を解消するため、次第に「しょうげ＝障害」と「しょうがい＝障害」を書き分ける例が多くなり、大正期になると、「障害」よりも「障害」の方が一般的になりました。

◆区役所・支所の窓口について、お聞きます。

【問45】令和2年度から、障害種別にかかわらず障害福祉制度の利用手続きの受付窓口を福祉課（支所の場合は区民福祉課）に統一しました。

このことについてあなたはどのように思いますか。（いくつでも○）

1. どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった
2. 窓口の職員が増えて相談しやすくなった
3. 住民票や健康保険、介護保険、子育て支援など、区役所・支所の別の部署の窓口
に用事がある場合に1か所で済むようになった
4. 保健や医療に関する相談がしたい場合は、保健センターの窓口まで行かなければ
ならないので不便になった
5. 受付窓口や待合スペースが混雑するようになった
6. 個室スペースなど周りに声が聞こえないような場所で相談することが難しくな
った
7. 特にこれまでと変わらない
8. 障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった
9. 区役所・支所の福祉課・区民福祉課に行く用事がほとんどない
10. その他（ ）

【問46】^{くやくしょふくしか}区役所福祉課・^{ししよくみんふくしか}支所区民福祉課の^{うけつけまどぐち}受付窓口や^{しょうがいふくしせいど}障害福祉制度の^{りようてつづ}利用手続きについて、^{こんごきたい}今後期待することはありますか。(いくつでも○)

1. ^{ていねい}丁寧で^わ分かりやすい^{せつめい}説明をしてほしい
2. ^{りようてつづ}利用手続きが^{ふくざつ}複雑で^{りかい}理解するのが^{むずか}難しいので、^わ分かりやすく^{くふう}工夫してほしい
3. ^{しょうがい}障害について^{りかい}理解のある^{しよくいん}職員を^{はいち}配置してほしい
4. ^{しっかん}疾患や^{びやうたい}病態、^{いりようてき}医療的ケアなど^{いりよう}医療や^{ほけん}保健に関する^{かん}知識がある^{しよくいん}職員を^{はいち}配置してほしい
5. ^{りようてつづ}利用手続きに^{よう}要する^{じかん}時間を^{たんしゆく}短縮してほしい
6. ^{まちあい}待合スペースを^{ひろ}広くしてほしい
7. ^{まちあい}待合スペースを^{しず}静かで^お落ち着いた^{かんきよう}環境にほしい
8. ^{そうだん}相談する^{こえ}声が^{しゅうい}周囲に^き聞こえないようにするなど、^{はいいりよ}プライバシーに^{はいりよ}配慮してほしい
9. ^{てつづ}ウェブサイトによる^{どうにゆう}手続きの^{ゆうそう}導入や^{そうふぶつ}郵送による^{こうふ}送付物の^{くやくしょ}交付など、^{ししよ}区役所・^{ししよ}支所に^い行かなくても^{てつづ}手続きが^す済むような^{しくみ}仕組みを^{つく}作ってほしい
10. ^{いま}今の^よままで^{よい}良い
11. ^たその他 ()

【問47】^かデジタル化の^{すいしん}推進により、^{さまざま}様々な^{ぎょうせいてつづ}行政手続きについてウェブサイトなどを通^{つう}じた^{でんしんせい}電子申請の^{どうにゆう}導入が^{けんとう}検討されていますが、あなたは^{りよう}利用したいと^{おも}思いますか。
(1つだけ○)

1. ^{りよう}ぜひ利用したいと^{おも}思う
2. ^{かのう}可能であれば利用したいと^{おも}思う
3. ^{りよう}利用したいと思わない ⇒問47-①へ
4. ^{わから}わからない

【問47-①】問47で「3. ^{りよう}利用したいと思わない」に^{まる}○をつけた方にお聞きします。
^{りよう}利用したいと思わない理由は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. ^もパソコンやスマートフォンを^{つか}持っていない、または、^{つか}使うことができないため
2. ^{りようてつづ}利用手続きとあわせて、^{まどぐち}窓口の^{しよくいん}職員に^{ちよくせつそうだん}直接相談がしたいため
3. ^{くやくしょ}区役所・^{ししよ}支所が^{じたく}自宅から^{ちか}近い

4. 個人情報^{こじんじょうほう}が流出^{りゅうしゅつ}しないか不安^{ふあん}なため
5. 正^{ただ}しく手続^{てつづ}きが完了^{かんりょう}できたのか不安^{ふあん}なため
6. 電子申請^{でんししんせい}手続^{てつづ}きがどのようなものなのか分^わからないため
7. その他^た（)

◆^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症^きについて、お聞きします。

【問48】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症^きが流行^{りゅうこう}したことで、あなたの生活^{せいかつ}に影響^{えいきょう}を受けましたか。(1つだけ○)

1. すごく影響^{えいきょう}を受けた^う
2. 少し^{すこ}影響^{えいきょう}を受けた^う
3. あまり影響^{えいきょう}を受けなかった^う
4. 全^{まった}く影響^{えいきょう}を受けなかった^う

【問49】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症^きが流行^{りゅうこう}したことで、あなたの生活^{せいかつ}で困^{こま}ったことがあれば、お聞^きかせください。

V 調査票（18 歳未満）

名古屋市の障害福祉に関するアンケートのお願い

18歳未満の方

令和4年10月

名古屋市からアンケートのお願いをいたします。

名古屋市の障害児福祉計画や障害児者施策をつくるにあたって、このアンケートを参考にさせていただきます。回答は無記名とします。回答内容については秘密を厳守し、他の人に知られることはありません。どうぞご協力をお願いします。

※本アンケートは、身体・愛護・精神の障害者手帳を所持している方、特定医療費助成制度を受給している方、診断書で障害児サービスの申請をされた発達障害等の方、高次脳機能障害と診断されている方の中から無作為に抽出して郵送しています。

●記入にあたってのお願い●

- アンケートの中で「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- 障害特性や年齢等により、ご本人が答えられない場合は、ご本人の立場に立ってお答えください。
- 令和4年10月3日現在の状況でお答えください。
- 回答は、インターネットか郵送のどちらかでお答えください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 場合によっては、数字やご意見をお書きいただくものもあります。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートだけを入れて、
令和4年10月28日(金)までに お送りください。(切手をはる必要はありません。)

◆本調査はインターネットからもご回答いただけます。

右の二次元コードからアクセスいただくか、
回答フォーム (<https://anket.jp/>) にアクセスして
ID とパスワードを入力の上、ご回答ください。

※ インターネットからご回答いただいた場合は、
調査票の返送は不要です。

担当：名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課

※アンケートの内容などでご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【アンケートお問い合わせ専用電話】

電話 052-846-2223
ファックス 052-841-1015

設置期間：令和4年10月3日～10月28日

(土曜日・日曜日・祝日を除く。午前8時30分～午後5時)

【問1】から【問30】までは、18歳未満のお子様の保護者の方にお聞きします。

◆ご本人(アンケートの対象者となる 18歳未満のお子様)について、お聞きします。(お答えできる範囲でかまいません。)

【問1】ご本人の性別をお答えください。

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

【問2】ご本人の年齢はおいくつですか。
() 歳 (令和4年10月3日現在でお答えください。)

【問3】ご本人のお住まいの区はどちらですか。(1つだけ○)

1. 千種区 2. 東区 3. 北区 4. 西区 5. 中村区
6. 中区 7. 昭和区 8. 瑞穂区 9. 熱田区 10. 中川区
11. 港区 12. 南区 13. 守山区 14. 緑区 15. 名東区
16. 天白区 17. 市外

【問4】ご本人は次の手帳をお持ちですか。または障害、難病等と診断されていますか。
(あてはまるものすべてに○)

※2つ以上○をつけた場合は、それぞれの選択肢の関係の間すべてにお答えください。

＜例＞ 選択肢1と5に○をつけた場合、問4-①と問4-⑤に回答します。

1. 身体障害者手帳 ⇒問4-①へ 2. 愛護手帳 ⇒問4-②へ
3. 精神障害者保健福祉手帳 ⇒問4-③へ
4. 発達障害(※1)と診断されている ⇒問4-④へ
5. 高次脳機能障害(※2)と診断されている ⇒問4-⑤へ
6. 難病等(※3)と診断されている ⇒問4-⑥へ
7. その他(選択肢1～6以外の方) ⇒問5へ
(※1) 自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症(ASD)、
学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)などの脳機能の障害で、その症状
が通常低年齢で発現するもの
(※2) 事故や病気で脳にダメージを受けることで生じる認知障害や行動障害など(認知症、
脳性マヒは除く)
(※3) ここでは、特定医療費助成制度の対象である疾病

【問4-①】 問4で「1. 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級	5. 5級	6. 6級
-------	-------	-------	-------	-------	-------

イ) 身体障害は次のうちどれですか。2つ以上障害のある方は、最も重いものはどれですか。(1つだけ○)

1. 視覚障害	2. 聴覚・平衡機能障害
3. 音声、言語、そしゃく機能障害	4. 上肢障害
5. 下肢障害	6. 体幹機能障害
7. 心臓機能障害	8. 呼吸器機能障害
9. じん臓機能障害	10. 肝臓機能障害
11. ぼうこう、直腸、小腸機能障害	
12. 免疫機能障害	

ウ) 身体障害になったのは、何歳の時ですか。
(身体障害者手帳を交付された時期ではありません。)
() 歳

エ) 身体障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

1. 交通事故	2. 労働災害
3. その他の事故	4. 戦傷病・戦災
5. 病気	6. 出生時の損傷
7. 加齢	8. 自然災害
9. 原因不明	
10. その他 ()	

【問4-②】問4で「2. 愛護手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何度ですか。(1つだけ○)

1. 1度

2. 2度

3. 3度

4. 4度

イ) 初めて愛護手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。
() 歳

ウ) 知的障害のほかに、障害や疾病がありますか。

2つ以上障害や疾病のある方は、最も重いものはどれですか。(1つだけ○)

1. てんかん

2. 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症
(ASD)

3. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

4. ダウン症

5. 脳性マヒ

6. その他 ()

7. なし

【問4-③】問4で「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 障害等級は何級ですか。(1つだけ○)

1. 1級

2. 2級

3. 3級

イ) 初めて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたのは何歳のときですか。
() 歳

ウ) 主な病名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

1. 器質性精神障害 (認知症、高次脳機能障害など)
2. 精神作用物質による精神および行動の障害
(アルコール依存症・精神薬、覚せい剤依存症・精神薬など)
3. 統合失調症
4. 気分(感情)障害 (うつ病、そううつ病、そう病)
5. 神経性障害 (パニック障害、強迫性障害など)
6. パーソナリティ障害
7. てんかん
8. 発達障害 (自閉症、アスペルガー症候群など)
9. その他 ()
10. わからない

【問4-④】問4で「4. 発達障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて発達障害と診断されたのは何歳のときですか。
() 歳

イ) 発達障害の主な診断名は次のうちどれですか。(1つだけ○)

1. 自閉症
2. アスペルガー症候群
3. その他の広汎性発達障害、自閉スペクトラム症 (ASD)
4. 学習障害 (LD)
5. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)
6. その他 ()
7. わからない

【問4-⑤】問4で「5. 高次脳機能障害と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 初めて高次脳機能障害と診断されたのは何歳のときですか。
() 歳

イ) 高次脳機能障害と診断された主な症状は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- | | |
|--|----------|
| 1. 記憶障害 | 2. 注意障害 |
| 3. 遂行機能障害 | |
| (生活や仕事で段取りを考えたり、効率的に物事を進められなくなったりすること) | |
| 4. 社会的行動障害 | |
| (感情や欲求コントロールの低下、ささいなことにこだわるようになることなど) | |
| 5. 失語 | 6. 失行・失認 |
| 7. その他 () | |
| 8. わからない | |

ウ) 高次脳機能障害の主な原因は何ですか。(1つだけ○)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 脳梗塞 | 2. 脳出血 |
| 3. くも膜下出血 | 4. 交通事故 |
| 5. その他の事故 | 6. 脳炎 |
| 7. 低酸素脳症 | 8. 原因不明 |
| 9. その他 () | |

【問4-⑥】問4で「6. 難病等と診断されている」に○をつけた方にお聞きします。

ア) 診断を受けたのは何歳のときですか。

() 歳

※2 つ以上診断を受けている場合は、一番早く診断を受けた疾病でお答えください。

イ) 発病から病名告知までにどのくらいの期間がかかりましたか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～1年未満 |
| 3. 1年以上～2年未満 | 4. 2年以上～3年未満 |
| 5. 3年以上 | 6. わからない |

【問5】ご本人は、障害者総合支援法(「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」)による障害支援区分の認定の申請をしたことがありますか。
(1つだけ○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 申請をしたことがある ⇒問5-①へ | 2. 申請をしたことがない |
|----------------------|---------------|

【問5-①】問5で「1. 申請をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

障害支援区分認定の結果は次のうちどれですか。

直近の申請結果についてお答えください。(1つだけ○)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 非該当 | 2. 障害支援区分1 |
| 3. 障害支援区分2 | 4. 障害支援区分3 |
| 5. 障害支援区分4 | 6. 障害支援区分5 |
| 7. 障害支援区分6 | 8. 申請したが結果がまだ出ていない |

す き
◆お住まいについて、お聞きします。

【問6】ご本人はどなたと暮らしていますか。（1つだけ○）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 家族 ⇒問6-①へ | 2. 家族以外 |
| 3. 一人 | 4. その他（ ） |

【問6-①】問6で「1. 家族」に○をつけた方にお聞きします。
一緒に暮らしている方は、どなたですか。（いくつでも○）

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 父親 | 2. 母親 |
| 3. きょうだい | 4. 配偶者 |
| 5. その他（ ） | |

【問7】ご本人は、現在、どこで生活していますか。（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | |
| 2. 持ち家（マンション） | |
| 3. 公営賃貸住宅（市営・県営・公団など） | |
| 4. 民間賃貸住宅（アパート・マンションなど） | |
| 5. 会社の寮・社宅など | |
| 6. グループホーム | |
| 7. 児童福祉施設 | 8. 病院（入院中） |
| 9. その他（ ） | |

【問8】現在の住まいについて、困っていることはありますか（1つだけ○）

- | | |
|--------------|-------|
| 1. ある ⇒問8-①へ | 2. ない |
| 3. わからない | |

【問 8-①】問 8 で「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。
 困っていることは次のうちどれですか（いくつでも○）

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. バリアフリー化が不十分 | 2. 老朽化している |
| 3. 家賃が高い | 4. 交通の便が悪い |
| 5. 狭い | 6. 立ち退きを要求されている |
| 7. 一緒に住んでいる家族との人間関係が悪い | |
| 8. 近隣住民やアパートの大家などとの人間関係が悪い | |
| 9. その他（ ） | |

◆収入について、お聞きします。

【問 9】ご本人の属する世帯の収入の中心は、次のうちどれですか。（1つだけ○）

- | | |
|--------------------------------------|---------|
| 1. 仕事による収入 | 2. 年金 |
| 3. 手当（特別障害者手当、県在宅重度障害者手当、特別児童扶養手当など） | |
| 4. 仕送り | 5. 生活保護 |
| 6. その他（ ） | |

【問 10】ご本人の家族の生計中心者の令和3年中のすべての収入（税込）はいくらですか。

（1つだけ○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 80万円未満 | 2. 80万円～150万円未満 |
| 3. 150万円～200万円未満 | 4. 200万円～300万円未満 |
| 5. 300万円～400万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 7. 500万円～600万円未満 | 8. 600万円～1000万円未満 |
| 9. 1000万円以上 | 10. わからない |

◆障害福祉サービスの利用状況について、お聞きします。

【問 1 1】ご本人や保護者の方は、障害福祉に関する情報を、どこから知りますか。
(いくつでも○)

1. 区役所・支所や保健センターに問い合わせる
2. 市のその他の窓口(療育センター、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センターなど)に問い合わせる
3. 障害者基幹相談支援センターに問い合わせる
4. 相談支援事業所に問い合わせる
5. 市の発行する「障害者福祉のしおり」などのパンフレットを見る
6. 広報なごやを見る
7. 市の公式ウェブサイトや「ウェルネットなごや」を見る
8. ホームヘルパーやボランティアなど介助を頼んでいる人に聞いてみる
9. 障害者団体に聞いてみる
10. 主治医や医療機関の職員に聞いてみる
11. 利用している施設の職員に聞いてみる
12. 家族や友人に聞いてみる
13. その他 ()
14. わからない

【問12】ご本人は現在、どのような障害福祉サービスを利用していますか。
(いくつでも○)

＜介護給付＞

1. 居宅介護（ホームヘルプ）

（ホームヘルパーが自宅等に訪問し、食事、ふろ、トイレなどの身体介護や、調理、掃除、洗濯などの家事援助、通院介助をするサービスです。）

2. 重度訪問介護

（重度の肢体不自由者または知的障害、精神障害により行動上著しい困難を有する障害者であって、常に介護を必要とする方に対し、ホームヘルパーが自宅等に訪問し、食事、ふろ、トイレなどの身体介護や、調理、掃除、洗濯などの家事援助、外出時における移動中の介護を総合的に行うとともに、入院中の意思疎通の支援等を行うサービスです。）

3. 同行援護

（視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出するときに同行し、移動に必要な情報の提供や援護などを行うサービスです。）

4. 行動援護

（知的障害又は精神障害により、行動上著しい困難がある障害者（児）に対し、外出時において付添だけではなく、移動中の介護や移動中に危険がないように支援を行うサービスです。）

5. 短期入所（ショートステイ）

（自宅で介護をする方が病気の場合などに、短い期間、施設に入所し、ふろ、トイレ、食事などの介護を受けるサービスです。）

＜障害児サービス＞

6. 児童発達支援・放課後等デイサービス

（障害児が、ふだんの生活がしやすくなるように、食事やトイレに行くなどの身の回りの動作の指導を受けたり、友達などといっしょに活動したり、暮らしたりができるように練習することができるサービスです。）

7. 保育所等訪問支援

（障害児が、集団生活に適應するために専門的な支援が必要な場合に、訪問支援実施事業所が保育所や学校を訪問して、助言するサービスです。）

8. 障害児相談支援

（障害児が、放課後等デイサービス給付を利用するための利用計画を作成するサービスです。）

9. その他（ ）

10. ^{りよう}利用していない

【問13】 ^{ほんにん}ご本人は、^{こんご}今後（^{ねんい ない}おおむね3年以内に）、^{しょうがいふくし}障害福祉サービス^{りよう}を利用しますか。
（1つだけ○）

1. ^{りよう}利用する^{おも}と思う
2. ^{りよう}利用しない^{おも}と思う
3. わからない

【問14】 その他の福祉サービスについてお聞きします。

^{ねんい ない}これから（^{ほんにん}おおむね3年以内に）、^{りよう}ご本人が^{ふくし}利用したい福祉サービス^{なん}は何ですか。
（いくつでも○）

1. ^{ちんだいじゅうたくにゅうきょうとう}賃貸住宅入居等^{じぎょう}サポート事業

（^{じゅうたく か}アパートなどの住宅を借りるときに^{けいやく}契約の手伝いや、^{てつだ}家主などへの^{やぬし}相談・^{そうだん}助言^{じょげん}を通じて^{ちいき}地域生活の手助けを受けることができるサービスです。）

2. ^{せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう}成年後見制度利用支援事業

（^{かぞく しんせき}家族や^{ちてきしょうがいしゃ}親戚のいない^{せいしんしょうがいしゃ}知的障害者または^{ざいさんかんり}精神障害者の^{けいやく}財産管理や契約などを^{しえん}支援する^{せいど}制度の利用について、支援を受けることができるサービスです。）

3. ^{いしそつうしえんじぎょう}意思疎通支援事業

（^{みみ しょうがい}耳に障害がある方に、^{かた}手話通訳者や、^{しゅわつうやくしゃ}他の人の話やまわりの音を文字にしてわかるようにする要約筆記者を派遣したり、^{め しょうがい}目に障害がある方に、^{かた}読み書きのサービスを^{ていきょう}提供したり、^{いし}意思疎通が困難な障害者（児）が^{にゅういん}入院・^{つういん}通院し、^{しんりょう}診療を受ける際に^う医療従事者と^{さい}円滑な^{いりょうじゅうじしゃ}コミュニケーションが図れるようヘルパーが^{えんかつ}付き添うなど、互いの意思が伝わるようにするサービスです。）

4. ^{ほそうぐひしきゅうじぎょう}補装具費支給事業

（^{しんたいしょうがい}身体障害のある方が、^{かた}義肢、^{ぎし}装具、^{そうぐ}車椅子などの補装具代金の^{くるまいす}一部の^{ほそうぐだいきん}助成^{いちぶ}を受けることができるサービスです。）

5. ^{にちじょうせいかつようぐきゅうふ}日常生活用具給付

（^{しょうがい}障害のある方が、^{かた}特殊マット・^{とくしゅ}入浴補助用具など^{にゅうよくほじょうぐ}毎日の暮らしの手助けに^{まいにち}必要な^く用具の^{てだす}代金^{ひつよう}の一部の^{ようぐ}助成^{だいきん}を受けることができるサービスです。）

6. 障害者住宅改造

（ふろやトイレの中に手すりを設置したり、玄関の段差をなくしたり、窓や壁を防音にしたり、床材をクッションフロアにするなどの工事にかかる費用の一部の助成を受けることができるサービスです。）

7. 移動支援事業

（単独で外出することの困難な障害者（児）が社会生活上不可欠な外出及び余暇活動などの社会参加のためにガイドヘルパーが付き添い、移動の支援を受けることのできるサービスです。）

8. 地域活動支援事業（旧小規模作業所、旧精神障害者地域生活支援センター）

（自分の趣味を活かした活動や、ものづくりの活動ができる機会の提供を受けたり、社会との交流の機会などを受けたりすることができるサービスです。）

9. 福祉ホーム事業

（住居を必要としている方に、低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行うサービスです。）

10. 重度障害者移動入浴サービス

（重度の身体障害があつて、家のお風呂に入ることができない方に、お風呂を家に運んでもらい、お風呂に入る手助けを受けることができるサービスです。）

11. 日中一時受入事業

（障害のある方の保護者の病気等により、昼間に一時的に支援を必要とする場合に、施設や病院において見守り等を行うサービスです。）

12. 配食サービス

（昼食または夕食を家に配達してもらうとともに、配食サービスを利用する方が、無事なのかどうかを確かめてもらうことができるサービスです。）

13. NPO法人などが行う福祉有償運送サービス

（必要な介助などに続いて、または、介助を受けながら、車で移動しなければならないときに、タクシーに代わって、NPO法人などが自家用車を使い、有料で送り迎えをしてもらうことができるサービスです。）

14. その他（ ）

15. 特にない

◆災害対策について、お聞きします。

【問 1 5】台風や地震などで、大きな災害が起こった場合、ご本人を避難場所へ誘導するなど、安全の確保を頼れるような人が身近にいますか。（1つだけ○）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 昼間のみいる | ⇒問 1 5-①へ |
| 2. 夜間のみいる | ⇒問 1 5-①へ |
| 3. いつもいる | ⇒問 1 5-①へ |
| 4. 必要だがいない | 5. 必要ない |

【問 1 5-①】問 1 5で「1. 昼間のみいる」、「2. 夜間のみいる」、「3. いつもいる」に○をつけた方にお聞きします。
それはどなたですか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 同居の家族 | 2. 同居以外の家族・親族 |
| 3. 友人・知人 | 4. 福祉サービス事業者 |
| 5. 近所の人 | 6. 学校などの先生 |
| 7. 職場の上司・同僚 | |
| 8. その他（ | ） |

【問 1 6】ご本人や保護者の方は、福祉避難所を知っていますか。（いくつでも○）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 福祉避難所がどのような避難所か知っている | |
| 2. 福祉避難所という言葉は聞いたことがある | |
| 3. 知らない | 4. その他（ |
| | ） |

【問 1 7】 災害が発生した際に（又は、災害発生に備えて）必要なことは何ですか。
（いくつでも○）

1. 災害発生予測や被害状況等についての情報提供
2. 地域の人（民生委員や福祉サービス事業者を含む）と連携した
救助体制の整備や避難訓練
3. 災害発生後の安否の確認
4. 障害の特性に応じた避難所生活の確保
5. 被災後の心のケア
6. その他（ ）

【問 1 8】 その他、災害対策について、ご意見やご要望がありましたらお書きください。

◆障害者・障害児の表し方や呼び方について、お聞きします。

令和3年5月に改正された「障害者差別解消法」において、以下のとおり附帯決議が盛り込まれました。

法律等において用いられている「障害者」のうかんむりの「害」の字を、石へんの「碍」とし、又は、ひらがなの「がい」とするかどうかについての検討に資するため、障害当事者の意向や世論の動向を把握すること。

今回のアンケートでは、「害」という漢字をひらがなに変えるかどうかだけでなく、呼び方そのものの変更も含めて、皆さまに広く意見を聞くものです。

【問 19】「障害者・障害児（すべて漢字で表す）」の表し方（表現）や呼び方（呼称）の変更についてどう思いますか。

（1つだけ○）

1. 変更したほうが良い ⇒問 20 および 問 21、問 22へ
2. 変更しないほうが良い（今のまま「障害者・障害児」で良い） ⇒問 23へ
3. どちらともいえない ⇒問 24へ

【問 20】問 19で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きします。
変更したほうが良いと思う理由は、次のうちどれですか。（1つだけ○）

1. 「障害」という用語の印象やイメージが良くないため
2. 「障」や「害」という漢字の印象やイメージが良くないため
3. 障害のある人となない人との振り分けられていると感じるため
4. なんとなく、特に理由はない
5. その他（ ）

【問 21】問 19で「1. 変更したほうが良い」に○をつけた方にお聞きします。
どのような言葉に変更したほうが良いと思いますか。（1つだけ○）

1. 障がい者・障がい児（害の漢字をひらがなで表す）
2. しょうがい者・しょうがい児（いずれもひらがなで表す）
3. 障害者・障害児（いずれも漢字だが、害の漢字を石へんの漢字に変更する）
4. ディサビリティ／ディスアビリティ（the disability／person with disabilities）
5. チャレンジド（challenged）
6. ハンディキャップ（handicap／the handicapped）
7. インペアメント（impairments）
8. その他（ ）
9. 適切な言葉を思いつかない

【問 2 2】問 2 1 で「1. 障がい者・障がい児（害の漢字をひらがなで表す）」から
「8. その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。
差し支えなければ、選んだ理由について、お書きください。

【問 2 3】問 1 9 で「2. 変更しないほうが良い（今のまま「障害者・障害児」で良い）」
に○をつけた方にお聞きします。
変更しないほうが良いと思う理由は、次のうちどれですか。（いくつでも○）

1. これまでの「障害者・障害児」という表し方や呼び方に慣れているため
2. 国の法律や制度でも使っている「障害者・障害児」と同じ表し方で良いと思うため
3. 社会の障壁に原因があるという「障害」の社会モデルの考え方に即しているため
4. 表し方や呼び方よりも、福祉を充実していくことのほうが大切であるため
5. 表し方や呼び方の問題ではなく、言葉を使う側の意識の問題であると考えられるため
6. 「障害者・障害児」以外にふさわしい表し方や呼び方を思いつかないため
7. なんとなく、特に理由はない
8. その他（ ）

＜参考 1＞「社会モデル」とは

障害者が日常生活または社会生活で受ける制限は、心身の機能の障害のみならず、生活の中で直面する様々な障壁・バリア（階段や段差、設備の使いづらさ、制度、意識など）によっても生ずるという考え方です。

＜参考 2＞「障害」の表記に関する歴史的変遷

「障害」は、もともと仏教語で、「しょうげ」と読み、「ものごとの発生、持続にあたってさまたげになること」を意味していましたが、平安末期以降「悪魔、怨霊などが邪魔すること。

さわり。障害。」の意味で多く使われてきました。

明治期に入ると、「障碍」を「しょうがい」と読む事例が現れ、「しょうげ」と「しょうがい」という二つの読み方で使われるようになりました。こうした不便な状況を解消するため、次第に「しょうげ＝障碍」と「しょうがい＝障害」を書き分ける例が多くなり、大正期になると、「障碍」よりも「障害」の方が一般的になりました。

◆区役所・支所の窓口について、お聞きます。

【問24】令和2年度から、障害種別にかかわらず障害福祉制度の利用手続きの受付窓口を福祉課（支所の場合は区民福祉課）に統一しました。

このことについてどう思いますか。（いくつでも○）

1. どんな障害であっても同じ受付窓口になったため、分かりやすくなった
2. 窓口の職員が増えて相談しやすくなった
3. 住民票や健康保険、子育て支援など、区役所・支所の別の部署の窓口で用事がある場合に1か所で済むようになった
4. 保健や医療に関する相談がしたい場合は、保健センターの窓口まで行かなければならないので不便になった
5. 受付窓口や待合スペースが混雑するようになった
6. 個室スペースなど周りに声が聞こえないような場所で相談することが難しくなった
7. 特にこれまでと変わらない
8. 障害の種別にかかわらず受付窓口が統一されたことを知らなかった
9. 区役所・支所の福祉課・区民福祉課に行く用事がほとんどない
10. その他（ ）

【問25】区役所福祉課・支所区民福祉課の受付窓口や障害福祉制度の利用手続きについて、今後期待することはありますか。（いくつでも○）

1. 丁寧で分かりやすい説明をしてほしい
2. 利用手続きが複雑で理解するのが難しいので、分かりやすく工夫してほしい
3. 障害について理解のある職員を配置してほしい

4. 疾患^{しっかん}や病態^{びょうたい}、医療的ケア^{いりょうてき}など医療^{いりょう}や保健^{ほけん}に関する知識^{かん}がある職員^{ちしき}を配置^{しよくいん}してほしい
5. 利用^{りよう}手続き^{てつづ}に要^{よう}する時間^{じかん}を短縮^{たんしゅく}してほしい
6. 待合^{まちあい}スペースを広く^{ひろ}してほしい
7. 待合^{まちあい}スペースを静か^{しず}で落ち着^おいた環境^{かんきよう}にしてほしい
8. 相談^{そうだん}する声^{こえ}が周囲^{しゅうい}に聞こえないようにするなど、プライバシー^きに配慮^{はいりょ}してほしい
9. ウェブサイト^{てつづ}による手続き^{どうにゅう}の導入^{ゆうそう}や郵送^{そうふぶつ}による送付物^{こうふ}の交付^{くやくしょ}など、区役所・支所^{ししょ}に行かなくても手続き^{てつづ}が済^すむような仕組み^{しく}を作^{つく}ってほしい
10. 今^{いま}のままで良^よい
11. その他^た（ ）

【問26】デジタル化^との推進^かにより、様々^{さまざま}な行政^{ぎょうせい}手続き^{てつづ}についてウェブサイト^{つう}などを通^{つう}じた電子^{でんし}申請^{しんせい}の導入^{どうにゅう}が検討^{けんとう}されていますが、利用^{りよう}したいと思^{おも}いますか。
(1つだけ○)

1. ぜひ利用^{りよう}したいと思^{おも}う
2. 可能^{かのう}であれば利用^{りよう}したいと思^{おも}う
3. 利用^{りよう}したいと思^{おも}わない ⇒問26－①へ
4. わからない

【問26－①】問26で「3. 利用^{りよう}したいと思^{おも}わない」に○をつけた方^{かた}にお聞^ききします。
利用^{りよう}したいと思^{おも}わない理由^{りゆう}は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. パソコンやスマートフォン^もを持^もっていない、または、使^{つか}うことができないため
2. 利用^{りよう}手続き^{てつづ}とあわせて、窓口^{まどぐち}の職員^{しよくいん}に直接^{ちよくせつ}相談^{そうだん}がしたいため
3. 区役所・支所^{くやくしょ}が自宅^{ししょ}から近^{じたく}いため
4. 個人情報^{こじんじょうほう}が流^{りゅう}出^{しゅつ}しないか不安^{ふあん}なため
5. 正^{ただ}しく手続き^{てつづ}が完^{かん}了^{りよう}できたのか不安^{ふあん}なため
6. 電子^{でんし}申請^{しんせい}手続き^{てつづ}がどのようなもの^なのか分^わからないため
7. その他^た（ ）

しょうがい しょうがいしゃ りかい かん き
◆障害や障害者への理解などに関することについて、お聞きします。

【問27】あなたは、名古屋市職員（区役所や、地下鉄・市バスなどの交通機関の職員等を含む）が、障害や障害者に対する正しい理解や認識を持って、接していると思いますか。（1つだけ○）

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば思わない ⇒問27-①へ
5. 思わない ⇒問27-①へ

【問27-①】問27で「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」に○をつけた方にお聞きします。
さ つか りゆう か
差し支えなければ、その理由をお書きください。

【問28】名古屋市が、「障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」を策定・施行したことを知っていますか。（1つだけ○）

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

【問29】名古屋市では、「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」を目指しています。あなたは、現在の名古屋市がこのような社会になっていると思いますか。（1つだけ○）

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえば思わない ⇒問29-①へ
5. 思わない ⇒問29-①へ

【問 29-①】問 29 で「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」に○をつけた方にお聞きします。

差し支えなければ、その理由をお書きください。

【問 30】「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現」に向けて、今後、名古屋市が、とくに力をいれるべきことはどのようなことと思いますか。(いくつでも○)

啓発活動	1. 障害者への理解を促進するための啓発活動を進める 2. 人権教育や福祉教育を進める 3. 障害を理由とする差別を解消する
生活支援	4. ホームヘルプやショートステイなど在宅サービスを増やす 5. ガイドヘルプや福祉特別乗車券交付など外出できるよう支援する 6. 社会参加や社会活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす 7. グループホームなどの地域で生活する住まいの場を増やす 8. 福祉機器等の研究開発を進めるとともに、利用支援を進める 9. 各種手当や助成制度などの、経済的な支援を進める 10. 施設や病院から地域生活への移行を進める 11. 障害福祉サービスの質を高め、供給体制を増やす 12. 障害者の権利を守る権利擁護事業や、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見制度利用支援事業を進める 13. 身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす 14. 重度の障害者への対応を進める 15. 虐待の防止や早期発見に努める 16. 手帳制度の対象となっていない「障害」への対応を行う 17. スポーツや文化芸術活動を進める

保健・医療	18. 精神保健・精神医療施策を進める 19. 障害の発生予防や早期発見に努める 20. 医療現場・リハビリテーションを充実するとともに、退院・退所後も引き続き地域で安心して暮らせるような支援体制の整備を進める 21. 保健・医療・福祉サービスの充実と、連携を強くする
教育・育成	22. 一生を通じて、それぞれの場面で相談できるよう、支援体制を整える 23. 障害の早期発見、早期療育が可能となるよう早期療育体制をよりよくする 24. 障害の状況に応じた学習方法を行うなど、学校教育の場で工夫する
生活環境	25. バリアフリー化の推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める 26. 市営住宅における住宅の確保や、民間住宅への入居支援など住宅・住環境の整備を進める
防災・防犯	27. 災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める 28. 障害者支援施設などにおける安全対策の構築、防犯教室などによる啓発活動を実施するなど、防犯対策を進める。
雇用・就業	29. 一般企業などへの就労を進める 30. 一般企業などへの就労が困難な重度障害者が利用できる、就労継続支援事業などを増やす
情報・コミュニケーション	31. 障害の有無にかかわらず情報が取得できるよう、情報のバリアフリーを進める 32. 円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実する
その他	33. その他（ ） 34. 特にない 35. わからない

【問31】から【問40】までは、18歳未満のお子様（ご本人）にお聞きします。
障害特性や年齢等によりご本人が答えられない場合は、ご本人の立場に立って保護者の方がお答えください。

◆余暇の過ごし方、スポーツについて、お聞きします。

【問31】あなたは学校や仕事以外の自由に使える時間に、どのようなことをしていますか。（いくつでも○）

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 家でゆっくりくつろぐ | 2. 家で趣味や学習などを行う |
| 3. 友人と会って遊ぶ | 4. 買い物などに出かける |
| 5. 映画、音楽、イベントなどへ出かける | 6. 運動をするために出かける |
| 7. 図書館や博物館へ出かける | 8. 散歩する |
| 9. SNS、インターネットで友人と交流する | |
| 10. ボランティア活動や地域のイベントなどへ参加する | |
| 11. 特に何もしていない | |
| 12. その他（ ） | |

【問32】あなたは現在の、学校や仕事以外の自由に使える時間の過ごし方に満足していますか。（1つだけ○）

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

【問33】あなたは、運動・スポーツを、1週間に1回以上行っていますか。

※学校の部活動や休み時間の活動も含みます。

（例 ウォーキング・自転車・ジョギング（通学時も含む）、遊びの中での運動、体操、室内での軽い運動、水中歩行・遊泳、ボウリング、グラウンド・ゴルフ、レクバレー、室内アスレチック運動、競技的スポーツなど）

- | | |
|-------|---------------|
| 1. はい | 2. いいえ⇒問33-①へ |
|-------|---------------|

【問 3 3 - ①】 問 3 3 で「2. いいえ」を選択した方にお聞きします。

あなたが運動やスポーツを行わない理由は、次のうちどれですか。

(いくつでも○)

1. 運動・スポーツができる場が近くにない
2. 指導者がいない
3. 一緒に行く仲間（競技者）がいない
4. 運動・スポーツに興味がない・したくない
5. 自分にできるスポーツがない
6. その他（ ）

◆ICT機器の利用について、お聞きします。

【問 3 4】あなたは、普段から次の I C T（情報通信技術）機器を使っていますか。
(いくつでも○)

1. パーソナルコンピュータ（パソコン）
2. タブレット端末
3. スマートフォン
4. その他電子機器
5. 過去に使っていたが、今は使っていない⇒問 3 4 - ①へ
6. いずれも使ったことがない⇒問 3 4 - ①へ

【問 3 4 - ①】問 3 4 で「5. 過去に使っていたが、今は使っていない」と「6. いずれも使ったことがない」に○をつけた方にお聞きします。

使っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 必要と思わないため
2. 使い方がわからないため
3. 自分の障害の特性により使うことが難しいため
4. 購入するためのお金や毎月の利用料金が high いため
5. その他

しょうがい しょうがいしゃ りかい かん き
◆障害や障害者への理解などに関することについて、お聞きします。

【問35】あなたは、この5年間に、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。(1つだけ○)

1. ある ⇒問35-①、②へ

2. ない

【問35-①】問35で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。

どのような場面で障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたりしましたか。

1. 保育園、幼稚園、学校
2. 職場
3. 公共交通機関（バス・電車など）
4. インターネット
5. 施設利用
6. その他

【問35-②】問35で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。

それはどのようなことか、教えてください。

◆^{がいしゅつ}あなたの外出の^{じょうきょうどう}状況等について、^きお聞きします。

【問36】あなたは、^{がっこう}学校や^{しごと}仕事、^{びょういん}病院や^{かもの}買い物などに行くための^{がいしゅつ}外出を、^{つき}月にどのくらいしますか。（^{もっとも}最も^{ちか}近いもの1つに○）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. ^{しゅう} 週に ^{かい} 5回以上 | 2. ^{しゅう} 週に3、4回 |
| 3. ^{しゅう} 週に ^{かい} 2回 | 4. ^{しゅう} 週に ^{かい} 1回 |
| 5. ^{つき} 月に1～2回程度 | 6. ^{がいしゅつ} 外出しない ⇒問36－①へ |

【問36－①】問36で「6. ^{がいしゅつ}外出しない」に○を付けた方^{かた}にお聞きします。
^{がいしゅつ}外出しない理由^{りゆう}について、^{おし}教えてください。

【問37】どのような^{もくてき}目的で^{がいしゅつ}外出することが多いですか。（いくつでも○）

- | | |
|--|---|
| 1. ^{がっこう} 学校などへの ^{つうがく} 通学 | 2. ^{つうしょしせつ} 通所施設などへの ^{つうしょ} 通所 |
| 3. ^{かいしゃ} 会社などへの ^{つうきん} 通勤 | 4. ^{びょういん} 病院などへの ^{つういん} 通院 |
| 5. ^{かもの} 買い物 | 6. ^{ゆうじん} 友人と遊ぶため、 ^{あそ} 趣味や ^{しゅみ} 習い事のため |
| 7. その他（ | ） |

【問38】外出する際に、利用する^{りよう}移動手段は何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|---|---|
| 1. ^{こうきょうこうつうきかん} 公共交通機関（バス・ ^{でんしや} 電車など） | 2. タクシー |
| 3. ^{じかようしゃ} 自家用車 | 4. ^{じてんしゃ} 自転車・ ^{とほ} 徒歩 |
| 5. その他（ | ） |

◆^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症^きについて、お聞きします。

【問39】^{とい}新型コロナウイルス^{しんがた}感染症^{かんせんしょう}が流行^{りゅうこう}したことで、あなたの生活^{せいかつ}に影響^{えいきょう}を受けましたか。(1つだけ○)

1. ^{えいきょう}影響^うを受けた
2. ^{すこ}少し^{えいきょう}影響^うを受けた
3. ^{えいきょう}あまり^う影響^うを受けなかった
4. ^{まった}全く^{えいきょう}影響^うを受けなかった

【問40】^{とい}新型コロナウイルス^{しんがた}感染症^{かんせんしょう}が流行^{りゅうこう}したことで、あなたの生活^{せいかつ}で困^{こま}ったことがあれば、教^{おし}えてください。

名古屋市障害者基礎調査報告書

発行年月	令和5年3月
編集・発行	名古屋市健康福祉局障害福祉部 障害企画課 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 電話(052)972-2585(直通) FAX(052)951-3999
